滿洲日報
十二月二日發行

海軍要求一部を認め豫算問題圓滿に解決

政局の危機漸やく去る

【東京特電二日發至急報】豫算閣議は纏つた、卽ち陸相が調停して海軍の要求額は滿洲事變豫備費の中から一千萬圓を振り向け、五百萬圓は大藏省が捻出すること、農林の要求は内政會議を經て追加豫算で提出することゝなつた

【東京二日發國通】本日の閣議にて陸軍の滿洲事變豫備費より一千萬圓を海軍に廻し更に高橋藏相は五百萬圓の赤字公債發行を容認し都合千五百萬圓を海軍に廻すことゝし圓滿解決をみたものである

首相各閣僚と個別折衝

【東京二日發國通】山本内相、大角海相、三土鐵相並びに齋藤首相の協議は約三十分に亘つたが、この間に各閣僚とも全部官邸に參集、首相は自邸に入り高橋藏相、大角海相、山本内相、後藤農相等を夫々個別に自室に招き夫々打開方策につき最後折衝を試みる所あつたが、他の閣僚も閣議室に在り不安裡に意見を交換しつゝ、閣議開會を待つた

首相の政治的裁斷に陸、海、農三相遂に同意

藏相も辭意を飜へす

【東京二日發國通至急報】齋藤首相は今朝來山本、大角、後藤各相と個別會見、懇談を重ねた後、午前十一時閣議を開き先づ懇談會に入り首相より

この際内外の時局に鑑み豫算編成に成功し時局に善處するため海軍の不足額は國家財政の見地より今回は千五百萬圓に止めて欲しい、内一千萬圓は滿洲事變豫備費より支出し、五百萬圓は赤字公債を以てこれに充てたい、農林豫算は内政會議を開き考慮の上實現を期したい

と述べ、次いで大角海相起ち

自分は首相の裁斷を容認する

と述べ後藤農相も

首相の裁斷はこの際やむを得ぬから同意する

と述べ、兩者とも承服し、荒木陸相は

決して餘裕のある譯でないが、大局的見地からこの際同意する

と述べ、茲に各閣僚の意見一致し一先づ休憩、午前十一時五十分再開、辛うじて曲りなりにも豫算閣議を取纏めた、高橋藏相も辭意を飜へして午後零時五十分政局は一先づ危機を脱した

農村救濟問題後廻しで可

山本内相意見

【東京二日發國通】山本内相は來年度豫算編成難問題で一日の定例閣議散會後、齋藤首相、大角海相、三土鐵相、荒木陸相外關係閣僚と懇談を遂げたが、夕刻左の如く語つた

高橋藏相が復活要求に對し之以上出さないといふ主張は非常に強硬で、若し自分の言ひ分が通らなければ辭職までする固い決心をもつてゐるやうだが、二十一億圓以上の大豫算を編成した現内閣が僅か海軍省の要求する三千萬圓程度の金を出すか出さぬかで、そんなことは絶對にない、一方後藤農相は餘りに物事を眞剣に考へすぎる傾きはないか、後藤君は外部から色々と尻をつゝかれて可哀さうだと我輩は思つてゐる、國防上どうしても軍部の方で金が必要だといふのならば先づこの方を先きに解決しなければならない、其上に農村政策のために金が必要だからといつて公債を濫發し、その價格を下落させれば物價は騰貴し國民の生活は愈々不安となつて取返しのつかない事態となるか、農村政策に對する政府の對策は内政關係會議で現在色々と審議中で、あの會議は今後もずつと續けてやることになつてゐるから、農村救濟に對して必要な金はその會議の結果を俟つて出しても遲くはないではないか、だから後藤農相もその點は納得して呉れたのではないかと思ふ

豫算解決までの經過

大乘的に解決せよ

荒木陸相閣議で力說

【東京特電二日發】デッドロックに乘りあげた豫算閣議は二日懇談會の形式で最後の妥協點發見に努めてゐる、藏相、海相ともに既に一歩も讓歩せぬ意氣込みを示してゐるが、しかも海軍最後の要求とするところは僅かに二千五百萬圓であるから、觀方によつては妥協の一歩前であるといふことも出來る、内閣は重大危機に直面したとはいへ、軍部は陸海軍ともこの内閣を破壞してよりよき政府を作りあげる見通しがついてゐない、また元老重臣方面もこの際の政變を國家のため不得策となし、鈴木侍從長を通じて齋藤首相に善處を切望してゐるので、政府としてはこの方面の意向からもこの際圓滿に纏めることに努力しなければならぬ筋合となつてゐる、かくて二日の閣議では首相始め各相總がゝりで藏海兩相間の融和に努め、特に荒木陸相は最も有力な調停者として

この場合一豫算問題によつて内閣の瓦解をみることあつては海外に對して國家の信用が損はれること多大であるから、是非とも協調して豫算を速かに纏めねばならぬ、殊に問題は既に三千萬圓に足らぬ少額の增減であるから、大局的立場から考へて大乘的解決を切望す

と力說して妥協勸說につとめるところあつたといふ

福建獨立するも北支には無影響

けふ來連の　李擇一氏語る

十月下旬以來約一ケ月に亘り日本朝野と意見を交換し日支局面打開のため奔走中であつた李擇一氏は顧問格の岡田有民氏同道朝鮮經由にて來滿、新京に一泊菱刈軍司令官と會見、意見を交換し二日午前七時四十分着列車にて來連星の家に落着いたが、往訪の記者に語る

特別の用件もなく靜養の目的で上京したのに特派使節等と新聞で擔ぎあげられて弱つた、强ひて理由づければ自分は既に三十四回も日本に行き、日本を研究してゐるが、最近の刻々に變化して行く局面を見るために行つたのだ、今度の來滿には三つの目的がある、第一は新京の關東軍に停戰協定以來の挨拶、第二に奉天の珠林寺に張作霖の靈を弔ふため、第三は戰後の北寧線を視察するためだ、今日滿鐵及び各方面の知人と顏を合せ今晚の汽車で奉天に引返し北寧線を見ながら北平に歸る豫定だ

と語り、福建政府の見透しを問へば

自分は内地で新聞を見て知つたもので、詳細はわからぬが、廣東政府と聯絡がないから大したものにはならぬと思ふ

と對岸の火災視して問題にせず、「福建政府の北支に及ぼす影響は」と問へば

日本の新聞は未だ北支に反蔣派が機を覗つてゐる樣に傳へてゐるが、事實そんなものは全くないから南にどんな政府が出來たつて北支は動搖しない

と蔣政權北支における地盤の鞏固なることを强調し、最後に日支局面打開、諸懸案の解決に關しては

要は滿洲問題の解決だ、滿洲問題さへ解決すれば、日支間の問題だけでなく東亞の諸問題が皆解決がつくではないか

と語つた（寫眞は星の家で寬いだ李氏）

滿鐵改組問題と中央の空氣

山崎滿鐵理事歸任談

二ケ月に亘つて東京に在り新線鐵道問題、滿鐵改組問題等に關し政府要路はじめ財界有力者等と打合せをつゞけてゐた滿鐵山崎理事は二日大連入港のうらる丸で歸連したが「改組問題の現地の雲行はどうかね、内地は新聞に傳へられてゐる通りだよ」と冒頭して語る

問● 中央政府の雲行は

答● 要するに現地案が來るのを待つてゐるのだ、軍、滿鐵が協力して案が完成しつゝあると思ふが、それが出來るまで中央政府としては意思表示をしないことになつてゐる、勿論各省獨自の立場で研究調査はしてゐるやうだが

問● 現地案實現の可能性は

答● 要するに案内容の問題だ、抽象的な言ひ方だが公正妥當な案さへ出來れば中央ではさう問題にもならず決定すると思ふ

問● 然らば中央政府の本問題に對する大體の意向は現地諸機關に解つてゐるか

答● それは解つてゐる筈だ、關東軍は陸軍省を通じ、滿鐵は拓務省を通じて中央の意向なるものを諒解してゐると思ふ

問● 然し中央政府内で既に意見の對立があると聞くが

答● 前にもいつた通り全然意思表示はしてゐないし、各省間で意見の交換などやつた模樣はないし、そんなことはありやうがない

問● 株主總會では相當突込んだ質問が豫想されるが

答● 世間でこれだけ大きな問題になつたのだから相當出ることは想像出來る、然し株主としても決して改組そのものに反對してゐるわけでない、滿鐵が有効適切な經濟開發機關となることには贊成であらうし、要するに公正妥當な改組といふことが各方面共に一致した意向だ

問● 株主總會では改組案の内容を或る程度まで發表する必要が生ずることは無いか

答● それは正副總裁の腹一つで決まることだ、政府とも相談して決められることだらう

問● 政界の雲行は險惡であり、若し政府が變れば本問題も一頓挫を來すか又は急轉することはないか

答● 政界の動きは知らぬ、然し吾々は公正妥當な案を目標に一路吾々のベストを盡して案を樹てるべきだ

問● 本問題が表面化した時、山崎理事は拓務省から「滿鐵は何をしてゐるか」と叱られたといふ噂があるが

答● そんなことは全然ない、拓務省は良く解つてゐる

問● 改組問題の結末の見透しは

答● さあ解らんね

問● 滿鐵は年末資金も相當に必要であり、來年春には相當の金が要るが本問題の解決延引はそれに重大な影響を與へないか

答● 資金繰のことは餘り知らぬが年末資金に二千萬圓程要るといふことは聞いた、然しそれ位の金の調達には滿鐵は困りはしない、また來年の春までには何とか片がつくだらうぢやないか

混亂の支那時局に適當なる對策

守島課長準備に渡支

【東京特電一日發】外務省は支那の時局に對し、適當なる對策を講ずるため近く有力な人物を支那に派遣し、出先の間に連絡を執ることゝなつたが、その準備のため亞細亞局の守島第一課長を二日發上海、南京に派遣することになつた

守島課長語る

【東京一日發國通】外務省亞細亞局第一課長守島伍郞氏は一日附中華民國へ出張を命ぜられた福建獨立政府問題等を繞つて支那政局が紛糾しつゝある折柄、亞細亞局の樞要地位にある守島氏の出張は頗る注目されてゐるが、守島氏は右につき左の如く語つた

二日夜東京發上海へ直行、一週間ばかり滯在するつもりだが、何等特別の用事で行く譯でない、議に滿洲に赴いた際南京上海へも寄つて來るつもりだつたが、それが出來なかつたので今度改めて行く事になつたのみである

福建政府内訌

社會民衆主義標榜の第三黨を軍部が驅逐を要望

【上海特電一日發】福建政府は内部における社會民衆主義を標榜する第三黨に對し蔡廷楷氏その他の軍部が反對の態度をとり、陳銘樞氏の行動を批難すると共に第三黨驅逐を要望して早くも内訌を生じ李濟深氏が目下調停に努めてゐるが、その成行は重大化するものと觀られてゐる

共產黨の活躍に惱む福建新政府

對外關係から彈壓

【福州二日發國通】福建獨立政府は成立當時江西共產政權と一種の不可侵條約を締結し、共產軍とある程度の親善關係があるが、南京側の攻擊の材料となり列國の監視嚴重となつたので、陳銘樞、李濟深等は竊に共產勢力の抑壓を圖つてゐるが、農工運動、文化運動などの名による第三黨及び江西省共產黨の首都福州から潛入した共產分子の策動益々露骨となり、今や新政府首腦部は非常に腐心してゐる、當地の富豪等は共產黨の策動に恐慌を來し上海、香港方面に避難を企てゝゐるが、政府では現金の收藏者外持出を嚴禁し二十元以上持出すものは極刑に處してゐる

厦門、福州等の金融恐慌救濟のため新政府は紙幣を發行安定に努力してゐるが、人心の動搖は明かに看取される

福建廣東兩派の關係斷絕

【福州一日發國通】福建派と廣東派の關係は愈々決定的に斷絕し廣東にあつた十九路軍の辦事處は閉鎖された、一方十九路軍の多數宣傳班員は地方農民の間に宣傳工作を徹底させるため續々地方に出發することゝなり學校における三民主義の教授は禁止された、又本日を期し全囚人の大赦解放を決行することになつた

李烈鈞氏語る

【上海一日發國通】既報福建政變に對する國民黨元老李烈鈞氏の重要建策は未だ何等の確答の意思表示に接せず、李氏は中央の不都合を詰りつゝ語る

余の建策は福建問題解決の根本策たる政權の解放、人民の集會結社、言論の自由保障等政權それ自身の國家體形である、中央が和平解決を望めば當然執るべき原則的體形だ、然るにこれに對し何等の返電無く且つ頻りに軍事對策の宣傳を行ひつゝある、余の建策は今や完全に握り潰された

西南派要人の態度緩和

【廣東一日發國通】福建獨立政府の實情次第に鮮明となり赤化が事實なる風說なること判明するや當地西南各要人は福建新政府の要請に應諾の色濃く最も强硬態度を示してゐた陳濟棠氏も李宗仁、白崇禧、鄒魯、胡漢民氏等に引摺られ態度緩和し二十九日開かれた西南執行委員會席上福建省境一帶の軍備は情勢に依り近く一部を撤回する意思あるを明言したといはれる、浙江軍が浙江省境に兵力を向けず西南側首腦部が中央の武力行使に反對せる等はこの間の消息を裏書きするものと觀らる

福建軍の大兵省境出動說

【南京一日發國通】首都衞戍の第八十八師は二十九日當地發杭州に向つた、なほ蔣介石氏は福建軍の浙江侵略に備へるため第六師長趙觀濤氏を浙閩皖贛邊區警備司令に任命した、なほ福建軍は既に大兵を浙江境に出動したとの說傳へられ時局は急速に進展するものと見らる

福建政府大赦

【福州一日發國通】福建新政府は二十日以前迄の犯罪者に對し大赦を行ふに決し、三十日その旨公布した尙第三黨の徐謙氏は最高法院長に就任した

元佛文相歸國

【京城特電二日發】佛國上院議員元同國文相アンドレ・オノラ氏夫妻は三日朝入城數日滯在して安東經由歸國の豫定である

はるびん丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定はるびん丸の主なる船客諸氏 駐日大使有田八郞、大連商議會頭高田友吉、滿洲電々會社重役西田猪之輔、同社員和田義雄、大連製氷會社重役兒島卯吉、白川友一、志村德造、守中清、中島龜吉

學良パリへ

【ロンドン一日發國通】故國の風雲急を告げるや、遽に歸國を決した張學良は一日飛行機でロンドンを出發しパリへ向つた、パリ及びローマに極く短期間滯在の上上海へ向ふ豫定

局面打開に最後的努力集中

けふの豫算閣議前に

【東京二日發國通】明年度豫算編成は海軍豫算の復活要求を中心に農林豫算の復活要求も强硬なるものがあつて、高橋藏相と大角海相は對立狀態に陷り暗礁に乘あげてしまつたので、齋藤首相が難局打開に乘出し、高橋藏相、山本内相、大角海相、荒木陸相、後藤農相等その間で政治的折衝に努力したが容易に好轉の模樣なく、政局は相當緊張してゐるが、局面打開の方法として殘されて居るものは

一、藏相が或程度讓歩して海軍並に農林當局の要求を容認するか
二、大角海相が國防と財政との調和を圖るとの見地から一應大藏當局の査定を以つて要求を引込めるか
三、双方互讓的精神によつて歩み寄るか

の三つより外に途はないといふ對立狀態にあり、これに對しても極力手を盡したが双方共强硬に頑張つてゐるので、二日午前十時より開かれる豫算閣議前に最後的努力が集中されるものと思はれるが、それでもなほ局面打開の方途が立たない場合は臨機應變の措置を講ずる事として豫定通り午前十時より閣議を開く事になつたが、打開の途が發見されない限りは、休憩に次ぐに休憩を以てして、その間に問題の直接關係閣僚、卽ち高橋藏相、大角海相、後藤農相を中心に山本内相、荒木陸相、三土鐵相その他も加はつて格式張らず懇談を重ね、窮通の方途發見に努力する事にならうから閣議は午前午後に亘るものと思はれる、但し形勢の推移によつては急轉直下圓滿解決を告げるかも知れぬと思はれる

米洲局

代り財源で新設

【東京一日發國通】廣田外相は對米、對ソ外交關係の重大且つ複雜化するに鑑み從來の歐米局を分割し米洲局及歐洲局の二局とする事に決し愈々既定經費の組替へを行つて米洲局の新設を行ふ事となつた

遼河工程局接收善後

【奉天電話】遼河工程局は從來日英米佛各國機關代表をもつて委員組織の下に各所管の改修工事を進めて來てゐたが今回右工程局は滿洲國において接收し航政局に隸屬せしめることになり滿洲國當局では過般來これが接收につき研究中であつたが、この程成案を得たので近く正式に發表される筈である、何分同局は國際的色彩を有し永年の歷史をもつてゐるためその接收に關しても双方圓滿に解決を希望しなり工程局では近く委員會を開きその善後策につき協議を行ふこととなつたが完全に接收されるまでにはなほ相當の折衝を要する筈で交通部島崎水利科長は接收後の處置につき二十八日これが打合せのため營口に赴いた

凱旋兵――三日午前九時着驛

蛇角

◇復活の嵐、豫算の重荷に、内閣丸アワヤ顚覆の危機。
◇荒木陸相、救ひ船を出し、お陰で難破を免る。
◇されど波浪なほ强し、航行の前途、樂觀を許さず。
◇アメリカ飮酒善の看板を下す、いはく禁酒法の撤廢。
◇衞生苦力のストライキ、市民散々糞尿攻めになるところ。
◇二重窓開けば動く冬の蠅。

人事

▲山崎元幹氏（滿鐵理事）二日入港のうらる丸にて歸任
▲稻葉逸好氏（奉天醫大學長）同上
▲長永義正氏（大連商工會議所書記長）同上
▲バイアン男爵（ベルギー銀行重役）二日出帆青島丸にて上海へ
▲藤城吉太郞氏（海務局海事課長）同上青島へ
▲萱野虎吉氏（同技手）同上
▲李擇一氏（南京政府要人）岡田有民氏同道二日午前七時四十分着列車にて來連
▲千田嘉平氏（貴族院議員）同上
▲入江正太郞氏（滿電專務）同上歸任

女の部屋（27）

林芙美子作　一木淳畫

眼（六）

半分程あけた窓から夜の郊外のひえびえとした空氣が勢ひよく流れ込んで來て麗子の髮毛を滅茶々々に搔り立てゝ、其處から發散する香水の香に二人とも醉つてゐるかの樣な、長い接吻が續いた。

麗子は疲れ切つた樣に男の腕から身を引くと、物靜かに自分の髮を撫でた。

――愛して、?

――……

――れ、れ。

秋山は返事のかはりに女の唇を再び輕い接吻で封じた。麗子はそれですつかり滿足して、輕々しく

ぽつんぽつんと灯の見える、森があつたり廣々として畑に展けたりする武藏野の夜に見入つてゐた。

麗子は暫く默つてゐたが、そつと男の頸と腰とに手を廻して、徐々に力を入れて締めた、秋山は何時迄もじつとしてゐる。

――妾には眞面目な結婚、眞面目な戀愛なんて考へてならない事でせうか?

秋山は左の耳朶に熱い女の息吹を感じながら

――君の態度一つだらう。

と、や、冷やかに云つた。

――眞面目な者丈にしか眞面目な結婚は許されないんだらうれ。

自動車は再び東京を向いて走り出した。

――妾いけない娘?

――さうでもないだらう。

――でもお轉婆だと思ふでせう?

――さうでもない。

――眞面目に云つて頂戴よ。

車内の豆電氣に照らされた麗子の顏は案外無邪氣に心配らしい色を浮べてゐた。

――只れ、餘りお酒なのんぢやいけないよ。

――さうれ、でもあんな嫌な商賣をしてゐると、無理にも呑まなくちやならない事もあつて……妾あんな商賣、ほんとに嫌だわ。

――ぢや何がし度いの?

――妾……結婚。

――……

秋山は何氣なく、麗子の言葉が聞えたかどうかも判らない樣子でゐた。

自分を少し苦々しく感じてゐた。餘計な事をしたと云ふ樣な後悔が苦く後口に殘る。

――愚劣な假面つて?

――何の男でも自分に參つてるのだと云ふバカな思ひ上りさ。

麗子はぐつと來る不快な白々しさを强ひてほゝと笑ひにかくして

――妬いてんの?まだはや……

――バカ!

秋山の聲は低かつたが、女の口を縫ひつけて了ふ程冷やかな、侮蔑的なものだつた。

自動車は高田の馬場をぬけて再び明るい東京の街に入つて來た。麗子はじつと唇をかんで一言も云はなかつた。

秋山は其處で車を降りると女を數寄屋橋迄送る樣に運轉手に云つて自分は他の車を止めた。その間も麗子は下を向いたつきり、泣いてゐるかと思はれる程靜かにしてゐた。

ダンスホール受難時代
半期の赤字八千圓で廢止説が持上る
惱む大連檢番ホール

何處のダンスホールも不況の風に見舞はれて赤字時代を迎へた昨今、上半期だけで八千餘圓といふ大赤字を出した大連檢番專屬ダンスホールでは從來ホール反對派と目されてゐる役員から突如ホール廢止説が持ち上り三日の決算報告總會の席上は相當波瀾を豫想され、あわたゞしい師走を外に狂へるヂャズを奏でゐる(寫眞は檢番ホール)

反對派が氣勢を揚げて役員會席上で激論
贊成派反駁の末妥協

大連檢番のダンスホールは競爭ホールの出現によつて對抗上諸設備に費用を惜まず投じたのと一般的ダンス熱の下火に遭遇して本年上半期は思ひもよらぬ八千餘圓といふ大赤字を出したが、一日午後一時から三業組合樓上で開かれた役員會では俄然この大赤字を中心に議論の渦を捲き起した

元來檢番ホールといへば建設當時から組合員が贊成派、反對派の二分野に分れて爭つたものだが、遂に贊成派が勝を制して實現したホールだけに、反對派は常にホール經營の成行きに監視の目を離さなかつた矢先、この大赤字を出して終つたので、反對派は「それ見たか?」とばかり氣勢を揚げ出したものだ

役員會席上では反對派の急先鋒と目されてゐる淡月白川、吉田席吉田兩氏等が、將來なほかゝる大缺損をなするとしたなれば組合として經營を續けることは絶對不可能であり、この際振興策が樹てられないとすればホールを廢止すべきであるとの極端なる強硬論が持ち出されこれが善後策を講ずるため二三日休業せよと主張した、これがため役員會は俄然紛糾を來し贊成派役員は眞向から廢止説に反駁を加へ廢止すれば數萬圓の損害を來し重大なる結果を及ぼすことであると反對し結局十二月、一月の書入れ時の營業成績を見たうへ改めて意見を交へやうといふ役員會としての妥協案を發見し散會した

しかし三日午後一時から開かれる決算報告總會ではこの問題が蒸し返し相當波瀾を來すものと注目されてゐる

更生か廢止か岐路に立つ
反對派の淡月主人談

ホール經營に對し反對意見を持續してゐる淡月白川淳氏は語る

一ケ月に千圓以上といふ缺損をするといふことが見すく判つてゐるホールを檢番が強ひて經營するといふことはどうかと思ふが、一日の役員會では直ちにホールを廢止せよといふのではなく振興善後策を考へる爲め二三日休業してはどうだといふのであつた、この結果どうしても振興策が樹てられないとしたなれば廢止も、また止むを得ないし適當な更生策が見つかれば繼續してもよいと思ふ、しかし今のホールも經營難を來してゐる際、檢番ホールのみが缺損なしの經營を續けてゆくことはむつかしいことで、將來考へなければならぬ問題だと思ふ、いろいろ役員會では議論も出たが結局書入れ時の十二月と一月との成績を見たうへ方針を決定しようといふ妥協點が發見された譯です

缺損のみでない今期の赤字
田中三業組合長談

ホール廢止説に眞向から反對してゐる三業組合長田中藤太郎氏は語る

今期の赤字は純然たる經營上の缺損でなく內部の設備に相當投じた費用も含まれてゐるものです從つて毎月の缺損は決して千圓以上にに達してならぬ、しかしこの際振興策を樹立する必要があることは異議ないが、直ちに廢止して終ふことは以ての外である、只今ホールを廢止すれば數萬圓の損害は免れないが、これだけの損を組合員に負はせることは自分としては斷じて出來ぬ、役員會は從來ホール反對派と見られる人々から二、三日休業して振興策を考へよといふことがあつたが、休業すればそれだけ缺損は增加するばかりである、結局これらの人々は休業させて置いて廢止運動の導火線たらしめんとする考へではないかとも思はれる、それは他にダンスホールを經營してゐる役員が混つてゐるのを見ても容易に想像されることで爭ふなれば堂々とやつて欲しい

バンドの彈爭解決
退職金二百圓

既報、大連檢番ダンスホールではバンドの交代問題から勞資の紛爭を來してゐたが解雇を申渡された首藤バンド側では師岡辯護士に事件を依賴し退職金六百圓をホールに要求してゐたが、師岡辯護士と田中三業組合長との間で再三交渉の結果、遂にバンド側で折れて出て三十日まで平穩に就業して同日限り退職、二日退職金二百圓を受取つて圓滿解決した、なほ交代の坂井バンドは一日から出演してゐる

早くも歲暮氣分

沙河口驛を利用し盛んに不正乘車
滿鐵で防止策を案出

最近滿鐵本線の旅客が激增するに伴つて大連驛と沙河口驛の改札制度の不一致を巧に利用して不正乘車をする客が意外に多數であり困り拔いた滿鐵大連鐵道事務所ではこれが徹底的防止策を考究の結果數種の適切な方法を案出、更に列車檢札員の增員等によつて徹底的取締をなす一方不正乘客發見の場合はドシく法規によつての適當な處置を執ることゝなつた、その巧妙の手段を擧げると左の如くである

……◇……

大連驛には改札口が無いため列車專務は列車中で收札を行ふがこれは沙河口通過後では到底時間的に不可能であり自然それ以前に檢札を開始する、この時沙河口驛行の切符を持つた客は沙河口驛に改札口があるため收札されずこれを利用してその客は大連まで直行、切符はそのまゝにして再度使用を圖らんとするものである

……◇……

沙河口驛九月中の降車客は一萬三千三百八人でそのうち無札降車の客が約一パーセントの百二十五名に達してゐる、そして彼等が無札の言譯としては、大連行を買つたが沙河口驛に出迎人を發見したので急に降りた、切符は車內で收札のさき渡したといふのが最多數でその次には車掌が間違へて收札した、知らずに渡してしまつたといふのが大部分であるが殆んど全部が不正と見るべき根據を最近に發見した

……◇……

右につき滿鐵々道部旅客係當局では語る

困つたものだが鐵道事務所の防止案も出來たし萬全を期してやる、兎に角制度の缺陷で致し方もないことでかうした點にも大連驛に改札口を設ける必要があるのではないかと思ふ

滿鐵急行列車區間制を改正

滿鐵々道部では明年十月一日の時刻改正を機に旅客列車大增運轉さ又スピードアップを行ふがこれに伴つて旅客料金および急行料金關係に必然的に改正の必要が生じたので旅客係で種々研究中であるがそれに先立ち先づ現在の急行料金の區間制に改正をなすべく研究を行つてゐる

即ち現在滿鐵では料金を五百キロ、および七百キロの二單位に分つてゐるがこの結果短區間の旅客は急行列車乘車に非常な負擔を負ひ自然利用者も少ないためこれ等の旅客の便利を增すと共にその利用增加をはからんとするものであるが現在の制度を五百キロ單位を下げるか、または五百キロの下に更に一單位を設けて三單位とするかの點については目下なほ研究中である

市衞生作業所の苦力一齊罷業
原因は積立強制から

大連市役所衞生課榮町衞生作業所の苦力約百名は賃金のことより數日來苦力供給業市內土佐町五八白洋公司こと田中一平氏と爭ひを續け不穩の形勢を示してゐたが、二日に至つて兩者の協定遂に結ばれず二日午前十時苦力百名は一齊に罷業狀態に入り白洋公司が臨時苦力を市內より狩り集めて仕事を開始せんとするや苦力側は勞働道具一切を何れかに隱匿して仕事を不能に陷らせたので白洋公司田中氏は午前十一時所轄署小崗子署高等係に出頭、事件解決方を願ひ出たので遂に事件は表沙汰となつた、右爭議に到るまでの事情を聞くに榮町衞生作業所に使用する約百名の苦力は、全部白洋公司が請負ひ糞尿汲み取り、を行ふ衞生苦力で賃金は一日四十錢であるが、冬季に入ると仕事を休むものが多くその都度臨時に不熟練な普通の然も賃金の高い苦力を一日傭ひで使用せねばならぬので白洋公司では臨時苦力の賃金を浮すため衞生苦力の賃金五日分を強制的に積立てさすべく申し渡した處代表苦力間に問題を起すこととなり數度の協議も遂に成立せず二日に至つて爆發し衞生苦力は糞尿汲取りの桶、塵芥掃除のシヤベル、麻袋等を匿して一齊に罷業狀態に入つたものである

圓滿解決し明日就業
小崗子署調停

右の訴へによつて小崗子署高等係では直に井上特務が特務巡捕數名を率ゐて罷業苦力側と會見、調停の勞をとつた結果、午後一時三十分賃金の協調成つて大事に到らず圓滿解決し、衞生苦力は二日から仕事に就くことになつたが、一時は榮町衞生苦力は全市各所の衞生苦力に應援を求めんとし却々の騷ぎであつた

牛疫の猖獗から
密輸肉を賣る奸商續出

大連近郊に發生した牛疫はその後ますく猛威を揮ひ、時節柄牛肉黨に大恐慌を來してゐるが、一日普蘭店、貔子窩、金州方面から來た食用牛を周水子家畜檢疫所で檢疫中、またも九頭の病牛を發見、牛關係者に非常な脅威を與へた、牛疫發生せる本月二十一日以來これで六十三頭の病牛を出したわけで近年稀有のことゝされてゐる

關東廳衞生課、同農林課及び大連署衞生係では協力獸醫の總動員を行ひ防疫に從事する一方周水子家畜檢疫所では州內外から來る牛を一週間の潛伏期間中同所に繫留し大丈夫と烙印附けられたものだけ屠場に送るといふ嚴重ぶりである

これにつけこみ牛肉密輸が跳梁し取締官廳を惱ましてゐるが、大連署衞生係では數日前から市內牛肉店の一齊臨檢を行つてゐるが、その結果二日までに恐るべき密輸肉を販賣してゐた奸商數軒が發見された

市內須磨町十二洪興永こと呂永年(三五)は最近約五十貫の密輸肉を販賣してゐたのを始め但馬町二東海洋行こと普東海(三八)東鄕町四五天順昌こと姜洪展(四〇)淡路町十三福全和こと張福金(四三)の三名が何れも不良肉を販賣してゐたのを發見された

右の牛肉商は何れも船員と連絡をとり青島方面から密輸入し既に多量の肉を市民に販賣してゐたもので大連署では何れも科料處分に附した、その他支那人牛肉商間に不正肉を賣つてゐるものが多數あるらしく引續き內偵中であるが、常習的な商人には營業停止を命ずる方針である

滿洲進出に
嬉しい出資美談
希望に輝き青年來る

滿洲で一旗あげようと云ふ青年店員へ無條件で二千五百圓の資本を投げ出した奇特な主人の行爲が二日入港うらる丸で來連したその青年店員の口から洩れた

佐世保市福石町六十五佐藤正彦(二一)は十日程前に一度來滿、各地を視察して去る十一月廿七日の香港丸で歸國したが、古銅買入業が有望と見込をつけたが資金難はどうにもならずかつて奉公した京都市東山區三丁目吉田耕三商店の力を借りるべく長距離電話で賴み込んだところ吉田氏は「よろしいしつかりやれ」金は安田銀行の手を經て送る」と力づよいはげましの言葉と共に二千五百圓を送られたので舊主の情に感激して直に來滿したものである

大金を持ち過ぎるので水上署員に取調べられたが、涙を流さんばかりに喜び「しつかりやつて滿洲で是非旗あげしますよ」とはしやぎ切つてゐた

詐欺犯人逮捕

市內能登町多久洋行主諸江保市氏より二千五百圓を詐取逃走中であつた元新京富士町二八盛昌洋行跡に住む吉村靜夫(三八)は大連署の手配により一日奉天署において逮捕され近く身柄は押送されてくる筈

バタ密輸の露人
天津丸臨檢中に發見

一日午後四時出帆の天津丸を臨檢中の堀田稅關吏は三等船客商人と稱するロシア人イヴシコフ(ヨ七)がトランク、行李、モッコ等二十個約三百貫の大荷物を嚴重に荷造り積込んでゐることを發見、一應取調べる必要ありと本人に傳へたところ「自分のものではない」と頑張り輸出申告書を所持せず密輸の嫌疑を以て右荷物を檢查所へ運搬させ取調べたる處バタ、チーズ、コダスコフ映寫機等がぎつしりつめられてをり今迄にない大密輸に稅關を驚かせてゐる

イヴシコフは去る八月二十四日矢張りバタ約二百貫を天津に輸出一儲けせんとして稅關に注意され、正式の輸出手續を執り價格百二十圓のバタの攜帶を許可された者であるが、其後當時の輸出申告書を巧みに行使毎月二三回づつ稅關吏の目をかすめてバタの密輸をはたてつゝある事が判明した

白衣の勇士けさ旅順へ

北滿各地に偉勳を樹てた白衣の勇士三十名は二日午前六時二十分大連驛に凱旋直に七時三十五分發列車にて旅順衞戍病院に向つた

店員拐帶頻出

慌しい年末に店員の拐帶三件―市內浪速町二〇八番地橫井仁左衞門方メッセンジャーボーイ佐藤直之(一八)は二十五圓六十三錢を拐帶して一日午前十時三十分發列車で奧地へドロン▲市內薩摩町七番地佐古惠造方店員渡邊壽男(二〇)は三十日午後六時頃自轉車に乘つて出たまゝ歸宅せぬが懷中には二百餘圓の請求書を持つて居り若干集金した形跡がある▲市內駿河町一內藤音次郎方店員田邊泰三(三〇)は主人の內藤が他より預つて封筒に入れ金庫內にしまつてゐた二百八十圓を盜み出して逃走した

蹴球聯盟に三井が加盟

來春より大連蹴球聯盟主催のリーグ戰に加入することゝなつた三井物產蹴球チームは三日午前十一時より大連運動場に於いて滿鐵チームと對戰することゝなつた

尚午後一時より旅順運動場において擧行する筈であつた旅順關東廳千歲俱樂部對滿鐵育成ラグビー戰は千歲俱樂部側の都合で中止となつた

貧民救濟に蓬萊が寄附

大連警察署保安係では歲末を控へて管內の貧困者を調查することになり各派出所に調查を命じると共に貧民救濟のため各方面よりの寄附金を希望してゐたが、一日市內春日町蓬萊無盡株式會社專務取締役より金三百圓を貧民救濟金として寄附があつた

常安寺攝心會

市內天神町常安寺では常例の坐禪會を來る三日午前六時半より開坐する、なほ來る八日迄は臘八攝心會に相當するので八日朝は報恩の坐禪會を開坐し釋尊成道の偉德を偲ぶと希望者は至急申込まれたし

●●●●●●●●

センオーストーブ抽籤券 福昌公司が滿洲總代理店として本年全滿に賣出したセンオーストーブは賣出し以來關東軍滿鐵滿洲國各方面より多數の買上に浴し好成績を擧げ其謝恩の意味にて年末まで五十個を一組として其內五個の御方は無料進呈の奉仕販賣中にて好評を受けて居る

天氣予報

三日 北西の風 驟雲模樣 後晴

各地溫度(二日午前十一時)

大連	八	奉天	六
旅順	九	新京	三
營口	八	新義州	二

今日の小洋相場(十一時午)

金百圓につき百二十一圓五十錢

善鬼惡鬼 (276)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

月下の勝負（六）

「曲者」

强く鋭く、よびかけると共に、松原源八、先づ一刀の鞘をはらつた。

「斬りぬけい」

吉田が身がまへをした。

「合點だ」

蟲も答へた。

「エイ」

鋭い聲と共に、ばたりと斃れた人音。

「御用」

「御用」

右に左に、うしろに前に、ぢり／＼とつめよる人數は、いつの間に、どこに伏せてあつたものか、八人十人ではなかつた。悉く、ぴつたりつけた青眼のかまへ、白刃の光は月光にさえ／＼として、美事に三人を圍んで薄の穗のやうにおしつゝんで攻めよせる。

「おもしろい。久しぶりの刃物三昧、ウウ、腕がうなるぞ」

五郎兵衛はから／＼と笑つた。

「車澤、無益の殺生をせぬやうにな」

吉田大八が注意をするやうに云つた。が五郎は聞かなかつた。

「ははは、やめやうと思つてもやめられぬ。拙者のやまひです。此儘はそつくり引受ける、貴公等は逃げてくれ、逃げろ、逃げろ」

「併し――」

松原が云つた。

「併しも糸瓜もない、逃げろといふに」

「よし、頼む」

吉田は、蟲の腕を信じてゐた。さつと刀を引いて、横飛びにさつと飛ぶ。其方角にゐた曲者の刀がさつとよけて、どやどやと追かける。

隙を見込んで、松原源八が、つゝゝと廊だたみへ入つた。

「それッ」

呼び白刃が、廊だたみに向ふ時

「エイッ、エイッ、エイッ」

三撃で三人、五郎兵衛の刃が月光と共に寄手を斬つて落した。

「さあ來い。氣を落ちつけてかゝるがよいぞ」

霧島に云つて、蟲五郎兵衛が、白刃の血ぶるひをした時、もう、其處には吉田の姿も、松原の姿も見えなかつた。

「逃げた、逃がした」

二三人が、どよめくのを、さつと飛びこんで、三番がけの白刃、

「追ふ奴は斬るぞ。追ふ奴は一人も殘さぬぞ」

其言葉通り又二人やられた。

もはや、吉田と松原の消えた方角へ、白刃を向けるものは一人もなかつた。皆が皆、蟲一人を圍んで、車がかりにかかつて來る。さはいへ、前の手際を見てとつたので、所詮は遠まきに卷いてゐるばかりだ。

「一人、二人、三人、四人、五人か、もう居らぬか、もう隱れてゐる奴はないか」

蟲は落ちつきはらつて、我が前にならんだ人數を數へたが、寄手は只「ヤア、ヤア」とひしめくばかりであつた。

「よし、一人づつ斬らうか。それとも二人づつか、お望みに任せる。命が惜くば今の中にいふがよい、蟲五郎兵衛、久しぶりで、腰のものにものをいはせるのだ、慌てゝ犬死をするんぢやないぞ」

息づかひも平生の通り、一刀のかまへも悠々と、何のいらだちも見えないのが、却て不氣味だつた。

「おぬしは蟲五郎兵衛か」

「さうだ」

「小梅に道場を持つてゐた片手劍法の蟲にちがひないな」

「さうだ、その片手劍法の腕のさえを見せてやらうか、それとも見たくないか」

「見たくない」

「そんなもの見るには及ばぬ」

口々に云つて、今が今まで取圍んでゐた面々、ぢり／＼引に刃を引いて、綻び目をほごすやうに、五郎兵衛のまはりから引きはじめた。

「ははは、蟲五郎兵衛の名を知つてゐると見えるな。ものおぼえの好い奴等だ。よし／＼、貴公等がその氣なら、無益の殺生は見合せてつかはす。あばよ」

チャリンと音をさして、刀を鞘に納めた五郎兵衛、例の熊坂だこれも久しぶりに吟じながら、のそり／＼とあるきはじめた。取圍んだ黑裝束はいひ甲斐もなく、五郎兵衛の爲めに道をひらいた。

池田監督復歸　日活一部異動

さきに太秦發聲を退社、フリーランサーに歸つた池田富保監督は二十八日正式に元の古巣日活へフリーの立場で復歸と決定

第一回作品は本田美禪氏作「伊達の輿作」と村上浪六氏作「すて賣り勘兵衛」が候補に上げられてゐるが、このうち一本だけ完成する

これと同時に時代劇監督として定評のあつた渡邊邦男監督が十二月一日附を以つて現代劇部へ轉部しまた永らく休養中であつた現代劇部三村源次郎監督は辭表を提出退社した

うわさ話

常盤座は今日から「暴君ネロ」と「大飛行船」の二大特作品を併映して階下三十錢で大衆興行▲洋畫再映興行としては近來珍しい强力番組のスペクタクル映畫二本立である▲帝國館は各館主の贊同を得て書式を整へ愈々正式に色物上演許可願をその筋に提出▲そして正月興行の準備に着手し映畫の方は小笠原ライオン君が明日内地へ出發の豫定▲正月興行に映樂館も混合プロを組む計畫を立て各社特作品七本を契約したと傳へられてゐる▲唄の市丸自演のJOトーキー「戀の市丸」と共にPCLトーキー「純情の都」も正月上映に確定▲また年内には内地未封切のユニバーサル社の猛獸映畫「ジャングルキイラー」を封切▲日活館は次週「群盲有罪」を上映し次は「鼠小僧次郎吉」中篇を豫定し愈々押し詰つてから撫順の正月プロが廻つて來る

◇◇群盲有罪◇◇ 四社聯盟連載の内田新八原作小説の映畫化で山下元脚色、熊谷久虎監督永塚一榮撮影、市川春代、中田弘二主演で青春悲劇を描いた日活現代劇作品【次週日活館上映】

國線の混保制
自今直接取扱に改正
實施は明年一月からか

鐵路總局には從來混保制度の設定がなく便宜上滿鐵の代理受寄により各主要驛にこれを實施してゐたが、この結果取扱ひ上はもとより奥地農民にも多大の不便不利を感ぜしめてゐた、就て鐵路總局でもいよ〳〵これが根本的改正を期し即ち從來の受寄混保制度を廢して鐵路總局自體で混保の取扱ひをなし、滿鐵々道部との間に共同混保制度を施行して現在の北滿鐵路對滿鐵の關係の如く各鐵路對滿鐵々道部との間に混保の直通取扱をなすことに決定鐵路總局としての準備打合せを了したので鐵道部と協議することゝなり一日午後二時から鐵道部營業課長室で總局竹森貨物係主任と、鐵道部各關係者との間に會議が開かれ二時間餘に亘つて熟議の結果鐵道部も異議なく總局案に贊成、此處に無事確定を見た、而して實施期は大體明年一月一日からとの見込であるが、本制度の實施によつて從來の寄託制度における變態的な制度は改正され幾多の取扱上の不便と不利が一掃される筈で、混保制度實施驛は左記各鐵路の主要驛である

海、吉海、四洮、洮昂、齊北、京圖、濱北（但し濱北線のみは多少延期）

なほ混保の規格その他の諸制度は全部滿鐵々道部の規定に據ることゝし技術的統一を圖ることになつてゐる

朝鮮産苹果
上海向輸出増加

【京城發】朝鮮産苹果の上海向輸出は上海事變のため殆ど中止の狀態であつたが、本年は朝鮮郵船の命令航路のみにても既に三萬箱を輸出し、今後毎便五千箱の輸出を豫定されてゐるから結局本年産苹果の上海向輸出は五萬箱を突破する模樣である、因に事變前の輸出最高記錄は年二萬五千箱である

……數百六十八枚の増加なるも金額は六百萬二千六百七十圓の減少を示してゐる

低資移讓問題
發意は大藏當局
高田氏は單なる傳達者
二日歸連の長永書記長語る

日本商工會議所總會に出席中であつた大連商工會議所書記長長永義正氏は高田會頭より一足先に二日入港うらる丸で歸任した船中語る大連商工會議所よりの提案は三項に亘り、一項の治外法權撤廢に關し當局の考慮を要望する件第二項の日滿統制經濟に關し政府當局に考慮方を要請の件、そして第三項として日滿商標權の相互保障に關する件の三項に亘つてゐたが、一項と二項は委員會附託となり可決され、十五日の總會でも滿場一致で可決された、第三項に關しては我々から大いに説明したが、內地の人達にはまだ滿洲の商標法に對し研究が積まれてゐないのでこれを常議員會に廻し研究する事にした、しかし我々の提案の精神は沒却しないことに話合が出來てゐる

×　×

例の低資の問題で大分喧ましい樣だが、大體は大藏省の意向でさきに來滿した大藏省の原運用課長の視察報告に基き輸組に低資を廻すより金融組合に廻した方が實際的だといふ意向から話が出たもので、高田會頭は單に取次いだに過ぎない、自分は二十四日に離京してゐるからその後の事は知らないが、六日に高田會頭が歸られるからその後の推移を聞いて欲しい

×　×

滿鐵の改組問題に對しては商工會議所總會でも色々問題になつたが、決議として改組そのものには反對しない、たゞ事すこぶる重大であるからやる以上一般有識者、專門家がよく相談した上にやつて貰ひたいと云ふ事に話が決まつた

×　×

滿鐵の消費組合撤廢問題は大體ハルビン商工會議所から出たもので、大體は商工移民奬勵案の一つうちにあげられた具體案の一つだつたものを獨立して案とした、ものて、聲明書ではかなり強い事を云つてゐるが頭から反對した譯でなく、滿鐵としても社員のみの福利増進を考へず、一般市民の福利をも考へて欲しいと云ふのである

×　×

今度の土産は何といつても會議所令が明春四月から實施になることに殆んど決定してゐる、水谷文書課長、山中商工課長等はこの問題につきよく各方面と折衝してくれた、問題になつてゐるのは商埠地を強制にするか任意にするかでこれは今研究中だ

十一月中の手形交換高

大連手形交換所における十一月中の手形交換高は

	枚數	金額（圓）
金勘定	二六、六五五	一三六、四四七、〇九五
銀勘定	一〇、五四四	三〇一、〇三一、九三

でこれを前月に比較すると金勘定では枚數二千三百六十四枚の増加であるが、金額は四百八萬九千七十八圓の減少を示し銀勘定は枚數二千七十八枚、金額二十九萬六千五十二圓の共に増加を示し更にこれを前年同期に比較すると金勘定では枚數一千六十八枚の増加なるも金額は三百四十九萬五千四百八十八圓の減少となり、銀勘定は枚……

十一月末營業收入
總額七千萬圓
前年比千三百萬圓增
有卦に入つた滿鐵々道部

滿鐵々道部十一月三十日現在の營業收入は左の如くで既に七千餘萬圓に達し、前年比一千三百餘萬圓の増收となつたが、現在の狀勢から見て明年三月末の本年度の鐵道總收入は少なくとも一千百五十萬圓に達すべく、前年に比し一千萬圓の増收は容易であるとの見込が立つた收入成績左の如し（單位圓△印減）

	十一月末	前年同期比
客車	二、六三五、四五五	二、九八八、五三六
社內石炭	二〇、八〇一、九七三	四、七九八、八四五
社內一般貨物	三、四八二、二四七	一、三八〇、九四七
社外貨物	三〇、三六〇、〇四三	二、〇三四、一八〇
倉庫	一五五、二四七	△　一〇、〇一七
諸口	三、八八〇、九五六	一、九九〇、六〇五
計	七〇、四九五、五九一	一三、〇四六、二九三

滿洲輸入組合
十月中業績

滿洲輸組聯合會調査＝十月末現在に於ける大連外十六組合の概況を見るに組合員總數千二百九十四名出資口數五萬六千十一口、出資金額二百四十七萬四百七十八圓、前月末に比し組合員數は一名減じながら口數は十九口、金額は一千百九十八圓をそれ〴〵増加してゐる、而して同月末現在の貸付高は三百三十七萬六千五百四圓にして前月より一萬九千四百七圓の増となつてゐる內譯左の如し（單位圓）

	信用	擔保
十月中貸付	一、二五九、二六八	一二三、二二四
同回收	一、二五三、一三〇	一二六、三四四
十月末現在	三、二四四、一四四	一三二、三六〇
前月末比較増	六、一三八	一三、二六九

而して同月中の貸付回收狀況を各組合別に示せば次の通り（單位圓）

	貸付	回收
大連	三六九、九七二	三八〇、七〇五
旅順	五七、四六六	五八、四九〇
大石橋	四一、〇八二	四〇、六八〇
營口	四四、三八〇	四一、五四〇
鞍山	一〇二、四〇〇	一〇四、八二〇
遼陽	八一、四六〇	八〇、二四〇
奉天	一五〇、二九〇	一六〇、七三〇
撫順	八〇、四三七	九七、九〇〇
本溪湖	八一、〇〇〇	八〇、〇〇〇
安東	一五九、八三八	一三五、六六六
鐵嶺	七二、二五八	六七、三三〇
開原	五二、四六〇	三八、五〇〇
四平街	五〇、四五〇	四八、三二〇
公主嶺	一〇、〇五〇	一四、二二〇
新京	一二二、一四〇	一一八、四四一
吉林	七、四〇〇	一、六一三
哈爾濱	一八〇、三二八	一八〇、三三五

融資運用品種別狀況

滿洲移入組合の十月中に於ける貸付額は別項の如くであるが、右資金の運用狀況は左の如くである（單位圓）

品種	金額
米、雜穀	一二八、六一八
薪炭	九、九八九
食料雜貨	九五、四三八
海産物	二五、九三一
蔬菜果實	二六、九八九
砂糖	二三、五二九
菓子及原料	四三、九五三
和洋酒煙草	五〇、九八七
呉服	六、七七四
綿糸布	一〇〇、五五一
絹糸布	五二、五八六
毛織物	二四、〇二〇
麻袋	一二七、三七九
建築材料	九四、一一九

利息收入から
半額を對滿放資
手始にビルを新京へ建築
三井、三菱が共同して

【東京特電二日發】三菱合資は三井合名と共同で昨年滿洲國に二千萬圓を貸付け、本夏以來年五分の利拂を受けてゐるが、今後同社は同貸付より受ける利息收入の中より年額五十萬圓を滿洲國內に投資することに決定した、その第一着手として今回新京に約百萬圓の資金でビルディングを建設し一般の需要に應ずる筈である

近海遠洋共
船腹不足で活況
十一月中の海運界

大連港を中心とする十一月中の海運市況を概觀すると、先づ

近海方面 にあつては若松横濱間石炭運賃は去る十月初め一時一圓三十錢迄低落したが、その後漸次反撥して十一月初めには二圓、中旬二圓二十錢となり、更に強調を唱へつゝ越月した、これは主として船質改善施設による老齡船解撤のため近海就航船腹が百三十萬噸を割らんとする一方、石炭雜穀等近海航路の荷動きが季節的に活況を呈し來つたがためである從つて大連特産物運賃は月初阪神行豆粕九錢、袋物十錢、伊勢灣、横濱、九州方面行粕十錢、袋物十一錢、臺灣行粕九錢、袋物十錢見當であつたが、月末に至つて阪神行は粕十錢、袋物十二錢、伊勢灣横濱行粕十一錢、袋物十三錢、九州行粕十二錢、袋物十四錢となり臺灣行は農會の粕入札物大量成約を見、中旬粕十錢、袋物十一錢となり、月末には各社共臺灣行船腹なきため實際運賃取極めを見たものはないが底氣配粕十三錢、袋物十五錢見當を唱へてゐる、かくて十二月に這入れば各方面共一、二錢方急騰の氣配である、次に

遠洋方面 では歐洲方面行大豆は出荷期に入つて活況を呈し月初以來二十四、五シルの強保合を維持し、十一月中の輸出は十四五萬噸と推察されたる結果、十二月積として既に成約を見たるものは十八萬噸に達した模樣で、月末に至り期近物は船腹拂底の爲め運……

大連木材組合が
國都建設局へ建議
明年の木材供給に就て

新京の國都建設計畫進捗につれ木材の需要は著るしく増加し、本年の需要量は六千車に達したが、生産これに伴はざるため、價格も數倍の昂騰を見るに至り、明年度に於ては本年の倍額一萬二千車の需要が豫想され、價格も一層昂騰を見る情勢に立至つたので、國都建設局では建設計畫遂行上重大なる支障を招來するを慮り、國有林伐採量增加其他百方これが對策につき研究を進めつゝあるが、過般大連木材商組合に對しても大連に於て十分の準備を爲し可及的多量の木材を回送し國都建設助勢方を依賴して來たよつて大連木材商組合では種々對策協議の結果本年の六千車の需要に對し大連よりの送達材が僅か二百五十車內外に過ぎなかつたのは滿洲國の輸入稅率が比較的高率にして新京着原價は北滿吉林、安東材に比し著るしく割高となりたる結果、到底前記各地の木材に太刀打し得ざるためで、また註文が一時に殺到する場合輸送能力その他の關係上到底その期待に副ひ得ないためであることに意見の一致を見るに至り

一、滿洲國政府の木材輸入稅を國都建設完了迄（約二ケ年位）一時免除又は輕減せられたきこと

二、建設局關係の工事用木材は各工事當事者に協議され一日も早く明細寸法を明かにし註文を發せられたきこと

を建設局と財政部と交渉相成り度きこと

を國都建設局當局宛建議することゝし濱組合長は三日新京に赴きこの旨強調當局の深甚なる考慮を煩はすことになつた

品目		
金物機械	一〇七、五一〇	
硝子	一一七、七六二	
時計貴金屬	一一、四〇八	
皮革	七、五六五	
靴履物	七九、一七三	
圖書文房具紙	七八、二二七	
小間物化粧品	二九、一九六	
藥種	五四、九七四	
世帶道具	三四、八六三	
和洋雜貨	九五、三三七	
玩具、運動具		
樂器、寫眞材料	四三、五〇七	
其他	一〇二、四五七	

尙前記商品を仕入地別に見れば地場仕入が四割三分と第一位を占め內地、仕入がこれに次いでゐる、內譯左の如し（單位圓）

仕入地別	金額	百分率
地場	六三七、九五九	四二三
內地	四九四、〇三六	三二八
大連	一八四、五三四	一二二
其他	一九二、三三一	一二七

米の銀本位併用制
上院ボラー氏も支持

【ワシントン一日發國通】ピットマン商品ドルを基調とするルーズヴェルト大統領の新通貨政策に關しては世上贊否の論が囂々たる有樣であるが、有力な共和黨上院領袖たるボラー氏も之が論爭の渦中に割込み、銀を本位貨に併用することに依つて一層廣汎な金屬本位制を確立すべきであるとの主張を支持し、通貨本位を基礎として銀の重要なことは印度帝國銀行家さへも等しく力說してゐるところであるが、世界の通貨制度中に銀を適度に使用すべしとする問題は別とするも、數億の人々に三千年來使用し來り、今後も使用せんと希望してゐる貨幣を回復してやらないやうな通貨制度は將來に於いて到底健全且つ效果的なものと見做すことは出來ぬと述べてゐる

廣東金融界
月末來俄然混亂
銀行の危機と錢莊破綻

【廣東一日發國通】廣東金融界は二十八日午後八時から俄然混亂狀態に陷り當局は極力惡化の防止に腐心してゐるがその甲斐がない、即ち大中小の銀行及び嶺海公司營業停止後の諸銀行も危機を傳へられ、市內十數軒の錢莊は悉く破産又は店を閉ぢた、市立銀行は市民の兌換請求に依る窮餘の策として惡質銀貨を以て兌換したがこのこと忽ち暴露し、同銀行の紙幣流通不能となり、小銀行の一元五元紙幣は甚だしい打歩で受授せられ又十元紙幣は五割近くまで下落した

印度政廳が
回答遲延を釋明
暫らくの猶豫を要求

【デリー一日發國通】印度政廳は本日特に文書を日本代表部に寄せ回答遲延につき釋明した、印度政廳は右文書において問題の重要性に鑑み政廳として愼重な考慮を拂ふ必要あり、各般の事情に亘り日本代表部の對案を考究してゐるから今暫く回答を猶豫願ひ度い旨を述べてゐる正式會商は今後數日間開かれるものと觀られる

滿洲商議令實施
明年四月と決定

關東州及滿鐵附屬地に於ける商工會議所令施行問題は多年の懸案であるが、常に商埠地問題に就て外務省に難色あり容易に實現の域に達しなかつたが、滿洲に於ける情勢の急變はその施行の必要を愈々痛切に感ぜしむるに至つたので、拓務省では關東廳と打合せの結果愈々明年四月より實施さることに決定商埠地問題に就て外務省とも或種の諒解を得るに至り、兩者の意見は漸く一致するに至つたので目下法制局に廻付、條例原案の審査を進めつゝあるが、明春早々勅令を以て「關東州及滿鐵附屬地商工會議所令」として發令を見ることになつた模樣である、而して問題の商埠地にも該法令を施行することに就ては商埠地を任意加入とするか、領事館令を以て強制加入とするかは嚴秘に附せられてゐるが、大體後者により領事館に於て附屬地同樣の法令を出し強制的に加入せしめこれが統括は關東長官並に全權大使を兼ねる三位一體の軍司令官がこれを行ひ、以て監督機關の一元化を圖ることになる模樣である、尙は該法令は四月一日より實施される筈であるが、既存商工會議所の定款變更其他の手續上の問題より六ケ月間の猶豫期間が殘され、この間に一切の手續を完了することになつてゐる

日滿製氷會社
計畫に着手

【奉天電話】奉天の傳染病發生率が極めて多い原因の一つは滿洲國人が天然氷を使用するためで、今回傳染病豫防の見地より滿洲國人を中心とする資本金十萬圓四分の一拂込の日滿合辦製氷會社を設立することに決定、目下準備を進めてゐる

商品取信決算
配當年一割內定

大連商品取引信託會社では一日重役會を開き本年度下半期決算の査定を了したが、當期は相當好績を示したので株主配當は二分增の年一割に內定し來る二十二日午後三時から株主總會を開き決算の承認を求むる筈なるが利益金處分案を示せば左の如し（單位圓）

▲當期純益金九、七六一▲前期繰越金八九三▲合計一〇、六五五▲（行處分）法定積立金一、〇〇〇▲納稅引當金一、〇〇〇▲創立費償却金一、〇〇〇▲株券勘定銷却三〇〇▲株主配當金六、二五〇（年一割）▲後期繰越金一、一〇五

志村常務歸連期

十月末より約一ケ月餘に亘り上海を振出しに東京、大阪、其他重要都市に於ける工場視察中であつた南滿瓦斯常務志村氏は四日着はるぴん丸で歸連する

◇…國都の結……新京の……全精……して……勇ま……ぶりを示してゐるらしい……面勞銀をはじめ不足を……の諸材料の調整に生みの大陣痛も屢々繰返してゐる。

◇…何れは大滿洲國の國都として大都市を實現しようといふものだ、並大抵の努力でないことは分つて居るが、一部の視察者中には出來たての市場を一見して、豫期に反した寂々しい都市が出來さうだとの聲を投げて歸る連中もいふ。

◇…勿論震災後の復興東京にする樣なことは無理だらうしガッチリ味を加へて貰ひたいといふのが註文の感想らしい結城君あたりの意圖か……

◇…奉天在住の外商が續々上海に引き揚げて行くと人の活動に押された結果だといふが、全然外商の進出に就て了ふことは將來の滿洲ではないか、當局の一考を要する案件ではないか。

市況（二日）

特産

大豆弱保合

仕手見送りに

今朝の定期は大豆は休日後一般仕手見送りに閑散弱保合を辿り、豆粕は人氣なく軟調、高粱は手控へ散保合を呈した

◇定期前場（銀建）
- ▲大豆（弱保合）
- ▲豆粕（弱保合）
- ▲豆油（軟調）
- ▲高粱（保合）

◇現物前場（銀建）
- 混保大豆（袋込）三七九〇　三七九〇
- 普通大豆（袋込）三七五〇
- 出來高　九十車
- 豆粕　二一七〇
- 出來高　一萬八千枚
- 豆油　一〇六〇
- 出來高　五千四百箱
- 高粱　二一〇〇
- 出來高　三車
- 包米　二一〇〇
- 出來高　二車
- 豆粕生産高　二日　四三、〇〇〇枚　三日　六二、〇〇〇枚

錢鈔

海外銀塊高で鈔票強調

◇定期喰合高（一日）

大豆	一二六〇車	二五三車
豆粕	八〇三、〇〇〇枚	一九〇、〇〇〇枚
豆油	九五〇箱	二四八〇箱

株式

當市保合

東新株引高

北濱定期の前場寄は大株七十錢高、大新四十錢安、鐘紡同事、鐘新二十錢高と保合筋で引は大株一圓十錢安大新一圓安、鐘新九十錢安と低落し、東京短期の東新は四圓臺の戻りに寄り引は六圓四十錢と高值止めとなり當市は五品、新豆共十錢安、滿鐵新二十錢安に引けた

◇定期前場
◇延取引
◇實物取引
◇爲替及受渡日歩

滿鐵株（保合）

東短前場　滿鐵新株　五十九圓
大阪短期　滿鐵舊株　五十九圓二十錢

商品

綿糸ボンヤリ　麻袋下放れ

▲麻袋　産地銀八分三安、昨八分三安、爲替同事と氣分安く入れ當市は産地安と現物賣行き捗々しからず、期近物には嫌氣投げ物現はれて四、五厘安と下放れた

▲綿糸　米棉現物十ポイント高、先限六ポイント高、米日十二仙安、大阪三品は各限一圓内外方安を入れ當市はバラ〳〵賣物で相當手合せをみた

上海爲替情報

【上海二日發】銀塊英米クロス共上不足のため標金高寄り後更に上げしもアメリカの産金買上値五ドル八仙方値上によりこの政策は依然繼續されるものと觀測して投機筋は日弗の先物に賣氣多く氣配强し、日外銀行弗先物買、先物賣、輸入商弗買多く、また日本政局懸念もあり、大連銀塊と共に銀氣配强しはりて大連銀……

爲替相場
奥地相場
各地特産發送高
大連埠頭到着高

東京株式　大阪株式　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　横濱生糸　印度麻袋　神戸日米

(昭和八年十一月二十五日第三種郵便物認可)

朝夕刊共十二頁

定價 一部金五錢 一ヶ月金一圓二十七錢 郵稅金十五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

本極りの九年度豫算 二十一億一千餘萬圓 公債總額七億八千萬圓

【東京二日發國通】九年度豫算は二日海軍の復活要求承認により公債發行額五百萬圓を增加したゝめ、結局九年度歲出歲入總額は二十一億一千百五十三萬七千四百八十三圓となり、公債總額は七億八千三十三萬五千八百二十六圓となつた、卽ち大藏省發表によれば九年度歲出歲入概算左の如し(單位千圓)

歲入

經常部	一、二四八、〇二九
臨時部	八六三、五〇七
普通歲入	五八、七四四
公債金	七八五、三三五
前年度剩餘金繰入	一九、四二七
計	二、一一一、五三七

歲出

經常部	一、二四七、一〇五
臨時部	八六四、四三一
計	二、一一一、五三七

細目の事務的折衝

【東京二日發國通】陸、海、大藏三大臣の政治的解決により、さしも難關に逢着した明年度豫算も愈々本極りとなつたが、二日の閣議において左の如く細目方針を決定したので、大藏省は事務的折衝を進める事になつた

一、大藏省所管における滿洲事件豫備金一千萬圓を減額す
一、海軍省經費につき九年度限り臨時部において一千五百萬圓を增額す
一、各省議で認められた總額の範圍內において事項の性質上差支へなきものについては費目の組替へを認める
一、國債費の計數整理は別にこれを行ふ

各省別歲出豫算

【東京二日發國通】明年度各省確定歲出豫算左の如し(單位千圓)

內務省

經常部	四九、六〇〇
臨時部	一一九、九〇〇
計	一六九、五〇〇

拓務省

經常部	一、九七一
臨時部	二五、〇七三
計	二七、〇四四

△內新規事業費

一、移植民及び拓殖事業保護獎勵費	五、九〇五
一、滿洲移植民費	五三〇
一、補助費	六五〇

司法省

經常部	三三三、四四九
臨時部	二二、二六四
計	三五五、七一四

陸軍省

經常部	一六八、〇〇〇
臨時部	二八〇、〇〇〇
計	四四九、〇〇〇

△內新規要求額

一、滿洲事件費	一三三、〇〇〇
一、資材整備費	一〇二、〇〇〇

一、滿洲事件論功行賞取扱及交附公債資金	一、九五六
一、教育訓練費	二、五二〇
一、其他	
合計	二四四、八三七

遞信省

經常部	九、四二二
臨時部	四、八二二
計	一四、二四四

△內經常部恩給年金增加 九、三七七
臨時部航路補助費 三、五九七

商工省

經常部	五、三一九
臨時部	八、二一〇
計	一三、五二九

△內新規要求

一、液體燃料自給促進費	一、八六八

農林省

經常部	二九、五七七
臨時部	五八、一三一
計	八七、七〇八

△內新規要求

一、土木費	二一、六四〇
一、經濟更生施設費	二、三四一
一、蠶共保助成費	一、一三四

外務省

一、輸貯蓄獎勵費	五、〇〇〇
經常部	一六、九六〇
臨時部	一〇、七一〇
計	二七、六七〇

△內新規事業費中主なる種目

一、滿洲事件費	三、八五〇
一、爲替差損金	二、六三〇
一、在外公館新設費	一、五三八
一、外交工作費	一、〇〇〇

主なる經費

【東京二日發國通】明年度豫算中主なる經費は滿洲事件費、作戰資材整備費、第二次補充計畫費等軍事費を始め時局匡救費、爲替差損金、國債費等にして內譯左の如し(單位千圓)

一、滿洲事件費	
陸軍	一三三、〇〇〇
海軍	一〇、〇〇〇
大藏	一〇、〇〇〇
外務	三、〇〇〇
計	一五六、八〇〇
一、作戰資材整備費	一〇〇、〇〇〇
外に旣定經費	二〇、〇〇〇
一、第二補充計畫費	一二〇、三九九

危險線を突破して 關係各相苦衷を語る

國防の絕對性を認識されて甘受 覺書を提出した大角海相

【東京二日發國通】二日の豫算閣議において海軍省復活要求が一千五百萬圓を承認された結果、明年度海軍總豫算は四億八千七百萬圓となり、海軍省の最少限度要求額の五億に充たざること一千三百萬圓であるが、海軍省としては僅かに一千三百萬圓程度の要求により內閣の運命を危くし政局に危機を生ずるが如きことは素より好むところに非ず、要は逼迫せる國防計畫の絕對性を藏相はじめ閣僚が明確に認識されるか否かの精神問題である、よつて海軍の要求に對する僞りなき誠意が認められた上で、これ以上の要求は國家の與亡に重大影響を生ずるとなれば、海軍としても最早これ以上を要求することは共に國家百年の大計に非ず、たゞ瞑目してこれを甘受し諸般の施設を節約してこれに當るに決したものである、豫算閣議後大角海相は語る

紆餘曲折の豫算も遂に決定した、陸、農兩相の好意と英斷に感謝の意を表する、なほこの上は最少の經費と最大の能力とを以て上は大元帥陛下に對し奉り、下は萬民の興望に副ふやう國防の完璧を期する覺悟である、なほ私は閣議席上左の如き覺書を出して來た

今回要求の第二次補充計畫中、豫算上承認せられたるもの以外の艦艇製造は將來財政その他を考慮し、成る可く速にこれが實現を圖る事とす、今回成立した豫算の單價は相當切詰めたるものなので工事上不足を來せば補塡のため豫算の追加をなすものとす

陸海軍は車の兩輪 荒木陸相語る

【東京二日發國通】二、三千萬圓のことでごたごたするのは外への響きも面白くない、これからは一致結束內外に活潑な步行をする譯だ、滿洲事變豫備費から一千萬圓出したが、之は出しにくい金だが、思ひ切つて出した、陸海軍は車の兩輪だから、後の保障を如何するかといふことはそんな保障はしたくない、農林大臣もよく忍ばれたが、この方は內政會議で解決しやうと思ふ、勿論之が不平で辭職はすまい、今後の內政會議に對する僕の態度は再開後の成行きを見てから決定する

隱忍の外ない 熱湯を飮まされた形だが 心境を語る後藤農相

【東京二日發國通】後藤農相は擧げて誠意を抱き經過如何に拘らず進退を決せんとしてゐたが、その後伊澤多喜男氏その他より極力慰留された、然るに本日豫算閣議にて圓滿解決し、且つ同相の辭任は政局的陰謀とみられるを慮り自己の心境を抑へ在任を決意したもので その心境に對し各方面より同情されてゐる、後藤農相は語る

今度は熱湯を飮まされた形だが隱忍するより外ない、農村問題については內政會議を開いて社會政策確立に邁進する、又緊急なものがあれば豫算も要求する

血を吐く思ひ 高橋藏相語る

【東京二日發國通】八千九百萬圓の復活承認は大藏省の最後案で、これ以上一文も出せないといふ自分の考へには何等變化はない、海軍に廻した千五百萬圓が後年度に及ぼす影響と、かうしたやり方で豫算を纏めることは自分としては血を吐く思ひであつたが、內外の情勢を考へると已むを得なかつた、豫算が膨脹し公債が增發されるならば、不換紙幣の增發、物價暴落から國家の中堅たる中產階級が沒落してしまふ、この點政府も國民もよく考慮せねばならぬ

山本內相談

【東京二日發國通】山本內相は語る 圓滿に纏つた事は陸相の力に俟つことが大きい、農林の方は今後に問題が殘されたが內政國策會議を開き硏究がつゞけられるであらう、我輩としてはたかゞ一千萬圓や二千萬圓でこの內閣が潰れるとは思つてゐなかつた

各相の互讓により 漸く危局突破 豫算閣議の纏まる迄

【東京二日發國通】高橋藏相が第二次查定案死守の決意を示すため一日辭意を齋藤首相に表明したことは俄然政局に緊張味を加へ、首相は勿論山本、三土、荒木各相等は憂慮措く能はず、國家財政膨脹を防禦するといふ主義主張からの高橋藏相の悲壯な決意に對しては滿腔の同情と謝意を表すべきであるが、而も國家大局よりして僅かに二、三千萬圓といふ豫算のため內閣崩壞は殘念至極である、何とか妥協の道はないかと考慮の結果、荒木陸相に對し滿洲事件豫備費一千萬圓を海軍へ廻し、同時に高橋藏相の死守する第二次查定案を五百萬圓だけ赤字公債を以て讓步して貰うやう、卽ち互讓妥協の方策を樹て、これを以て首相より先づ荒木陸相に懇請したところ、これに同意したゝめ本日の閣議前齋藤首相より藏相に對し右五百萬圓の赤字公債を懇請し、國家非常時の際是非之を承認すると共に辭意を飜へし依然として國家に貢獻されたいと懇請したところ、高橋藏相も

荒木陸相が折角自省にとつて貴重なる豫算を政局收拾のため海軍の方へ廻すといふ程の赤誠を披瀝する以上、自分としては强ひて自我を主張するわけに行くまい、よつて五百萬圓の赤字公債は容認しよう

といふ事になり、藏相の承認を得たるを以て、更に大角海相に對し首相より右の事情を述べ一千五百萬圓の復活で此際是非とも忍んで貰ひたいと懇請したところ、大角海相も

これ程各位が國防のため熱心さを示され、血の出るやうな金を融通して吳れた以上、それだけの復活を認めて戴くことに依つてやつて行きます

と應じ、卽ち關係閣僚の互讓妥協によつて復活要求は圓滿に纏まり正式閣議を開き決定をしたものであるが、辛うじて危機を收拾するを得たるは高橋藏相の牢固たる辭意表明が關係大臣をよく牽制し、眞劍に本問題に善處するの熱意に出たもので、この意味で藏相の辭意は成功したものと見られてゐる

軍事費は四割四分

【東京二日發國通】海軍大藏兩省の對立により紛糾した明年度豫算は高橋藏相が愈々之を裏書きした如く總額二十一億千百萬圓で陸海軍省のみで九億三千七百萬圓で全豫算額の四割四分を占めるが如く、これに陸海軍が大部分を占める國債八千萬圓を滲透した新記錄豫算は原內閣の八八艦隊當時と共に軍事豫算たる事を示し、尙ほ二千萬圓の恩給公債を加ふれば十五億を超え、外に垂々さし其他各省分は六億さ少額に過ぎぬ、卽ち(單位百萬圓)

陸軍	四四九
海軍	四八九
公債費	三九〇

外に海軍最終增加額千五百萬圓若干額加算される

時局匡救費	一二〇、〇〇〇
旣定經費	四五、〇〇〇
國債費	二五、〇〇〇
爲替差損金	七七、〇〇〇

なほこの外各省の軍事費に準ずべきものを加へると如何に軍事費が豫算の壓倒的部分を占めてゐるかは明白である、なほ軍事費の中直接軍需工業を潤す國防充實と滿洲事件費左の如し(單位千圓)

恩給費	一七〇
計	一、四九六

陸軍資材整備費	一二〇、〇〇〇
海軍艦艇建造費	一二〇、〇〇〇
主力艦改裝費	四三、七〇〇
航空隊增設費	八、〇〇〇
其他	一五、〇〇〇

なほ滿洲事件費は次の通り(陸、海、外務を含む)一五六、七七五、總計四六三、五〇〇

海軍豫算總額 約四億九千萬圓

【東京二日發國通】海軍では明年度の豫算總額の目標を五億圓に置いたのであるが、大藏省では基本豫算二億五千萬圓、新規要求一億七千八百萬圓、復活承認豫算四千四百萬圓、計四億七千二百萬圓を承認し、二日の閣議において最後の復活要求一千五百萬圓を認めたことによつて總額は四億八千七百萬圓となり五億圓にはなほ一千三百萬圓の不足を來す事になるので、これを如何に補充するか海軍當局において苦心を要する點である、而して部內は今回の豫算成立に對して省部共非常に好感を以つて迎へられてゐる

豫算決定の經過奏上

【東京二日發國通】齋藤首相は二日午後一時參內、天皇陛下に豫算決定の經過を奏上し同四十分退下した

三黨總裁に豫算案說明 首相來週中往訪

【東京二日發國通】政府は豫算案も圓滿に成立し茲に愈々來議會に臨む事になつた、齋藤首相は來週中に鈴木、若槻、安達三黨總裁を訪問、豫算案を說明諒解を求め、更に週末には西園寺公をも訪問して來議會に臨むについての決意を述べ懇談し議會に臨む準備を整へる事になつた

內政會議 五日定例閣議後

【東京二日發國通】內政會議は五日の定例閣議散會後開き農村對策協議の筈

凱旋兵 三日午前九時半着驛

任として派遣された伊瀬中佐は隨員鈴氏などと來津中であるが、本日北平に赴く筈

軍令部首腦部會議

【東京二日發國通】一日から開始された軍令部恒例首腦部會議は、引續き二日午前十時より軍令部に於て伏見軍令部長宮殿下御臨席の下に、末次、高橋、米內、中村、永野、松山の各中將參集し、明年度艦隊作業並びに艦隊訓練に關し事務打合せ會議を開き午後六時芝水交社で晩餐會を開き會議を終了する筈である

放浪の湯玉麟 天津歸還を希望

【奉天電話】熱河を脫走した湯玉麟は目下張家口に滯在中であるが、天津に歸還を希望し宋哲元に對し盛んに諒解運動を試みてゐる

產金買上價格

【新京電話】滿洲國政府來週分の(自十二月三日至同九日)產金買上げ價格は一公分(グラム)につき國幣二圓九角五分

有吉公使南京側に福建問題警告 汪氏わが援助を希望

【南京特電二日發】有吉公使は一日汪精衞氏と會見して福建問題に關し嚴重警告するところあつたが、その際汪精衞氏は非公式に日本側の援助を切望し、原產地表記條例、ダンピング稅、關稅等で多少讓步する旨を述べた模樣である

新國民黨に彈壓峻烈

【奉天電話】福建問題が惹起して以來漢口の胡漢民一派の新國民黨に對する彈壓は頗る嚴重を極め旣に四五名の者が逮捕されたが、武漢における新國民黨員は總數一千名以上に達しこれ等は國民黨にますます反感を高めつゝあり

福建中央衝突 二週間後か

【福州一日發國通】浙江省境に向つて進軍中の十九路軍所屬第四十九師及び第七十八師は續々閩江へ遡つて旣に南平に到着し、陣地を構築中であり、中央軍との衝突は二週間の後に迫つたものと豫想されるに至つた共產軍はこれに參加して居るや否やは今のところ不明であり、なほ南京政府より派遣された軍艦は旣に福州北方の三都澳を占領した

福建派軍隊の買收に努力

【奉天電話】蔣介石氏は多額の運動資金をもつた聯絡員を福建に派し各軍隊の買收に力めてゐる

米國の酒輸入許可方針

【ワシントン一日發國通】米國の上下兩黨が渴望すること久しきに及んだ禁酒法の撤廢は一九二〇年一月以來十三年振りで來る五日より實施されることになつたので、之を見越して外國より輸入申込み殺到しつゝあり、政府當局では之が對策を審議中だつたが、今後四ヶ月間の輸入割當量を定め酒類の輸入を許可することになつた、旣に輸入許可を申請した外國酒の量は千二百萬ガロンに上つてゐるが、政府當局では十二月五日より二月一日迄の二ヶ月間に四百萬ガロンの輸入を許可し之を今後四ヶ月の輸入量とするに決した、各國への割當については前記の平均量を基礎とする外、外國の米國商品に對する待遇をも參酌して決定する筈である、なほ政府當局が輸入を許可するに決したのはその期間中における內地產の酒類だけでは一般の需要を滿さす四百萬ガロンの不足を來すものと算定したからである

日濠貿易の調整 濠洲政府使節渡日か

【キャムベラ(濠洲)一日發國通】最近における目覺しい日本品の進出に濠洲當業者は頻に悲鳴をあげ日本品の輸入阻止策を講ずるやう濠洲聯邦政府に躍起の歎願をつゞけてゐるが、右當業團の要請に鑑み有力閣僚を日本に派遣し通商貿易問題その他日濠兩國間の重要懸案につき日本政府並びに當業團と膝を交へて協議させては如何との提案が濠洲聯邦政府內に擡頭し聯邦內閣は目下右提案を審議中であるが特派使節候補としては外相にして產業相並びに檢事總長を兼攝する有力閣僚レーサム氏が擧げられてゐる、濠洲の當業團は日本品の進出を阻止するため禁止的高率關稅を設置する事を主張し、聯邦政府に迫つてゐるが、濠洲羊毛の最大顧客たる日本當業團が羊毛不買の報復手段に出るを惧れてをり濠洲聯邦としては旣に當業團の要請に應ずる事を得ず、帝國政府との間に何等かの友好的解決策を見出さうとの見地から特使派遣案を考慮するに至つたものと解される、通商問題の外日濠兩國間には日本人移民問題、太平洋防備問題等幾多の懸案あり、レーサム外相が派遣される事になればこれ等諸懸案も審議される事とならう

財政の前途樂觀を許さず 高橋藏相閣議で熱辯

【東京二日發國通】本日の閣議で圓滿に豫算が纏まるや高橋藏相は何時も坐つた儘發言するのであるが、本日は常と異なりすつくと立上り一言申したいと前提して本日の豫算會議でうまく纏まつたが、財政の前途は必ずしも樂觀を許さない事を記憶されたいと熱辯を揮ひ各閣僚をして傾聽せしめた

伊瀬中佐一行

【天津二日發國通】山海關接收問題に關し支那側では旣に陶尙銘氏などを山海關に派遣して交涉中であつたが、同地には滿洲國機關が多數設置されてをり、卽時撤去困難で、これが接收にはなほ相當の日時を要するものとみられてゐる日本側代表關東軍參謀遠藤氏の後

軍備豫備會商の眞意を英に說明 外相、松平大使に訓令

【東京二日發國通】廣田外相が來るべき一九三五年の軍縮會議を圓滿成立せしめるためアメリカに對し豫備交涉提唱用意ありとの報道はアメリカに相當の反響を與へたやうだ、アメリカとパリテイーの海軍現有勢力を有し且つその軍備の伸縮に多大の關心を持つてゐるイギリスでも好感情をもつて迎へてゐるものゝ、この豫備交涉の提唱に對する英國側今後の出やうを慮り必要に應じて松平大使より眞意を說明せしむるため一日廣田外相より松平駐英大使宛て左の如き訓令を發した

帝國政府の軍縮會議豫備交涉に對する態度は一九三五年の軍縮會議を圓滿成立に導くためには緊密なる關係を有する二乃至三ケ國間に本會議前豫め豫備交涉を行ふ事は最も望ましいとの原則的意向を有するものなるも、アメリカとのみ行ふや否や或は時期を如何にするか等は今後の成行を充分愼重に觀望せんとするものなる故、右の點誤解なきやうせられたし

日本水產會社奉天に進出

【奉天電話】鐵西工業都市に日滿ペイントなトップに紡織ゴム製造工場が成立されたが、資本金四百萬圓の日本水產會社は二千坪の土地借入方を設計希望する旨一同土地會社に來電申込があり、同社は全日本に三十數ケ所の支店を有し今回の借入土地には冷藏庫を建て最も新鮮なる海產物の供給に奉天を中心に全滿的に活動を開始する方針で冷藏庫を設けられた曉は奉天市民は勿論のこと各都市では今よりずつと廉い魚類が食べられると期待されてゐる、なほ鐵西工業用地の使用貸下げを希望する者の照會は最近非常に多くなつた

東亞產業協會發會式

【新京電話】新京中央通りに新築中であつた三階建の東亞產業協會はこの程漸くその完成を見たので二日移轉し八日新事務所で役員會を開催、九日午後五時半よりヤマトホテルに菱刈軍司令官、鄭國務總理、林滿鐵總裁初め日滿官民二百名餘を招待し盛大なる發會式を擧行し新陣容を以て東亞全面に向ひ積極的に經濟工作の步を進めることになつた

本紙夕刊共十六頁

社説

豫算案纏まり 内閣危機去る

豫算問題は今日では政局問題になつたと荒木陸相が語つた程で、内閣危急の瀬戸際に迫つたが、荒木陸相の調停で滿洲事變豫備費の中から一千萬圓を振り向け、五百萬圓を赤字公債に依る案を樹て、此處に目出度く非常時豫算案の編成が出來上ることになつた。元來豫算問題で、自説が通られば重大決意ありと最初にほのめかしたのが荒木陸相だつたが、次いで大角海相の同樣な態度を示すあり。最近には後藤農相の辭意が傳へられた而して愈々最後に詰つて來て、高橋藏相が辭意を決したと傳へられ、此處に愈々政局の危機を思はしむるに至つたのである。

◇

最初の大藏省査定案では、總豫算二十億一千七百萬圓で、其内基準豫算が十四億、新規要求承認額が六億二千萬圓だつた。其の内にて陸海軍費二億六千萬圓だつた。之が去月十七日の閣議に提出された。然るに各省競ひて復活を要求したが、陸軍の復活要求額が一億八百萬圓、海軍の要求が一億二千五百萬圓。之れだけで三億以上だから全體の復活要求が四億以上になつた。大藏省は、それに對して三千萬圓程度の復活を許す意を示したが、各省殊に陸海軍では、そればかりの復活に滿足する筈なく、揉つた揉んだの末、結局大藏省にて八千九百萬圓の復活を承認することになつた。

◇

此の再査定案が二十九日作成を終り、三十日の臨時閣議に提出された。之によると、海軍省の分が四千四百萬圓、陸軍省の分が二千一百萬圓、外務省百五十萬圓、内務省三百萬圓、大藏省一千一百萬圓(滿洲事變豫備費一千萬圓を含む)文部省一百三十萬圓、農林省三百七十萬圓商工省一百十萬圓、司法省四十萬圓になつてゐる。これに對して陸軍省其他の各省は大局的に見てこれを承諾することになつたが、最も強硬に不滿の意を表したのが海軍省で、次いで農林省である。海軍省は尙此上に二千五百萬圓の復活を要求したのである。然るに高橋藏相は、これ以上は一文も出す能はず、無理に出せば將來永久に財政を破壞して收拾の途なきに至ると言明するに至つた。藏相の此の信念は頗る固きものあり、國家の前途を考へるなら、無理な要求は出來ない筈だと、海軍省の態度に不滿を漏してゐた程であつた。

◇

殊に藏相の信念が固いのは、必ずしも財政上の問題ばかりでなく、財政の無理押しによつて思想的の重大問題、並に政治的變態の重大問題を惹起せんことを恐れてゐるのであるから、その態度は頗る強硬なものがあつた。又海軍は一九三六年の軍大期に備ふる爲に要求額の費用は是非必要だと患ずるのだから是亦讓歩は容易でない。かくて二日の閣議は不用意に開けば内閣瓦解の恐れある狀態に立ち到り、三十鐵相仲裁に出で、齋藤首相自身も双方の間に立ちてその緩和に當り、内閣苦惱の深刻なるものあるを思はしめた。

◇

併しながら、實を云へば最も強硬な海軍側にしても、農林省にしても、陸軍にても、その他の各省にても、又個人としての各省大臣も、それはかりでなく閣外の各方面にても、此の內閣の倒壞を好まぬ意識があるは明白で何とかして豫算案を纏め上げたいとの氣持がある。その爲めに各大臣も隨分辛抱して、今日まで歩み寄つて來たわけであるから、最後の土壇場に於て、何とか纏まりがつくのでないかと思はれたのであつた。果せるかな結局陸相の乘り出しによつて、圓滿に局面の展開を見るに至つたのである。これによりて我海軍も國防的施設に大缺陷なきに至り、爲めに外交の立場も有利なる可く、大角海相の面目が立つ。一面には藏相の主張が大體に於て立つたのであるから我財政の信用も中外に維持するに不足はない。而して內閣の危急は此處に救はれることになり一般經濟界に與ふる好影響と對外國威の維持とを期待すべく、非常時の今日誠に慶すべきである。

獨逸と滿洲國間の貿易促進を圖る
新駐日大使の着任後

【東京特電二日發】着任の途上にある新駐日ドイツ大使フオン・デルクセン氏は本國政府より特に滿洲國の政治經濟事情調査獨滿兩國貿易促進に關する商議等の委任を受けてゐることが在滿ドイツ系商社に入報されたため頗る興味をもつて期待されてゐる、卽ち在滿ドイツ商社等はかれてその救濟策を本國外務當局に要請してゐたところ、新駐日大使が特別任務を帶べる回答があつたものでドイツ製機械と滿洲產原料品大豆との通商商議も同大使着任匆々開始されるものと期待される、同大使は十六日頃東京着の豫定である

治廢問題等の對策を研究
奉天有志の座談會

【奉天電話】二日午後二時よりヤマトホテルにおいて居留民會、聯合町内會各關係者、野口民會長、皆川町內會長、粟野地方事務所長初め三十餘名參集の上左記諸問題につき座談會を開いた、先づ野口居留民會長の挨拶、皆川町內會長の議事進行について說明があり、左記問題につき討論した

治外法權撤廢問題

イ、裁判に關してどうするか
滿洲國裁判組織は事變前と何等變りはなく形式は整つてゐるが裁判官の學識人格等の素質に遺憾な點が多いから日本人、外人に對しては日系裁判官をもつて當らしめるやうにせられたい
ロ、行政(衞生、教育、土木)に關してどうするか
主として附屬地以外の奧地をも含めたものとして在留日本人の教育等を如何にするか又如何なる方法によるか、法權撤廢問題に逆戾りし朝鮮或はハワイにおいて如何にされたか等例を追つて議論區々に別れ次回の座談會に持ち越された
ハ、警察及び課税についてどうするか
現に各地に日本人警察官吏を配置してあるが、これは撤廢後の警察について日本の警察の處罰令に準じたものによつて行ふやうにされたい、居留民が日常の自由の權に關する大問題であるから滿人警官にも處罰權を與へられた場合は間違が起り易いだらうと考へられる、この點についても日本人は日系官吏によつて處分されるやうにしたい、そのため日系官吏の優れた者を多數送り込むやうにしたい、關税の點も行政機構への日系官吏の參加によつて嚴正に行はれたいかくて四時一旦休憩し續いて次の懇談に入つた

一、行政權全部を滿鐵會社に委任せしむるの可否
二、行政警察裁判を關東廳に委任するの可否
三、領事館に委任せしむるの可否

等につき意見の交換あり、結局治外法權撤廢に伴ひ鐵道附屬地の行政權は移管せらるゝものと認めるが適當なるや等につき討議が進められたが、日系官吏が關與する場合と滿人の場合、純然たる日本人官吏の手で行ふ場合の三樣に關して懇談を重ねたが、法權撤廢と行政委譲でこてつき何等決定する所なく座談に時を過ごした

滿洲國軍の戰鬪力大に向上
吉林省剿匪の成績

【新京電話】過般の吉林省匪賊大討伐に參加活躍した滿洲國軍は吉林省軍の主力と、黑龍江省軍と靖安軍の各一部を合し總勢實に五萬に及んだが、日滿兩軍の共同動作は遺憾なく發揮され、所期の目的を達成した、而も滿洲國軍の戰鬪力は從來よりも著るしく向上し軍規の嚴正も亦見違へる程で軍隊の對民衆觀念も一變され今や漸く國家の軍隊たるの實を擧げつゝあり一方民衆が軍隊と共同動作に出た實例もあり、國家意識が漸く邊境の地にまで普及しつゝあるのを物語つてゐる、なほ日滿兩軍の指揮に任じた廣瀨中將は十二月一日張軍政部總長を訪問し今次討伐狀況につき詳細語る所あつた

市場改善協議

丸山市產業課長は各公設市場責任者を四日午後一時招集して歲末大賣出しにつき最善を盡すやう訓示すると共に市場改善に關する協議を行ふ筈

滿鐵社員會案を正副總裁に提示
今後の方針を聲明

滿鐵改組問題に關する社員會の獨自案は既報の如く十一月三十日の特別委員および沿線聯合會代表の擴大會議においてほゞ決定を見、取扱ひ方については伊藤幹事長に一任したが、同幹事長は二日午前正副總裁に提示、午後は阿部常任幹事と共に重役會議の終了後、五時四十分より總裁室にて正副總裁と會見、社員會案について詳細の說明をなした、これに對して正副總裁よりも種々意見を開陳し午後六時半會見を終つたが、この結果社員會側は社員會の意思が滿鐵案に十分反映することを確信し當日の會見を以て改組問題に對する社員會の運動を當分停止し靜觀狀態に入ることに決定、伊藤幹事長より左のごとき聲明書を發表した、なほ緊急幹事會は五日開會の筈だが、これで十月中旬改組問題が世上に發表されて以來滿鐵三萬社員をバックとして社內外に對し活潑な運動を行つてゐた社員會も一應鋒鋩を收めることゝなつた

聲明書

本日正副總裁から呼ばれて豫て提出しておいた滿洲經濟開發に關する社員會特別委員會の一結論に就いて話を聽きたいとのことであつたので、私共はこれを詳細說明すると共に忌憚なき意見を開陳した、正副總裁は社員會の國家的立場に基いて努力してゐる眞意をよく了解してならるるので私共の提出した意見をよく了解され善處して下さる旨承はつた、我々としても正副總裁始め重役諸公がこの問題を國家的見地より善處すべく努力せられつゝあることはよく承知してゐるが、殊に本日正副總裁より色々腹藏なき話を聽き、その趣旨をよく了解した、我々社員會としては此際滿鐵幹部に對し信頼と期待とをもつて然るべし

滿鐵年內資金借入見合す

【東京特電二日發】滿鐵では年內資金として用意のためシンヂケート團から一千萬圓を借り入れる筈であつたが、その後手元資金潤澤のため借り入れを見合せることゝなつた

バイヤン男 二日上海へ向ふ

滿洲における投資方針確立の要務を帶び佛國財團を背景として來滿中であつたベルギー銀行頭取バイヤン男爵は一日ヤマトホテルに午餐式を開き官民有志を招待交驩す

るところあつたが、二日出帆吉林丸で單身上海に向つた、麗しい秘書テッツ嬢をはじめ多數の知名士の見送りがあつたが、バイヤン男は語る
昨日の小宴に滿鐵正副總裁をはじめ皆樣が御出席下さつた事は何よりもうれしい事です、上海行は息子のゼームスが今度駐日佛國大使館附三等書記官として新任の途上にあるので上海で落ちあつて久方ぶりで親子の對面をなしたいと思ふのです

滿洲國獨立建國の記念館を建設

【新京電話】滿洲事變から滿洲建國となり而も新興滿洲國の長足な發展振りは、たしかに世界人を驚かしつゝあるが、曾て滿洲に君臨して暴逆の限りを盡してゐた學良政權の崩壞した歷史的事變と滿洲國の獨立建國を永遠に記念すべく日滿各方面において記念館建設の議が進められてゐる、同記念館內には全滿各地における學良軍閥、兵匪その他の戰利品始め名譽の戰死を遂げた忠烈なる日滿兩軍將兵の遺品、滿洲建國の歷史的遺品及び右に關しての寫眞、繪畫など總てのものを陳列保存し一般の縱覽に供することゝし、右陳列品は關東軍、滿洲國、滿鐵、關東廳などで蒐集する外一般よりの寄附を仰ぐことになるやも知れず、なほ記念館建設地は奉天か新京の何れかに選定されるであらうが具體案については多分關東軍を中心として委員會を組織し研究されることにならうと見られてゐる

警備道路巡察記 (4)
康平縣の棉花と水田可耕地面積

鐵嶺にて　湯山仁平

康平は奉天省康平縣の縣城所在地である、有名な康家屯と稱へた、往時は蒙古博王旗の治下であつたが、清の嘉慶七年(一八〇二年)仁宗皇帝の時博王に迫つて開放せしめ、極力山東及び關內よりの移民を入れ開墾を獎勵したる結果、漸次發達の一路を辿り光緒六年(明治十三年)縣治を布き、滿洲國の成立と同時に縣長及び縣參事官の任命あり、今日に至つた、現在の人口は滿人約四千人にして、都市としては未だ寂寞たる一個の部落である、物資の集散狀況も附近の部落と博王旗內一部分の需要を滿たすに過ぎぬ、殊に近年四洮線及び打通線の開通に依つてその背後地は一層狹隘を告げた感はあるが。

△――▽

茲に注意すべきは棉花の栽培である、警備道路の沿道に棉花畑の多き事は前述の通であるが、縣當局の語る處によれば、種々の方法を以て獎勵してゐるが、昨年頃より農民の之に着目するもの多く、作付反別も頓に增加し今年は縣下に於て六十萬斤の採取を見る見込なりといふ滿洲の棉花栽培適地は關東州內及び本線遼陽附近と安奉線の一部位に思つて居たが、この廣漠たる蒙古原野に、斯かる美事な棉花が栽培し得るとすれば、印棉問題なんかで騷ぐ必要はないのである、更に康平縣下には水田可耕地面積が約五千町歩もある現に北部遼陽窩棚附近や、哈拉心屯附近には鮮農の開墾せる水田が約八十天地もある。

△――▽

序ながら本縣哈拉心屯にも乃木將軍に關する一つのエピソードを有つて居る、それは劉仲元君の事である、劉君は將軍が法庫門の陣營に滯在中の從卒(炊事夫)であつたが、夙に將軍の人格に敬服して自然に感化を受け大の將軍崇拜者たると同時に日本贔屓になつて了つた、將軍が日本に凱旋した後においても盛んに日本及び日本人を德とした、それが災ひして軍閥政府の壓迫を受け鄕里哈拉心屯には安住する事が出來ず、遂に日本に逃れ岡山縣に亡命して居たが、時運到來して滿洲國の王道國家の成立するや某方面の探知する處となり、今は呼び戾されて故山に歸り老軀を提げて建國の事業にいそしんで居る、その子供三人の內二人迄が要職に就いた、父君の功績に酬いられたのである。

△――▽

由來康平縣下は匪賊の巢窟であつた、昨年來同方面にて暴威を振つた馬匪賊は大小幾組か數が知れぬ程である。就中劉香閣の如きは部下三千を率ゐて法庫、康平の間を往來して掠奪暴行の限りを盡し、住民は安き心もなかつた、今年に入りては平天、山字、殿字の小匪賊盛に橫行して、居民を苦しめて居たが四月に至り彼の有名な匪賊團出英合流匪賊は約三千の大部隊を以て康平縣城を包圍し激戰數時遂に衆寡敵せず縣公署及びその他の諸機關も匪賊の占領する處となり、縣長は行方不明となり、南參事官及指導官等は慘殺されたのである、幸ひにして法庫縣下に駐屯中のわが軍の敏速なる出動によつて討伐を行ひ三日の後には完全に掃討する事を得たのであるが、犧牲者に對して眞に同情に堪へざるものがある

然るに斯くの如く警備道路の完成を見たる今日にありては、萬一大部隊の匪賊に襲擊を受けたりとするも、鐵嶺より三時間を出でずして討伐隊の到着を見る事を得るを以て、絕對に安全地帶となり、治安は全く回復したのである地方民はこれより枕を高うして正業に勵む事が出來やう、これ卽ち警備道完成のお陰である、茲において王道政治には先づ道路の完備が急務である、この意味において吾人は、この立派な道路を短時日において完成せられた警備隊員に對し

正午を過ぐること卅分休憩時間一時間にて一同再び自動車の人となつた、市街を北に進む、飛行場を見に行くのである、北門を出づれば又蒙古平野となる、眼に觸るれば果しもなき草野は轉た鶴南先生秋懷の詩を吟誦せしめた

蒙古秋生大漠風
平沙萬里接長空
一行駝隊寒如點
影波荒煙落日中

走る事約五百米で康平飛行機着陸場に達する、その廣い事は外にある島國日本に育つた吾等は際涯もなきこの大平原を見るさへ職か心の淋しさを感ぜざるを得ない、着陸場の檢査が終るを引返し通江口へ向つて出發した(終)眞は乃木將軍が日露戰役の際第三軍司令官として法庫門に滯留の家に約九ケ月間起居さる

沿道居民と共に滿腔の敬意を捧げ謝辭を呈する所以である。

本日添應報及目錄

八相

五十行以内ならさ中
投書歡迎

乞食の正體

S 生

◇十一月二十七日附の本紙八相欄に大連市の乞食を一ケ所に收容して職を與へよ云々の御說、博愛衆に及ぼす御厚情は感服の外はない、しかし大連の乞食はごんなものであるか、職無きが故の乞食なりと解釋して居られるらしいが誤りも亦甚だしい。

◇彼等の壯年者は全部がモルヒネ中毒者の勞務に堪へ難いものゝみである、幼者、老者、此等は總て內職の乞食である、一家の主人は苦力として一日を勞働に出かける、婦と子供乃至老人は籠を提げて乞食に出かける、これが大連市を徘徊する乞食の身許である。

◇A・M・L氏は滿洲といふところがごんな土地かまだ御存じないのであらう、この乞食を收容して職を與へる事が市役所、警察、社會團體の責任であるなんその御說を唱へられる前に夜間の御婦人の一人歩きの御注意が必要であらうと存ずる。

◇更に「日、支、外人の何國人を問はず誰がこの事に對し應分の助力を惜まん」云々、滿洲の乞食を助力する事は益々彼等を蔓殖せしめるのみである事を申添へます。

◇また救濟せねばならないものに乞食よりも先に我等の同胞が澤山居ることを御忘れになつてはいけない。

食堂車の物價

伏見町　注意生

◇僕が滿鐵線に乘つて常に不滿に思ふのは食堂車の物價である、殊に甚だしきは最も廣く愛用せられるビールの如き市價二十二三錢のものを五十五錢、果物一個四、五錢のものを十錢にも賣つて居る、總てがそうである、之は僕ばかりの感ずる處ではなく一般がそう思つて居ることゝ思ふが一般が何とも云はぬ所を見れば餘程金持ちばかりと思ふ

◇警察官吏も時々食堂車で見受ける樣だが平氣で飮んで居る所を見ると實際不思議でならぬ、今一つは殆ど洋食ばかりで和食としては親子丼位のものである、今少し和食を多くしては如何、これサービスの第一歩だと思ふが當局者の責任ある回答を望む

同志俱樂部幹事文書進達

大連市會同志俱樂部幹事芦刈議員は同俱樂部が市場問題調停を御影池署長に無條件一任する旨の文書を二日午前十一時署長に進達したが、芦刈、桑野兩幹事は四日午後改めて署長より調停方針を聽取することになつた

(前略)その感を深くした、又滿鐵としても意見提出の際は社員會の意思が充分に反映されるべきを信じてゐる、從つて私共は重役の善處に期待して當分事態の推移を靜觀したいと考へる、このことは不日緊急幹事會を開催して報告するものである

李擇一氏挨拶

二日朝來連したる北平政務整理委員李擇一氏は小山貞知氏の案内で同日午後四時來社挨拶する處あつたが同氏は同日夜十時發列車で北行奉天へ赴いた

安藤要塞司令官招待會

大連記者協會では二日午後六時より中央公園內關亭に安藤要塞司令

中野副領事 三日奉天發赴任

【奉天二日發國通】重慶駐在中野副領事は各方面に離車の挨拶を終へ明日午後一時三十四分發列車で大連經由愈々赴任の途につく事になつた

(前略)官を始め旅大軍部關係者を招待懇親會を開いたが、席上幹事を代表して實性大連新聞社長の挨拶、これに對して安藤司令官の答辭あり九時過ぎ盛宴裡に散會した

關東廳辭令 (二日)

關東廳事務官　山口榮太郎
關東廳警視　石井金三郎
同　久下沼英
同　青木昇
關東廳技師　加藤了
警察共濟組合審査會委員を命ず
地方法院判官　田中欣市
豫審掛を命ず
同　川畑源一郎
豫審掛を免ず

人事

▲佐堂草雄氏(昭和製鋼所社長)二日午後七時卅分着急行で着連
▲伊澤道雄氏(鐵路總局次長)同
▲久松治氏(滿鐵新任新京販賣事務所長)二日午後四時二十分發列車にて赴任

大觀小觀

最後まで知らぬ顏、危機一髮の所で助け船、さすがは戰人の機を捉ふるに敏
▲此際農相は戮言の餘地がない、農村問題重大事には相違ないが、事態を見なければならるには機を見なければならぬ
▲内閣は當分無事、實は閣內閣外共に此內閣を潰したくはないのだ、齋藤子は惠まれた空氣の中にゐる
▲主義の上に立たずして、野心結合せの福建政府、始めから怪しいものと思はれたが、早くも內訌沙汰
▲社會民主々義に反對する軍部あり、共產黨に接近し過ぎて今更持て餘し氣味になる
▲福建と廣東、敵か味方か一向分らぬ、それに南京政府と共產政府とを加へて四角關係
▲どうなるのか、どうしようといふのか、御自身にも分るまいさ電報だけ見てゐる我々に分りやうはない
▲此人達の爲す事はいつでも此通り、型のない型にはまつて行く所は珍妙といふべし
▲孤立するも、北支に影響ならんと一君語る、北支の安定が漸次緒に就くを思ひ立つたか、急遽歸國の途に就く
▲別に良い事が待つてゐさうもないが、ゴタ〳〵に乘じて何かやつて見たい位の所か。

市況 (二日)

特產

邦商の買に豆粕强含

後場大豆は人氣引立ち區々保合を入れ豆粕は邦商の買に强含を呈し豆油は買氣薄に弱保合を辿り、高粱は不申願ふ閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)
▲大豆(區々保合)單位厘
▲豆粕(强含)單位厘
▲豆油(弱保合)單位錢
◇現物後場(銀建)
[illegible]

錢鈔

人氣强く鈔票强調

海外情報なきも海外高見越しから買氣强く、四五十錢高と强調を辿つた

◇定期後場(單位錢)
◇現物後場(單位錢)
[illegible]

株式

材料薄乍ら當市聢り

內地市場休會にて材料薄なるも當場東新引高の好感から五品は二十錢高、東新は一圓三十錢高、日產は四十錢高に引締つた

◇後場
◇定期(單位十錢)
◇延取引
[illegible]

商品

綿糸見送り 麻袋聢り

綿糸　大阪三品後場聢りを入れたが當市は氣乘薄く見送る
麻袋　投げ物一巡し目先底入れ模樣にて强含み商狀を呈した
[illegible]

市場電報

大阪期米
神戶期米
大阪綿糸
東京期米
[illegible]

御挨拶

今回私儀日滿實業協會の業務を兼掌することに相成明四日赴任東京に定住致候に就ては出發に際し一々拜趨御暇乞申上可答の處行李匆々其の意を不得乍不本意茲に以紙上御挨拶申上候　敬具

昭和八年十二月三日
篠崎嘉郎
辱知各位

謹告

(十一月中就職決定者)

英邦文タイプライター科卒　植松小枝
滿鐵本社總務部文書課附採用　加藤秀枝
英邦文タイプライター科卒　中村光子
國際運輸株式會社錦州支社附採用
三井物產大連支店附採用　上野きよ
英邦文タイプライター科卒
滿鐵本社總務部文書課附採用
英邦文タイプライター科卒　末吉典華
遞信省電氣局事務所採用
英邦文タイプライター科卒　井浦一枝
大連海務協會附採用
英邦文タイプライター科卒　上野秀子
日本棉花株式會社大連支社附採用
英邦文タイプライター科卒　小島春子
邦文速記科卒
哈爾濱市政公署附採用
輸出入貿易商中村商會附採用
邦文速記科卒　太田千惠子
滿鐵本社用度課附採用
邦文タイプライター科卒　藤澤とみ子
邦文タイプライター科卒　小崎琴子
貿易商大德洋行附採用
英邦文タイプライター科生　村野千枝子
滿洲石油株式會社附採用
邦文タイプライター科卒
公主嶺電燈株式會社附採用
英邦文タイプライター科卒　江頭政子
營口稅關秘書課附採用
英邦文タイプライター科卒　中溝初枝
インターナショナル・トレージング商會附採用

右同窓會員諸氏に謹告仕候間書面の往復は各部署宛被成下度此段謹告候也

昭和八年十二月三日
大連市西廣場
英學會
英和タイピスト學院
電四三〇八

家庭

北へ・南へ

冬の滿洲を驅ける旅人の心得二つ三つ

滿洲特異の氣温に低下して各地ともに嚴冬となりました、目覺ましい滿洲國發展途上の第二冬を迎へて建設へ！建設へ！の第一線に於て、或は北に或は南に慌たゞしい旅を續けねばならない人々にとりて滿洲の冬の旅は耐へ難い苦痛の種でせう、ストーヴスチームでむつとする室内や車内、觸れゝば忽ち凍るが如き外氣の間を往來する不快さ、不便を克服しなければならない滿洲の冬の旅について二三の心得を記しませう。

先づ身仕度を　刺し通す零下二十度以上の寒氣

各地 ともに零下を遥かに降る滿洲での旅には是非とも毛皮又は厚羅紗の外套、防寒帽、手袋の三つの用意を缺くことは出來ません、零下二十度以下三十度位の地方、例へば新京、洮南、吉林邊りへの旅行には必ずしも毛皮をつけた外套でなくてもよいのですが襟だけには耳の寒氣を防ぐために毛皮をつける必要があります、しかし零下三十度を超えるハルピンチチハル以北へ行くには何うしても

毛皮 をつけた外套を必要とします零下廿度を超ゆると外部の寒氣は如何に厚くとも織つたもの編んだものでは刺し通して來るので即ちこの寒氣はスキン即毛皮類又は皮製のもので防ぐ外ないのです、防寒帽は飛行帽の様に上から耳蔽ひの下りるものより椀の形になつたアストラカンの防寒帽がより効果的です、前者は零下五十度を超えた地方では防寒の役に立たなくなります、外套と防寒帽の用意は都會と離れた僻地に向ふ場合にはより一層寒氣が酷いものとして十二分の

用意 をしなければならない。防寒靴の用意は都會の旅には先づ必要ないものと考へてよくスパッフを使用すればこれで充分です、しかしハルピン邊りで使用してゐるガローンといふ羅紗を張つた一種のオバーシユーズは防寒用と同時に雪に辷らないでよいやうです。手袋は先づハルピン邊りまでの旅ならば普通皮製のもので裏は毛皮でなくとも純毛メリヤスのついたものなら充分です。

列車 内、船舶内はスチームによつて煖房がきいてゐることは今更いふまでもありませんが、旅客機内でも冬期はラヂエーターがあります、従つて毛布等の用意は先づ不必要でせう。只夜中三等寢臺による場合には寢具の用意がありませんから毛布、枕等の用意を各自でしなければなりません、こゝに特に注意しなければならないのは列車内等はラヂエーターに依つて

乾燥 し切つてゐるために就寢中に鼻と咽喉を害することが多いことです。ですから水分は幾分餘計にとる様にし寢がけには咽喉に濕布するとか、マスクをかけることも等もよいでせう。特に弱い人はガーゼ數枚を水に濕してマスクにかけるとよいやうです。

凍傷 に就いての注意として高い温度の室内から外部に出る折は人體に直に寒さを感じませんが、特にこの時は充分の防寒の用意をして出なければなりません。

又長く外の寒氣に觸れた後暖かい室内に入る時は一層注意を要して冷えきつた耳、顔面等を充分摩擦した後に入る様にすべきです。外部を歩いて一番先に寒さを感じるのは手先、耳、足ですが手先、耳は常に摩擦し足先を温かに保つには靴下の清潔なのを常に用ひ、二日以上はかぬ様にすることが肝要です。

嚴寒時の各地氣温

最後に嚴寒時の各地の氣温の大體を參考までに記しませう。

上海 大連における十一月中の氣温（平均三、六度）

青島 内地山形邊りの程度の氣温（平均零下一、八度）

北平、天津 大連と略同樣です（平均氣温零下四、一度）

臺北 秋の好季節ですが雨期に入ります（平均氣温一五、三）

北鮮地方 營口附近と似よりの氣温ですが家屋の設備が劣つてゐますから餘計に寒さを感じます（平均氣温零下九、四度）

熱河地方 先づ新京、吉林程度で零下二十五、六度の平均ですが夜中日中との差は激甚です

北滿地方 洮南、ハルビン、チチハル、滿洲里、克山、大黒河の方面は何れも零下三十度から五十度に及ぶ酷寒です

卓上日誌

▲接心會　四日から一週間大連妙心寺で開催

寒いからこそ洋裝お薦め

不完全な下着は　貴女のお姿を臺なしに

▼▼…「身輕でいゝけれど冷える」から冬だけは洋裝は眞平だ」と仰言る婦人方の多いのを見ると大連の婦人方も未だ未だと云ひたくなります。寧ろ寒いからこそ洋裝をおすゝめしたい位で、下着を完全になすつたら日本服よりずつとあたゝかで冬のお外出には一番理想的だと思ひます。寒い日に洋裝で外出して風邪を引いたり冷えこんだりなさらぬやう、一通り冬の婦人服の下着をおさゝのへ下さい不完全な下着は寒いばかりでなく大切なあなたのスタイルまでぶちこはしてしまひます。

▼▼…先づ一番下からコムビネーション（袖なしの肌着で膝までつゞいてゐるもの）を着るかシミーズ（腰までの肌着）を着けます。そして乳房の形をさゝのへるためにその上からブラシエール（乳壓へ）を着けコルセットをはめます。コルセットは靴下吊り程度のせまいのより幾分ひろ目のゝ方が温くもあり腰線をきれいに見せます。靴下を穿いてコルセットに吊りその上からメリヤスか毛のヅロースを穿きます。かうしますと胸から足まですつかり覆はれて風の入るすきがありません。ヅロースの上から更に緣かざりのついたニッカーを穿けば正式です。毛のスリップ（シミーズの長いもの）を着て更にその上から二組かクレープデシンの胸かざりのあるスリップを着ます。ひどく寒い時はスリップの上にスリップオーバー（袖のないスウエーター）を着ると大變あたゝかです

▼▼…これで下着がとゝのひましたからスーッなりドレスなりを召せばよいわけです。下着類の大體の値段はコムビネーション二圓三十錢、シミーズ八十五錢、ヅロース五十錢、ニッカー八十五錢、スリップ二圓三十錢、ブラシエール七十錢、コルセット一圓前後と見て十圓もあれば靴下まで揃ひませう。靴下といへば大連では冬でも絹をお穿きになる方が多いやうですが、寒い日の外出には矢張り毛をお用ひになつた方がよいと思ひます。

▼▼…そしてお買物位でしたら上からソックレット（靴下の先の方だけのもの）をお穿きになると大變樂で靴下もいたみませんし、雪の中でもお歩きにならうといふにはスパッテイ（スパッツの膝の上まである長いもの）をお穿きになればどんな寒さも完全にノックアウト出來るでせう（濱華洋行賣下支配人談）

家庭顧問

脚がしびれて困つてゐます

【問】今年二十歳の青年で昨年二月渡滿し某會社の工場に働いてゐます、内地に居た間は勿論昨年中は別段脚氣の氣味も無かつたのが本年七月頃から爪先がしびれ其の症狀が段々進んで下肢全體がしびれるやうになり果ては下腹部にまでその症狀が上つて來ました着物を着ても紙一重隔てゝ肌にふれるやうな感じですし、坂道を登る時など脚が重くて走らうとすると膝頭の邊が力が拔けてころびさうになります、運動も出來ず何時も不快な氣分で日を送つてゐますが何かよい療法はございますまいか（大連RK生）

一日も早く診てお貰ひなさい

【答】御文面により或は脚氣ではないかとも思はれますが判然しません、内臓全體に何の故障も無く脊髓に何の異狀もなく尿の檢査を行つても別に變りがないとすれば身體の過勞又はヴィタミンBの缺乏から來る脚氣かもわかりません、若し脚氣とすれば既に腹部にまでシビレが廻つてゐるのですから素人療法では事足りません。何れにしろ徹底的治療の必要ある病氣と思はれますから一日も早く醫師の診察を受けて正しい治療法を講ぜらるゝ事をおすゝめします（土井三郎）

痛い魚の目によい根治法は

【問】四五年前から俗にいふヨノメに惱まされ、三年前支那人のヨノメ取に二ケ所より二十五個も取出してもらつたのですが最近又もや痛んで困つてゐます。場所は右足の小指の外側で、靴を穿くとまるで仕置にでも會ふやうに苦痛を覺えます。病院にも通ひましたが一向なほりません。根治の方法を御教示願上げます（聖德街愛讀者）

摘出か燒灼の手術を受けなさい

【答】ヨノメといふのは方言で俗にいふ魚の目、醫學的に雞眼といふのです。治療法は摘出して縫ひ合すか又は燒灼して根治させるかです。素人療法は針でホジクルか剃刀で削ることです（辻慶太郎）

月經週期が不順です

【問】本年二十歳の處女で某會社のタイピストをしてゐます。滿十五年七ケ月で初潮を見、昨年よりやうやく順調に月經を見るやうになりましたがその周期が四十日目毎なのです、體は痩せてはゐますが至つて健康です。何か體に異狀でもあるのでせうか婚期を控へて惱んでをりますが（未婚の者）

内分泌機能が不充分な爲です

【答】恐らく内分泌腺の平衡を得ないために初發月經が約一ケ年もおくれ、順調なるべき月經周期が不順だつたり、順調となつた今でも普通二十八日乃至三十日毎にある筈の月經が四十日も間を置くのでせう。かやうな場合の多くは卵巢や子宮の發育が惡くて女性としての最大任務を有する卵巢の内分泌機能が不充分なためです。かういふ内生殖器の發育不全はお若い現在では大した苦惱はありませんが、年月を經るに從つて種々の不快な症狀を起すものです。治療法は大分發育が遅れてゐるのですから急速には出來ませんが、氣長く卵巢内分泌物（女性ホルモン）の補給並びに理學的治療等を必要とします（岩男共二郎）

ラヂオ

大連JQAK　十二月三日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード
▲午前十一時五十分（新京より）講演「滿洲國を中心とする日滿蘇の狀勢について」關東軍參謀陸軍歩兵中佐末藤知文
▲正午　時報ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分（東京より）掛合唄「キング・コング」東喜代駒、東千枝子、東千世子、東キミ子、東ツヤ子、東マツ子、東天州、外伴奏
▲午後七時（東京より）清元「吾妻櫻衆神土産」（土佐繪）淨瑠璃清元千代太夫、同清元梅代太夫、同清元和歌尾太夫、三味線清元喜久造、上調子清元梅七郎
▲午後七時三十分（東京より）歌澤（一）井筒姫（二）朝がへり　唄歌澤寅佐多花、三味線歌澤寅佐吉
▲午後七時四十五分（東京より）名作物語「坊つちゃん」夏目漱石原作、古川綠波
▲午後八時三十分　時報（東京より）ニュース氣象通報

日本棋院秋季大手合戰譜（第六局）

先　三段　島村利博
　　初段　瀨川良雄

—【5】—

黒	白
九一ヌの十二	九二ヌの六
九三リの四	九四リの三
九五ヌの五	九六ヌの十
九七チの九	九八チの八
九九ヌの十一	一〇〇チ十
一〇一チ十一	一〇二ワ十
一〇三ル十六	一〇四リ十六
一〇五ル十四	一〇六タ十七
一〇七タ十六	一〇八ル十七
一〇九ワ十六	一一〇カ十七
一一一ヨ十六	一一二ヨ十八
一一三タ十八	一一四イ十二
一一五イ十三	一一六ロ十四
一一七チ十五	一一八カ十六
一一九カ十五	一二〇ワ十五
七三つぐ	

所要時間累計（白 四時卅五分／黒 三時〇分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

白　百二で（ワ十一）にハネると黒（チ十二）とヒカれて下方、十四以下の方に影響する上に百二の斷點がのこります

黒　百五の手で百八にタチキッてもつまりません、問題は白十八の一子などを取る取らぬではなく、十九以下の黒の一團全たいに關しますから——

白　それゆゑ百四で直に百八には受けなかつたのです

白　百六は黒百七と先に交換して黒百九の手のきびしさを緩和しました

黒　白百十四、百十六をこゝで打たれて弱つたのです、早く黒から（ハ十四）を打ち、白百十六黒（ロ十五）白（イ十四）黒（イ十五）白（ハ十五）黒百十五白百十六にウチコミまでを交換しておくべきでした、十五以下の六子に助かる途はありませんがさうなつてゐれば隅に（ロ十七）とトビコム手段がのこつてゐる點、諸とは莫大の差です——

戰の跡

◇黒九十一は絶對である、これより後白に百十四、百十六を打たれるまで、黒から（ハ十四）のオサへ以下を打つ手順のなかつたことに注意してほしい

◇黒九十三で單に九十五にオサへると白（リ五）とキラれる、次いで黒（チ五）白九十三と交換したまゝでは白（ト五）のワリコミがあつて八十七以下の三子を黒は捨てなければならず、その事は直ちに白六十四以下の強みであり從つてまた黒十九以下の大石の弱みとならざるを得ない、譜は百二まで、白を追ひつゝ黒自身も逸出してゐることを思ふべきである

◇黒百三の筋を打つても次に百五と一旦引上げなければならぬのでは情なかつた、結局白百十四百十六と悠々實利の大を占められしかも下邊十四以下の白をも直接攻めることが不可能とあつては大勢は漸く黒を去つた模様である、殊に左上隅もまだ完全ではない——

本社特選　新棋戰（其二）

平手　先　六段△山北孫三郎
　　　　　六段▲石井秀吉

【圖は三二金迄の局面】山北氏持駒歩

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△二四歩　▲同　歩
△同　飛　▲三二金
△七八金　▲八六歩
△同　歩　▲同　飛
△三四飛　累計十五手

土居八段講評 石井君の三二金は當然の受手である、但し二八飛、二六歩打の逆襲策もあるが、八八角成、同銀、三三角打、二八飛と廻つても三八銀で、以下攻めを繼續することが困難である以下山北君が横歩を取つたのは結果に於ては歩德となるも、手損は免れないから一利一害の策である

萩原七段解説 山北氏の二四歩は、七八金と上り敵が三二金の時二四歩と指す方が順である石井氏の三二金は、評の如く八八角と交換して、三三角と打つ順は以下二二飛と廻り逆襲する順になるも、以下充分に指し切れないで穩かに相懸り模様に三二金と指したのである、次に八六歩は、一旦二三歩と打つて敵が二六飛なら、其の時八六歩と指す方が變化が狹くて順當である、又この二三歩に對し二六飛の歯、三四飛なら八八角と交換して、二五角と打つて敵の横歩取りを咎めるべきである、山北氏の三四飛は、敵が二三歩と打たずに八六歩と來た故強く三四飛と横歩を取つたのである。

二つの大會を控へ 多忙な氷上界

一大リンクを發見十數日前から 奉天の選手連猛練習

【奉天】今シーズンのスケート界は全日本氷上選手權大會が安東で又本年最初の試みとして最も期待されてゐる内、鮮、滿の氷上對抗競技會が奉天でそれ〴〵開催され滿洲のスケート界は異常の緊張味を以て選手は必死を期し練習にとりかゝつてゐるが、奉天でも各所のリンクはこれまで暖かゝつた關係上結氷しても晝間解けるといふ始末でリンクは使用されず焦慮されてゐたが圖らずも最近國際運動場の東南方に距る一千米の地に長濁さいふ一大リンクを發見し十數日前からスピード、フイギュアーホッケー等の猛練習を續けてゐる近ごろ漸く寒氣が加はると共に國際運動場のリンクも注水を續け既に大部分注水が終つたので來る三日の日曜から開場し全日本氷上界の王座死守を標榜として大々的に練習を行ふことになつた、本年度のスケジユールは左の如し

十二月十七日リンク開き氷上大會、同二十四日第一回國際リンクレコード會、同二十九日同第二回レコード會、明年一月五日奉撫對抗氷上大會（中等學校ホッケー選手權大會）同七日奉天氷上選手權大會、同十三、四の兩日全滿氷上選手權大會（ホッケー選手權のみは七日頃擧行）同廿一日奉天市民氷上大會（戸外デー）同二十八日全滿鐵小學校氷上大會、二月七日内鮮滿對抗氷上大會、同十一日氷上納會

練習艦隊司令官等新京訪問

【新京】大連入港の練習艦隊司令長官松下中將一行は五日來京と決定、松下中將以下八名の幕僚は五日午前七時到着と共に駐滿海軍部に小林司令官を訪問、更に菱刈關東軍司令官その他滿洲國側を訪問後執政に謁見の筈、なほ同日は軍部及滿洲國側の歡迎午餐會及晩餐會に出席一泊六日午前八時三十分發ハルビンに赴き第〇團長、江防艦隊司令官その他を訪問一泊七日午後三時二十五分歸京南下の豫定なほ乘組員准士官以上四十八名及び候補生百六十八名は五日午後一時五十五分着京、執政に謁見、關東軍司令部、駐滿海軍部、滿洲國側等を訪問視察同日午後十時發にて奉天に引返す筈

新京火災被害

【新京】滿洲建國後極端な水不足に惱まされてゐる新京では火災が一番市民に不安を與へてゐるが火災期の十一月中における火災件數は附屬地内十件、附屬地外三件、燒失戸數十三戸、損害三萬八百七十圓で前月十月に比較すると附屬地内十三件、附屬地外二件、損害四千六百圓で件數において二件減なるも損害額に至つては二萬六千二百七十圓增となつてゐる、出火原因は主として煙突の設備及び温突の不完全等のやうであるが今後なほ數ケ月間は依然として火災期であるため關係當局者では防火の注意を喚起してゐる

女群の新京

いはゆるサービス女 附屬地のみで二千餘

【新京】事變前に於ける長春花柳界の紅裙連は九十二名に過ぎなかつたがその後ふえるは增えるは實に女群の大洪水を出現しつゝあるが現在では附屬地内地人藝妓二百八十七名、鮮人藝妓百名、内地人酌婦六十三名、鮮人酌婦百廿名、滿人側藝酌婦九百五十名、更にダンサー四十四名、外人一名、女給二百二十三名、鮮人三名、外人二十一名、飲食店女中百十一名、仲居八十六名、旅館女中百四十五名、合計二千百六十名、一方城内を見るに藝妓八十九名、酌婦百十八名、鮮人酌婦四名滿人藝酌婦七百十二名、合計八百三十四名何んと女人群像の景氣ではある

徵兵檢査規則改正

いよ〳〵十二月一日から實施さる 在滿者は便利になる

【奉天】兵役の徵集規則改正が愈々十二月一日から實施され今後の徵兵檢査を受けるものは非常に惠まれて來た、その主なる改正事項を擧げると從前在留地で檢査を受けるものは二月末までに出願せねばならなかつたが今後は三月卅一日までと改められしかも出願する長官は在留地の徵兵事務官卽ち警察署長となり三月卅一日後渡滿したものでも本人の本籍地における徵兵檢査期一ケ月前までに在留地徵兵事務官に出願すればその在留地で檢査を受けることが出來るやうになつた、徵兵檢査は毎年五月中旬から六月末までに施行されるが奉天署管内は明年二月に入れば願書を受付けるので適齡者は印鑑を攜帶し奉天署兵事係まで出頭されたいと

附屬地居住者延期願不能

【奉天】從來滿鐵附屬地に三年以上居住するものは徵兵檢査の年の一月卅一日までに出願すれば帝國外徵集延期願が出來るのであつたが、今回兵役法施行令の改正により延期願は出來なくなつた、然しこの條令施行の際從前の規定により現に徵集を延期されてゐるものはこの規定の改正に拘らず、從前の例により延期が出來るのでこの點特に注意して貰ひたいと

滿洲國の協會 支部を設置

各地に移動講習會

【新京】ウインタースポーツの健全なる發達普及を圖るため滿洲國體育協會では滿洲氷滑競技協會を設立することゝなつたことは既報の通りであるが、十一月三十日午後一時より文教部において同協會設立委員會を開催關係者十二名出席協議の結果本部を新京特別市に支部を奉天、吉林、ハルビン、チチハル等主要都市に設置することに決定、差當り新京支部を特別市々政公署内に設くることゝなつたなほ新京支部は今後各地リンクに移動講習會を開きフイギヤーその他一般スケート競技の講習、アイスホッケーチームの編成などを行ふ筈である

新京西公園のリンク開き

【新京】先般來の暖かさで延び延びになつてゐたスケートファン待望の西公園リンクも愈々一日始めに惠まれてそのリンク開きが行はれた、この日午前九時新京神社神官によつて型の如く御祓式が行はれたが終るや鏡のやうな氷面は待ちかまへた老幼男女多數ファンの一年振りに踏む輕ろやかな曲線が一齊に深く印された

興安省内に實業學校を新設

滿洲國政府で立案中

【新京】興安省内における初等學校私塾數は現在七十九校（西分省札薩特、巴林、阿爾科爾の各旗を除く）にして教員二百八名、生徒三千八百六十名なるも中等程度の教育機關は僅かにチチハルの興安第一師範及び奉天興安第一職業の二校のみであるため目下實生活に卽せる實業教育を實施すべく立案中である、宗教方面を見るにその殆どは喇嘛教なるが代表的寺院としては西分省ハン廟、バチロス廟、ノンナイ廟、昭廟、南分省の葛根廟、莫力廟及北分省の甘珠爾廟等でその他の宗教としては佛教及原始宗教として薩滿教が東分省及北分省の一部の蒙古人間に信仰されてゐる位である、と興安省當局では語つてゐた

小頭目新京に潜入 强盜團組織を計畫

探知され未然に捕る

【新京】双陽、長春縣を根據に暴威を逞しくしてゐた匪首殿臣の部下小頭目林こと王慶林（三〇）以下百餘名の匪賊團は本年秋の皇軍討匪行に追ひ捲くられて逃場を失ひ終に解散の止むなきに至つたがその後日滿當局の嚴しい警戒網を巧に潜つた王は市内頭道溝士書林方に身を潜め腹心の手下と連絡をとり强盜團の組織に腐心してゐたが偶々新京總領事館警察署の探知する處となり二十九日早曉寢込を襲はれ終に同署谷口、大谷内、赭祖等の手に逮捕さるゝに至つた、而して彼の自白に依り彼等一味が明春解氷期を俟つて彼等匪團を糾合の際双陽縣大拉子溝に隱匿しておいた拳銃二十一挺、實彈三萬個を掘出し再び匪團を結成し活動を起さんとしてゐた恐るべき計畫が明白となつたが今回の同署の活躍により未然に防がれた譯である

李子榮匪 蠢動を始む

【奉天電話】本年八月三角地帶に於てわが軍のため潰滅され部下二名とゝもに北平に敗走した匪首李子榮は爾來同地において再起をはかり南京政府より供給を受けた武器彈藥を盛んに密送し舊部下の活躍を援助してゐたが、最近李子榮は各地に散在する舊部下の統率並に北平との連絡のため元參謀長赫某を秘かに派遣、赫は既に安東より上陸、目下安東縣下に潜伏して各地の部下に對し最近日ソ間の風雲急なるを利用し地方の擾亂、滿洲國顚覆をはかるべしと督勵し、北平より攜行の軍資金並に武器を供給して部下の糾合をはかつてゐる、李子榮も舊部下の連絡次第近く歸還する筈である李子榮の再起說に安奉線沿線を中心として活躍してゐた李子榮の部下は最近再び武器をとり活動を開始した

通遼縣に 保甲制度

【奉天】通遼縣の匪賊も漸く其の跡を潜したので從來の保甲制によるも治安を維持し得る狀態となつたので現在の自衛團制度に要する約三十萬元（年額）の經費を負擔する地方民の苦痛を救ふため暫行保甲條例並に施行準則に基き十一月十五日より保甲制度の工作に着手した

卽ちそれは一村一日の豫定を以て豫め全家長を村公會に集合せしめ保甲制度の主旨及び家長以上の義務を說明し牌甲の區域を決定し十家長中より牌長を十牌長中より甲長の選擧をなし保甲長は牌、甲長を兼務するを原則とし止むを得ざる場合は別に之を定める、牌長が決定せば牌長に必要事項を記入捺印せしめ牌長、甲長、警察署長各一部を保管し該表裏面の諸條項に對しては連帶責任を負ふ、保甲制度完了の地區より逐次自衛團を解散せしめ各牌甲長に於て保甲團員の義務を負ふものとし舊自衛團區隊長村遂長の如きは舊弊を誘發する恐れあるを以て本制度の幹部に充當しない方針で進む

凌南方面の匪賊 合流移動を開始

河北省保安隊警戒

【奉天】山海關國境警察隊より當地に達した情報によると凌南方面にあつた匪首居七點及び金人點の指揮する合流兵匪約一萬は該縣境に移動し目下同地において全軍集結中で同兵匪は近く灤平方面に移動するとの流言盛んに傳はり臨楡縣第四區義院口方面は大動搖を來し住民は早くも秦皇島方面に避難する者あり臨楡縣長尹壽松氏は在海陽鎭公安隊を義院口方面に派遣し警戒に努めることになつたが河北省保安隊は撫寧附近西望庄駐營一帶の駐屯地を引き揚げ昌黎に移駐し戰區接收委員會約二百名は去る二十五日をもつて解散し北平政務整理委員會及び河北省政府において李際春の解散と共に河北戰區保安司令を唐山に設置し周某をその司令に任命したと

奉天居留民會評議員改選

【奉天】居留民會においては三十日評議員の改選を行つた結果左記二十一名が當選した

布川彌一郞、實松儀一、石井芳久保茂衞、野口多内、西尾一五郞、三井物產、手塚安彥、竹本重雄、三浦義助、西卷豐之介、大松號、林漢龍、垂水賢、滿蒙毛織、造兵所、金炳泰、金泰鎬、地錫模、李應圭

新京で歲末特別物價調査

【新京】愈々昭和八年も餘すところ一月となつたが押し迫る歲末氣分に乘つて不當の利を貪らんとする商人が往々にして見受けられるのでこれを未然に防ぐため新京署保安係では十二月一日より特別物價調査班を組織井上主任自から陣頭に乘出し不當値上げの徹底的取締を行ふことゝなつた

商賣仇と思たら何と署長樣

"蛇行"運轉手の悲鳴

【奉天】市内松島町七番地昭和タクシー運轉手渡邊留秋（二三）は三十日午後十時頃浪速通二十六番地浪速館前から自動車を運轉し驛に向ふ途中後より警笛を鳴らし追越さんとする自動車があるので蛇行を續けて之を妨げ同町十七番地先まで來り止つたが、自動車運轉規則違反として申告され遂に五圓の科料に處せられた彼がこの蛇行を爲せる動機は嘗て同業の間柄である商埠地の大同タクシーが常に昭和タクシーの營業を妨害するのでその腹いせに何とかしてやらうと考へてゐたところ丁度浪速館を出て後より來る自動車がテッキリ大同タクシーの自動車であると誤認しこの蛇行を行つたが實はその自動車は奉天署長の乘用する第百一號自動車であつた

私幣を取締る

【奉天】例年特產出廻り期に際しては私幣或は之と類似の流通券が發行されてゐるが奉天省警務廳では十一月十三日各縣警務局長に對しこれらは滿洲國の幣制を破壞し金融界を攪亂し弊害甚大なりとの見地からこの取締りについて命令を發するところがあつたが洮南縣警務局長は縣下關係各機關に對し之が取締りを嚴重にするやう警告を發した

ハーモニカ演奏會

【奉天】ワシントン大學在學當時より米國各都市に於て獨奏ラヂオ放送等でその名聲を馳せた全日本ハーモニカ聯盟理事佐藤時太郞氏のハーモニカ演奏會は愈々四日夕ヤマトホテル廣間において開催されることになつたが、同氏は去る十一月十日大連の協和會館において大人氣を博したハーモニストとして奉天にても非常に期待されてゐるがそのプログラムは左の通り

◀第一部　一、獨奏「登校」二、獨奏「ホームスイナトホーム、春雨」三、獨奏「荒城の月、ウイリアムテル」四、獨奏「落葉の頌」

◀第二部　五、獨奏「朔北の春」六、二重奏「ドンブラコ、アルルの女」七、獨奏「セレーデ北洋の夏」八、獨奏「詩人と農夫、荒城の月」九、獨奏「天國と地獄」

又釣錢詐欺

今度はカフエー御難

【奉天】又復釣錢詐欺……三十日午後六時頃市内千代田通カフエーミス・奉天に電話で「自分は新富座のものであるが、チキンライス三個とハヤシライス一枚を願ひます、こちらは十圓札で支拂ひますから釣錢を一緒に持つて來て下さい」と前回同樣の手段で註文したので同カフエーでは早速これを作りボーイに釣錢と共に持たせてやつたところ新富座の脇で十圓を持つて來るからこゝで待つて居れといつてその四つのライスと釣錢八圓十錢を受取り奧に入つたまゝ所在を晦ました、犯人は同一人で奉天署では血眼となつて嚴探中であるが犯人はこれに味を覺え釣錢詐欺を働くこと之これで五回である

健康週間の患者診斷數

【新京】滿鐵地方部、日本赤十字社滿洲支部及び本社共同主催の第三回全滿健康週間に於ける新京滿鐵醫院で取扱つた診斷による患者は左の通りであつた

神經系病女一、循環器病男七、耳女二、眼及其附屬器病男一、女一、病男三、呼吸器病男二、齒牙病男一、女消化器病男二、齒牙病男二、女四、滿人男二、泌尿生殖器病女一、外傷滿人女一、姙娠女二、急性中毒男一、傳染性病男一、健康男四九、女一七、滿人男七同女二

で新京滿鐵醫院に健康診斷を乞ふた者が男六七、女二八、滿人男九同女三、合計一〇七名であつた

滿洲正義團 北滿に進出

【奉天】酒井榮藏氏を盟主とする大滿洲國正義團はハルビン、チチハルを中心とする北滿奧地進出の目的を以て十一月十五日酒井氏外日本人幹部七名赴哈し十七日正式に傅家甸正陽街にハルビン本部を開設した、なほ目下滿人間の團員募集につとめつゝあるが既に二百餘名の新團員を獲得更に白系露人間にも積極的に宣傳を開始しハルビンロシア人との提攜をはかりつゝある

飛降りて轢斷

【新京】和信公司華工團體三十二名は結氷期に入つたゝめ工事を終へ大屯驛乘車南下したが内李吉來（二三）は十六列車に乘るのを十八列車に乘りあわて、飛降り左足指全部を轢斷された

通遼縣に警備電話架設

【奉天】匪賊の横行で警備連絡に最も不便を感じ通信網の完成に努めてゐた通遼縣では今回省政府よりの二千七百元の補助金により同縣下に警備電話の架設を行ふことになつた、從來同縣は緊急事件突發の際は通信不完全なるため騎馬にて通信連絡に當つてゐたものであるが、この警備電話完成の曉は匪賊討伐各種連絡に大いに敏速となり警備電話未完成の各縣も今年中には全部架設される筈であるがその區間は次の如くである

一、通遼小心愛力—木里圖—錦隆鎭—餘糧堡
一、通遼—通遼驛附近村落—胡家因子
一、通遼—四洮沿線に沿ひ大林驛へ
一、通遼—馬力營子

强盜豫審終結

【奉天】本籍大分縣中津市、住所不定牛田豐實（三二）及本籍東京市京橋區月島、住所不定無職戸川秀文（三〇）の兩名は豫て總領事館に於いて强盜被告として豫審中であつたが十一月三十日豫審終結し關東廳地方法院の公判に附せられる事となつた

瓦房店除隊兵

【瓦房店】滿蒙の曠野に轉戰滿洲國の建設に功績を遺し除隊して行く瓦房店守備隊滿期兵〇〇〇名は十二月三十日午前四時二十五分發軍用列車にて出發驛頭には初冬の寒さを衝いて日滿官民最後の見送りがあつた

旅順放送

◀錦州方面に於て傷いた勇士三十名並に奧地へ出動中であつた看護兵八名は二日午前九時十分着列車にて着旅

◀民政署商工水產主任左座顯雄氏は今回普蘭店民政署庶務課長に榮轉近く出發するが、後任者は署内から拔擢される模樣である

◀大連へ移住した齒科醫塚澤正雄氏の爲め海渡伸野久野（儀）岡野四氏發起人となり知友相寄り二日午後五時から青葉において送別宴を開催

◀旅順映畫館一日からの上映物「青春街」「春の驟雨」二豪華版上映に關しいづれを先にすべきかを一般ファンより投書を求めた結果回答實に三五六通に達し映畫ファンの内部を窺知する事を得た、因に「青春街」は後廻しとする者多數を占めてゐた

◀第二小學校では十二月三日が丁度開校記念日に相當するので自祝の爲め三日四日の二日間毎日午前九時から同四時迄同校内に全校生徒の圖畫手工其他の作品展覽會を開催する事となり一般の參觀を待望する由

◀旅順高公附屬公學堂では來る五日午前九時から正午迄學藝會を開催又別室には兒童の成績品を陳列參觀に供すると

◀本田高等課長は約二週間の豫定で新京、奉天その他各地を視察中であつたが二日午後七時二十分大連着ハトで歸任した

◀普蘭店警察署長に榮轉した井上定弘警部は二日午前九時三十分旅順驛發で正式赴任した

◀御厨關東廳外事課長代理は一日二三日の豫定で新京に出張

◀普蘭店署長より警察官練習所教官に轉じた平光警部は三十日午後一時三十五分着列車にて着任

洋車に追突

【奉天】三十日午後九時十分紅梅町二十六番地福井高梨組鮮人運轉手白世俊（三〇）が泥醉してトラックを運轉し江ノ島町十番地先に差掛かつた際左側を通行中の車夫張福順（三〇）の洋車に追突し車體を大破し胸部その他に重傷を負はせたので直に回生病院に擔ぎこみ治療中であるが全治三週間である尚彼は追突と同時に他の洋車にも追突大破せしめたが奉天署では白を引致目下取調中である

奉山線各驛で公衆電話取扱

【奉天電話】事變以來奉山線各驛の公衆電話の取扱ひを中止してゐたが奉山鐵路局では一般乘客及び居住者の便を計るべく近くその取扱ひを爲すべく優秀なる技術員を配置することになつてゐる

贓品を買ひ營業停止

【奉天】市内松島町六番地古物商森田忠吉（四〇）は去る十月二日贓品と知りながら古物を安く買入れたので十五圓の科料に處せられたが本月十三日生みの母を離れて來奉した高集駿（一八）が森田方に賣りに來た平和鐘頭屋から盜み出した蓄音機とレコードを贓品と知りながら十四圓で買つてゐた事が發覺し奉天署司法係では嚴重な處分をなしたが更に保安係では營業許可の取消處分することになつた、最近古物商又は質店で贓品と知りながらこれを買ひ又は預かるものが多數あり奉天署ではこれを取締り不正行爲を發見次第嚴重處分することゝなつた

苦難いまぞ永眠 豪華道路完成
附屬地から城內都市に通ずる 新京名所またひとつ

【新京】結氷期に入つた新京の工事界も既に殘務取かたづけを急いでゐるが附屬地から城內新都市に通ずる大道路は難工事であつたにも拘らず結氷期と共に完成した幅員五十四米、中央の十六米が高速車道路、その兩側五米が道路樹植込み地、更らにその兩側八米を所謂一般車道として歩道はその兩側で新公園前から關東軍司令部、新驛舍に至る三百米の工事費が七萬圓といふ豪華道路である、附屬地境界以南は滿洲國國都建設局の手によつてこれまた大同廣場迄を略完成せしめたが新京驛から新興都市へ至る主要路だけに全滿にその比を見ない豪華振りで慥かに新京名物の一に加へられるであらうされてゐる

揚る歡呼の嵐
皇道日本を背負ふ 決意も固き新入營兵到着

鞍山　わが生命線の第一線に立つべく鞍山守備隊に新入營の初年兵〇〇〇名は一日午前九時着列車で內地まで出迎へに行つた輸送指揮官塚本中尉及西本曹長に引率され元氣潑剌として來鞍した、これより先き驛頭には春長大隊長狩山少佐以下守備隊幹部並に泉警察署長外在鞍官民各團體等一千餘名の盛んなる出迎へあり、一同はこれ等出迎へ人の嵐の如き歡聲裡にホームに降りて整列、先づ春長隊長より

諸君等の〇隊長である、海陸遠くよくやつて來た、隊長として大いに感謝する、その元氣で今後は邦家のためしつかりやつて貰はなくてはならぬ

と激勵の辭を受け次いで市民を代表し松田時局委員長代理の挨拶あり、これに對し新來者を代表し濱岡正二君謝辭を述べて粉骨碎身の御奉公を誓ふところあり久留島在郷軍人分會長の發聲にて萬歲を三唱、一同は先輩勇士の先導にて直に鞍山神社に參拜着鞍の奉告さゝもに武運長久を祈り兵舍に入つた

四平街　滿洲の治安確保の重任を帶び當守備隊に入營すべき新銳〇〇名を乘せた列車は三十日午後三時五十四分當驛第二ホームに到着した、これより先地方各界首腦者を始め一般市民は驛頭に日章旗を振り翳して歡迎ぜり、到着兵士は下士官の指揮の下にホームに整列するや石岡地方事務所長は市民を代表して懇篤なる歡迎の辭を述べ終るや新入兵の代表は石岡所長の前に進み出で答辭を述べ終れば石岡所長の音頭の下に新入兵の萬歲を三唱する等一時驛頭は觀音變々劍光帽影相參差するの光景裡に一同守備隊より差廻された るトラックに分乘して意氣揚々滿蒙の夕靄を衝いて營所に入つた

安東　安東守備隊の新入營兵〇〇〇名は豫定の如く三十日午後九時三十分到着したが驛頭市民の出迎へ夥しく岡本領事の歡迎の挨拶に對し入營兵總代謝辭を述べ關屋地方事務所長の發聲で萬歲を三唱し勇ましく六道溝兵舍に入つた、なほこれ等の勇士は千葉縣出身者である

熊岳城　三十日午前三時三十四分列車にて到着した本年度新入兵は寒夜にもかゝはらず多數居住民の誠意こもれる出迎へを受け守備隊兵舍に入つたが十二月一日午前三時三十四分には同じく附近各隊に編入さるべき約二百名の新入兵到着此の夜は滿鐵クラブに收容一日午後〇時四十三分發北行にて編入本隊へ向け出發これまた多數居住民の熱意溢るゝ見送りを受け出發した

鷄冠山　三角地帶に赫々たる武勲を殘した當地守備隊の除隊兵三十五名は二十九日午後二時半の列車にて官民多數の見送り裡に出發した

堅き決心を眉宇に漂はせて勇躍我が守備隊の任務に就くべく〇〇〇名官民多數の歡迎裡に三十日午後九時五十分守備隊に到着した全市民は上げて除隊兵の將軍の幸福を祈ると共に新入營兵一の躍進を期待す

法權撤廢問題で 各機關の座談會
二日奉天にて開催

【奉天】滿鐵解體問題にからんで治外法權問題、附屬地移管問題は喧しく在留民間に論ぜられて居るが十二月二日午後一時よりはヤマトホテルで各機關より要人參集座談會を催したがその主題は凡そ左の如きものである

一、治外法權撤廢は早晚實現せらるべきものと認む右撤廢に對して在留日本人として如何なる條件の下に撤廢するを適當なりとするか

イ、裁判に關しては如何
ロ、行政に關しては如何
ハ、警察に關しては如何
ニ、課税に關しては如何

二、治外法權撤廢に伴ひ鐵道附屬地の行政權も滿洲國の主權に還附せらるゝものと認む此の場合如何なる條件の下に還附するを適當なりとするや

イ、行政權全部を滿鐵會社（ホールディングコンパニー）に委任せしむるの可否（此の場合衛生裁判及警察は如何にするか）
ロ、行政、警察、裁判共關東廳に委任せしむるの可否
ハ、右を領事館に委任せしむるの可否
ニ、滿洲國が直接行政權を施行するとせば如何なる條件を要求すべきや

珍しい化石發見
原始時代 巨象の臼齒
四平街南踏切地下道を掘鑿中 尾崎理學士の鑑定

【四平街】四平街南踏切地下道掘鑿中地表より約五米七十糎の地底に於て一見草履の化石に酷似せるもの二個を發見珍奇なものとして保線區より小學校に寄贈したが、偶々北滿石炭調鑑定のため來四中の尾崎理學士の鑑定を仰いだところこの二個は原始時代の巨象の臼齒なることが判明した、更に地質調査所へ轉送し精密なる調査を仰ぐことゝなつた

惡を背負つた 男ごゝろ
春を賣る女を脅迫し こうぐ〳〵警察の厄介

【新京】異人娘のプロスチチユウトが居るとの噂に男ごゝろの浮氣さと獵奇心から手を出した揚句は警察の御厄介になつた男ふたり大矢組關東軍宿舍ボーイ津久井（二三）同上露木某の兩名は二十九日夜更け官憲を裝つて市內滿人宿大同旅舍の戶をたゝき同家主人を呼出して密淫賣を働くロシア娘が同家で密淫賣を働くを見屆けた直ぐさま連れて來い、出されば處罰すると脅迫してゐる際それとは知らず露人娘二人が市內永樂町某々氏兩名と樓上から降りて來たので、津久井、露木はすぐさま娘を捕へ男二人にはこんこん說諭して放免した後津久井はチフロアラブシヤ（二一）を捕へて玄關に見張り、露木はタアシヤフリレイク（二一）を同旅館の一室に連れ込み脅迫の末本望を遂げ、女を連れて戶外に出たところを折惡く新京署の非常警戒線にかゝり津久井と前記露人娘二名は檢擧されたが露木は逸早くもその場を逃走した

雜誌の中を切り 煙草を詰込む
內地の郵便局で發見される 巧妙極めた密輸事件

【鐵嶺】內地の人達を喜ばせるため在滿邦人中色々の物を送る者があるが正規の手續を履んで送るは何等差支へなきも中には稅關の目を掠めん爲め所謂密輸業を弄し不正行爲を企つるものがある、最近鐵嶺で問題となつてゐる煙草の密輸事件の如きも其の一例で事件の內容は

鐵嶺居住邦人某は內地の家族を喜ばせるため煙草の密輸を企て雜誌講談クラブ約五十頁の中程を四角に切拔き船來キルク口付煙草五十本を箱のまゝ切拔いた場所に入れ表紙を閉づれば雜誌として一點疑ふ餘地のない程巧妙に僞裝し內部に手紙を入れて密封し四錢切手を貼つて恰も雜誌を送る如く見せかけ、而も鐵嶺郵便局に差出しては發覺の虞れありと列車郵便を利用して其目的を達したが、內地到着後配達局たる大船郵便局で雜誌の密封に不審を感じてか開封して檢べたところ書面があり煙草の香りがするので仔細に檢査の結果右の旨記載され而も煙草を送る奸手段が暴露し東京遞信局に報告され更に關東遞信局に移送されて來たものである

關東廳では其手段と書面とによつて常習的犯行と認め斷乎たる處置をとる模樣であるが僅かの事で斯かる事件を惹起するは愚な事であり一般に注意すべきことである

邦人の人口 約十倍の躍進
事變前に比較して 膨脹過程の大新京

【新京】新京附屬地は極度の住宅難であるため城內滿人家屋を改造して居住する邦人日一日と激增しつゝあるが城內日本人居留民會の調査による事變前の昭和六年九月現在が僅かに戶數五十三、人口百六十名に過ぎなかつたに拘らず本年九月末現在に於ては戶數一千三百五十七戶四千四百七十九名といふ異數の躍進振りである、この勢ひで押し進む場合は茲兩三年には附屬地居住人口と匹敵するであらうと見られてゐる、因に附屬地外居住邦人は滿洲國官吏及び或る一部を除いた他は無產階級で所謂新興都市を目當の一擢千金の夢を喰ふ者が多い樣である

鷺・湯浴の情景
世に出たのは全く滿鐵のお蔭 北鮮の朱乙溫泉　（下）

【京城】北鮮に日滿連絡線が完通すると共に一躍有名になつて來た朱乙溫泉、その朱乙溫泉とは如何なる語源から來たか？朱乙とは

＝女眞＝の語、溫泉の義なりと謂ふ、咸鏡線朱乙驛より西北方二里半、羅南よりは西南約五里其途上嶮嶺あるも共に一路坦々としてよく自動車を通ず

沿革　往古女眞の族作亂恒なし李朝世宗（約五百年前）寵臣金宗瑞をして平定の事に從はしむ、當時此の地を相して鎭堡を築き高さ七尺、周圍千餘尺內に土兵百八十名を養ふて近隣の鎭戍に任ぜり、鎭堡今や半ば崩れて亂石徒らに散し僅かに其遺跡を留むるのみ、溫堡溫泉の其始を知るに由なきも鏡城北誌に所謂

「雜峰溫泉は府西三十四里にあり即ち今溫堡の溫水にして又湯水と云ふ藥水平陸岩石の竇に噴出し其熱沸湯の如し諸瘡疾の病浴洗すれば即ち癒ゆと傳へられ上人久しく是が

＝天惠＝を享樂し來りし所なり、古來鮮內各地に於ては鑛泉を藥水と稱し土人萬病に効ありとし醫師よりも之を尊崇して或は服用し或は沐浴する俗ありといふ、此の溫泉亦其一に屬す湧出口總て九箇一日の湧出量優に一萬四千石と稱し淺々として晝夜を分たず恰も鼎沸の如きは今尚昨の如しといふ

陸軍では明治四十三年十二月以來この地に療養所を設けて今日に至つてゐる、內地人としての視察は明治三十三年當時の大藏省官吏宮尾舜治氏が北鮮經濟調査に出張したのが最初としてゐるが、明治三十六年陸軍省測量班駐在、明治三十八年の日露戰役に我が北韓軍の北進中この地に宿營したのことである、溫泉宿としては明治四十三年に羅南の草分け

＝陸軍＝の建築材料用達岡本長七氏が日本式バラックを建てたのが最初で今の鮮仙閣の前身岡本湯がそれである、鮮仙閣主岡本長七氏の懷舊談によると何しろ二十五年も前のことです

羅南から五里の道を徒歩或は牛車に乘つてでなければならず、道らしい道もなく溫泉宿とは名許りで問題になりませんでしたが虎も出れば豹も現はれ、幾度か生きた心地はありませんでした、しかし鶴群が千本松に訪れ、サギが湯浴びに下りる情景なぞ今日でも忘れられぬ興趣です、この溫泉が世の中に出たのは全く滿鐵のお蔭ですが、北鮮の鐵道がこんなになつたので滿洲からのお客樣が非常に增加して來ました

＝因緣＝と云ふものは全くめぐりめぐるものです、北滿の人々の溫泉として大いに溫泉村も改善しやうと話合つて居ります

現在では鮮仙閣、千歲館、萬翠館を始めとして內鮮の旅館十數戶と內湯のある設備の完備した大旅館を數へ郵便所、面役所等があつて立派な溫泉町を形成して何一つ不自由がない、淸津から自動車によつて一時間半、汽車でも一時間半にして達することが出來る、全く淸津、羅南の奧座敷に過ぎぬ位置に置かれて居るので船待ち汽車待ちの休憩所と心得て宜い便利な溫泉地である

溫泉は溫度概ね攝氏五十五度前後でアルカリ性硫黃類泉無色透明リウマチス、痛風生殖器病疾患各滲出物吸收、諸種創傷、急慢性胃病、膀胱カタル、呼吸器病糖尿病

＝貧血＝腺病、神經痛、皮膚病、子宮病に特効があることになつて居る、旅宿の如きも豐富な溫泉を利用して暖房設備が出來て居るので嚴寒の折でも浴衣掛けで結構であるし室外でも比較的溫暖であるから避寒地としても最適地とされて居る、而も溫井河の溪流十里餘は奇巖怪石を配して山紫水明稀に見る仙境地、日滿鮮交通路唯一の行樂地として國際場裡に乘り出したとも云へる朱乙溫泉は北滿の別府としても運命づけられつゝ榮光に輝いてゐる（寫眞は鮮仙閣と室外溫泉プール）

各地片々

三浦中佐北上
【新京】新京憲兵隊司令部三浦中佐及び滿洲國民政部警務司米村事務官は二十九日ハルビン、ポグラニチナヤ、滿古塔方面視察のため十日間の豫定で新京を出發した

◇**鐵嶺**　大黑河方面の砂金調査隊七里工學士を班長とする一行三十名は一日午前三時半着列車にて無事鐵嶺に歸還し鐵西製糖會社宿舍に休養中なるが今冬は他の調査班同樣鐵嶺にて越年するさ

◇**金州**　農事試驗場技師玉置芳雄氏は今回關東廳農林課勤務となり二日赴任するので各方面暇乞ひに廻つた

◇**瓦房店**　瓦房店聯合婦人會では東京編物研究會宣傳員矢木嘉次郎の來瓦を機會に修理法講習會を市民俱樂部に於て開催したが會員多數集つて熱心に稽古した

◇**瓦房店**　日本に於ても著名なるハーモニカ吹奏者佐藤時太郎、西澤久滿男兩氏は十二月二日瓦房店俱樂部に於て軍隊、滿鐵社員慰問のため出演

◇**新京**　新京滿鐵簡易宿泊所では首都の人口激增に伴ひ現在の家屋では狹隘を感ずるに至つたので擴張して改築中であつたが十一月二十九日竣工を見たので來る十日移轉することゝなつた

◇**安東**　安東驛事務主任から鐵路總局に轉出した藏本十郎氏は吉長、吉敦鐵路局勤務として新京に駐在することになる旨內命があつたので五日十二時十五分發列車で赴任することになつた、また大連鐵道事務所に榮轉した前小荷物主任柴屋亮之助氏も同車赴任する

◇**安東**　滿鐵安東販賣事務所長から本社商事部地賣課地賣係主任に榮轉した渡邊義雄氏は一日十二時十五分發列車で多數の見送りを受けて家族同伴赴任した

◇**鞍山**　鞍中では八日から十二日まで第二學期の考査を行ふ由

◇**營口**　營口縣教育局にては十二月一日午前九時より營口商業高級中學校を會場とし縣下一圓の各代表集まる者三百餘名にて四五の議案を決議し正午散會した

◇**營口**　新京鐵道事務所營業長に榮轉する野村前營口驛長を送り營口貨物主任より營口驛長に榮轉の長谷川銀一氏を迎ふる爲め市の有志は四日午後五時半より新開業のみはらしに於て送迎宴を催すさ

◇**營口**　北本街に宏壯なる樓閣を新築して料理業を經營する淸林館主山本彌市氏は其筋への手續きも完了し十二月一日を卜して愈々開業した、今回新に輸入した藝妓連十五名は逸物揃にてサービスはうんと腕に撚り掛け勉强致します が未だ營口の水に馴染まぬ私共宜敷御引立御贔負にとさやかに語つてゐた

◇**營口**　東亞煙公司營口工場に於ては例年の通り作業時間の變更をなした、卽ち開始午前七時三十分に終業午後五時三十分と爲し十二月一日より翌年三月末日迄とすと

大連汽船出帆

●青島上海行 奉天丸 十二月五日 午前十一時 大連丸 十二月八日 青島丸 十二月十日
●天津行 長平丸 十二月四日 天津丸 十二月六日 長平丸 十二月九日前十時
●安東行 濟通丸 十二月 時
●龍口行 龍平丸 十二月四日 時
●長崎・基隆・高雄行（船客搭載）
●敦賀・伏木・新潟行（船客搭載）山東丸 十二月六日後四時
●芝罘・清津・雄基行（船客搭載）河北丸 十二月七日後五時
●營口・大連・阪神行 遼河丸 十二月十五日
長順丸

大連汽船株式會社
電話代表番號七一三二一番
専屬荷客取扱店（大連敷島町）永和公司 電話七二七五・七八六八
阪神航路荷客取扱店（大連須磨町）澤山兄弟商會
電話四五三六五・四六八一
臺灣航路荷客取扱店（大連敷島町）丸二商會
電話五八八八・四二六四
乗船切符販賣所（大連伊勢町）ジャパンツーリストビューロー
大連案内所電話五五五五四番

日本郵船出帆

●歐洲行 たかあ丸 十二月八日 伯馬丸 十二月十一日
●鹿兒島行 横濱行 摩耶丸 十二月十一日午前

近海郵船大連出帆

●横濱行 花咲丸 十二月四日 支武丸
●大阪名古屋行 第二養老丸 十二月三日
●天津行 淡路丸 十二月九日 支武丸 十二月八日
●基隆高雄行 岐阜丸 十二月九日 岩手丸 一月三日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行 會寧丸 十二月十一日
●仁川、博多、長崎、鹿兒島、三角行 京畿丸 十二月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本會社寄港地は貨物受證發行滿鐵との連絡貨物取扱致候
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係により變更することも有之候
水路圖誌海圖販賣所 キューナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所
大連市山縣通電話 三七三九番 七八四六番 六七一二番
大連市監部通吾妻橋 専屬客荷取扱所 丸二商會
電話四二六四・五八八八
乗船切符發賣所 ジャパンツーリストビューロー 大連市伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

阿波共同汽船

●芝罘、威海、青島行 第十六共同丸 十二月六日午後七時 第廿六共同丸 十二月 日午後七時
●芝罘、威海、仁川行 第卅六共同丸 十二月六日午後七時
●芝罘行 第十八共同丸 十二月三日午後七時
●仁川、鎭南浦行 長山丸 十二月十二日午前九時
●天津行 長山丸 十二月十六日午前十時
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店
電話六八九一・五〇〇一番
切符發賣所（大連市伊勢町）ジャパンツーリストビューロー
電五五五四・四七一三番

島谷汽船大連出帆

●朝鮮、北陸、北海道行
敦賀丸 十二月十日
日本海丸 十二月廿一日
天海丸 一月二日
寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●國際運輸と貨物の連絡輸送取扱致候
島谷汽船株式會社大連出張所
大連市山縣通一五三
代理店 大三商會
電話四七一一・三四八二
●乗船切符發賣所 ジャパンツーリスト・ビューロー 伊勢町案内所 電五五五四・四七一三

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行 午前十時出帆
亞米利加丸 十二月三日
うらる丸 十二月四日
はるびん丸 十二月六日
たこま丸 一等御斷 十二月七日
香港丸 十二月八日
うすりい丸 十二月十日
ばいかる丸 十二月十三日
●ぶあさる丸 一等御斷 十二月十四日
●上海、福州行 長沙丸 十二月十二日
基隆高雄行 福建丸 十二月十九日
後三時出帆 蘇京丸 一月二日

大連汽船出帆

●天津行 江龍丸 十二月十日 日東丸 十二月十三日
●印客御斷り
●横濱行
●江龍丸 十二月三日
●志摩丸 十二月十日
●日東丸 十二月十七日
●紐育行（神戸、四日市、横濱經由船客設備なし）東海丸 十二月四日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三三七番
奉天出張所（電四〇八七）
新京出張所（電三三一六）
御乗船切符發賣所 ツーリスト・ビューロー 大連伊勢町

國際運輸株式會社

大連案内所（電五五五四・四七一三）
同沙河口代理店（電九五〇六）
營口案内所（電八八〇）
撫順案内所（電二五四八）
奉天案内所（電三九一四）
新京案内所（電三三三九）
哈爾濱案内所（電四七八八）
吉林案内所（電 ）
安東案内所（電一〇〇六）
御乗船切符取次所 滿洲旅館協會
大連市紀伊町（電三六八二番）
専屬荷扱所 大連市山縣通
國際運輸株式會社
電話三一五一番
吾妻橋荷扱所 電話四八〇二番
當社左記の場所にて荷物發送引受地各港と連絡引換證發行致します
奉天・營口・公主嶺・鐵嶺・開原・四平街・新京・吉林・哈爾濱其他

日清汽船大連出帆

●青島上海香港廣東行 嵩山丸 十二月九日 唐山丸 十二月十六日 華山丸 十二月廿六日 芦山丸 一月
代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三三七番
●専屬荷役所（大連山縣通）國際運輸株式會社 電話三一五一番

松浦汽船大連出帆

●芝罘行 福壽丸 十二月五日 時
●安東行 神福丸 十二月 日 時 神祐丸 十二月 日 時
●芝罘、威海、仁川行 利通號 十二月三日後六時
廣島縣 愛媛縣 岡山縣 命令定期大連瀬戸内海線
●門司廣島尾道宇野今治行 照國丸 十二月十五日午後四時
門司着 十二月十六日前六時
廣島着 十二月十六日前六時
今治尾道着 十二月十九日後四時
宇野着 十二月二十日後四時
廣島より今治、高濱方面へ接續いたします
廣島・愛媛・岡山 三縣人に限り二割引致します
滿鐵とは貨物連絡致します
大連市加賀町三〇
松浦汽船株式會社
電話六一一七・六一一八番

川崎汽船出帆

船客及貨物
各船（重量噸數五、〇五〇 速力十二節半）
運賃 横濱行 上等 三十圓 並等 十七圓
名古屋、清水、横濱行
●吳淞丸 大連發 十二月二日 大連着 十二月八日 名古屋着 十二月十日 清水着 十二月十二日 横濱着 十二月十四日
●高雄丸 大連發 十二月十三日 同着 十二月廿二日
羅府、紐育行
●うえるす丸 大連着 十二月五日 同着 十二月七日
詳細は左記へ御照會被下度候
川崎汽船大連代理店
大連市山縣通一九九
山下汽船株式會社大連支店
電話代表六一一八四番

造花 花環 徽章・装飾・材料 ばらや
大連近江町西広場角・電三一九一〇

貸出勉強・保管確実 信用第一 質
貴金属・洋服・特ニ勉強 大口御利用願イマス
イワキ町八九（西通筋角）
博多屋本店質部 電四四五三番

小児科専門 金子醫院
医学博士 金子甚蔵
大連西通七八 電七六六一

マンア 電話 口 21670

内科専門 大連市駿河町滿銀横 志摩醫院 電話七八六九番

内科 小兒科 入院應需 大連市吉野町三越横 桐原医院 電話四一一二

眼科 大連市西通三五（滿蚕館前）玉井眼科医院 電話五七三一番

性病 梅毒 淋病 軟性下疳 皮膚病 野中醫院 大連若狭町五〇 電六二四四

外科 唐澤醫院 医学博士 三浦 孚 唐澤準吉 大連市山縣通七二 電話八二〇六番

東京中川金庫 滿鮮總發賣元
合名會社 藤田洋行 奉天浪速通
世界的無類絶品三菱發二號耐火 式
NO. 2―159

洋服
御手元地方も弊店は賣え ですてしたします 前子屋洋服裁縫所
大連市 赤津洋服店 赤津秀雄

新切タバコ キャピタル
廿本入 金十五錢
タバコ流ふ タバコの中で何と云つても このタバコ キャピタル
發賣元 奉東洋行

優良國産 瑞穗電氣ドリル
各寸法在庫
瑞穗機械製作所 滿洲總代理店
機械工具店 大連榮町
杉元商店

歯痛にセロシン（聖路加）日本橋藥房 電八三八一

コンヂットチューブ 並＝附屬品
在庫豊富
製造元 日本パイプ製造株式會社
滿洲販賣元 鳥羽洋行
大連市近江町 奉天千代田通 新京

返品返金自由 舌帯道具の船塚 電話7543 4379

美術 額椽と洋画材料なら 常盤號
大連 電話二三〇
浪速町 電話四七六

東京式 おでん 源藏
浪速町（電話三九六番）

専門 梅毒 淋病 皮膚 性病 レントゲン科
入院室完備
大連若狭町三（西通入口）
尾形醫院 電七七六
医学博士 尾形一郎

池田小兒科醫院
池田嘉一郎
電話 六三六五番

營業種目 床材、米杉板、ラハン材 臺輪、ベニヤ板、杉小丸太 足場丸太、其外各種木材
大連信濃町一二三 電話六一九・長六一〇
村井材木店

どうぞ其儘！
襟元にタオルを一寸おかけになつた丈けで手輕に洗ひ上る花王シャンプーでございます 洋髪にも日本髪にも平素のお手入れが必要でございます
花王シャンプー
KAO SHAMPOO
一個五錢
花王石鹸株式會社長瀬商會

赤色空軍の進出に空の恐怖深まる

蘇聯の水・陸・氷上機五百臺が根據地を極東に設置

【ハルビン特電二日發】極東における赤軍地上部隊の集結と並行して蘇聯政府は頻に空軍をも増加しつゝあるがこの程その實勢力が判明したそれに依るとザバイカル以東に集中されたソウエート爆撃機偵察驅逐機等合せて全蘇聯空軍の三分の一約五百臺、根據地は陸上機はニコリスク、ウオロシロフ、イシエンコ、スパスク、ポチカリヨフ、チタ、水上機は浦鹽、尼港、哈府等である大部分英、伊、佛等の輸入品だが國產品も相當ある、戰闘技術は優秀でないが機械は大型のものばかりで攻撃を主眼としてる又一方兎角事故勝ちだつたシベリア定期航空は最近確實となり現に行はれてゐるものはモスクワ、浦鹽間、ウエルフネ、クーロン間、ポチカリヨフ、ブラゴエ間、エニセイスク、アレキサンドルスク間、哈府、カムチヤツカ間、浦鹽、カムチヤツカ間で夏は陸上、水上、冬は氷上機に改造顯著な成績を擧げてゐる

滿鐵のボーナス前同樣と決定

月俸三十割、日給十割

滿鐵の本年末社員賞與に關する重役會議は二日午後二時から重役會議室に正副總裁以下十河、村上、山西、竹中、河本、山崎各理事、宇佐美總局長、石本總務部長參集のうへ開かれ、席上今後の人事政策に關しても協議のうへ社員賞與は前回と同一とすることに決定同六時散會した、從つて月俸社員は二ケ月半乃至三ケ月、日給社員は一ケ月前後を支給されることゝなつたが、支給期日も前年の如く傭員社員を最初として十日から二十日までの間に支給される筈

滿鐵新入社員銓衡を終る

【東京特電二日發】滿鐵新入社員技術系統銓衡は既報の如く東京支社で行はれたが、二日應募者五百四十二名中より百六十三名を決定した、出身學校は大學六十八名、高等工業學校八十三名、高等農林高等商船その他である

共同使用驛滿鐵に委託

現在滿鐵線奉天、四平街、新京の三驛は國線との共同使用驛になつてゐるが、この共同驛に營業上異つた二つの營業規定があることは一般荷主旅客その他に對しても非常な不便を與へるためこれ等を統……さゝなり、去る一日以後驛における國線の連絡運……原則的に滿鐵々道部に委……こと、なつた

凱旋兵出發

御用船あいだ丸で

北滿の凱旋兵〇〇〇名は二日午後三時出帆の御用船あいだ丸で輸送指揮官加藤砲兵中尉に引率され錦を飾つて懷しの祖國へ歸還したが出帆に先立ち小川市長の謝辭、加藤中尉の答禮あつた後、いよく船が岸壁を離れんとするや見送りの小、中、女學生其他數百の人々は萬歲、萬歲を連呼し船と陸とに引かれた五色のテープを傳つて流れる別離の哀愁は濺ぐましい程であつた

凱旋兵別れの挨拶

東京疑獄事件求刑

【東京二日發國通】東京市疑獄事件論告は本日午前午後二回五時間に亘つて行はれ午後三時三十分求刑された、主なる者左の如し

贈賄　懲役八月（瓦斯疑獄）　東京瓦斯常務、代議士　鈴木寅彦（六二）
同懲役四月（市長選擧）　元市助役　十時　尊（五五）
同懲役六月（市長選擧）　元市保健局長　石橋　政治（五二）
贈賄幇助　懲役五月（瓦斯）　元貴族院議員　奥田　龜造（六二）
同懲役二月（相當期間執行猶豫）　會社員　八田　熙（五〇）
贈賄幇助　懲役一年六月（瓦斯）（墓地）
元市助役　白上　佑吉（五〇）
同懲役二年（瓦斯、議長、市長選擧）
代議士市會議員　大神田軍治（五二）
收賄贈賄幇助懲役一年（瓦斯）　元市會議員　橋本信次郎（五五）
收賄　懲役六月（瓦斯）　代議士市會議員　高橋　義次（五二）
同懲役五月（議長選擧）　代議士元市會議員　國枝捨次郎（五八）
同懲役五月（議長選擧）　元市會議員　結城禮一郎（五六）
同懲役五月（議長選擧）　代議士元市會議員　鯉月　擧（四二）

滿鐵線の匪害昨年の一割

却つて拍子拔の當局

滿洲の鐵道從事員が最も恐れてゐる匪賊の出沒もいよく高粱繁茂期の過ぎると共に完全に一段落の形となり、滿鐵々道部でもホツと一息の形であるが、殊に本年度高粱繁茂期間の滿鐵線の匪賊から受けた損害は極めて少なく、また特筆すべき大きな被害もなくこれ全く守備隊の盡力と滿鐵の執つた警備の充實とのためとされ、このところ鐵道部員高々の形である、本年春鐵道部が匪賊防禦の臨時豫算を計上した際「おそらく昨年より多いだらう」との豫想であつただけに關係筋では拍子拔けの態でさへあるが、これを高粱繁茂期である七月初から十一月末日までの匪害統計を前年と本年とで比較すると總計數前年二百三十件、本年二十五件で約一割にしかあたらぬ激減振である、左に同期間中の種別を記せば

	前年	本年
聯合襲擊	三九	四
列車襲擊	三一	三
運轉妨害	二四	一
電線被害	五四	六
線路及施設物破壞	二三	二
從事員拉致	一七（三〇人）	四（四人）
死傷其他	三二（四五人）	五（五人）
計	二三〇	二五

州内女學校の氷上試合打合

關東廳體育研究所では二日午後二時卅分より大連運動場において體研側より山本主事、上倉所員出席の上女子中等學校側より伊藤（旅順高女）茂木（神明高女）三原（羽衣高女）の州内女子中等學校の代表者の參集を乞ひ、本年度の州内女子中等學校體育大會水上部の打合せ會を擧行したが、新春一月二十一日午前十時三十分より旅順富士松リンクに於て左記規定のもとに開催することに決定した

▲種目と參加人員
1、五百米　各學年六名以内補缺二名
2、千五百米　各學年五名以内補缺二名
3、各校對抗千五百米リレー一組四名、補缺二名
4、フイギユアースケーテイング　一校五名以内
▲申込場所と申込締切期日　一月十日までに選手名を明記して旅順體育研究所宛申込みのと

金融魔事件けふ對決訊問

今後引續き行はれん

金融魔事件の取調べはいよく峻烈となり、大連署司法係柏當警部補は二日午後から留置中の和田兄弟、光永幸吉及び熊谷市議夫人中川ヨネさん等を樓上特別室に召喚事件發生以來初めての對決訊問を行つた、何分事件の內容は複雜を極め、多數の幽靈手形と不渡小切手を濫發すると同時に文書僞造行使などは數年間に日常茶飯事の如く繰返されてゐただけに、關係者對決によつて明かにするより外なく今後も引續いて對決訊問が行はれる模樣である

大連署と水上署電話合戰

宿舍を返せ、返さぬで

ニュース・音樂が自動車で聞ける

放送局等が實地試驗

滿電、中央試驗所及び大連放送局では今回大連市內並に關東州內一圓に亘り乘合バスにアンテナを取付け大連放送局は勿論、內地各放送局からの聽度（電界）卽ち擴大率又は感度の試驗及び音響の不整試驗、各受信器の性能測定試驗を行ふ事となり、去る三十日から十日間に亘つて行はれてゐるが、本試驗の如何に依つては據て立案中であつた旅大、金大間における夜間運轉のバス內に裝置して從來の退屈を一掃し、居ながら內外のニユース並に名曲音樂が聽取出來る事とならう

モヒ密賣者の內輪喧嘩

ナイフで重傷

小崗子露天市場內でモヒ密賣を續つて日鮮人が入り亂れて血腥ぐさい殺人未遂事件が起つた、卽ち先月末日午前九時頃露天市場西野雜貨店主西野留一（四九）は同店使用人菅野晴夫（三）と共謀し同じく使用人鮮人李朴春（三）を裏庭に連れ込み、西野はナイフで李の背後を突刺し怯るむ所を菅野が棍棒で毆打全身三個所の深傷並びに打撲傷を負はせ、人事不省に陷らせてゐる所を巡行中の小崗子署巡捕が發見本署に急報したので時を移さず係刑事現場にかけつけ前記兩名を逮捕被害者李は直に平順街番地岐山病院に入院せしめたがいまだに危篤に瀕して……原因は西野が表面雜貨商……かり前記菅野、李を手先……の行商を續けさせてゐる……妻が次第に猛烈なモヒ中毒……り、そのため李が行商金……込み西野に發見されて解雇……さいはれたのに端を發し……始め喧嘩となり爭つたもの……明した
小崗子署では他に大々的モ……團あるものとにらみ極秘裡……を續けてゐたが、取調べ一……なつたので近く送局される……なつた

□殿□樣□商□賣□

產業課の賣出戰術

買主に市長杯

全滿に張られる自動車交通網

八線が一月營業開始

江省ペストの防疫廢止

滿博穴埋案

滿洲車球協會の日程

年末年始の贈答品廢止

小崗子署

賓北齊克兩線本營業開始

大連港のインフレ

滿電協會朝日會

二つの寄附

けふのスポーツ

安樂椅子

新年文藝募集

◇俳句　課題「……」
◇川柳　課題「……」
◇笑話
◇締切　十二月……
◇賞金　いづれも……

滿洲日報社

青空ホテル （56）

近江帆三 / 吉郎二郎 畫

父の登場（二三）

新六氏は全く窮地に陷つてしまつた。話題に事を缺いて、自分や伜のことばかりを問題にしてゐる。興味があるのだらうと思へばそれまでだが、聞かされる方は針の莚に坐らされてゐる氣持である。ナ、子が逃げを打つてゐてくれるのは有難いが、その反對に追撃はいよ〳〵急になつて來た。新六氏はその都度胸を痛めたり溜息をついたりした。

「お孝ちやんが送つていらしたのですつてね？」

「何だかそんな話でしたけど…」

「もう結婚は滅茶々々になつたと仰しやつたつて本當？」

「よく存じませんわ。だけど、どうせ酔つぱらつていらつしやれば……」

「ほんとにさうね。だけど、このひと、とても心配してますのよ」

「噓よ。心配なんかしてやあしないわ」

しかし、そのおかげで新六氏はこの中年の女の正體を見届けることが出來た。さういへば先程からどこか信子孃に似てゐると思つてゐたのである。しかし、よくしやべる、こんなに次から次ぎへと話し込まれたら、逸見課長も定めし忙しいことだらうと同情せずにはゐられない。

やがて、三人はうち揃つて出ていつた。新六氏がホッとして腰をあげた途端、正面の鳩時計がぼッぼッと十二時を啼いた。

圓タクを拾つて大急ぎで歸つてゆくと、室の中に旗島がぼんやりと煙草を吹かしてゐた。

「あゝ、えらい目に逢つた」

と新六氏はドカリと安坐をかいた。

「どこへいつてたんです。默つてかすんぢやうもんだから――」

「なあに、急用が出來てれ。四谷までひと走りいつて來た」

「四谷のどこです」

と、この時始めて信子孃が口を切つた。

「勿論原因はありますのよ」

「はあ……」

「良人と議論なさいましたの」

「掃除の一件ぢやございませんか？」

「あら、よくご存じね」

「そんなことも酔つていつてらしたさうですわ」

「でも、そんなことぐらゐでねえ」

「はあ」

「何かのお序があつたら、あなたからよく仰しやつて下さいませんか？わたくしからもよく申してをりましたつて――。無論逸見はそんなことを胸に持つやうな男ぢやございませんわ」

「はあ」

「何しろ、あなたを那賀さんのあれだといつて欺されてゐたやうな男ですもの。ホホホ」

「ホホホ」

「その節にはダンスのお手ほどきをどうも……」

「あら、いやですわ、奥さま」

「ホホホ」

と一座は急に賑やかになつた。三人寄れば姦しい女たちの中で、この逸見さんの奥さんは自分一人でなほ三人前ぐらゐ活躍してゐる。

「麹町の邊だよ」

「よく一人でゆけましたね」

「自動車でヒユッ飛んで來た。はつはつは」

「國の人ですつて？」

「うむ、ちよつと知合ひの奴がゐてね」

「野球はどうします？」

「ベースか。今日は止さう。ベースよりもずつと面白いものを見て來た」

「何です？」

「何でもないわい。はつはつは」

「へんだなあ。どうも――」

「うむ。へんだよ。ふつふつふ」

と新六氏は獨りで笑つてゐる。

おなじみ 新刊紹介

海戰（福永恭助著）著者得意の海軍物語、ジュットランド大海戰以下九篇を輯む（四六判二七七頁一圓半、東京麹町内幸町海軍研究社）

新天地（十二月號）滿洲國の鐵道政策（星田信隆）滿洲の現實と滿鐵改組問題（諸家）滿鐵改組問題の經過（千田萬三）滿鐵改組問題所見（諸家）等（三〇錢、大連桃源臺其社）

調査月報（十一月號）米第二回收穫豫想高、昭和八年麥實收高、昭和八年春蠶狀況、昭和八年桑田段別等（三〇錢、朝鮮總督府發行、京城朝鮮印刷株式會社發賣）

帝都人氣もの ナンバーワン お化粧振り探訪記！

文並びに演出 大辻司郎

親愛なる淑女諸君！お化粧は上品な方がいゝデス。また美しい方がいゝデス。美しい化粧は現し世の光なりと物の本にも見えてをるデス。イデヤ、これより美人國探訪にと出かけます。

(1) 勝ちやんこと よし町 勝太郎さん

大辻 勝ちやん、今日は忙しくないの？

勝 司郎さんだけは特別よ（と、いとも小聲に仰言つたデス）

大辻 時に、花柳界では、皆さん、どういふ白粉を使つてるンですか、この頃は？

勝 前は盛んに鉛白粉を使ひましたが……

大辻 此頃は殆んど明色白粉だと仰言るンでせう。何處へ行つても置いてありますなアこの白粉が……

勝 いゝんですのよ、本當に明色はいゝんですのよ私の腕をお貸ししますから、試驗して御覽なさい

（へ、へ、モッタイナイ！ 僕はかういふ事をしてもいゝんですか、皆さん？）それ、ネ、今までの白粉には、こんな美しさが見られなかつたでせう。これだけ濃く附いても、この通り、皮膚の下に、血がマザ〳〵と通つてゐるやうな美しさでせう。司郎さん、この頃一寸キレイになつたのね。何かワケがあるの？

大辻 ヒゲ剃りのアトに美顔ユーマーを附けたら、こんなになつちやツた、アラ恥しい……

勝 あの美容液なら、私近頃、水白粉のお化粧下にも、湯上りや洗面の後に使つてますわ。いゝのね。

(2) ソプラノ歌手 田中路子夫人

田中 妾、認識不足でしてね、日本へ歸つたら、さぞ、化粧品に不自由する事だらうと内心思つてましたの、義姉に敎へられて、明色美顔白粉を求めまして驚きましたわ。日本にこんなにいゝ白粉があるンですものね。

大辻 イエス（これは英語デス）舶來品が高いのは、品物にネウチがあるンぢやなくつて、爲替の關係ですね。

田中 私もイエス。維納へ歸る時は明色白粉や美顔コールドクリームを澤山持つて行つて、大いに日本の自慢をしてやりますわ。

(3) われ等のターキー 水ノ江瀧子孃

われらのミス・ターキー、彼女はシンから朗らかなお孃さんであるデス。淺草のとある化粧品屋に小生がゐましたら、われ等のターキー水ノ江君が颯爽と入つて來られたデス。

瀧子 をぢさん、一等いゝ白粉をお吳れよ。

大辻 お孃さんは快活でゐらつしやるデスな。

瀧子 モチよ。

大辻 これが明色白粉と申しましてネーエ、今一番人氣のあるネーエ、白粉なんですがネーエ。

瀧子 よくネエ、ネエといふ人だネーエ。ボクにも移つちやつたネーエ、明色つてどんな色？

大辻 ヘイ。明色と申しましても、決して特別の色白粉ではございません。新しい原料の配合と新しい製造法で、これ迄の白粉に見られない、明朗な近代的な化粧美を現はしますので、特に明色の名があるので、色味は、白色、肌色、濃肌色、淡黄色の四種ございます……ヘイ

瀧子 それならボク知つてるよ。大阪の樂劇部の連中は一人殘らずこれを使つてゐるンだつてね。ボクこれから大いに使つて、再生のターキーの唯一の武器にすらアね。

(4) 蒲田の女王 栗島すみ子さん

中學へ通ふやうなお子さんを持ちながら、斷然人氣の點で壓へてゐる栗島すみ子女史は實際、尊敬に値するデス。獨身だから世間が騷ぐといふんでは本當の藝術家ぢやないデスなア。さて、より道をヌキとして、彼女の朝のお化粧は驚く程僅かな時間にまとまるデス。

『いゝえ、決して職業柄ぢやございません。材料がいゝからなのよ』と、いとも簡單明瞭におつしやつたデス。

栗島 蒲田でも明色美顔黨が多いのよ。斷然人氣を壓へてゐるのよ。

大辻 あの白粉はそんなにいゝですかなア。

栗島 申すまでもない事よ。それにライトの高熱に當つても崩れは少いわね。ホントよ、お世辭ぢやないわよ。宅（池田）など監督の立場から、明色美顔白粉をすゝめてゐますのよ。尊い實驗談よ。

(5) 美容家 吉行あぐりさん

その數サワヤマとある美容師諸君の中に、吉行あぐり君は商賣人らしくない商賣人として僕は認めてをるデス。

大辻 新時代の麗人を作る祕訣は？

吉行 さうねえ、近代的なお化粧には、パッと咲き誇つた花のやうな美しさ、それに聰明な理智的な明るさが欲しいわね。今までの白粉では、それが出來ませんでしたの、明色美顔白粉が出來てから、初めてそれが適へられましたのよ。あの美しいツヤと落ちついた輝き、高價な舶來品にも見られないスバラしい特長ですわ。私こんな方程式を考へましたの。白粉＋ツヤ＋[illegible]＝明色美顔白粉

大辻 いかゞ？

大辻 實は、僕昨年大阪へ行つて、明色白粉の製造を見て來ましたが、なる程あの設備なら、スバラしい白粉が出來る筈と思つたデス。

童話 犬のお母さん

大塚正明

「ねえちやん、おとうさんが大好きよ」

みちちやんはとび起きるとお洋服も着ないでおとうさんの首つたまにぶらさがりました。

「僕はおかあさんが大好きだ」

峰雄ちやんも負けずにおかあさんの首つたまにぶらさがりました。

「みちさん。ほら、ブローがないてるよ。早く犬小屋へ行つてごらん。おなかがすいたんだらう」

おとうさんがさうおつしやると二人は洋服を着ながら、朝日のパツと射してゐるお庭へかけて行きました。おとうさんも後からついてお庭へ降りて來ました。

「昨夜もずい分ないたわねえ、クイーン、クイーンてね。ねえちやんとつてもかわいさうだつた」

「僕とつても心配だつたよ。きつと犬のおかあさんがこひしくなつたんだね」

「おとうさん、犬のおかあさんを呼んでやらうか、ね? 今日——」

みちちやんは後に立つてゐるおとうさんを、丸い目で見上げながら言ひました。

「それもいゝが、さうすると親犬が、せつかくもらつて來たブローを又つれて行つてしまふよ」

「あら、どうして?」

「どうしてつて、そりや生みの親だもの。見なさい、いまにさがしあて、親犬がやつてくるから」

「さうしたらつれて行かれつちやうね?」

「あゝきつとつれて行くよ」

「さう? 困るなあ。僕しばつとこうかな?」

「しばる? ひどいわ、そんなことねえちやんだいてゐるわ」

× × ×

四人揃つて朝ご飯をいたゞいてゐますと、急に聞きなれない犬の鳴き聲が垣根の外から聞えてきました。犬小屋のブローも急にへんな鳴き聲をはり上げました。ワアン、ワアン、ワアン……泣くやうな、お願ひするやうな、合づのやうな鳴き聲です。

「あらブロー、へんな聲を出してゐる」

「犬のおかあさんが來たんぢやないかな?」

おとうさんがさうおつしやると峰雄ちやんはお外へ、みちちやんは犬小屋へかけて行きました。

「あ、こわい。おとうさん、早く來てよー」

みつちやんが大聲で呼びました。犬小屋の前には足やからだが土によごれた犬のおかあさんが、ぐいと首を持上げてこちらをにらんでゐました。出てゐらつしやつたおとうさんが、よしよしと手をあげますと、犬のおかあさんは何かうれしいと見えて、尾をふり立てながらぐるぐるかけまわりました。峰雄ちやんもおかあさんもそばへ來ました。ブローは何かをおいしさうにたべてゐます。

「おとうさん、ねえちやんが來た時犬のおかあさんはお口から黒い物をはいたのよ。ブローはそれをなめてたべてゐるのよ。とつてもきたない——」

「えらいものだなあ、犬のおかあさんは。あんな遠い所から來た」

おとうさんはよごれた犬のからだを何べんもなでてやりました。

ハテナ?

コノタクサンノカホノナカニオナジヒトガ二タリヰマス。

一(ヒト)リヰルノハアカチヤンデゴザル

二(ニ)ヒキヰルノハコネコデゴザル

三(サン)ダイアルノハジドウシヤデゴザル

四(シ)ホンアルノハエンピツデゴザル

五(ゴ)マイアルノハヱハガキデゴザル

六(ロツ)パヰルノハスズメデゴザル

七(シチ)サツアルノハヱホンデゴザル

八(ハ)ツソクアルノハオクツデゴザル

九(ク)ハイアルノハコーヒーデゴザル

十(ジフ)デ十(ジフ)時(ジ)ガナリマシタ。ソレデハサヨナラオヤスミナサイ

こどもの考へ物 第七十五回

見たことのある機械ですネ 思ひ出して下さい

機械には間違ひがないのだし、何處かで見たことも確にあるものだが? えゝと、何だつたつけな、皆さん忘れてしまつたのでせう、大すきなものなのですが、何でせう。わかつた方は來る十二月十日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてお答へ下さい、正解者には二十名だけにきれいなご褒美を差し上げます。

第七十三回の答 馬さんでした

第七十三回の考へ物の答は馬です いつも皆さんはよく當てますネ、こんども當つた方が大へん多いので籤を引いて次の二十名の方々にご褒美をあげることにしました。大連の方は新聞社からあげる通知のハガキと引かへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方々には郵便でお送りしますから樂しみに待つていらつしやい。

當籤者

▲大連霜野良之助▲同西森大吉▲同今村義信▲同中野高子▲同山本明▲同田中一二三▲同桐畑千代子▲同野間口民子▲同上村格▲同竹内平男▲同森川光惠▲同田中孝一▲新京石亀せい子▲公主嶺村越昌子▲奉天大辻寛▲撫順櫻庭幸雄▲蘇家屯實蔵壽雄▲海城八木田升一▲瓦房店安生百合子▲旅順富山友正

① ニイサンガイマオホキナノヲコシラヘルゾ
② ヤーステキダ
③ シャボンダマガ アリヤタイヘンダ ボクノクビヲツツンデシマツタ

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

【注意】今日から十二の巻に入りませう。一つ一つたしかに、自信をつけてやつた所も、これからの箇所も一層勉強して下さい「力」が凡てを解決してくれます。

(一) 次の御製の意味をわかりやすくいへ。

(1)ほどほどに心を盡す國民のちからぞやがてわが力なる。

(2)淺緑すみわたりたる大空のひろきをおのが心ともがな。

(3)波風のしづかなる日も船人はかぢに心をゆるさざらなん

(二) 次の文をわかりやすく書きなさい

(1)折から日は地平線に近づきて、雲も水も金色に輝き、美しさいふばかりなし。

(2)なぎさに立ちて昔をしのべば、そのかみ此處にいかめしく向ひあひけん英雄の姿、今まのあたり見るが如く、打寄する波の音さへ何事をか語るに似たり。

(3)人智の進歩と印刷術の發達とは、何時までも、單純にして遊戯的なるものに滿足すべくもあらず、やがてあまねく内外の事件を報ずると共に時事を論ずる新聞起りて、こゝに始めて我等の生活に切實なる關係を有するものとはなりぬ。

(三) (1)次の括弧内の語の中からその上の語と最も關係の深い語を三つだけ選び出してその右側に線を引きなさい。

(例)人（頭、着物、身體、金錢、精神）

試驗（問題、受驗、朗讀、鉛筆、合格）

(イ)生物（植物、鑛物、人類、動物、研究）

(ロ)進化（生物、體形、變異、構造、遺傳）

(ハ)博物（動物學、植物學、物理學、生理學、天文學）

(2)次のよく似た文字はどうちがひますか、よみでも、わけでも、使ひどころでもよろしい。

(1)動—働 (2)樂—藥 (3)歳—藏 (4)苦—若 (5)探—深 (6)歎—歡 (7)眼—眠 (8)決—快 (9)詩—時—待—持 (10)檢—儉—險—驗

(四) 次の文の片假名を漢字に直しなさい。

(1)ニチジヤウセイクワツはキハめてキソクタダしく、マイニチきめたジカンワリドホリシゴトをススめてたとへ十分十五分のヨカでもムエキにツヒやすことはない。

(2)チンジユンな彼はチヽのメイにシタがつてベンキヨウしてゐたがイツのマにかスキなハクブツガクのケンキユウが主となつた。

(3)テウシのよいミカントリウタがすみきつたバンシウのクウキをふるはしてドコからともなくのどかにキコえてくる

(五) 次の言葉をつかつて短文を作りなさい。

(イ)さながら (ロ)趣味 (ハ)あまねく (ニ)のどか (ホ)むしろ

前週の答 算術

(1) 210錢÷(1+0.2)=200錢……原價 2×錢×(1−0.1)=180錢……賣價 答 1圓80錢に賣ればよい。

(2) 14圓×2=28圓……二反の原價 32.2圓−28圓=4.2圓……利益金 4.2圓÷28圓=0.15 答 1割5分の儲になります。

(3) 2,000圓×2.9/1000÷2 答 1期に [illegible]圓です。

(4) (50圓×0.08)÷(2圓) [illegible] =0.0650 (100圓×0.05)÷(3圓 [illegible]) =0.0[illegible]3 0.065−0.0[illegible]3 =0.0[illegible]12 答 [illegible]の方が1分[illegible]厘2毛ほど利廻が得です。

(5) 24人÷60人=0.4 50人−30人=20人 20人÷50人=0.4 答 どちらも4割で同じです

ドドン！北滿の野に 木靈する獵銃の音

白雪を蹴たて、密林の中に 勇ましい『狩り』の話

北滿洲に皆さんが地圖を見るとすぐわかるやうに、南滿洲の倍以上も廣いのですが、人間の數は少なくて、大部分は今でも昔ながらの密林です。ですから虎、熊、猪、鹿、ノロ、狼などが澤山住んでゐます。これ等の動物は、毛皮が敷物や外套になるので、獵人は毎年冬になると鐵砲と辨當を持つて、山の奥に入つては捕へて來ます。こんな恐ろしい動物などうして捕へるのか、獵人から聞いた話をいたしませう。

新らしい毛の揃ふ冬が來て狩に出る

一番恐ろしい虎狩り

＝動物＝は皆、秋になると古い毛が脱けて、新しい毛が生えるので、十一月頃からでないと獵人は捕らないものです。動物の方でもよく知つてゐて、夏は人家の近くまで平氣で出て來ます。ハルビンから浦鹽に行く途中の東部線といふ地方では、時々熊が町の中に出て來て人々を驚かしますが冬になると皆山に歸つて冬籠りをします。この時には非常に人間を恐れて、うつかり知らずに近よると、人間が殺されることがあります。「虎は死しても皮殘す」といはれてゐる通りその毛皮が非常に高いものですから、獵人も虎を探して歩きますが、一番危險な動物ですから、獵人は虎を見つけたときには、先き廻りして物陰にかくれて待つてゐるのです。若しやりそこれたら必ず飛びかかつて來るので鐵砲も必ず連發銃を使ひます

入口に頑張つて子を護る親熊

人の氣配を感づくと立上り襲つてくる

＝虎に＝次で恐ろしいのは熊ですが、熊は動物中一番悧巧であるだけに却て人間には都合がよいのです。つまり人間の考へるやうなことを熊も考へてゐるのですが、人間から見ればごく幼稚な考へなのです。熊は夏は家族揃つて餌をあさつて歩きますが、冬の初めになると一生懸命で家を作ります。家といつても穴を掘つてその入口のところを木で圍んで、外部から見えないやうに、また雪が吹き込まないやうに作つて置きます。獵人は秋から冬の初めにかけてこの＝熊の＝家を探して置いて、冬熊の一家族が家の中に落着いた頃に、出掛けて行きます。冬でも熊の家族は外出してゐることもありますが、家にゐる時には獵人が見ると一目で判るのです。それは穴の中に子供を入れてお父さんは半分體を外に出して敵を警戒してゐるのですが、足が寒いので足の平を口にあてて「あア、あア」と息をふきかけてゐます。その聲が聞え、また白い息がかすかにあがつてゐるのですぐわかるわけです。獵人が近づくといきなり立ちあがつて、＝兩手＝をひろげて襲ひかゝらうとしますから、そのところをズドーンと一發打ちはなつのです。冬とつた熊は毛皮もよいし肉もうまいので、大きいものになると、一頭が二百圓から三百圓位に賣れます。熊の一番多いのは東部線の附近です。今度日本人が移民したチヤムス農場から八虎力川を七、八里上流に行くと、密林があつて、こゝは虎や熊の非常に多いところです。

自動車上から「勇壯な狼狩り」

喰殺される事もある

＝狼の＝獵は一番勇壯なもので、近頃は日本人も時々出掛けて行きます。昔は狼や狐をとるには、肉の中にストリキニーネといふ毒藥を入れて、こつそり置いて來たものですが、近頃はそんな手ぬるいことはしません。狼の多く住んでゐるのは索倫地方とか、ハイラル、マンチユリー方面とか半分は砂漠のやうな草原で平な土地ですから、獵人は自動車で追ひかけます。狼は群をなして逃げますが、自動車が全速力を出すと狼に追ひつきますから、車の上から＝鐵砲＝で打つのです。自動車は普通の自動車のガラスを全部とつてしまつたもので、三人位が撃つのですから、狼はゴロゴロ斃れます。それを後で拾ひ集めるのですが、狼は猛獸の中でも一番荒い動物ですから、自動車に追はれて逃げながら少しスキがあると、自動車の中に飛び込んで來て人間を喰ひ殺さうとします。昨年の冬もロシア人が一人嚙み殺されました。ノロや山七面鳥の群を見つけた時も自動車で追ひ掛けますが、蒙古の狩りほど愉快なものはありません。

鹽をなめに鹿が來る

＝それ＝から面白いのは鹿です。北滿の鹿は二種類あつて體の大きい角のギザギザした普通の鹿は、到るところに群をなしてゐますが、これは獵人は捕りません。俗に袋角といふ鹿は角が支那の高い藥になるのです。冬の初め頃とつた鹿は一頭五百圓もしますそれであまりとるので今では數も少くなつてゐますが、烏吉密（ウキツミツ）といふ地方では、毎年數十頭とります。この鹿は非常に臆病で、目も鼻も耳も鋭敏ですから、獵人が近づくことはとても容易でありません。そこで獵人はお百姓が＝土地＝を持つてゐるやうに、何處から何處までが誰の持ち場といふことをきめて置いて、自分の土地には毎年夏でも冬でも鹽を持つて行つて撒いて來ます。鹿は夜、人間も猛獸も出ない頃を見はからつて、こつそり出て來て鹽をなめては歸ります。冬の初め頃、鹿の値が高い時分になると、獵人は鹽を撒いた場所近くの物陰にひそんで、鐵砲をかゝへたまゝいきを殺して待つてゐます。晝の中から待つてゐるのですが、煙草でも吸へばその夜は決して鹿が近づいて來ません。かうして一冬に二頭もされゝばよい方です。

恐い馬賊

猛獸よりも

＝獵人＝はどんな猛獸にあつても恐れませんが、馬賊だけは恐れます。馬賊は獵人を見つけると鐵砲も獲物も金も服までもさつて、おまけに人質にしてつれて行きます。滿洲事變以來賊も悧巧になつて、あまり人質はさらなくなりました。それは人質をさつたり金や服をとり上げたりすると、日本軍や滿洲國軍にそれが知れてすぐ討伐されるからです。それで近頃東部線の馬賊は獵人を見つけると＝税金＝だといつて一割をとり上げます。キジを百羽とれば十羽、虎や熊のやうな大きいものはその値段の一割を金で拂へといひます。獵人は命をとられるよりはよいから默つて拂つて來ますが、その代りこの税金を拂ふと他の馬賊につれて行かれないやうに保護してくれます。それでも一日山を歩いてゐると、二組や三組の馬賊に出あつて獲物の二三割はとられてしまふことがよくあります

しやしんせつめい

(上)ウオツーとうなつた、ものすごいトラさん(中)エンコしたクマさん(下)やさしいシカさんのあつまり。

一家こぞつてオホ・ホ・ホ・ホ　初春ことほぐ榮養お料理

新年料理お獻立

帝國料理學會々長
文部省生活改善會講師　勝見新太郎

- **御刺身**　鯛の船盛り作り、小波獨活、白波大根、さより清海作り、常盤海苔、山葵
- **御口取（籠盛）**　鳴戸蒲鉾、伊勢海老の寶蒸、玉川やうかん、富貴寄玉子、曉の長芋
- **御甘煮**　若百合根の丸煮、巻竹の子、ふくめ松露、いんげん、やきめあなご
- **三種肴**　南天すずこ、長老木、のし鳥、木の芽燒
- **御燒物**　鯛の高砂燒、なるみ生姜
- **小丼（酢物）**　八重垣漬、梅花酢
- **御吸物**　鶴の目玉子、亀甲眞蒸、鶯菜木の芽
- **祝重**　ごまめ、よろ昆布、煮豆、數の子、七福漬

是非お試み下さい

暮れやすいは歲の暮です。師走の聲を聞いただけでも心忙しく、街の灯のまたゝきもスピードを加へたやうに感じられます。にがり勝ちな家庭の主婦のお顏も、來ん初春の朗かさを思へばひとりでに綻びる筈です。けふは春を壽ぐに相應しく且つ榮養を主とした新年料理を、目下滯連中の帝國料理學會々長勝見新太郎氏を煩はして作つて頂きました。ご參考までにお傳へいたしませう。（お料理はいづれも五人前です）

御刺身

材料　百匁位の鯛五枚、獨活百匁、大根中一本、さより二百匁、山葵中一本、醬油五勺、味の素小盃一杯、松の枝五本、淺草海苔十枚

鯛を良く水洗ひして脊の身を梳き取り、これを刺身に作り鯛を船形になし皿に盛り、その鯛の周圍に白波大根を（ごく細くかずらに剝みたる物）なほ其の上に小波獨活（より獨活の長き物）さよりは三枚にして骨を梳き取り細く絲の巣の如く作り、鯛の前側に波の形に盛る、常盤海苔は淺草海苔を良く炙つて粉にしてこれを水で堅く煮て用ゐ次に山葵さよりは刺身の皿の側へ體裁良くつけて用ひます

口取り

材料　蒲鉾の上擂身百五十匁、伊勢海老中五個、寒天二本、青海苔粉大盃一杯、白砂糖七十匁白さらし餡五十匁、玉子十二個三ッ葉十本位、長芋二百匁、本紅、酢、鹽共に少々、味の素小匙二杯

一、鳴戸蒲鉾　蒲鉾の擂り身を一割だけ擂鉢に入れ、この中に玉子の白味一個分と片栗粉大匙一杯を加へ良く擂り混ぜ、これに青素を加へ青く色をつけ、これを板に薄く延ばし、蒸器にて五分位蒸し、取り出して水に漬け、後水氣を良く取り刺身庖丁にて梳き取り、これを簾にのせこれに蒲鉾の擂身を薄く平に塗りつけ小口より巻きしめその上より布巾にて包み、又簾にて良く巻きしめ蒸器にて十分間位蒸して取り出し良く冷して八分位の厚さに切つて用ひます。

二、伊勢海老寶蒸　伊勢海老を丸の儘十五分位蒸器にて蒸し、後良く冷し皮を腹部より切取つて身を取り、これを小さく刻みこの海老の中へ松の實を少々刻み入れ、玉子の白味二個分と三ッ葉を刻み入れて良く混ぜ合せ、味の素を少々加へ、また良く混ぜ、もとの海老の殼に入れ又五分位蒸して取り出して用ひます。

三、玉川やうかん　寒天を水に二本漬け置き水五合と共に火に掛けて溶けた時砂糖を加へ、又一寸煮て一度漉し、もとの鍋に入れてこれに白晒餡を水にて固くねりこれを寒天に入れ別に青海苔の粉を寒天の一割ほど加へ良く練り、前の白く煮たる寒天を箱に流し込み良く固めて適宜に切つて用ひます。

四、富貴寄玉子　新鮮な玉子を十個水より固く茹で、白味と黄味と分け、兩方とも裏漉しして白味の方へ砂糖を漉して大匙に二杯半入れ、これを鍋に入れ、食鹽少々を加へ良く混ぜ合せなほ燒酎を小盃一杯加へ火に掛け一寸炒り、取り出して良く冷して置きます、次に黄味は砂糖を大匙二杯と食鹽少々と加へ良く混ぜ合せ、これを押しワクに薄板を敷き黄味を平になし、次に白味を又黄味と重ね入れ一寸壓をなし、これを蒸器にて十二三分間蒸して取り出し、よく冷して長さ二寸、幅五分位に切つて用ひます。

五、曉の長芋　長芋を一寸位に切り丸く剝ぎ、水の中へ鹽と燒明礬少々を加へ二十分位漬けて置き、後これを水にてよく洗ひ一寸鹽を塗つて置いて柔かく茹で、これを鍋に入れて水少々と本紅と酢を少量加へ一寸沸かしこれに茹でたる芋を入れ薄桃色に色をつけ、別に鍋の中へ砂糖蜜を二合と味淋五勺を加へ、火に掛けて沸いた時芋を加へよく煮て冷して用ひます。

御甘煮

材料　百合根小十個、竹の子二百匁、松露五十匁、隱元二十匁、穴子百匁、寶味淋五勺、白砂糖五十匁、味の素大匙一杯、醬油五勺、白胡麻小盃五杯、鰹の煮出汁一合、燒酎小盃一杯、炭酸曹達少々、出汁昆布二十匁

一、若百合根の丸煮　百合根を水で良く洗ひ、鹽水に五分位漬けて置き、これを鍋に入れ燒酎を加へ水を入れて柔く茹取出して水にて洗ひ次に鍋の中に味淋と砂糖及水少々を加へて百合根を入れてよく煮て用ひます（注意＝鹽を少々加へて煮るのも良い）

二、巻竹の子　竹の子を二寸位の長さに切り天地を取り小口よりかつらの如く剝ぎ、これに片栗を薄く振り、また小口より巻しめ、竹の皮にて括り、鍋の中に鰹の出汁五勺及醬油小盃二杯加へ火に掛け良く沸し、これに竹の子を入れよく煮て竹の皮を取り、小口より五分位に切つて用ひます。

三、ふくめ松露　生松露を溫水にてよく洗ひ柔かく茹で別に鍋の中へ鰹の出汁一合と醬油少々、味の素大匙半杯を入れて火に掛け、この中に出汁昆布を少々加へて松露を入れ、よく煮て味を含ませ火より下し其の儘二十分位漬けて置いて用ひます。

四、いんげん　隱元をよく洗ひ兩端を切り一寸茹で水に漬け置き（注意＝茹でる時に燒明礬を少々入るべし）次に鰹の出汁を鍋に入れ醬油少々と味の素大匙半杯及び鹽少々味淋少量を加へ一寸沸かし、この中へ前の隱元を漬け込み置く事二十分位後用ひます。

五、燒目あなご　あなごを開き白燒となし一寸位に切りこれを鍋に入れ味淋小盃五杯と醬油二杯、砂糖小盃三杯を火に掛けよく沸し、あなごを加へこの中へ胡麻を擂り入れてよく煮詰めて用ひます、以上の百合根、巻竹の子、ふくめ松露、隱元を甘煮丼に入れその上に燒目あなごをつけて用ひます。

三種肴

材料　南天の枝五ッ、長老木十五ケ、鶉の抱身百匁、木の芽小盃一杯、すずこ小盃二杯半位、醬油小盃三杯、味淋一杯

先づ八寸様の小角御膳に南天の葉を敷き此にすずこを置き、その脇に長老木を置き、その又脇にのしとりを置き用ひます。

一、のしとり　鶉の身の良いところを味淋と醬油を混ぜて漬けて置き、二十分後に水氣を拭き取つてよく燒き、別に木の芽を小さく刻み前の濃醬油に加へ、これをとりに掛けてつけ燒と致します、なほこれを一寸四角に切つて附け合せます（注意＝鶉の代用としては鴨又は鶏の笹身にてもよろしい）長老木は漬けたる物を用ひます。

御燒物

材料　小鯛七寸位の物五枚、はじかめ生姜（もやし）十本、りゆうひ昆布一尺位、酢五勺、鹽小盃五杯、酒小盃五杯、寶味淋五勺、砂糖小盃十杯

小鯛を水にてよく洗ひ隱し腹になし鹽をまぶし三十分位の後良く洗ひ水氣を拭き取り、次に酒を鯛全體に良く振り掛けまた一時間位置き、後鹽を振りかけて炮烙に鹽を入れ火に掛け其の上に鯛を並べ、またその上に炮烙を乘せ蒸燒にして用ひます、次になるみ生姜を良く洗ひ皮を剝き穗先を薄く中に切り、これをさつと茹で、引上げて鹽を振り掛け五分位の後、生の中へ漬込んで置いて附け合します、次にかんろう昆布は乾物店より求め小口より巻き糸にて堅くくゝり鍋の中へ入れ、味淋と砂糖を加へ一寸煮て火より下し、よく冷し一日位漬て置いて後水氣と糸を取り、これを二分位の厚さに小口より切つて附け合せにします、そして以上の物が出來ましたら皿に杉の葉を敷き、これに鯛を載せ其の前に生姜と昆布を附け合せるのです。

小丼　酢の物

材料　數の子一合、木くらげ五ケ、海老五十匁、白板昆布二十匁、柚子五ッ、白砂糖小盃五杯、梅肉小盃一杯、酢三勺、味ノ素小匙一杯、醬油小盃一杯

數の子を洗つて小口より薄く切り鹽水に十分位漬け、水洗ひして置きます、次にきくらげは柔かく茹で糸に切り、海老は鹽水で茹で皮を剝き小口より切ります、別に丼の中へ白板昆布を一寸位に切つて入れ、これに砂糖、醬油、味の素と酢少々を加へて良く混ぜた中へ柚子を少々刻み入れ輕い壓をして三十分位置きます、次に柚子を七分三分に横に切り柚子の種を取り出し、この中へ前の漬けたる物を入れ五ッ用意なし柚子の蓋には杉の板を四角に切り松形の燒印を押し、別に梅肉と前の漬汁を混ぜて猪口に漬けて用ひます。

御吸物

材料　鶉の卵五個、鯛の擂身二十五匁、食紅少々、海老擂身二十五匁、卵の白味二個分、味の素小匙一杯、葛粉小匙二杯半、鹽少量、鰹の出汁二合五勺、鶯菜少々、木の芽少々

一、鶴の目玉子　先づ鶉の玉子を茹でゝ皮をむき食紅を溫湯にて溶きこれに入れて玉子を一寸色づけ、取り出して水氣をよく取り、別に鯛の身をよく擂り鹽と味淋を加へて味をつけ玉子になほ味の素を少々入れてよく擂り混ぜ、これを前の鶉の玉子に薄く塗りつけこれを胡麻油にて揚げ、後水にて一寸油ぬきをなしよく水氣を取つて輪切に切つて用ひます。

二、亀甲眞蒸　海老を生にて良く擂り潰し、これに味淋と鹽を少々加へて味をつけ、なほこの中へ玉子の白味を少々づゝ加へてよく擂り伸ばし亀形の輪に入れ蒸燒にし別に亀甲形に燒目をつけて用ひます、鶯菜は一寸茹て葉先を少々づゝ入れて次に木の芽も加へ別に御吸物を入れて用ひます。

祝重

材料　ごまめ一合、煮昆布百匁、黒豆二合、數の子百匁、土生姜二個、鰹節三十匁、白砂糖五十匁、味淋一合、醬油五勺、酒三勺、鰹の出汁三合、煮昆布百匁、水飴盃二杯

一、ごまめ　ごまめを一寸炒つて鍋に醬油小盃三杯、砂糖小盃三杯、味淋小盃一杯入れて火に掛け沸騰した時ごまめを入れてよく煮詰めて用ひます。

二、よろ昆布　煮昆布を五寸位に切り柔かく茹で取り出しこれを小口より細く刻み鍋に入れ生姜の擂り汁を小盃一杯と醬油小盃三杯、砂糖三杯をよく煮詰めて用ひます。

三、黒豆　黒豆を一夜水に漬け、帶朝米の白水五合と藁灰の灰汁水と共に鍋に入れて柔かく茹で又水を取替へる事三四回、鍋に入れ鰹の出汁と砂糖を加へて良く煮て汁が半ば煮詰つた時この中へ醬油を少々づゝ入れて水飴を加へよく煮詰めて用ひます。

四、數の子　數の子は鹽水でよく洗ひ適宜にむしり、これを又水に一時間ほど漬けて置きます、別に丼の中に醬油と燒酎及砂糖を少々加へ鰹の薄く削つたものを少々加へ火に掛けよく沸し冷めたとき數の子を入れてよく漬け込んで用ひます。

五、七福漬　蕪百匁、人參百匁、大根百匁、獨活百匁、南瓜百匁、出汁昆布五十匁、白ざらめ五十匁、鹽一合、銀杏一合、きくらげ一合、酢五合、鯛の身百匁

先づ蕪、大根、人參は皮を剝き小角に切り鹽でよく揉み後水でよく洗ひ、別に鯛の身はあられに切り胡麻油でカラリと揚げそれを器に入れ、この中へ酢と砂糖昆布を二寸位に切り入れ鹽を少々加へ、これに前の野菜を全部入れ、なほ最後にきくらげを柔く茹でて加へます（適宜に切りたる物）なほ銀杏は一寸茹でて四ッ切りにして加へ南瓜は小口より薄く刻み鹽にて揉み一寸水にて洗ひ七福漬を重に入れ、その上より振り掛けます、祝重はごまめと昆布と煮豆の三種を盛分けて一重となし、數の子を一重七福漬を一重として新年の御祝に用ひます。

寫眞說明

▼……向つて左上から……籠盛りのお口取、三種肴、鯛のお燒物
▼……向つて右上から……鯛のお刺身と庖丁の冴えを見せる料理場

ナンセンス物語　ルーブル紙幣

木暮白花 作　武田伊知呂 画

一

ブローカーの澤村駒三は、近頃の不景氣で千三ツ仕事が頓と當らず、すつかり弱つてしまつた。

「あゝ、何かひとつ、ホームランヒットのやうな大きなやつを打ち當てたいものだ。斯う不景氣ぢやコーヒー一杯飲むことも出來やしない」

と欠伸まじりに歎息を洩らしたが、幾ら歎息を洩らしたつて、金が天井から降つて來るものでもなければ、疊の敷き合せから湧いて來る譯でもなかつた。

「あなた、寢ころんで講談ばかり讀んでゐないで、少しは正氣づかなくちや駄目ぢやありませんか、月末も近づいてゐるといふのに、一體どうする積りなんです」

「それは俺だつて考へてゐるさ」

「考へてばかりゐたつて、お金がちやんと手に這入つて來なくちや何んにもならないぢやありませんか、本當にブローカー商賣もいゝ時はいゝけれど、惡いと來たらまるであがきがつかないのだから遣り切れない、何時まで斯んな事をしてゐたつて仕方がない、何か堅氣の商賣とか、勤めとか、矢張り資本に働かなくつちや、人間うそですわ」

「そりや、お前のやうな只だ喰つて生きてればいゝといふ人間は、さう思ふかも知らないが、諺にもあるぢやないか、果報は寢て待て浮世の馬鹿は起きて働くつてな、俺なんか、朝早くから夜おそくまでせつせと働き通して、僅か一圓五十錢か二圓を貰つて滿足してゐるやうな者の眞似は、到底出來つこないんだ、どうせ人間は浮世五十年だ、月に五六十圓の月給をもらつて、テク／＼腰辨で通つても五十年の壽命なら、自動車を買ふのを下駄一足買ふ位の氣持の豪奢な生活をしても、矢張り壽命は五十年だとして見りや、男と生れたからにや、その豪奢な生活をして見たからうぢやないか」

「そりや私だつて、娘時代はお父つさんが請負師で相當やつて居り、隨分贅澤もして來たのだから、斯んなケチ／＼した氣持にはなりたくないわ。だけど米屋も酒屋も止まつちやつたし、質ぐさだつてもう大抵洗ひざらひだし、これぢや大きなことより切めて月々の諸支拂ひだけが、どうにか出來たらといふ氣にもならうぢやありませんか」

「いや、それも實際の無理のない話だ、つまり俺の仕事が近頃うまく行かないから、派手好きなお前までを、そんなみじめな世帶女房に窶れさしてしまつたんだ、濟まないと思つてる」

「何も夫婦の間で、濟むも濟まないもないけれど、本當に一つ何か當つてくれるといゝわね」

「今に何か當てるよ、俺にも或るひとつの確信があるんだから、そいつがうまく行きやア、なアに、自動車を下駄と思つて買ふほどには行かなくとも、斯んな不景氣な家は早速引き拂つて、明るい瀟洒な文化住宅にでも引越し、女中の一人もおいて、お前には日髪日化粧位のことはさせてやるさ」

「本當に早くさうなつてくれるといゝわね、あなた大丈夫、そんなに確信があるの？」

「先づ大丈夫と思つていゝ事なんだ、詳しく話をすると、兎角女といふものは氣が小さいから、何だ彼だと冗言がいひたくなるから、今は一切話をしないけれど、先づ惡く行つても五千圓、うまく行きやア一萬圓は手に這入るんだ」

「まあ一萬圓ですつて？、いゝわ、そしたら私文化住宅でも、是非湯殿付の家へ越してもらひたいわ、もう午後の三四時にはお湯に這入つて、身じまひを濟まして、あなたが歸つて來るのを待つてゐるやうにしたいわ」

「おい／＼湯殿はいゝけれど、女が初湯に這入る奴があるかい」

「いゝぢやないの、私が這入つてそのあと婢やを入れて、サッとぬいちまつて、あなたには、改めて立てゝおくわ、ね、それならいゝでせう」

「まあ、それはどうでもいゝとして、湯上りのお化粧をして、小料理でも取つて、晩酌の支度をしてお前が待つてゐるのに……」

「だからさ、あなたは當分は圓タクで我慢をして、自動車でお歸りになるのよ、運轉手がお歸りッて玄關へ來て聲を掛けるでせう、私が女中部屋の方へ、婢や旦那様のお歸りよーと聲を掛けておいて玄關へお出迎へするでせう、婢やがお勝手から襷をはづしながら驅け出して來て、玄關の板の間へ畏まるでせう…」

「お歸り遊ばせの挨拶を、俺が反り身になつて、頤で受けて、お札で輕くなつてゐる純をお前に渡す譯か、それもよからう、だが、さうなると考へておいて貰はなければならないことがある、と云ふのはお前が折角晩酌の支度をして待つてゐても、時には待ちぼうけを喰はさなければならないやうなことがある、そんな時お前は良妻賢女振りを發揮して、決して癇癪を起したり、やきもちを燒いたりしないこと、どうだ、それだけのことは出來るだらうな」

「それは又、どうしてなの？」

「どうしてつて、お前、ブローカーも取引が廣くなつて見ろ、隨分待合や料理屋への附合が斷り切れなくなる、いや、それが大きな取引となる場合が多いのだから、それに對してお前が、やれ今日はどうして遲くなつたとか、若い美しい藝者があなたをつかまへて離さなかつたのだらうとか、一々詮議立てをされると、安心して大きな商賣の取引が出來なくなる」

「そりや私だつて請負師の娘ですもの、そんな野暮なことは言はないわよ、だけど、あなただけいゝことをして、私は待ちぼうけを喰はされるんぢやつまらないわね、いゝわ、そんな時私は、今夜は遲いと思つたら、活動へ行くなり、自動車を飛ばして帝劇へ行くなりつまらなくないやうな行動を執るわ」

「おい／＼、そんな勝手な眞似をされて、俺が歸つた時、今度はお前に待ちぼうけを喰はされるやうなことがあつちや、眼も當てられないぢやないか」

「だから、そんな事があつたら、婢やに行先を訊いて、あなたも迎ひかた／＼やつて來るといゝわ、そして歸りは何所かレストランで輕い夜食を取つて、自動車でブーと歸つて來ればいゝんだわ」

「こいつ、何所まで蟲のいゝ女だらう」

「だつて、斯んなに苦勞させられるんですもの、よくなつたら、それ位の事するのは當り前よ、私、あんたが甚助を起さなきや、拳闘を見に行つたり、野球見物に出掛けたりするわ」

「チエッ、勝手にしやがれ、俺は氣に入つた藝者を落籍せて第二號にすらア」

「私だつて負けてはゐないわ、拳闘選手か活動のスターをウンとヒイキにするわ」

「まあいゝや、さうして取らぬ狸の皮算用をしてゐる間が人間は罪がなくつていゝんだ、本當に大きく何かゞ當つて、本當にさういふことが出來るやうになり、本當にやつたとして見ろ、一大家庭爭議が起つて來る」

「あら、つまらないの、取らぬ狸の皮算用なの」

「時に一圓か二圓になる質ぐさはないかね」

「どうするの？」

「一寸考へついてることがあるんだ、うまく行くと二三十圓になるんだ」

「あんたのうまく行くとは、うまく行つた例がないんだから心細いつちやありやしない」

「まあいゝから、あるなら早く出してくれ」

女房が外出の爲めの取つときの一本の帶を新聞包みにして持ち出した駒三は、お馴染の伊勢屋へ行つて、喧嘩腰になつて一圓五十錢を手に入れた。

二

それから新宿の裏通を急いだ駒三は、いつか見つけておいた古道具屋へ行つて、ルーブル紙幣を三枚ばかり手に入れた。一枚二十錢の三六十錢だから、まだ蟇口には九十錢殘つてゐる。彼れはカフエーすゞらんへ這入つて、鷹揚にかまへ込んでコーヒーとケーキを取つた。それを飲み且つ喰ひながら彼れは徐ろに考へたことである。

最近地所の話で一寸懇意になつた男がある、その男は相當に小金を持つてゐる。少くとも五六千圓は確に持つてゐる。これを引つ張り出す方法であるが、今度滿洲國が建設されたので、在滿白系露人も、白系露人だけで滿洲國のやうに、シベリアの一部新國家を建設しようといふ運動が盛んになつてゐる、といふことは屢々新聞に報道されたので、少しく滿洲國の狀況に意を留めてゐる者ならば、この新聞記事は讀んでゐる筈である。そこで、此の白系露人とルーブル紙幣だ、どう結びつけたら、慾の深い小金持をルーブル紙幣で釣ることが出來るか——駒三はブローカーをやるだけあつて、頭は惡くない。

「よし、一番今晩寢て考へてやらう」

彼れは思はず呟いてニッコリした。

「おや、寢てから何をなさらうと仰しやるの」

女給が聽き咎めて、變な方へわざと持つて行くやうな言ひ方をした。

「ウン、半歳ばかり前に貰つた女房のことを考へてるのさ」

「どうも御馳走様」

と馬鹿に愛嬌を振りまくので、駒三はチップをおかないで出て來るのは、よほどの勇氣を鼓舞しなければならなかつたが、併し明日の電車賃のことが苦勞になつてゐるので、思ひ切つてノー・チップで出て來た、後からコップの水を彼の草履の踵にかゝるほどにパッと撒いた者が、その女給であることはよく分つてゐるが、彼れはそれを振り返ることさへ出來なかつた。

家へ歸つてそつと机の引出しへルーブル紙幣を入れておいて、彼れは直ぐ寢床へ這入つて、詐欺の新手の考案に取りかゝつたことは云ふまでもない。

翌朝彼れはそのルーブル紙幣二枚だけを持つて出掛けた。あとの一枚は又誰か他の者に相談を持ちかける時の用意に殘しておいたのである。そんな事は一切知らない妻君、駒三が昨夜質ぐさを持つて出て、やがて歸つて來てから机の前でゴト／＼やつてゐたのを思ひ出し、そつと抽斗を開けて見た。

「あら、二十圓のお札だわ、あのね！それならそれと、さう言つて私を喜ばしてくれるといゝ、だけど、あの人にしては、二十圓やそこら儲けたやうにも思つてゐないから、これを机の抽斗なんかへ入れつ放しにしといたんだわ、矢張りあの人、腕があるのね！だから一萬圓の口だつて屹度成功するんだわ。あ、嬉しい、あ、忝けない、勿體ない、二十圓札様々」

妻君は二十圓札を推し戴いて、又机の抽斗へ入れておいた。

丁度そこへ近江蚊帳の行商が來た。

「奥さん蚊帳を買つて下さい。近江本場の本麻です、八疊釣り十三圓のを六圓五十錢で叩き賣つてるんです、まあ物を御覽になつて下さい斯んなゴリ／＼の本麻です」

近江商人らしい物の言ひ方である。試みに手に取つて見ると成るほど本麻の上等蚊帳である。妻君は咽喉から手の出るほどに欲しい。まゝよ、あの二十圓で買つておきませう。

「ぢや一つ貰ふわ、二十圓でお釣頂戴」

さう言ひおいて妻君は机の抽斗から例のお札を持つて來た。行商人は既に十三圓五十錢耳を揃へて待つてゐた。

「きずなんかあるもんぢやないでせうね」

「どういたしまして、これでも毎年行商に參るんですから、そんな物を賣り付けたりなんか……どうも奥さん有りがたう存じました」

行商人はペコ／＼頭を下げて、そゝくさと歸つて行つた。

妻君は、思ひがけない二十圓があつたし、十三圓の本麻の蚊帳を半値の六圓五十錢で買ふし、今日は如何なる吉日ぞとばかり、駒三の歸りを待ちかねて

「あなた、實は今日これ／＼」

と話す妻君の言葉を半分聽いて

「いけないことをしてくれた、あれはルーブル紙幣だ」

「えッ、ルーブル——」

「だが、氣が付いたらあわを喰つて來るだらう、そしたら俺がうまく話して品物を返してやらう、だが此の品物が六圓五十錢は馬鹿々々しく安い、何か喰はせ物ぢやないかな」

そこで綴ぢ糸を切つてひろげて見た。

「あつ、天井がないわ」

「大抵斯んな事だらうと思つた」

「畜生、私を女だと思つて——」

「いゝよ／＼、十三圓五十錢と、天井なしの蚊帳だけ丸儲けだ、ルーブルは一枚二十錢だからな」

詐欺をした積りの蚊帳行商人は、ルーブル紙幣と氣がついても、天井無しの蚊帳を賣りつけた手前、如何に口惜しくても引返して來ることが出來なかつたのである（をはり）

イデヤ
ナゲナワノイリヨク
ワン
ツウ　スリッ
アーン
アーン

一年前の回顧

荒木大尉の戰死（十二月三日）

叛將蘇炳文膺懲に向つた我軍は疾風迅雷の勢ひを以て零下三十度の極寒を冒し頑强に抵抗する敵匪を追窮し午後三時に大興安嶺の頂上を占領しましたが、興安トンネル附近にあつた敵が我が追擊隊の前進を妨げるため空車を逆おとしに放つた際我先遣隊附荒木克業大尉は勇敢にも身を以て空車を脫線停車せしめ遂に壯烈な戰死を遂げました。しかし皇軍の列車を救つたこの大尉の偉功は永久に歷史に殘されませう。

蘇炳文は露領遁走（同四日）

皇軍の總攻擊に一溜りもなく蘇炳文以下一萬五千の叛軍はその統制と戰鬪力を失ひ露領へ遁走を始めて、蘇炳文は四日夜部下一千、文官數十名及び滿洲里監禁邦人を四十三輛に分乘せしめて露領に遁入し、ソ聯官憲のため武裝解除の上監禁されましたが、邦人は小松原大佐の手に引渡され無事なるを得ました。

驅逐艦『早蕨』遭難（同五日）

吳軍港から馬公に廻航中の驅逐艦早蕨（艦長門田健吾少佐）は激しい風浪のため午後二時頃艦內に浸水遂に顚覆し僚艦三隻が直に救助に努める一方吳、馬公からも救援に向ひましたが夜陰と共に艦影を沒し僅か十餘名の艦員を救助した外、乘組員百餘名は艦と運命を共にして海底へ沒し去つてしまひました。

聯盟總會開かる（同六日）

日支問題は理事會を離れ加入國五十七ケ國を集合、こゝに審議されるべき國際聯盟特別總會は午前十一時から初冬の風寒いレーマン湖畔の聯盟會議室に於て寸隙も殘さぬ傍聽者がつめかけて異常な緊張裡に開會されました、先づ顏支那代表が日本を侵略者呼ばりして訴へれば、我が松岡代表は正論堂々之を反駁し屢々極東平和の眞髓を力說し、加へて米露の二大國を缺如した現聯盟は全く無能力無權威な事を暴露し聯盟總會に痛い釘を刺す尊大論戰の火蓋が切られました

カナリヤで試驗（同七日）

鞍山製鐵所の諸工場に於ては瓦斯中毒によつて時に死亡者を出すやうな悲慘事が發生するのを防止するため防毒マスクその他の方法により研究してゐましたが、最も簡單なのは動物試驗によることなので今度動物のうち瓦斯に最も銳敏なカナリヤを使用して瓦斯中毒防止の諸試驗を行ふ事となりました

支那軍の不法發砲（同八日）

奉山線警備の我裝甲列車が同夜十時すぎ給水のため山海關驛に向ふ途中長城附近で無法にも支那軍隊は機關銃を以つて一齊射擊を浴せたので、我軍は直に之に應戰しこれを擊退しましたが、嚴重抗議をなした結果、支那軍第九旅長何柱國は今後再びかゝる不法行爲をなさぬことを誓ひ陳謝し幸ひに事件は擴大しませんでした。

十九ケ國委員會へ（同九日）

日支紛爭事件討議の國際聯盟特別總會で帝國政府は總會若し飽くまで理不盡ならば斷然聯盟を脫退すべしとの決意を見せ四日間に亘る會期を終始しました。この絕對的な强硬方針に早くも大勢は決しイーマンス議長の聲明によつて總會決議案は十二日より開催の十九ケ國委員會に附託されることに決定總會を終了しました。

今週の獻立

宇野靜子

	朝	晝	晩
日	トースト、紅茶	はんぺん、三つ葉清汁、ハムエッグ	ヨセ鍋
月	大根味噌汁、煮豆	豆腐葛かけ、鰹でんぶ	牡蠣清汁、鰤照燒、大根おろし
火	豆腐、菠薐草の白味噌汁、鰹でんぶ	酒粕汁	蛤清汁、ビーフステーキ（野菜附合せ） 赤貝の二杯酢
水	若布味噌汁、昆布から煮	鮭	葱鮪鍋、菠薐草浸し
木	しゞみ味噌汁、福神漬	卵燒	かしわ三つ葉清汁、チキンライス、小蕪あちやら漬
金	里芋味噌汁、燒のり	煮込みうどん	のつぺい汁、烏賊つけやき、淺蜊むきみと葱のぬた
土	蒲鉾春菊、白味噌汁	里いも、蒲鉾甘煮	ローストチキン、サラダ

家庭滿洲語 紙上講座

第卅七課

一
(1) 夏天　(2) 天氣熱。　(3) 用扇子　(4) 搧一搧　(5) 涼快

二
(1) 熱天　(2) 出汗。　(3) 不舒服　(4) 擦臉　(5) 很舒服

三
(1) 洗澡　(2) 澡堂子　(3) 燒澡堂子　(4) 燒好了　(5) 水熱了　(6) 合式。　(7) 水不熱。　(8) 不合式。

【譯語】
一 (1)夏 (2)時候が暑い (3)扇子を使ふ (4)扇ぐ (5)涼しい
二 (1)暑い時分（暑い日） (2)汗をかく (3)心持が惡い (4)顏を拭く (5)大層氣持が良い
三 (1)入浴 (2)浴場（風呂屋） (3)風呂を焚く (4)湯が熱くなつた（沸いた） (5)丁度良い加減 (7)湯がぬるい (8)加減が惡い（適度でない）

【說明】
舒服　不舒服 は心地の良い惡いといふ言葉である。

合式　不合式 は適當、不適當を云ひ表す言葉である、例へば本文に有るやうに、湯の溫度が適して居るとか居らぬとか或は着物の工合が丁度身體に合ふとか合はぬとか、又は都合が好いとか惡いとかいふ樣な場合に使ふのである。

燒 は燒く、燃やす、焚くなど物事によつて種々に譯せる、例へば **房子燒了** といへば、火事で家が燒けた事に成る。

水熱了 は湯が熱く成つたことで

水開了 といへば沸騰したことになり、其所に自ら區別が有る（第十九課參照）

發音上の注意

本課の新出字に於いては特に注意を要するものは無い。

舒服 の服は元來第二聲なれども舒に力が這入るから服は輕く短くいへばよい。

合式 は式に力が這入るから輕く、方共に各々其四聲通りに云へばよいのである。

前週の答

(1)傘洋火來 (2)點洋燈 (3)火滅了 (4)燈滅了 (5)屋子裡很黑 (6)外頭亮 (7)怎麼不點燈 (8)沒有火油（煤油） (9)吹滅燈 (10)擰手巾

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

(1)春は暖い (2)夏は暑い (3)汗が出た (4)扇子で扇ぐ (5)石鹼で洗ふ (6)私は風呂に這入り度い (7)風呂を焚いたか (8)未だです（十五課を見よ） (9)加減は良いか惡いか (10)丁度良い加減だ

滿洲日報
十二月二日發行
發行人 鈴木　編輯人 橋本　印刷人 村武
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

海軍要求一部を認め豫算問題圓滿に解決

政局の危機漸やく去る

【東京特電二日發至急報】豫算閣議は纏つた、卽ち陸相が調停して海軍の要求額は滿洲事變豫備費の中から一千萬圓を振り向け、五百萬圓は大藏省が捻出すること、農林の要求は内政會議を經て追加豫算で提出することゝなつた

【東京二日發國通】本日の閣議にて陸軍の滿洲事變豫備費より一千萬圓を海軍に廻し更に高橋藏相は五百萬圓の赤字公債發行を容認し合千五百萬圓を海軍に廻すことゝし圓滿解決をみたものである

首相の政治的裁斷に陸、海、農三相遂に同意

藏相も辭意を飜へす

【東京二日發國通至急報】齋藤首相は今朝來山本、大角、後藤各相と個別會見し懇談を重ねた後、午前十一時閣議を開き先づ懇議會に入り首相より
この際内外の時局に鑑み豫算編成に成功し時局に善處するため海軍の不足額は國家財政の見地より今回は千五百萬圓に止めて欲しい、内一千萬圓は滿洲事變豫備費より支出し、五百萬圓は赤字公債を以てこれに充てたい、農林豫算は内政會議を開き考慮の上實現を期したい
と述べ、次いで大角海相起ち
自分は首相の裁斷を容認する
と述べ後藤農相も
首相の裁斷はこの際やむを得ぬから同意する
と述べ、兩者とも承服し、荒木陸相は決して餘裕のある譯でないが大局的見地からこの際同意すると述べ、茲に各閣僚の意見一先づ休憩、午前十一時五十分開、辛うじて曲りなりにも議を取纏めた、高橋藏相も辭意を飜へして午後零時五十分散會先づ危機を脱した

豫算解決までの經過

大乘的に解決せよ

荒木陸相閣議で力說

【東京特電二日發】デッドロックに乘りあげた豫算閣議は二日懇談會の形式で最後の妥協點發見に努めてゐる、藏相、海相ともに既に一歩も讓歩せぬ意氣込みを示してゐるが、しかも海軍最後の要求さするところは僅かに二千五百萬圓であるから、觀方によつては妥協の一歩前であるといふこと も出來る、内閣は重大危機に直面したとはいへ、軍部は陸海軍ともこの内閣を破壞してよりよき政府を作りあげる見通しがついてゐない、また元老重臣方面もこの際の政變を國家のため不得策となし、鈴木侍從長を通じて…に善處を切望してゐるので…としてはこの方面の意向から…の際圓滿に纏めることに努…ければならぬ筋合となつて…かくて二日の閣議では首相…相總がゝりで藏海兩相間の…努め、特に荒木陸相は最も…調停者として
この場合一豫算問題によ…閣の瓦解をみることあつ…外に對して國家の信用が…ることも多大であるから、…も協調して豫算を速かに…ばならぬ、殊に問題は既…萬圓に足らぬ少額の增…から、大局的立場から…乘的解決を切望す…と力說して妥協勸說につ…ころあつたといふ

福建獨立するも北支には無影響

けふ來連の李擇一氏語る

十月下旬以來約一ケ月に亘り日本朝野と意見を交換し日支局面打開のため奔走中であつた李擇一氏は顧問格の岡田有民氏同道朝鮮經由にて來滿、新京に一泊菱刈軍司令官と會見、意見を交換し二日午前七時四十分着列車にて來連星の家に落着いたが、往訪の記者に語る
特別の用件もなく靜養の目的で上京したのに特派使節等と新聞で擔ぎあげられて弱つた、強ひて理由づければ自分は既に三十四回も日本に行き、日本を研究してゐるが、最近の刻々に變化して行く局面を見るために行つたのだ、今度の來滿には三つの目的がある、第一は新京の關東軍に停戰協定以來の挨拶、第二に奉天の珠林寺に張作霖の靈を弔ふため、第三は戰後の北寧線を視察するためだ、今日滿鐵及び各方面の知人と顏を合せ今晩の汽車で奉天に引返し北寧線を見ながら北平に歸る豫定だ
と語り、福建政府の見透しを問へば
自分は内地で新聞を見て知つたもので、詳細はわからぬが、廣東政府と聯絡がないから大したものにはならぬと思ふ
と對岸の火災視して問題にせず、「福建政府の北支に及ぼす影響は」と問へば
日本の新聞は未だ北支に反蔣派が機を覗つてゐる樣に傳へてゐるが、事實そんなものは全くないから南にどんな政府が出來たつて北支は動搖しない
と蔣政權北支における地盤の鞏固なることを强調し、最後に日支局面打開、諸懸案の解決に關しては要は滿洲問題の解決だ、滿洲問題さへ解決すれば、日支間の問題だけでなく東亞の諸問題が皆解決がつくではないか
と語つた（寫眞は星の家で寛いだ李氏）

滿鐵改組問題と中央の空氣

山崎滿鐵理事歸任談

二ケ月に亘つて東京に在り…道問題、滿鐵改組問題等に…府要路はじめ財界有力者…せをつゞけてゐた滿鐵山崎…二日大連入港のうらる丸で…たが「改組問題の現地の雲…うかれ、内地は新聞に傳…ゐる通りだよ」と冒頭して

問● 中央政府の意向は
答● 要するに現地案が來…

局面打開に最後的努力集中

けふの豫算閣議前に

首相各閣僚と個別折衝

農村救濟問題後廻しで可

山本海相意見

福建政府内訌

社會民衆主義標榜の第三黨を軍部が驅逐を要望

共產黨の活躍に惱む福建新政府

對外關係から彈壓

混亂の支那時局に適當なる對策

守島課長準備に渡支

米洲局

代り財源で新設

福建軍の大兵省境出動說

福建政府大赦

福建廣東兩派の關係斷絶

李烈鈞氏語る

元佛文相歸國

はるびん丸船客

人事

學良パリへ

西南派要人の態度緩和

遼河工程局接收着後

凱旋兵 三日午前九時着驛

女の部屋 (27)

林芙美子作　一木淳畫

ダンスホール受難時代

半期の赤字八千圓で廢止說が持上る

惱む大連檢番ホール

何處のダンスホールも不況の風に見舞はれて赤字時代を迎へた昨今、上半期だけで八千餘圓といふ大赤字を出した大連檢番專屬ダンスホールでは從來ホール反對派と目されてゐる役員から突如ホール廢止說が持ち上り三日の決算報告總會の席上は相當波瀾を豫想され、あわたゞしい師走を外に狂へるヂヤズを奏でゐる（寫眞は檢番ホール）

反對派が氣勢を揚げて役員會席上で激論

贊成派反駁の末妥協

大連檢番のダンスホールは競爭ホールの出現によつて對抗上諸設備に費用を惜まず投じたのと一般的ダンス熱の下火に遭遇して本年上半期は思ひもよらぬ八千餘圓といふ大赤字を出したが、一日午後一時から三業組合樓上で開かれた役員會では俄然この大赤字を中心に議論の渦を捲き起した

元來檢番ホールといへば建設當時から組合員が贊成派、反對派の二分野に分れて爭つたものだが、遂に贊成派が勝を制して實現したホールだけに、反對派は常にホール經營の成行きに監視の目を離さなかつた矢先、この大赤字を出して終つたので、反對派は「それ見たか？」とばかり氣勢を揚げ出したものだ

役員會席上では反對派の急先鋒と目されてゐる淡月白川、吉田席吉田兩氏等が、將來なほかゝる大缺損をするとしたなれば組合として經營を續けることは絕對不可能であり、この際振興策が樹てられないとすればホールを廢止すべきであるとの極端なる强硬論が持ち出されこれが善後策を講ずるため二三日休業せよと主張した、これがため役員會は俄然紛糾を來し贊成派役員は眞向から廢止說に反駁を加へ

ホールの書入れ時を控へてかゝる暴擧は出來ぬ、殊にホールを廢止すれば數萬圓の損害を來し重大なる結果を及ぼすことであると反對し結局十二月、一月の書入れ時の營業成績を見たうへ改めて意見を交へやうといふ役員會としての妥協案を發見し散會した

しかし三日午後一時から開かれる決算報告總會ではこの問題が蒸し返し相當波瀾を來すものと注目されてゐる

更生か廢止か岐路に立つ

反對派の淡月主人談

ホール經營に對し反對意見を持續してゐる淡月白川淳氏は語る

一ケ月に千圓以上といふ缺損をするといふことが見す〳〵判つてゐるホールを檢番が强ひて經營するといふことはどうかと思ふが、一日の役員會では直ちにホールを廢止せよといふのではなく振興善後策を考へる爲め二三日休業してはどうだといふのであつた、この結果どうしても振興策が樹てられないとしたなれば廢止も、また止むを得ないし適當な更生策が見つかれば繼續してもよいと思ふ、しかしどのホールも經營難を來してゐる際、檢番ホールのみが缺損なしの經營を續けてゆくことはむつかしいことで、將來考へなければならぬ問題だと思ふ、いろ〳〵

缺損のみでない今期の赤字

田中三業組合長談

ホール廢止說に眞向から反對してゐる三業組合長田中藤太郎氏は語る

今期の赤字は純然たる經營上の缺損でなく內部の設備に相當投じた費用も含まれてゐるものです從つて每月の缺損は決して千圓以上に達してをらぬ、しかしこの際振興策を樹立する必要があることは異議ないが、直ちに廢止して終ふことは以ての外である、只今ホールを廢止すれば數萬圓の損害は免れないが、これだけの損を組合員に負はせる

ことは自分としては斷じて出來ぬ、役員會は從來ホール反對派と見られる人々から二、三日休業して振興策を考へよといふことがあつたが、休業すればそれだけ缺損は增加するばかりである、結局これらの人々は休業させて置いて廢止運動の導火線たらしめんとする考へではないかとも思はれる、それは他にダンスホールを經營してゐる役員が混つてゐるのを見ても容易に想像されることで爭ふなれば堂々とやつて欲しい

バンドの彈爭解決

退職金二百圓

既報、大連檢番ダンスホールではバンドの交代問題から勞資の紛爭を來してゐたが解雇を申渡された首藤バンド側では師岡辯護士に事件を依賴し退職金六百圓をホールに要求してゐたが、師岡辯護士と田中三業組合長との間で再三交涉の結果、遂にバンド側で折れて出で三十日まで平穩に就業して同日限り退職、二日退職金二百圓を受取つて圓滿解決した、なほ交代の坂井バンドは一日から出演してゐる

滿鐵急行列車區間制を改正

滿鐵々道部では明年十月一日の時刻改正を機に旅客列車大增發並に又スピードアップを行ふがこれに伴つて旅客料金および急行料金關係に必然的に改正の必要が生じたので旅客係で種々研究中であるがそれに先立ち先づ現在の急行料金の區間制に改正をなすべく研究を行つてゐる

卽ち現在滿鐵では料金を五百キロ、および七百キロの二單位に分つてゐるが、この結果短區間の旅客は急行列車乘車に非常な負擔を負ひ自然利用者も少ないためこれ等の旅客の便利を增すと共にその利用增加をはからんとするものであるが現在の制度を五百キロ單位を下げるか、また は五百キロの下に更に一單位を設けて三單位とするかの點については なほ研究中である

ろ役員會では議論も出たが結局書入れ時の十二月と一月との成績を見たうへ方針を決定しようといふ妥協點が發見された譯です

市衞生作業所の苦力一齊罷業

原因は積立强制から

大連市役所衞生課榮町衞生作業所の苦力約百名は賃金のことより數日來苦力供給業市內土佐町五八白洋公司こと田中一平氏と爭ひを續け不穩の形勢を示してゐたが、二日に至つて兩者の協定遂に縺ばれず二日午前十時苦力百名は一齊に罷業狀態に入り白洋公司が臨時苦力を市內より狩り集めて仕事を開始せんとするや苦力側は勞働道具一切を何れかに隱匿して仕事を不能に陷らせたので白洋公司田中氏は午前十一時所轄署小崗子署高等係に出頭、事件解決方を願ひ出たので遂に事件は表沙汰となつた

右爭議に到るまでの事情を聞くに榮町衞生作業所に使用する約百名の苦力は、全部白洋公司が請負ひ糞尿汲み取り、を行ふ衞生苦力で賃金は一日四十錢であるが、冬季に入ると仕事を休むものが多くその都度臨時に不熟練な普通の苦力を賃金の高い苦力を一日傭ひで使用せねばならぬので白洋公司では臨時苦力の賃金を浮すため衞生苦力の賃金五日分を强制的に積立てさすべく申し渡した處俄然苦力間に問題を起すこととなり數度の協議も遂に成立せず二日に至つて爆發し衞生苦力は糞尿汲取りの桶、塵芥掃除のシャベル、麻袋等を匿して一齊に罷業狀態に入つたものである

圓滿解決し明日就業

小崗子署調停

右の訴へによつて小崗子署高等係では直に井上特務が特務巡捕數名を率ゐて罷業苦力側と會見、調停の勞をとつた結果、午後一時三十分賃金の協調成つて大事に到らず圓滿解決し、衞生苦力は二日から仕事に就くことになつたが、一時は榮町衞生苦力は全市各所の衞生苦力に應援を求めんとし却々の騷ぎであつた

沙河口驛を利用し盛んに不正乘車

滿鐵で防止策を案出

最近滿鐵本線の旅客が激增するに伴つて大連驛と沙河口驛の改札制度の不一致を巧に利用して不正乘車をする客が意外に多數であり困り拔いた滿鐵大連鐵道事務所ではこれが徹底的防止策を考究の結果數種の適切な方法を案出、更に列車檢札員の增員等によつて徹底的取締をなす一方不正乘客發見の場合はドシ〳〵法規によつての適當な處置を執ることゝなつた、その巧妙の手段を擧げると左の如くである

……◇……

大連驛には改札口が無いため列車事務は列車中で收札を行ふがこれは沙河口通過後では到底時間的に不可能であり自然それ以前に檢札を開始する、この時沙河口驛行の切符を持つた客は沙河口驛に改札口があるため收札されずこれを利用してその客は大連まで直行、切符はそのまゝにして再度使用を圖らんとするものである

……◇……

沙河口驛九月中の降車客は一萬三千三百八人でそのうち無札降車の客が約一パーセントの百二十五名に達してゐる、そして彼等が無札の言譯としては、大連行を買つたが沙河口驛に出迎人を發見したので急に降りた、切符は車內で收札のとき渡したといふのが最多數でその次には車掌が間違へて收札した、知らずに渡してしまつたといふのが大部分であるが殆ど全部が不正と見るべき根據を最近に發見した

……◇……

右につき滿鐵々道部旅客係當局は語る

牛疫の猖獗から

密輸肉を賣る奸商續出

大連近郊に發生した牛疫はその後ます〳〵猛威を揮ひ、時節柄牛肉業に大恐慌を來してゐたが、一日普蘭店、貔子窩、金州方面から來た食用牛を周水子家畜檢疫所で檢疫中、またも九頭の病牛を發見、關係者に非常な脅威を與へた、牛疫發生せる本月二十一日以來これで六十三頭の病牛を出したわけで近年稀有のことゝされてゐる

關東廳衞生課、同農林課及び大連署衞生係では協力縣醫の總動員を行ひ防疫に從事する一方周水子家畜檢疫所では州內外から來る牛を一週間の潛伏期間中同所に繫留し丈夫と烙印附けられたものだけ屠場に送るといふ嚴重ぶりである

これにつけこみ牛肉密輸が跳梁し取締官廳を惱ましてゐるが、大連署衞生係では數日前から市內牛肉店の一齊臨檢を行つてゐるが、その結果二日までに恐るべき密輸肉を販賣してゐた奸商數軒が發見された

市內須賀町十二洪興永こと呂永年(三五)は最近約五十貫の密輸肉を販賣してゐたを始め但馬町

滿洲進出に嬉しい出資美談

希望に輝き靑年來る

滿洲で一旗あげようと云ふ靑年店員へ無條件で二千五百圓の資本を投げ出した奇特な主人の行爲が二日入港のうらる丸で來連したその靑年店員の口から洩れた

佐世保市福石町六十五佐藤正彥(二二)は十日程前に一度來滿、各地を視察して去る十一月廿七日の香港丸で歸國したが、古銅買入業が有望と見込をつけたが資金難はどうにもならずかつて奉公した京都市東山區三丁目吉田耕三商店の力を借りるべく長距離電話で賴み込んだところ吉田氏は「よろしいしつかりやれ金は安田銀行の手を經て送る」と力づよいはげましの言葉と共に二千五百圓を送られたので舊主の情に感激して直に來滿したものである

大金を持ち過ぎるので水上署員に取調べられたが、淚を流さんばかりに喜び「しつかりやつて滿洲で是非旗あげしますよ」とはしやぎ切つてゐた

白衣の勇士けさ旅順へ

北滿各地に偉勳を樹てた白衣の勇士三十名は二日午前六時二十分大連驛に凱旋直に七時三十五分發列車にて旅順衞戍病院に向つた

店員拐帶頻出

慌しい年末に店員の拐帶三件市內濱町二〇八番地橫井仁左衞門方メッセンジャーボーイ佐藤直之(一八)は二十五圓六十三錢を拐帶して一日午前十時三十分發列車で奧地へドロン◆市內薩摩町七番地佐古憲造方店員渡邊壽男(二〇)は三十日午後六時頃自轉車に乘つて出たまゝ歸宅せぬが懷中には二百餘圓の請求書を持つて居り若干集金した形跡がある◆市內隧河町一內藤音次郞方店員田邊泰三(三〇)は主人の內藤が他より預つて封筒に入れ金庫內にしまつてゐた二百八十圓を盜み出して逃走した

バタ密輸の露人

天津丸臨檢中に發見

一日午後四時出帆の天津丸を臨檢中の堀田稅關吏は三等船客露人と稱するロシア人イヷシコフ(三〇)がトランク、行李、モッコ等二十個約三百貫の大荷物を嚴重に荷造り積込んでゐることを發見、一應取調べる必要ありと本人に傳へたところ「自分のものではない」と頑張り輸出申告書を所持せず密輸の嫌疑を以て右荷物を檢查所へ運搬させ取調べたる處バタ、チーズ、コダスコフ映寫機等がぎつしりつめられてあり今迄にない大量の密輸に稅關を驚かせてゐる

イヷシコフは去る八月二十四日矢張りバタ約二百貫を天津に輸出一儲けせんとして稅關に注意され、正式の輸出手續を執り價格百二十圓のバタの攜帶を許可された者であるが、其後當時の輸出申告書を巧みに行使し每月二三回づつ稅關吏の目をかすめてバタの密輸をくはだてつゝある事が判明した

詐欺犯人逮捕

市內能登町多久洋行主諸江保市氏より二千五百圓を詐取逃走中であつた元新京富士町二八盛昌洋行跡に住む吉村靜夫(三八)は大連署の手配により一日奉天署において逮捕され近く身柄は押送されてくる筈

東鮮商船會社の不正肉

二東海洋行こと善東海(三八)東鄕町四五天順昌こと姜洪展(四〇)淡路町十三福全和こと張福金(四三)の三名が何れも不良肉を販賣してゐたのを發見された

右の牛肉商は何れも船員と連絡をとり靑島方面から密輸入し旣に多量の肉を市民に販賣してゐたもので大連署では何れも科料處分に附した、その他支那人牛肉商間に不正肉を賣つてゐるものが多數あるらしく引續き內偵中であるが、常習的な商人には營業停止を命ずる方針である

蹴球聯盟に三井が加盟

來春より大連蹴球聯盟主催のリーグ戰に加入することゝなつた三井物產蹴球チームは三日午前十一時より大連運動場に於いて滿鐵チームと對戰することゝなつた

尙午後一時より旅順運動場に於いて擧行する筈であつた旅順關東廳千歲俱樂部對滿鐵育成ラグビー戰は千歲俱樂部側の都合で中止となつた

貧民救濟に蓬萊が寄附

大連警察署保安係では歲末を控へて管內の貧困者を調査することになり各派出所に調査を命ずると共に貧民救濟のため各方面よりの寄附金を希望してゐたが、一日市內春日町蓬萊無盡株式會社專務取締役より金三百圓を貧民救濟金として寄附があつた

常安寺攝心會

市內天神町常安寺では常例の坐禪會を來る三日午前六時半より開坐する、なほ來る八日迄は臘八攝心會に相當するので八日朝は報恩の坐禪會を開坐し釋尊成道の偉德を偲ぶと希望者は至急申込まれたし

センオーストーブ抽籤券　福昌公司が滿洲總代理店として本年全滿に賣出したセンオーストーブは賣出し以來關東軍滿鐵滿洲國各方面より多數の買上に浴し好成績を擧げ其謝恩の意味にて年末まで五十個を一組として其內五個の御方は無料進呈の奉仕販賣中にて好評を受けて居る

長崎直航基隆高雄行　山西丸（每十日目出帆）

大連發　十二月五日午後四時
長崎着　八日早朝午後出帆
基隆着　十一日早朝午後出帆
高雄着　十二日午前

特等　一三〇圓　二〇圓　長崎　基隆　高雄
並等　二五圓　六五圓　二七五圓　二八圓

××埠頭廿四區より出帆
××廿區前に切符發賣所あり

大連汽船株式會社　電話七一二三一番

天氣予報

北西の風　驟雪模樣　三日　後晴

各地溫度（二日午前十一時）

大連 八　奉天 六
旅順 九　新京 三
營口 八　新義州 一

今日の小洋相場(十一時半)
金百圓につき百二十一圓五十錢

早くも歲暮氣分

善鬼惡鬼 (276)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

月下の勝負（六）

「曲者」

强く鋭く、よびかけると共に、松原源八、先づ一刀の鞘をはらつた。

「斬りぬけい」

吉田が身がまへをした。

「合點だ」

轟も答へた。

「エイ」

鋭い聲と共に、ばたりと斃れた人音。

「御用」

「御用」

右に左に、うしろに前に、ぢり〳〵とつめよる人數は、いつの間に、どこに伏せてあつたものか、八人十人ではなかつた。悉く、ぴつたりつけた青眼のかまへ、白刃の光は月光にさえ〴〵として、美事に三人を圍んで薄の穂のやうにおしつゝんで攻めよせる。

「おもしろい。久しぶりの刃物三昧、ウウ、腕がうなるぞ」

五郎兵衛はから〳〵と笑つた。

「車澤、無益の殺生をせぬやうにな」

吉田大八が注意をするやうに云つた。が五郎は聞かなかつた。

「はははは、やめやうと思つてもやめられぬ。拙者のやまひです。此處はそつくり引受ける、貴公等は逃げてくれ、逃げろ、逃げろ」

「佛し――」

松原が云つた。

「佛しも糸瓜もない、逃げろといふに」

「よし、頼む」

吉田は、轟の腕を信じてゐた。さつと刀を引いて、横飛びにさつと飛ぶ。其方角にゐた曲者の刀がさつとよけて、ぞやぞやと追かける。

隙を見込んで、松原源八が、つゝゝと籔だたみへ入つた。

「それッ」

再び白刃が、籔だたみに向ふ時

「エイッ、エイッ、エイッ」

三聲で三人、五郎兵衛の刃が月光と共に寄手を斬つて落した。

「さあ來い。氣を落ちつけてかゝるがよいぞ」

轟五郎兵衛が、白刃の血ぶるひをした時、もう、其處には吉田の姿も、松原の姿も見えなかつた。

「逃げた、逃がした」

二三人が、どよめくのを、さつと飛びこんで、三番がけの白刃、

「追ふ奴は斬るぞ。追ふ奴は一人も殘さぬぞ」

其言葉通り又二人やられた。

もはや、吉田と松原の消えた方角へ、白刃を向けるものは一人もなかつた。皆が皆、轟一人を睨んで、車がかりにかかつて來る。さはいへ、前の手際を見てとつたので、所詮は遠まきに卷いてゐるばかりだ。

「一人、二人、三人、四人、五人か、もう居らぬか、もう隱れてゐる奴はないか」

轟は落ちつきはらつて、我が前にならんだ人數を瞰へたが、寄手は只

「ヤア、ヤア」

とひしめくばかりであつた。

「よし、一人づつ斬らうか。それとも二人づつか、お望みに任せる」

命が惜しくば今の中にいふがよい、轟五郎兵衛、久しぶりで、腰のものにものをいはせるのだ、慌てゝ犬死をするんぢやないぞ」

息づかひも平生の通り、一刀のかまへも悠々と、何のいらだちも見えないのが、却て不氣味だつた

「おぬしは轟五郎兵衛か」

「さうだ」

「小梅に道場を持つてゐた片手劍法の轟にちがひないな」

「さうだ、その片手劍法の腕のさえを見せてやらうか、それとも見たくないか」

「見たくない」

「そんなもの見るには及ばぬ」

口々に云つて、今が今まで取卷いてゐた面々、ちり〳〵に刄を引いて、結び目をほごすやうに、五郎兵衛のまはりから引きはじめた。

「はははは、轟五郎兵衛の名を知つてゐると見えるな。ものおぼえの好い奴等だ。よし〳〵、貴公等がその氣なら、無益の殺生は見合せてつかはす。あばよ」

チャリンと音をさして、刀を鞘に納めた五郎兵衛、例の熊坂をこれも久しぶりに吟じながら、のそり〳〵とあるきはじめた。取卷いた黒裝束はいひ甲斐もなく、五郎兵衛の爲めに道をひらいた。

池田監督復歸　日活一部異動

さきに太秦發聲を退社、フリーランサーに歸つた池田富保監督は二十八日正式に元の古巣日活へフリーの立場で復歸と決定第一回作品は本田美禪氏作「伊達の與作」と村上浪六氏作「すて賣り勘兵衛」が候補に上げられてゐるが、このうち一本だけ完成する

これと同時に時代劇監督として定評のあつた渡邊邦男監督が十二月一日附を以つて現代劇部へ轉部しまた永らく休養中であつた現代劇部三村源次郎監督は辭表を提出退社した

うわさ話

常盤座は今日から「暴君ネロ」と「大飛行艦」の二大特作品を併映して階下三十錢で大衆興行▲洋畫再映興行としては近來珍しい强力番組のスペクタクル映畫二本立である▲帝國館は各館主の賛同を得て書式を整へ愈々正式に色物上演許可願をその筋に提出▲そして正月興行の準備に着手し映畫の方は小笠原ライオン君が明日内地へ出發の豫定▲正月興行に映樂館も混合プロを組む計畫を立て各社特作品七本を契約したと傳へられてゐる▲唄の市丸自演のJOトーキー「戀の市丸」と共にPCLトーキー「純情の都」も正月上映に確定▲また年内には内地未封切のユニバーサル社の猛獸映畫「ジャングルキイラー」を封切▲日活館は次週「群盲有罪」を上映し次は「鼠小僧次郎吉」中篇を豫定し愈々押し詰つてから撫順の正月プロが廻つて來る

∞群盲有罪∞　四社聯盟連載の内田新八原作小說の映畫化で山下元脚色、熊谷久虎監督永塚一榮撮影、市川春代、中田弘二主演で青春悲劇を描いた日活現代劇作品【次週日活館上映】

國線の混保制
自今直接取扱に改正
實施は明年一月からか

鐵路總局には從來混保制度の設定がなく便宜上滿鐵の代理受寄により各主要驛にこれを實施してゐたが、この結果取扱ひ上はもとより奥地農民にも多大の不便不利を感ぜしめてゐた、就て鐵路總局でもいよ〳〵これが根本的改正を期し即ち從來の受寄混保制度を變じて鐵路總局自體で混保の取扱ひをなし、滿鐵々道部との間に共同混保制度を施行して現在の北滿鐵路對滿鐵の關係の如く各鐵路對滿鐵々道部との間に混保の直通取扱をなすことに決定鐵路總局としての準備打合せを了したので鐵道部と協議することゝなり一日午後二時から鐵道部營業課長室で總局竹森貨物係主任と、鐵道部各關係者との間に會議が開かれ二時間餘に亘つて熟議の結果鐵道部も異議なく總局案に贊成、此處に無事確定を見た、而して實施期は大體明年一月一日からとの見込であるが、本制度の實施によつて從來の寄託制度における變態的な制度は改正され幾多の取扱上の不便と不利が一掃される筈で、混保制度實施驛は左記各鐵路の主要驛である

瀋海、吉海、四洮、洮昂、齊北京圖、濱北(但し濱北線のみは多少延期)

なほ混保の規格その他の諸制度は全部滿鐵々道部の規定に據ることゝし技術的統一を圖ることになつてゐる

數百六十八枚の増加なるも金額は六百萬二千六百七十圓の減少を示してゐる

朝鮮産苹果
上海向輸出増加

【京城發】朝鮮産苹果の上海向輸出は上海事變のため殆ど中止の狀態であつたが、本年は朝鮮郵船の命令航路のみにても既に三萬箱を輸出し、今後毎便五千箱の輸出を豫定されてゐるから結局本年産苹果の上海向輸出は五萬箱を突破する模樣である、因に事變前の輸出最高記録は年二萬五千箱である

大連木材組合が
國都建設局へ建議
明年の木材供給に就て

新京の國都建設計畫進捗につれ木材の需要は著るしく増加し、本年の需要量は六千車に達したが、生産これに伴はざるため、價格も數倍の昂騰を見るに至り、明年度に於ては本年の倍額一萬二千車の需要が豫想され、價格も一層昂騰を見る情勢に立至つたので、國都建設局では建設計畫遂行上重大なる支障を招來するを慮り、國有林伐採量増加其他百方これが對策につき研究を進めつゝあるが、過般大連木材商組合に對しても大連に於て十分の準備を爲し可及的多量の木材を回送し國都建設助勢方を依賴して來たよつて大連木材商組合では種々對策協議の結果本年の六千車の需要に對し大連よりの送達材が僅か二百五十車内外に過ぎなかつたのは滿洲國の輸入税率が比較的高率にして新京着原價は北滿吉林、安東材に比し著るしく割高となりたる結果、到底前記各地の木材に太刀打し得ざるためで、また註文が一時に殺到する場合輸送能力その他の關係上到底その期待に副ひ得ないためであることに意見の一致を見るに至り

一、滿洲國政府の木材輸入税を國都建設完了迄(約二ケ年位)一時免除又は輕減せられたきこと

二、建設局關係の工事用木材は各工事當事者に協議され一日も早く明細寸法を明かにし註文を發せられたきこと

を建設局と財政部と交渉相成り度きこと

を國都建設局當局宛建議すると共に濱組合長は三日新京に赴きこの旨強調當局の深甚なる考慮を煩はすことになつた

十一月末營業收入
總額七千萬圓
前年比千三百萬圓増
有卦に入つた滿鐵々道部

滿鐵々道部十一月三十日現在の營業收入は左の如くで既に七千餘萬圓に達し、前年比一千三百餘萬圓の增收となつたが、現在の狀勢から見て明年三月末の本年度の鐵道總收入は少なくとも一千百五十萬圓に達すべく、前年に比し一千萬圓の増收は容易であるとの見込が立つた收入成績左の如し(單位圓△印減)

	十一月末	前年同期比
客車	一一、六六五、一四五	二、九六八、[illegible]
社內石炭	二〇、八六一、九三二	四、七七九、[illegible]
社內一般貨物	一三、四八一、四三七	一、三〇一、[illegible]
社外貨物	二〇、三六〇、〇四一	△一〇、[illegible]
倉庫	二三、三〇七	二、〇四三、[illegible]
諸口	三、八八〇、九六六	一、九九〇、[illegible]
計	七〇、四六五、三九一	一三、〇六〇、[illegible]

低資移讓問題
發意は大藏當局
高田氏は單なる傳達者
二日歸連の長永書記長語る

日本商工會議所總會に出席中であつた大連商工會議所書記長長永義正氏は高田會頭より一足先に二日入港うらる丸で歸任した船中語る

大連商工會議所よりの提案は三項に亘り、一項の治外法權撤廢に關し當局の考慮を要望する件第二項の日滿統制經濟に關し政府當局に考慮方を要請の件、そして第三項として日滿商標權の相互保障に關する件の三項に亘つてゐたが、一項と二項は委員會附託となり可決され、十五日の總會で滿場一致で可決された、第三項に關しては我々から大いに說明したが、内地の人達にはまだ滿洲の商標法に對し研究が積まれてゐないのでこれを常議員會に廻し研究する事にした、しかし我々の提案の精神は沒却しないことに話合が出來てゐる

× ×

例の低資の問題で大分喧ましい樣だが、大體は大藏省の意向でさきに來滿した大藏省の原運用課長の視察報告に基き輸組に低資を廻すより金融組合に廻した方が實際的だといふ意向から話が出たもので、高田會頭は單に取次いだに過ぎない、自分は二十四日に離京してゐるからその後の事は知らないが、六日に高田會頭が歸られるからその後の推移を聞いて欲しい

× ×

滿鐵の改組問題に對しては商工會議所總會でも色々問題になつたが、決議として改組そのものには反對しない、たゞ事すこぶる重大であるからやる以上一般有識者、專門家がよく相談した上にやつて貰ひたいと云ふ事に話が決まつた

× ×

滿鐵の消費組合撤廢問題は大體ハルビン商工會議所から出たもので、大體は商工移民獎勵案のうちにあげられた具體案の一つだつたものを獨立して案としたもので、聲明書ではかなり強い事を云つてゐるが頭から反對した譯でなく、滿鐵としても社員のみの福利增進を考へず、一般市民の福利をも考へて欲しいと云ふのである

× ×

今度の土産は何といつても會議所令が明春四月から實施になることに殆んど決定してゐる、水谷文書課長、山中商工課長等はこの問題につきよく各方面と折衝してくれた、問題になつてゐるのは商埠地を強制にするか任意にするかでこれは今研究中

十一月中の手形交換高

が滿鐵も加入する事に決定した

大連手形交換所における十一月中の手形交換高は

	枚數	金額(圓)
金勘定	三六、六六五	三二、四四三、〇九五
銀勘定	一〇、五六四	三、〇三、九三

でこれを前月に比較すると金勘定では枚數二千三百六十四枚の增加であるが、金額は四百八萬九千七十八圓の減少を示し銀勘定は枚數二千七十八枚、金額二十九萬六千五十二圓の共に増加を示し更にこれを前年同期に比較すると金勘定では枚數一千六十八枚の增加なるも金額は三百四十九萬五千四百八十八圓の減少となり、銀勘定は枚

滿洲輸入組合
十月中業績

滿洲輸組聯合會調査＝十月末現在に於ける大連外十六組合の概況を見るに組合員總數千二百九十一、出資口數五萬六千十一口、出資金額二百四十七萬四百七十八圓、前月末に比し組合員數は一名減、出資口數は十九口、金額は一千五百八圓をそれ〴〵増加してゐる、而して同月末現在の貸付高は一千百七十六萬五千四百七十四圓にして前月より一萬九千四百七圓の増となり、その内譯左の如し(單位圓)

	信用	擔保
十月中貸付	一、三五九、三六八	[illegible]
同回收	一、三五二、一三〇	[illegible]
十月末現在	三、一四三、四四四	[illegible]
前月末比較增	三、二五五	[illegible]

而して同月中の貸付回收狀況を組合別に示せば次の通り(單位圓)

	貸付	回收
大連	三六五、九三一	三八〇、七七五
旅順	三〇七、四三八	三八、九六〇
大石橋	一四、八三一	一九、八〇七
營口	四四、七七八	三九、九〇六
鞍山	一〇三、六〇八	一〇三、八一〇
遼陽	八一、四六〇	八〇、一八八
奉天	一四〇、二八八	一四〇、〇〇一
撫順	八〇、四九七	七七、四〇〇
本溪湖	八、〇〇〇	八、〇〇〇
安東	三九、三二三	一三五、六六六
鐵嶺	七一、三六四	六六、三三〇
開原	一五一、四六〇	一三七、七八
四平街	三〇、九四〇	三八、三三
公主嶺	一七、〇一二	一四、三一〇
新京	一三一、三三七	一三一、四四一
吉林	七、一〇〇	一、六四三
哈爾濱	一四〇、三一八	一四六、三六五

融資運用
品種別狀況

滿洲移入組合の十月中に於ける貸付額は別項の如くであるが、右資金の運用狀況は左の如くである(單位圓)

品種	金額
米、雜穀	一二八、六一八
薪炭	九、九八九
食料雜貨	二五、四三八
海産物	二六、四一三
蔬菜果實	九五、九八九
砂糖	二三、五二九
菓子及原料	四三、九五三
和洋酒	五〇、九八七
和洋煙草	六、七七四
吳服	一〇〇、五六一
綿絲布	五二、五八六
絹絲布	二四、〇二〇
毛織物	一四〇、四二四
麻袋	二七、三七九
建築材料	九四、一一九
金物機械	一〇七、五一〇
硝子	一七、七六二
時計貴金屬	一一、四〇八
皮革	七、五六五
靴履物	七九、一七三
圖書文房具紙	七八、一二七
小間物化粧品	二九、一九六
藥種	五四、九七四
世帶道具	三四、八六三
和洋雜貨	九五、三三七
玩具、運動具樂器、寫眞材料	四三、五〇七
其他	一〇二、四五七

尚前記商品を仕入地別に見れば地場仕入が四割三分と第一位を占め内地、仕入がこれに次いでゐる、内譯左の如し(單位圓)

仕入地別	金額	百分率
地場	六三七、九五九	四二、三
內地	四九四、〇三六	三三、八
大連	一八四、五三四	一二、二
其他	一九二、一三一	一二、七

利息收入から
半額を對滿放資
手始にビルを新京へ建築
三井、三菱が共同して

【東京特電二日發】三菱合資は三井合名と共同で昨年滿洲國に二千萬圓を貸付け、本夏以來年五分の利拂を受けてあるが、今後同社は同貸付より受ける利息收入の中より年額五十萬圓を滿洲國内に投資することに決定した、その第一着手として今回新京に約百萬圓の資金でビルディングを建設し一般の需要に應ずる筈である

近海遠洋共
船腹不足で活況
十一月中の海運界

大連港を中心とする十一月中の海運市況を概觀すると、先づ

近海方面 にあつては若松横濱間石炭運賃は去る十月初め一時一圓三十錢迄惨落したが、その後漸次反撥して十一月初めには二圓、中旬二圓二十錢となり、更に強調を唱へつゝ越月した、これは主として船質改善施設による老朽船解體のため近海就航船腹が百三十萬噸を割らんとする一方、石炭滯貨等近海航路の荷動きが季節的に活況を呈し來つたがためである從つて大連特産物運賃は月初阪神行豆粕九錢、袋物十錢、伊勢灣、横濱、九州方面行粕十錢、袋物十一錢、臺灣行粕九錢、袋物十錢見當であつたが、月末に至つて阪神行は粕十錢、袋物十一錢、伊勢灣横濱行粕十一錢、袋物十三錢、九州行粕十二錢、袋物十四錢となり臺灣行は農會の粕入札物大量成約を見、中旬粕十錢、袋物十一錢となり、月末には各社共臺灣行船腹なきため實際運賃取極めを見たものはないが底氣配粕十三錢、袋物十五錢見當を唱へてゐる、かくて十二月に這入れば各方面共二、三錢方急騰の氣配である、次に

遠洋方面 では歐洲方面行大豆は出廻期に入つて活況を呈し月初以來二十四、五シルの強保合を維持し、十一月中の輸出は十四五萬噸と推察される結果、十二月積として既に成約を見たるものは十八萬噸に達した模樣で、月末に至り期近物は船腹拂底の爲め運賃急騰して二十七、八シルの聲を聞くに至つた、ドイツが昨年七月から本年六月迄一ケ年の滿洲大豆輸入數量百三十六萬噸の八割、又はドイツ國內油房の大豆消費年額約百二、三十萬噸の七割を限度として今後大豆輸入を許可する計畫ありと傳へられるが、未だ具體化してゐない模樣でドイツ國內大豆需要は相當旺盛なるが如く、右輸入制限の噂に拘らず大豆の輸出に就ては一般に樂觀されてゐる、豆油、雜穀の輸出も活況を呈し、當分相當數量の輸出が期待されてゐる、更に米國方面では大麻子、落花生、粉粕等の輸出があるが數量は少く二千噸內外に過ぎない

廣東金融界
月末俄然混亂
銀行の危機と錢莊破綻

【廣東一日發國通】廣東金融界は二十八日午後八時から俄然混亂狀態に陷り當局は極力惡化の防止に腐心してゐるがその甲斐がない、即ち大中小の銀行及び嶺海公司營業停止後の諸銀行も危機を傳へられ、市內十數軒の錢莊は悉く破産又は店を閉ぢた、市立銀行は市民の兌換請求に依る窮餘の策として惡質銀貨を以て兌換したがこのこと忽ち暴露し、同銀行の紙幣流通不能となり、小銀行の一元五元紙幣は甚だしい打歩で受授せられ又十元紙幣は五割近くまで下落した

米の銀本位併用制
上院ボラー氏も支持

【ワシントン一日發國通】商品ドルを基調とするル大統領の新通貨政策に關しては世上贊否の論が囂々たる有樣であるが、有力な共和黨上院領袖たるボラー氏も之が論爭の渦中に割込み、銀を本位貨に併用することに依つて一層廣汎な金屬本位制を確立すべきであるとの主張を支持し、通貨本位を基礎として銀の重要なことは印度帝國銀行家さへも等しく力說してゐるところであるが、世界の通貨制度中に銀を適度に使用すべしとする問題は別とするも、數億の人々に三千年來使用し來り、今後も使用せんことを希望してゐる貨幣を回復してやらないやうな通貨制度は將來において到底健全且つ効果的なものと見做すことは出來ぬと述べてゐる

印度政廳が
回答遲延を釋明
暫らくの猶豫を要求

【デリー一日發國通】印度政廳は本日特に文書を日本代表部に寄せ回答遲延につき釋明した、印度政廳は右文書において問題の重要性に鑑み政廳としても愼重な考慮を拂ふ必要あり、各般の事情に亘り日本代表部の對案を考究してゐるから今暫く回答を猶豫願ひ度い旨を述べてゐる正式會商は今後數日間開かれるものと觀られる

滿洲商議令實施
明年四月と決定

關東州及滿鐵附屬地に於ける商工會議所令施行問題は多年の懸案であるが、常に商埠地問題に就て外務省に難色あり容易に實現の域に達しなかつたが、滿洲に於ける情勢の急變はその施行の必要を愈々痛切に感ぜしむるに至つたので、拓務省では關東廳と打合せの結果愈々明年四月より實施さることに決定商埠地問題に就て外務省とも或種の諒解を得るに至り、兩者の意見は漸く一致するに至つたので目下法制局に廻付、條例原案の審査を進めつゝあるが、明春早々勅令を以て「關東州及滿鐵附屬地商工會議所令」として發令を見ることになつた模樣である、而して問題の商埠地にも該法令を施行することに就ては商埠地を任意加入とするか、領事館令を以て強制加入とするかは嚴秘に附せられてゐるが、大體後者により領事館に於ても附屬地と同樣の法令を出し、強制的に加入せしめこれが統括は關東長官並に全權大使を兼ねる三位一體の軍司令官がこれを行ひ、以て監督機關の一元化を圖ることになる模樣である、尚ほ該法令は四月一日より實施される筈であるが、既存商工會議所の定款變更其他の手續上の問題より六ケ月間の猶豫期間が殘され、この間に一切の手續を完了することになつてゐる

日滿製氷會社
計畫に着手

【奉天電話】奉天の傳染病發生率が極めて多い原因の一つは滿洲國人が天然氷を使用するためで、今回傳染病豫防の見地より滿洲國人を中心とする資本金十萬圓四分の一拂込の日滿合辦製氷會社を設立することに決定、目下準備を進めてゐる

商品取信決算
配當年一割內定

大連商品取引信託會社では一日重役會を開き本年度下半期決算の査定を了したが、當期は相當好績を示したので株主配當は二分增の年一割に內定し來る二十二日午後三時から株主總會を開き決算の承認を求むる筈なるが利益金處分案を示せば左の如し(單位圓)

▲當期純益金九、七六一▲前期繰越金八九三▲合計一〇、六五五▲(右處分)法定積立金一、〇〇〇▲納税引當金一、〇〇〇▲什器勘定銷却三〇〇▲創立費銷却金一、〇〇〇▲株主配當金六、二五〇(年一割)▲後期繰越金一、一〇五

志村常務歸連期

十月末より約一ケ月餘に亘つて上海を振出しに東京、大阪、福岡其他重要都市に於ける工場を視察中であつた南滿瓦斯常務志村德造氏は四日着はるびん丸で歸連する

黄塵

◇…國都建設局の結城君、大新京の建設に全精力を傾倒して、見るも勇ましい活動ぶりを示してゐるらしいが、一面勞銀をはじめ不足を訴へ勝ちの諸材料の調整に生みの惱みの大陣痛も屢々繰返してゐる模樣である。

◇…何れは大滿洲國の國都に相應した大都市を實現しようといふものだ、並大抵の努力でないことは分つて居るが、一部內地の觀察者中には出來たての新建築場を一見して、豫期に反した貧弱さを見て、もう少し都市が出來さうだと失望の聲を投げて歸る連中もあるといふ。

◇…勿論震災後の復興東京を期待する樣なことは無理だが、今少しガッチリ味を加へて貰ひたいといふのが註文の意圖らしい、結城君あたりの感想はいかに。

◇…奉天在住の外商が續々天津や上海に引き揚げて行く、結局邦人の活動に押された結果だといふが、全然外商の進出を塞して了ふことは將來の滿洲に取らない、當局の一考察を要すべき案件ではないか。

市況(二日)

特産
仕手見送りに大豆弱保合

今朝の定期は大豆は休日を控へ一般仕手見送りに閑散弱保合を示し豆粕は人氣なく軟調、高粱は添はず閑散保合を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三五七〇	三五七〇	三五七〇	三五七〇
一月末	三五九〇	三五九〇	三五九〇	三五九〇
二月末	三六一〇	三六一〇	三六一〇	三六一〇
三月末	三六三〇	三六三〇	三六三〇	三六三〇
出來高	六十車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一四〇	一一四〇	一一四〇	一一四〇
一月限	一一五五	一一五五	一一五五	一一五五
一月末	一一六〇	一一六〇	一一六〇	一一六〇
出來高	三萬四千枚			

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一〇四〇	一〇四〇	一〇四〇	一〇四〇
一月限	一〇五五	一〇五五	一〇五五	一〇五五
出來高	四千五百箱			

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	二二三〇	二二三〇	二二三〇	二二三〇
二月限	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇
三月末	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇
出來高	十三車			

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)(裸物)	三七九〇	三七八〇
普通大豆(袋込)(裸物)	三七五〇	三七五〇
出來高	九十車	
豆粕	一一七〇	一一七〇
出來高	一萬八千枚	
豆油	一〇六〇	一〇六〇
出來高	五千四百箱	
高粱	二〇一〇	二〇一〇
出來高	三車	
包米	二一〇〇	二一〇〇
出來高	二車	

豆粕生産高

二日	四三、〇〇〇枚
三日	六一、〇〇〇枚

錢鈔
海外銀塊高で鈔票強調

海外情報は倫敦銀塊十六分一高、先物八分一高、紐育銀塊同事午ら定期は硬り、孟買休會、米英クロス一仙安、米支爲替十二仙高、米日十二仙安、神戸日米四分一安、

豆

けさ大豆は買氣薄の折柄日曜を控へて一般の仕手見送りに閑散弱保合を示し出來高も六〇車に過ぎなかつた▲豆粕も三井、三菱の買三萬四千枚だつたが、人氣薄に弱保合を辿り豆油は油房筋の買戻しの外買氣なく軟調を示し高粱も仕手薄に保合を辿つた▲現物市場も寂しく大豆は三菱一〇、豐年一〇、比來五、油房六五で九十車の手合で輸出筋の買控が目立つてゐる▲この一週間許りの間に歐洲向大豆運賃は船腹の不足から三シル見當の昂騰をみ約百斤につき十五錢方の値上りだから歐洲筋の買氣が自然一服した模樣だ

銀

海外情報は米英クロス一仙安午ら銀塊硬りを示し▲上海も滙水硬り標金弱含み商狀を入れ鈔票も三四十錢高と強調を辿つた▲米國も大統領の政策には可なり反對もあるがインフレの中斷は米財界を極端に惡化せしむることになるので依然インフレは續行せらるゝものとみる向が多い▲今次の産金買上値段の引上げもこの意を裏書するものであるといふので當市も再び買氣の擡頭をみせつゝある

株

大阪前場は諸株共ボンヤリ乍ら東新は四圓臺から止は六圓臺と強調を入れ▲當市は諸株共不引立の商狀であるが實物の引後東新高を入れて引締氣配を示した▲けさ大阪を首め各地方筋は政局懸念から案外の不引立の商狀であつて豫算案をめぐる政局の危機も去つたのではないかとみられた▲東新も段物一巡で賣方の利喰ひから目先戾り歩調に見受けられるが大勢な戾り賣に歩がありさうだ

◇定期前場(單位錢)

◇現物前場(銀對金)

定期喰合高(一日)

		前日對比較(△印減)
大豆	二八〇七車	五三車
高粱	七四三車	一二車
豆粕	一八〇五千枚	九九千枚
豆油	九八五百箱	五百箱

東新株引高

當市保合

北濱定期の前場寄は大株七十錢高大新四十錢安、鐘紡同事、鐘新二十錢高と保合乍ら引は大株一圓十錢安大新一圓安、鐘新九十錢安と低落し、東京短期の東新は四圓臺の硬りに寄り引は六圓六十錢と五錢止めとなり當市は五錢、新豆共十錢安、東新四十錢高、日產八十錢安、滿鐵新二十錢安に引けた

◇定期前場

◇延取引

◇爲替及受渡日歩

滿鐵株(保合)

東短前場 滿鐵新株 五十九圓

大阪短期 滿鐵舊株 五十九圓二十錢

商品

麻袋下放れ
綿糸ボンヤリ

麻袋 產地續八分三安、爲替高等に依て弱含みに推移し、期近物は四厘安と下放れて受渡物は産地安と現物過剩の状勢から賣物が多く當市は大阪安を入れ甘く、現物相場は氣の毒

綿糸 米棉現物十ポイント高、先限六七ポイント高、米日十二仙安、大阪三品は各限一圓強の安値を入れ當市はマバラ賣物で相當手合せをみた

特産

各地特産發送高

大連埠頭到着高

錢鈔

奥地相場

鮮銀

爲替相場

手形交換高(一日)

上海爲替情報

【上海二日發】銀塊英米クロス共上不足のため標金高寄り後更に上げしもアメリカの産金買上値が入仙方値上によりこの政策は依然繼續されるものと觀測して投機筋は弗の先物に賣氣多く氣配強し、日外銀行弗近物賣、先物買、同買、弗買多く、また日本政局懸念も加はりて大連銀強と共に銀氣配強し

上海標金

市場電報(一日)

銀塊及爲替

神戸日米

棉花

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

横濱生糸

印度麻袋

滿洲日報
朝夕刊共二十頁
發行所　大連市　滿洲日報社

本極りの九年度豫算 二十一億一千餘萬圓
公債總額七億八千萬圓

【東京二日發國通】九年度豫算は二日海軍の復活要求承認により公債發行額五百萬圓を増加したゝめ、總額二十一億一千百五十三萬七千四百八十三圓となり、公債總額は七億八千三十三萬五千八百二十六圓となつた、卽ち大藏省發表によれば九年度歳出歳入概算左の如し（單位千圓）

歳入

經常部	一、二四八、〇二九
臨時部	八六三、五〇七
普通歳入	五八、七四四
公債金	七八五、三三五
前年度剩餘金繰入	一九、四二七
計	二、一一一、五三七

歳出

經常部	一、二四七、一〇五
臨時部	八六四、四三一
計	二、一一一、五三七

細目の事務的折衝

【東京二日發國通】陸、海、大藏三大臣の政治的解決により、さしも難關に逢着した明年度豫算も愈々本極りとなつたが、二日の閣議において左の如く細目方針を決定したので、大藏省は事務的折衝を進める事になつた
一、大藏省所管における滿洲事件豫備金一千萬圓を減額す
一、海軍省經費につき九年度限り臨時部において一千五百萬圓を増額す
一、各省議で認められた總額の範圍内において事項の性質上差支へなきものについては費目の組替へを認める
一、國債費の計數整理は別にこれを行ふ

豫算問題折衝の經過
藏相辭意を表明
首相慰留に努む

【東京一日發國通】高橋藏相は豫算再查定問題行き詰りのため一日午後齋藤首相の手許に辭表を提出した

【東京一日發國通】高橋藏相は豫算再查定問題行き詰りのため一日午後齋藤首相に辭表を提出した、首相は高橋藏相を極力慰留に努めてゐる、卽ち一日午後各大臣の協議は當面の豫算問題に非ず、右藏相の辭表取扱ひ方に關してゞある

【東京一日發國通】高橋藏相は齋藤首相の再三の訪問に依る懇請にも頑として應ぜず第二次查定案を死守してゐるが高橋藏相は帝國財政の窮乏今日の如き場合尙第二次查定案以上の金額を強要する如きは心外である、これ以上要求されるなら職に止り得ぬと齋藤首相に相當明瞭に辭意を表明した首相はこれに狼狽し百方留任を懇請する處あり一日午後の首相の訪問は右懇請の爲めと解されてゐる

【東京一日發國通】高橋藏相の辭表提出につき堀切書記官長は午後七時三十分語る
高橋藏相が齋藤首相に對し辭意を表明したといふことはきいた、然し辭表を提出したといふことはまだ聞いてゐない

豫見は出來ぬ
愁ひの閣僚交々語る

【東京一日發國通】一日の閣議散會後高橋、荒木、山本、後藤等の諸相は左の如く語つた

高橋藏相

今朝總理と會つたのは豫算閣議に就いての打合せであるが午前の閣議で海相から豫算閣議は明日にしてくれといふ話があつたので今日の閣議には豫算の話は出さなかつた、閣議後荒木陸相とも會つたが陸相は承認額の範圍で組替へを希望してゐた又後藤農相は一昨夜會つた時農林豫算に就いて別に具體的な話はしなかつた、併し內政會議のことに就いて話してゐたが內政會議の問題は別に直ぐ實行せねばならぬといふものでもなし自分の決心は現在も何等變りない殊に將來の財政を考へれば尙更だ、公債の增發やインフレに拍車をかける事は徒らに物價を騰貴せしめ中產階級は困難に陷り國力が衰へて行くだけだ、それにさうなると大きな增稅とか苛酷な國家統制例へば、土地國有のやうな議論も起つて來るやうになる、さすれば中產階級者は皆無產階級に墜ちて行く之を支配するやうな勢力が興つて來るとイタリーやドイツの例を踏むやうにならぬとも限らぬ、由來我國の政治の要諦は建國以來無產者を有產者にするのが原則であるから此の心持をもつてゐる以上我輩としては豫算の膨脹は絕對に取らぬところである

荒木陸相

色々と話合つたり意見を聞いたりしてみたが圓滿に纏るか如何か依然不明だ、今や豫算問題を離れて政局問題に入つたものとみて差支へあるまい海軍農林豫算が依然中心となつてゐるが藏相はこれ以上一文も出ぬといふし海相も農相もこれでは如何しても足りぬといふ、殊に農林豫算については藏相と農相の間に金額でなく政策そのものにつき根本的に意見が異り解決は困難だ、藏相や藏相の親しい閣僚はこれ以上絕對に出ないといつてゐる、しかし僕はさう思はぬから首相に對しもう四、五千萬圓あれば海軍、農林共に解決すると進言した次第だが首相は今日も明答を與へてゐない、かう揉めるのも要するに五相會議や內政會議を中途半端にして豫算にかゝつたからだ、やらねばならぬことはやはり順序立てゝやらねばならぬ

山本內相

閣議後總理、農相とも話はしたが別に一ケ所に集つて協議をしたわけではない、未だ海軍でも農林でも頻りに豫算案內容を調べて意見を極めやうとしてゐる處でさう簡單には他から話しの出來るものではない、纏るか何うかは今の處全く豫想が附かぬ、大局から見て二三千萬圓の問題でこの非常時局を擔當する內閣が投げ出すのが果して國家の爲め何うか、ここで行詰るのが何うか、愼重に考へねばならぬ、農相の辭職說が大分傳はつてゐるが自分は農相にそんな意思がないと聞いてゐる、若し何うしても辭めねばならぬ狀態になる……

後藤農相

今日の閣議では豫算問題の話は出なかつた、豫算閣議は明日開く事になつて居るが大藏省の……

豫算決定の經過奏上

【東京二日發國通】齋藤首相は二日午後一時參內、天皇陛下に豫算決定の經過を奏上し同四十分退下した

齋藤首相

豫算については高橋藏相初め各省と懇談中であるが進捗を見てゐる、併し藏相とも海軍……

齋藤首相再び高橋藏相訪問

對日貿易關係調整に濠洲政府代表渡日か
當業者の希望に鑑みて

高橋藏相談

有吉公使南京側に福建問題警告
汪氏わが援助を希望

新國民黨に彈壓峻烈

蔣、英公使會見

福州出入船舶を檢査

デモクラシイとファッシズム
安部磯雄

最近デモクラシイの思想が下火になり、國民の一部にはどうしてもファッシズムにならなければならぬかのやうに考へる向きがあるが、現在のそのいふデモクラシイにもいくらか誤解があると私は思ふ……

市場改善協議

福建中央衝突二週間後か

福建派軍隊の買收に努力

伊澁中佐一行

放浪の湯玉麟 天津歸還を希望

東亞產業協會發會式

產金買上價格

本紙夕刊共十六頁

社説

豫算案纏まり 内閣危機去る

豫算問題は今日では政局問題になつたと荒木陸相が語つた程で、内閣危急の瀬戸際に迫つたが、荒木陸相の調停で滿洲事變豫備費の中から一千萬圓を振り向け、五百萬圓を赤字公債に依る案を樹て、此處に目出度く非常時豫算案の編成が出來上ることになつた。元來豫算問題で、自説が通らねば重大決意ありと最初にほのめかしたのが荒木陸相だつたが、次いで大角海相の同樣な態度を示すあり。最近には後藤農相の辭意が傳へられた。而して愈々最後に詰つて來て、高橋藏相が辭意を決したと傳へられ、此處に愈々政局の危機を思はしむるに至つたのである。

◇

最初の大藏省査定案では、總豫算二十億一千七百萬圓で、其内基準豫算が十四億、新規要求承認額が六億二千萬圓だつた。其の内にて陸海軍費二億六千萬圓だつた。之が去月十七日の閣議に提出された。然るに各省競ひて復活を要求したが、陸軍の復活要求額が一億八百萬圓、海軍の要求が一億二千五百萬圓。之れだけで三億以上だから全體の復活要求が四億以上になつた。大藏省は、それに對して三千萬圓程度の復活を許す意を示したが、各省殊に陸海軍では、そればかりの復活に滿足する筈なく、揉つた揉んだの末、結局大藏省にて八千九百萬圓の復活を承認することになつた。

◇

此の再査定案が二十九日作成を終り、三十日の臨時閣議に提出された。之によると、海軍省の分が四千四百萬圓、陸軍省の分が二千一百萬圓、外務省百五十萬圓、内務省三百萬圓、大藏省一千一百萬圓（滿洲事變豫備費一千萬圓を含む）文部省一百三十萬圓、農林省三百七十萬圓、商工省一百十萬圓、司法省四十萬圓になつてゐる。これに對して陸軍省其他の各省は大局的に見て之れを承諾することになつたが、最も强硬に不滿の意を表したのが海軍省で、次いで農林省である。海軍省は尚此上に二千五百萬圓の復活を要求したのである。然るに高橋藏相は、これ以上は一文も出す能はず、無理に出せば將來永久に財政を破壞して收拾の途なきに至ると言明するに至つた。藏相の此の信念は頗る固きものあり、國家の前途を考へるなら、無理な要求は出來ない筈だと、海軍省の態度に不滿を漏してゐた程であつた。

◇

殊に藏相の信念が固いのは、必ずしも財政上の問題ばかりでなく、財政の無理押しによつて思想的の重大問題、並に政治的變態の重大問題を惹起せんことを恐れてゐるのであるから、その態度は頗る强硬なものがあつた。又海軍は一九三六年の重大期に備ふる爲に要求額の費用は是非必要だと思惟するのだから是亦讓歩は容易でない。かくて二日の閣議は不用意に開けば内閣瓦解の恐れある狀態に立ち到り、三土鐵相仲裁に出で、齋藤首相自身も双方の間に立ちてその調和に當り、内閣著禍の深刻なるものあるを思はしめた。

◇

併しながら、實を云へば最も强硬な海軍側にしても、農林省にしても、陸軍にても、その他の各省にても、又個人としての各省大臣も、そればかりでなく閣外の各方面にても、此の内閣の倒壞を好まぬ意識があるは明白で何とかして豫算案を纏め上げたいとの氣持がある。その爲めに各大臣も隨分辛抱して、今日まで歩み寄つて來たわけであるから、最後の土壇場に於て何とか纏まりがつくのではないかと思はれたのであつた。果せるかな結局陸相の乘り出しによつて、圓滿に局面の展開を見るに至つたのである。これによりて我海軍も國防的施設に大缺陷なきに至り、爲めに外交の立場も有利なる可く、大角海相の面目が立つ。一面には藏相の主張が大體に於て立つたのであるから我財政の信用も中外に維持するに不足はない。而して内閣の危機は此處に救はれることになり一般經濟界に與ふる好影響と對外國威の維持とを期待すべく、非常時の今日誠に慶すべきである。

獨逸と滿洲國間の貿易促進を圖る
新駐日大使の着任後

【東京特電二日發】着任の途上にある新駐日ドイツ大使フオン・デルクセン氏は本國政府より特に滿洲國の政治經濟事情調査獨滿兩國貿易促進に關する商議等の委任を受けてゐることが在滿ドイツ系商社に入報されたため頗る興味をもつて期待されてゐる、卽ち在滿ドイツ商社等はかねてその救濟策を本國外務當局に要請してゐたところ、新駐日大使が特別任務を帶べる回答があつたものでドイツ製機械と滿洲產原料品大豆との通商商議も同大使着任匆々開始されるものと期待される、同大使は十六日頃東京着の豫定である

治廢問題等の對策を研究
奉天有志の座談會

【奉天電話】二日午後二時よりヤマトホテルにおいて居留民會、聯合町内會各關係者、野口民會長、皆川町内會長、粟野地方事務所長初め三十餘名參集の上左記諸問題につき座談會を開いた、先づ野口居留民會長の挨拶、皆川町内會長の議事進行について説明があり、左記問題につき討論した

治外法權撤廢問題

イ、裁判に關してどうするか

滿洲國裁判組織は事變前と何等變りはなく形式は整つてゐるが裁判官の學識人格等の素質に遺憾な點が多いから日本人、外人に對しては日系裁判官をもつて當らしめるやうにせられたい

ロ、行政（衛生、教育、土木）に關してどうするか

主として附屬地以外の奥地をも含めたものとして在留日本人の教育等を如何にするか又如何なる方法によるか、法權撤廢問題に逆戻りし朝鮮或はハワイにおいて如何にされたか等例を追つて議論區々に別れ次回の座談會に持ち越された

ハ、警察及び課税についてどうするか

現に各地に日本人警察官吏を配置してあるが、これは撤廢後の警察について日本の警察の處罰令に準じたものによつて行ふやうにされたい、居留民が日常の自由の權に關する大問題であるから滿人警官にも處罰權を與へられた場合は間違が起り易いだらうと考へられる、この點についても日本人は日系官吏によつて處分されるやうにしたい、そのため日系官吏の優れた者を多數送り込むやうにしたい、關稅の點も行政機構への日系官吏の參加によつて嚴正に行はれたい

かくて四時一旦休憩し續いて次の懇談に入つた

一、行政權全部を滿鐵會社に委任せしむるの可否

二、行政警察裁判を關東廳に委任するの可否

三、領事館に委任せしむるの可否等につき意見の交換あり、結局治外法權撤廢に伴ひ鐵道附屬地の行政權は移管せらるゝものと認めこの場合如何なる條件の下に還附するが適當なるや等につき討議が進められたが、日系官吏が關與する場合と滿人の場合、純然たる日本人官吏の手で行ふ場合の三樣に關して懇談を重ねたが、法權撤廢と行政委管でごてつき何等決定する所なく座談に時を過ごした

特務部と滿鐵案 協調は可能
粟野奉天地方事務所長語る

【奉天電話】粟野地方事務所長は本社との事務打合せを終り歸奉して語る

所長會議に列席したまゝ一度も本社に出なかつたのでいろ／＼の問題もあり事務打合せ旁々大連に行つたが、本社は地方部は無論のこと鐵道部その他は滿鐵改組問題につき滿鐵案と特務部案の所謂現地案につき愼重に研究しその熱心さに驚いた、地方部としては沿線附屬地の地方事務所に質問をしなくとも材料を蒐集し、立派に改組案の資料を完結してゐる樣子で、何れも軍役の審査を待つて滿鐵自體の根本改組案は起草されることになつてゐる、滿鐵としては株主總會を控へてゐるので、あらゆる點に最も愼重なる態度をとつてゐる、社員會としても徒らに騷がず大いに自重し研究を進めつゝある、この調子で行けば特務部案と滿鐵案の協調は決して悲觀すべきものでない、更に角滿鐵の改組は日本の經濟界に及ぼす影響が大であるから、此處は自他ともに考慮し滿洲の產業開發に對して支障を招來せぬやう軍部も亦滿鐵幹部も熟慮して滿鐵附屬地の行政移管問題は軍部案と同樣滿鐵としても異論は無いので、その時機如何といふ意見であると思ふ

改組問題調査

滿鐵改組問題は各方面にショックを與へてゐるが二日入港うらる丸で大阪社會問題研究會主事勞働通信社前田耕作氏は來連したが、滿鐵改組問題に關し伊藤幹事長等と面會今次問題の動向につき調査の上北支一帶を廻り歸阪すると

滿洲國獨立建國の記念館を建設
建設地は奉天か新京

【新京電話】滿洲事變から滿洲建國となり而も新興滿洲國の長足な發展振りは、たしかに世界人を驚かしつゝあるが、曾て滿洲に君臨して暴逆の限りを盡してゐた學良政權の崩壞した歷史的事變と滿洲國の獨立建國を永遠に記念すべく日滿各方面において記念館建設の議が進められてゐる、同記念館内には全滿各地における學良軍閥、兵匪その他の戰利品始め名譽の戰死を遂げた忠烈なる日滿兩軍將兵の遺品、滿洲建國の歷史的遺品及び右に關しての寫眞、繪畫など總てのものを陳列保存し一般の縱覽に供することゝし、右陳列品は關東軍、滿洲國、滿鐵、關東廳など で蒐集する外一般よりの寄附に俟つことになるやも知れず、なほ記念館建設地は奉天か新京の何れかに選定されるであらうが具體案については多分關東軍を中心として委員會を組織し研究されることにならうと見られてゐる

バイヤン男 二日上海へ向ふ

滿洲における投資方針確立の要務を帶び佛國財閥を背景として來滿中であつたベルギー銀行頭取バイヤン男爵は一日ヤマトホテルに午餐式を開き官民有志を招待交驩するところあつたが、二日出帆吉島丸で單身上海に向つた、麗しい秘書テッツ孃をはじめ多數の知名士の見送りがあつたが、バイヤン男は語る

昨日の小宴に滿鐵正副總裁をはじめ皆樣が御出席下さつた事は何よりもうれしい事です、上海行は息子のゼームスが今度駐日佛國大使館附三等書記官として新任の途上にあるので上海で落ちあつて久方ぶりで親子の對面をしたいと思ふのです

滿洲國軍の戰鬪力大に向上
吉林省剿匪の成績

【新京電話】過般の吉林省匪賊大討伐に參加活躍した滿洲國軍は吉林省軍の主力と、黑龍江省軍と靖安軍の各一部を合し總勢實に五萬に及んだが、日滿兩軍の共同動作は遺憾なく發揮され、所期の目的を達成した、而も滿洲國軍の戰鬪力は從來よりも著るしく向上し軍規の嚴正も亦見違へる程で軍隊の對民衆觀念も一變され今や漸く國家の軍隊たるの實を擧げつゝあり一方民衆が軍隊と共同動作に出でた實例もあり、國家意識が漸く邊境の地にまで普及しつゝあるのを物語つてゐる、なほ日滿兩軍の總指揮に任じた廣瀨中將は十二月一日張軍政部總長を訪問し今次討伐狀況につき詳細語る所あつた

日本水產會社 奉天に進出

【奉天電話】鐵西工業都市に日滿ペイントをトップに紡績ゴム製造工場が成立されたが、資本金四百萬圓の日本水產會社は二千坪の土地會社に來電申込があり、同社は全日本に三十數ケ所の支店を有し今回の借入土地には冷藏庫を建て最も新鮮なる海產物の供給に奉天を中心に全滿的に活動を開始する方針で冷藏庫を設けられた曉は奉天市民は勿論のこと各都市では今

警備道路巡察記（4）

康平縣の棉花と水田可耕地面積

鐵嶺にて　湯山仁平

康平は奉天省康平縣の縣城所在地である、舊名を康家屯と稱へた、往時は蒙古博王旗の治下であつたが、清の嘉慶七年（一八〇二年）仁宗皇帝の時博王に迫つて開放せしめ、極力山東及び關内よりの移民を入れ開墾を奬勵したる結果、漸次發達の一路を辿り光緒六年（明治十三年）縣治を布き、滿洲國の成立と同時に縣長及び縣參事官の任命あり、今日に至つた、現在の人口は滿人約四千人にして、都市としては未だ寂寞たる一個の部都である、物資の集散狀況も附近の部落と博王旗内一部分の需要を滿たすに過ぎぬ、殊に近年四洮線及び打通線の開通に依つてその背後地は一層狹隘を告げた感はあるが。

△——▽

玆に注意すべきは棉花の栽培で多き事は前述の通であるが、縣當局の語る處によれば、警備道路の沿道に棉花畑のある、種々の方法を以て獎勵してゐるが、昨年頃より農民の之に着目するもの多く、作付反別も頓に增加し今年は縣下に於て六十萬斤の採取を見る見込なりといふ滿洲の棉花栽培適地は關東州内及び本線遼陽附近と安奉線の一部位に限つて居たが、この廣漠たる蒙古原野に、斯かる美事な棉花が栽培し得るとすれば、印棉問題なんかで騷ぐ必要はないのである、更に康平縣下には水田可耕地面積が約五千町歩もある現に北部遼陽窩棚附近や、哈拉心屯附近には鮮農の開墾せる水田が約八十天地もある。

△——▽

序ながら本縣哈拉心屯にも乃木將軍に關する一つのエピソードを有つて居る、それは劉仲元君の事である、劉君は將軍が法庫門の陣營に滯在中の從卒（炊事夫）であつたが、夙に將軍の人格に敬服して自然に感化を受け大の將軍崇拜者たると同時に日本贔屓になつて了つた、將軍が日本に凱旋した後

……

正午を過ぐること卅分休憩時間一時間にて一同再び自動車上の人となつた、市街を北に進む、北門を出づれば又蒙古平野となる眼を窓外に轉ずれば果しもなき草野思はず鶴南先生秋風の詩を吟誦せしめた

蒙古秋生大漠風
平沙萬里接長空
一行駝隊寒如點
影波荒煙落日中

走る事約五百米で康平飛行機着陸場に達する、その廣い事想像の外にある島國日本に育つた吾等は際涯もなきこの大平原を見るさき聊か心の淋しさを感ぜざるを得ない、着陸場の檢查が終ると直に引返し通江口へ向つて出發した（寫眞は乃木將軍が日露戰役の際第三軍司令官として法庫門に滯陣、この家に約九ケ月間起居さる）

御影池署長の裁量に一任
市場問題前進

大連市會同志倶樂部では御影池民政署長の中央卸賣市場問題調停案に對する態度を決すべく一日午後二時半より四時半まで、若月副議長、矢野、今村兩議員を除く十議員が市役所委員室にて意見を鬪はした結果、遂に白紙に立還り署長の裁量に一任することに決定し左の文書を二日芦刈幹事が御影池署長並に大内市會議長に提出することになつた

同志倶樂部としては日本人仲買人（北支那青果會社を含む）に交附する交附金額は前二ケ年間は一分五厘、あと二ケ年間は一分といふことに最後的決定をしたが、この案では民政署長としては調停より手を引かれるとの事であります、依つて同志倶樂部としては今回白紙に立還り民政署長の御裁量にお任せ致しますから然るべく市營中央卸賣市場の圓滿なる發展のため宜しくお願致します

附記　委員會設置の件は從前通りの意見であります

かくてさしも紛糾を重ねた市場問題も事實上一先づ圓滿解決を告ぐる膳立成つたが御影池署長として各派の意向を尊重して、過般署長對市會代表の折衝によつて生れた二案のうち

最初の二ケ年間は一分五厘、あとの二ケ年間は一分、百二十萬圓まで一分、百二十萬圓超過額について一分五厘を支給する

案を採擇するものと豫想される、右について芦刈幹事は語る

同志倶樂部としてはいろ／＼意見もあるが差當り市場の紛糾を收拾して圓滿な運行を見ることを念願としてゐるので、この意味において署長の調停を感謝し其裁量にお任せした次第である

……よりずつと廉い魚類が食べられると期待されてゐる、なほ鐵西工業用地の使用貸下げを希望する者の照會は最近非常に多くなつた

大觀小觀

最後まで知らぬ顏は機を見なければならぬ▲内閣は當分無事、實は閣内閣外共に此内閣を潰したくはないのだ、齋藤子は惠まれた空氣の中にゐる主義の上に立たずして、野心鉢合せの福建政府、始めから怪しいものと思はれたが、早くも内訌沙汰▲社會民主々義に反對する軍部あり、共產黨に接近し過ぎて今更持て餘し氣味になる▲福建と廣東、敵か味方か一向分らぬ、それに南京政府と共產政府とを加へて四角關係▲どうなるのか、どうしやうといふのか、御自身にも分るまい電報だけ見てゐる我々に分りやうはない▲此人達の爲す事はいつでも此通り、壁のない壁にはまつて行く所は珍妙といふべし▲福建獨立するも、北支に影響なしと李擇一君語る、北支の安定が漸次固まるのは何より結構▲張學良君、何を思ひ立つたか、急遽歐國の途に就く▲別に良い事が待つてゐるでもないが、ゴタ／＼に乘じて何かやつて見たい位の所か。

……危機一髮の所で助け船、さすがは……人機を捉ふるに……▲此際農相は……の餘地がない、農村問題重大事に……違ないが、主張す……

李擇一氏挨拶

二日朝來連したる北平政務整理委員李擇一氏は小山貞知氏の案内で同日午後四時來社挨拶する處あつたが同氏は同日夜十時發列車で北行奉天へ赴いた

中野副領事 三日奉天發赴任

【奉天二日發國通】重慶榮轉の中野副領事は各方面に離奉の挨拶を終へ明日午後一時三十四分發列車で大連經由愈々赴任の途につく事になつた

關東廳辭令（二日）

關東廳事務官	山口倭太郎
關東廳警視	石井金三郎
同	久下沼　英
同	青木　昇
關東廳技師	加藤　了
警察共濟組合審查會委員を命ず 地方法院判官	田中　欣市
豫審掛を命ず 同	川畑源一郎
豫審掛を免ず	

人事

▲久松治氏（滿鐵新任新京販賣事務所長）二日午後四時二十分發列車にて赴任

八相

投書歡迎　五十行以内　中傷はさらす

乞食の正體　S生

◇十一月二十七日附の本紙八相欄に大連市の乞食を一ケ所に收容して職を與へよ云々の御説、博愛衆に及ぼす御厚情は感服の外はない、しかし大連の乞食はどんなものであるか、職無きが故の乞食なりと解釋して居られるらしいが誤りも亦甚だしい。

◇彼等の壯年者は全部がモルヒネ中毒者の勞務に堪へ難いもの、みである、幼者、老者、此等は總て内職の乞食である、一家の主人は苦力として一日を勞働に出かける、嬶と子供乃至老人は籠を提げて乞食に出かける、これが大連市を徘徊する乞食の身許である。

◇A・M・L氏は滿洲といふところがどんな土地かまだ御存じないのであらう、この乞食を收容して職を與へる事が市役所、警察、社會團體の責任であるなんその御説を唱へられる前に夜間の御婦人の一人歩きの御注意が必要であらうと存ずる。

◇更に「日、支、外人の何國人を問はず誰がこの事に對し應分の助力を惜まん」云々、滿洲の乞食を助力する事は益々彼等を繁殖せしめるのみである事を申添へます。

◇また救濟せねばならないものに乞食よりも先に我等の同胞が澤山居ることを御忘れになつてはいけない。

食堂車の物價　伏見町　注意生

◇僕が滿鐵線に乘つて常に不滿に思ふのは食堂車の物價である、殊に甚だしきは最も廣く愛用せらるるビールの如き市價二十二三錢のものを五十五錢、果物一個四、五錢のものを十錢にも賣つて居る、總てがさうである、之は僕ばかりの感ずる處ではなく一般がさう思つて居ること、思ふが一般が何とも云はぬ所を見れば餘程金持ちばかりと思ふ

◇警察官吏も時々食堂車で見受ける樣だが平氣で飲んで居る所を見ると實際不思議でならぬ、今一つは殆ど洋食ばかりで和食としては親子丼位のものである、今少し和食を多くしては如何、これサービスの第一歩だと思ふが當局者の責任ある回答を望む

市況（二日）

特產

豆粕强含
邦商の買に

後場大豆は人氣引立ず區々保合を入れ豆粕は邦商の買に强含を呈し豆油は買氣薄に弱保合を辿り、高粱は不申頗る閑散裡に大引した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（區々保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三七三〇	三七四〇	三七二〇	三七二〇
一月末	三七九〇	三七九〇	三七九〇	三七九〇
二月末	三八一〇	三八一〇	三八〇〇	三八一〇
三月末	三八二〇	三八二〇	三八二〇	三八二〇
出來高	百二十八車			

▲豆粕（强含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一一六〇	一一六〇	一一六〇	一一六〇
十二月末	一一六〇	一一六〇	一一六〇	一一六〇
一月限	一一六五	一一六五	一一六五	一一六五
一月末	一一六五	一一六五	一一六五	一一六五
出來高	二萬一千枚			

▲豆油（弱保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一〇五〇	一〇五〇	一〇五〇	一〇五〇
出來高	一千箱			

▲高粱（出來不申）
▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	三七八〇	三七九〇
出來高	百車	
普通大豆（袋込）（裸物）	三七五〇	三七五〇
出來高	三車	
豆粕	一一八〇	一一八〇
出來高	三千枚	
豆油	一〇五五	一〇五五
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

鈔票强調
人氣强く

海外情報なきも海外高見越しから買氣强く、四五十錢高と强調を辿つた

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一二〇五	一二一〇	一二〇五	一二〇〇
出來高	百十二萬五千圓			

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	一二三五	一二二〇	一三三五
二時半	一二三五	一三三〇	一三三五
三時	一二三五	一三三〇	一三二〇
出來高	銀對金十四萬八千圓 銀對洋一萬九千圓		

株式

當市□り
材料薄乍ら

内地市場休會にて材料薄なるも前場東新引高の好感から五品は一二十錢高、東新は一圓三十錢高、日產は四十錢高に引締つた

◇後場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
東新 寄	――	一七七〇
東新 引	――	一七七〇
五品 寄	二五九	二六一
五品 中		二六一
五品 引		二六二

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二六	二六	二六	二六
東新	一四九	一四〇	一四九	一四九
日產	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇

商品

麻袋□り
綿糸見送り

綿糸　大阪三品後場堅調を入れたが當市は氣乘薄く見送る

麻袋　投げ物一巡し目先底入れ模樣にて强含み商狀を呈した

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	一月限	三七二	三〇
出來高	三萬枚		

市場電報

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二三八五	二三七一
一月	二三八七	二三七二
二月	二三八六	二三七五

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二三六八	二三六三
一月	二三六五	二三五六
二月	二三六九	二三五五

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二三八〇	二三八三
一月	二四〇六	二四〇六
二月	二四一九	二四〇七

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	二三一七	二三二〇
一月	二三一〇	二三一〇
二月	二二〇〇	二二〇〇
三月	二〇四七	二〇五七
四月	二〇四〇	二〇三〇
五月	一九八七	一九七〇
六月	一九四〇	一九五〇

謹告

（十一月中就職決定者）

英邦文タイプライター科卒
滿鐵本社總務部文書課附採用　植松　小枝
英邦文タイプライター科卒
國際運輸株式會社錦州支社附採用　加藤　惠枝
英文タイプライター科卒
三井物產大連支店附採用　中村　光子
英邦文タイプライター科卒
滿鐵本社總務部文書課附採用　上野　きよ
英邦文タイプライター科卒
遞信省電氣局外事課員に採用　末吉　典幸
英邦文タイプライター科生
大連海務協會附採用　井浦　一枝
日本棉花株式會社大連支店附採用
英邦文タイプライター科卒　上野　秀子
邦文速記科卒
哈爾濱市政公署附採用　小島　春子
右同窓會員諸氏に謹告仕候間書面の往復は各部署宛被成下度此段謹告候也

英邦文タイプライター科卒　太田千惠子
輸出入貿易商中村商會採用
邦文速記科卒　佐藤とみ子
滿鐵本社地方部庶務課附採用
英文タイプライター科卒　小崎　珠子
貿易商大連洋行附採用
英邦文タイプライター科生　村野千枝子
滿洲石油株式會社附採用
邦文タイプライター科卒　鶴子
公主嶺電燈株式會社附採用
英邦文タイプライター科卒　江頭　政子
邦文速記科卒
營口稅關秘書課附採用
英邦文タイプライター科卒　中溝　和枝
インターナショナル・トレーヂング商會附採用

昭和八年十二月三日
大連市西廣場
英學會
英和タイピスト學院
電四三〇八

御挨拶

今回私儀日滿實業協會の業務を兼掌することに相成明四日赴任東京に定住致候に就ては出發に際し一々拜趨御暇乞申上可筈の處行李匆々其の意を不得乍不本意茲に以紙上御挨拶申上候 敬具

昭和八年十二月三日

篠崎嘉郎

辱知各位

家庭

北へ・南へ

冬の滿洲を驅ける
旅人の心得二つ三つ

滿洲特異の氣溫に低下して各地とも嚴冬となりました、目覺ましい滿洲國發展途上の第二冬を迎へて建設へ！建設へ！の第一線に於て、或は北に或は南に慌たゞしい旅を續けなければならない人々にとりて滿洲の冬の旅は耐へ難い苦痛の種でせう、ストーヴスチームでむつとする室内や車内、觸れゝば忽ち凍るが如き外氣の間を往來する不快さ、不便を克服しなければならない滿洲の冬の旅について二三の心得を記しませう。

先づ身仕度を
刺し通す零下二十度以上の寒氣

各地 ともに零下を遙かに降る滿洲での旅には是非とも毛皮又は厚羅紗の外套、防寒帽、手袋の三つの用意を缺くことは出來ません、零下二十度以下三十度位の地方、例へば新京、洮南、吉林邊りへの旅行には必ずしも毛皮をつけた外套でなくてもよいのですが襟だけには耳の寒氣を防ぐために毛皮をつける必要があります、しかし零下三十度を超えるハルビンチチハル以北へ行くには何うしても

毛皮 をつけた外套を必要とします零下廿度を超ゆると外部の寒氣は如何に厚くとも織つたもの編んだものでは刺し通して來るので即ちこの寒氣はスキン即毛皮類又は皮製のもので防ぐ外ないのです、防寒帽は飛行帽の樣に上から耳蔽ひの下りるものより椀の形になつたアストラカンの防寒帽がより効果的です、前者は零下五十度を超えた地方では防寒の役に立たなくなります、外套、防寒帽の用意は都會と離れた僻地に向ふ場合にはより一層寒氣が酷いものとして十二分の

用意 をしなければならないのは云ふまでもありません、防寒靴の用意は都會の旅には先づ必要ないものと考へてよくスパッツを使用すればこれで充分です、しかしハルビン邊りで使用してゐるガローンといふ羅紗を張つた一種のオバーシューズは防寒用と同時に雪に辷らないでよいやうです。手袋は先づハルビン邊りまでの旅ならば普通皮製のもので裏は毛皮でなくとも純毛メリヤスのついたものなら充分です。

列車 内、船舶内はスチームによつて煖房がきいてゐることは今更いふまでもありませんが、旅客機内でも冬期はラヂエーターがあります、從つて毛布等の用意は先づ不必要でせう。只夜中三等寢臺による場合には寢具の用意がありませんから毛布、枕等の用意を各自でしなければなりません、こゝに特に注意しなければならないのは列車内等はラヂエーターに依つて

乾燥 し切つてゐるために就寢中に鼻と咽喉を害することが多いことです。ですから水分は幾分餘計にとる樣にし寢がけには咽喉に濕布するとか、マスクをかけること等もよいでせう。特に弱い人はガーゼ數枚を水に濕してマスクにかけるとよいやうです。

凍傷 に就いての注意として高い溫度の室内から外部に出る折は人體に直に寒さを感じませんが、特にこの時は充分の防寒の用意をして出なければなりません。又長く外の寒氣に觸れた後暖かい室内に入る時は一層注意を要して冷えきつた耳、顏面等を充分摩擦した後に入る樣にすべきです。外部を歩いて一番先に寒さを感じるのは手先、耳、足ですが手先、耳は常に摩擦し足先を溫かに保つには靴下の清潔なのを常に用ひ、二日以上はかぬ樣にすることが肝要です。

嚴寒時の各地氣溫

最後に嚴寒時の各地の氣溫の大體を參考までに記しませう。

上海 大連における十一月中の氣溫（平均三、六度）

青島 内地山形邊りの程度の氣溫（平均零下一、八度）

北平、天津 大連と略同樣です（平均氣溫零下四、一度）

臺北 秋の好季節ですが雨期に入ります（平均氣溫一五、三）

北鮮地方 營口附近と似よりの氣溫ですが家屋の設備が劣つてゐますから餘計に寒さを感じます（平均氣溫零下九、四度）

熱河地方 先づ新京、吉林程度で零下二十五、六度の平均ですが夜中日中との差は激甚です

北滿地方 洮南、ハルビン、チチハル、滿洲里、克山、大黑河の方面は何れも零下三十度から五十度に及ぶ酷寒です

卓上日誌

▲接心會　四日から一週間大連妙心寺で開催

家庭顧問

脚がしびれて困つてゐます

【問】今年二十歳の青年で昨年二月渡滿し某會社の工場に働いてゐます、内地に居た間は勿論昨年中は別段脚氣の氣味も無かつたのが本年七月頃から爪先がしびれ其の症狀が段々進んで下肢全體がしびれるやうになり果ては下腹部にまでその症狀が上つて來ました着物を着ても紙一重隔てゝ肌にふれるやうな感じですし、坂道を登る時など脚が重くて走らうとすると膝頭の邊が力が拔けてころびさうになります、運動も出來ず何時も不快な氣分で日を送つてゐますが何かよい療法はございますまいか（大連R K生）

【答】**一日も早く診てお貰ひなさい**　御文面により或は脚氣ではないかとも思はれますが判然しません、内臟全體に何の故障も無く脊髓に何の異狀もなく尿の檢査を行つても別に變りがないとすれば身體の過勞又はヴイタミンBの缺乏から來る脚氣かもわかりません、若し脚氣とすれば既に腹部にまでシビレが廻つてゐるのですから素人療法では事足りません。何れにしろ徹底的治療の必要ある病氣と思はれますから一日も早く醫師の診察を受けて正しい治療法を講ぜらるゝ事をおすゝめします（土井三郎）

痛い魚の目によい根治法は

【問】四五年前から俗にいふヨノメに惱まされ、三年前支那人のヨノメ取に二ケ所より二十五個も取出してもらつたのですが最近又もや痛んで困つてゐます。場所は右足の小指の外側で、靴を穿くとまるで仕置にでも會ふやうに苦痛を覺えます。病院にも通ひましたが一向なほりません。根治の方法を御教示願上げます（聖德街愛讀者）

【答】**摘出か燒灼の手術を受けなさい**　ヨノメといふのは方言で俗にいふ魚の目、醫學的に雞眼といふのです。治療法は摘出して縫ひ合すか又は燒灼して根治させるかです。素人療法は針でホジクルか剃刀で削ることです（辻慶太郎）

月經週期が不順です

【問】本年二十歳の處女で某會社のタイピストをしてゐます。滿十五年七ケ月で初潮を見、昨年よりやうやく順調に月經を見るやうになりましたがその周期が四十日目毎なのです、體は瘦せてはゐますが至つて健康です。何か體に異狀でもあるのでせうか婚期を控へて惱んでをります（未婚の者）

【答】**内分泌機能が不充分な爲です**　恐らく内分泌腺の平衡を得ないために初發月經が約一ケ年もおくれ、順調なるべき月經周期が不順だつたり、順調となつた今でも普通二十八日乃至三十日毎にある筈の月經が四十日も間を置くのでせう。かやうな場合の多くは卵巢や子宮の發育が惡くて女性としての最大任務を有する卵巢の内分泌機能が不充分なためです。かういふ内生殖器の發育不全はお若い現在では大した苦惱はありませんが、年月を經るに從つて種々の不快な症狀を起すものです。治療法は大分發育が遲れてゐるのですから急速には出來ませんが、氣長く卵巢内分泌物（女性ホルモン）の補給並びに理學的治療等を必要とします（岩男其二郎）

寒いからこそ洋裝お薦め
不完全な下着は貴女のお姿を臺なしに

▼▼…「身體でいゝけれど冷えるから冬だけは洋服は億劫だ」と仰言る婦人方の多いのを見ると大連の婦人方も未だ未だと云ひたくなります。寧ろ寒いからこそ洋裝をおすゝめしたい位で、下着を完全になすつたら日本服よりずつとあたゝかで冬のお外出には一番理想的だと思ひます。寒い日に洋裝で外出して風邪を引いたり冷えこんだりなさらぬやう、一通り冬の婦人服の下着をおさゝのへ下さい。不完全な下着は寒いばかりでなく大切なあなたのスタイルまでぶちこはしてしまひます。

▼▼…先づ一番下からコムビネーシヨン（袖なしの肌着で膝までつゞいてゐるもの）を着るかシミーズ（腰までの肌着）を着けます。そして乳房の形をとゝのへるためにその上からブラシエール（乳覆へ）を着けコルセットをはめます。コルセットは靴下吊り程度のせまいのより幾分ひろ目のゝ方が溫くもあり腰線をきれいに見せます。靴下を穿いてコルセットに吊りその上からメリヤスか毛のヅロースを穿きます。かうしますと胸から足まですつかり覆はれて風の入るすきがありません。ヅロースの上から更に縁かざりのついたニッカーを穿けば正式です。毛のスリップ（シミーズの長いもの）を着て更にその上から不二絹かクレープデシンの胸かざりのあるスリップを着ます。ひどく寒い時はスリップの上にスリップオーバー（袖のないスウエーター）を着ると大變あたゝかです

▼▼…これで下着がさゝのひましたからスーツなりドレスなり召せばよいわけです。下着類の大體の値段はコムビネーシヨン二圓三十錢、シミーズ八十五錢、ヅロース五十錢、ニッカー八十五錢、スリップ二圓三十錢、ブラシエール七十錢、コルセット一圓前後と見て十圓もあれば靴下まで揃ひませう。靴下といへば大連では冬でも絹をお穿きになる方が多いやうですが、寒い日の外出には矢張り毛をお用ひになつた方がよいと思ひます。

▼▼…そしてお買物位でしたら上からソックレット（靴下の先の方だけのもの）をお穿きになると大變樂で靴下もいたみませんし、雪の中でもお歩きにならうといふにはスパッテイ（スパッツの膝の上まである長いもの）をお穿きになればどんな寒さも完全にノックアウト出來るでせう（濱華洋行支配人談）

日本棋院秋季大手合戰譜（第六局）

先　三段　島村利博
　　初段　瀨川良雄

【5】

●九一ヌの十二　○九二ヌの六
●九三リの四　○九四リの三
●九五ヌの五　○九六ヌの十
●九七チの九　○九八チの八
●九九ヌの十一　○一〇〇チ十
●一〇一チ十一　○一〇二ワ十
●一〇三ル十六　○一〇四リ十六
●一〇五ル十四　○一〇六タ十七
●一〇七タ十六　○一〇八ル十七
●一〇九ワ十六　○一一〇カ十七
●一一一ヨ十六　○一一二ヨ十八
●一一三タ十八　○一一四イ十二
●一一五イ十三　○一一六ロ十四
●一一七チ十五　○一一八カ十六
●一一九カ十五　○一二〇ワ十五
●七三つぐ

所要時間累計（白四時卅五分　黑三時〇分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

白　百二で（ワ十一）にハネると黑（チ十二）とヒカれて下方、十四以下の方に影響する上に百二の斷點がのこります

黑　百五の手で百八にタチキッてもつまりません、問題は白十八の一子などを取る取らぬではなく、十九以下の黑の一團全たいに關しますから――

白　それゆゑ百四で直に百八には受けなかつたのです

白　百六は黑百七と先に交換して黑百九の手のきびしさを緩和しました

黑　白百十四、百十六などこゝで打たれて弱つたのです、早く黑から（ハ十四）を打ち、白百十六黑（ロ十五）白（イ十四）黑（イ十五）白（ハ十五）黑百十五白百十六にウチコミまでを交換しておくべきでした、十五以下の六子に助かる途はありませんがさうなつてゐれば隅に（ロ十七）とヒコム手段がのこつてゐる點、譜とは莫大の差です――

戰の跡

◇黑九十一は絶對である、これより後白に百十四、百十六を打たれるまで黑から（ハ十四）のオサヘ以下を打つ手順のなかつたことに注意してほしい

◇黑九十三で單に九十五にオサへると白（リ五）とキラれる、次いで黑（チ五）白九十三と交換したまゝでは白（ト五）のワリコミがあつて八十七以下の三子を黑は捨てなければならず、その事は直ちに白六十四以下の強みであり從つてまた黑十九以下の大石の弱みとならざるを得ない、譜は百二まで、白を追ひつゝ黑自身も逸出してゐることを思ふべきである

◇黑百三の筋を打つても次に百五と一旦引上げなければならぬでは情なかつた、結局白百十四百十六と悠々實利の大を占められしかも下邊十四以下の白をも直接攻めるとが不可能とあつては大勢は漸く黑を去つた模樣である、殊に左上隅もまだ完全ではない――

ラヂオ RADIO

大連 JQAK　十二月三日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード
▲午前十一時五十分（新京より）講演「滿洲國を中心とする日滿蘇の狀勢について」關東軍參謀陸軍步兵中佐末藤知文
▲正午　時報ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分（東京より）琵

合唱「キング・コング」東喜代駒、東千枝子、東千世子、東キミ子、東ツヤ子、東マツ子、東天州、外伴奏
▲午後七時（東京より）清元「吾妻櫻衆神土産」（土佐繪）淨瑠璃清元千代太夫、同清元梅代太夫、同清元和歌尾太夫、三味線清元喜久造、上調子清元梅七郎
▲午後七時三十分（東京より）歌澤（一）井筒姫（二）朝がへり唄歌澤寅佐多花、三味線歌澤寅佐吉
▲午後七時四十五分（東京より）名作物語「坊つちゃん」夏目漱石原作、古川綠波
▲午後八時三十分　時報（東京より）ニユース氣象通報

本社特選 新棋戰（其二）

平手　先六段△山北孫三郎
　　　六段▲石井秀吉

【圖は三二金迄の局面】　山北氏持駒歩

△七六歩　▲三四歩
△二六歩　▲八四歩
△二五歩　▲八五歩
△二四歩　▲同　歩
△同　飛　▲三二金
△七八金　▲八六歩
△同　歩　▲同　飛
△三四飛　累計十五手

土居八段講評

石井君の三二金は當然の受手である、但し二八飛、二六歩打の逆襲策もあるが、二八角成、同銀、三三角打、二八飛と廻つても三八銀で、以下攻めを繼續することが困難である以下山北君が横歩を取つたのは結果に於ては歩德となるも、手損は免れないから一利一害の策である

萩原七段解説

山北氏の二四歩は、七八金と上り敵が三二金の時二四歩と指す方が順である石井氏の三二金は、評の如く八八角と交換して、三三角と打つ順は以下二二飛と廻り逆襲する順になるも、以下充分に指し切れないでたのである、次に八六歩は、一旦穩かに相懸り横樣に三二金と指し二三歩と打つて敵が二六飛なら、其の時八六歩と指す方が變化が狹くて順當である、又この二三歩に對し二六飛の處、三四飛なら八八角と交換して、二五角と打つて敵の横歩取りを咎めるべきである、山北氏の三四飛は、敵が二三歩と打たずに八六歩と來た故強く三四飛と横歩を取つたためである。

二つの大會を控へ多忙な氷上界
一大リンクを發見十數日前から奉天の選手連猛練習

【奉天】今シーズンのスケート界は全日本氷上選手權大會が安東で又本年最初の試みとして最も期待されてゐる内、鮮、滿の氷上對抗競技會が奉天でそれ〳〵開催されるので滿洲のスケート界は異常の緊張味を以て選手は必死を期し練習にとりかゝつてゐるが、奉天でも各所のリンクはこれまで暖かゝつた關係上結氷しても晝間解けるといふ始末でリンクは使用されず焦慮されてゐたが圖らずも最近國際運動場の東南方に距る一千米の地に長沼といふ一大リンクを發見し十數日前からスピード、フィギュアー、ホッケー等の猛練習を續けてゐる近ごろ漸く寒氣が加はると共に國際運動場のリンクも注水を續け既に大部分注水が終つたので來る三日の日曜から開場し全日本氷上界の王座死守を標榜として大々的に練習を行ふことになつた、本年度のスケジユールは左の如し

十二月十七日リンク開き氷上大會、同二十四日第一回國際リンクレコード會、同二十九日同第二回レコード會、明年一月五日奉撫對抗氷上大會(中等學校ホツケー選手權大會)同七日奉天氷上選手權大會、同十三、四の兩日全滿氷上選手權大會(ホッケー選手權のみは七日頃擧行)同廿一日奉天市民氷上大會(戸外デー)同二十八日全滿鐵小學校氷上大會、二月七日内鮮滿對抗氷上大會、同十一日氷上納會

練習艦隊司令官等新京訪問

【新京】大連入港の練習艦隊司令長官松下中將一行は五日來京と決定、松下中將以下八名の幕僚は五日午前七時到着と共に駐滿海軍部に小林司令官を訪問、更に菱刈關東軍司令官その他滿洲國側を訪問後執政に謁見の筈、なほ同日は軍部及滿洲國側の歡迎午餐會及晩餐會に出席一泊六日午前八時三十分發ハルピンに赴き第○師團長、江防艦隊司令官その他を訪問一泊七日午後三時二十五分歸京南下の豫定なほ乘組員准士官以上四十八名及び候補生百六十八名は五日午後一時五十五分着京、執政に謁見、關東軍司令部、駐滿海軍部、滿洲國側等を訪問視察同日午後十時發にて奉天に引返す筈

新京火災被害

【新京】滿洲建國後極端な水不足に惱まされてゐる新京では火災が一番市民に不安を與へてゐるが火災期の十一月中における火災件數は附屬地内十件、附屬地外三件、燒失戸數十三戸、損害三萬八百七十圓で前月十月に比較すると附屬地内十三件、附屬地外二件、損害四千六百圓で件數において二件減なるも損害額に至つては二萬六千二百七十圓增となつてゐる、出火原因は主として煙突の設備及び溫突の不完全等のやうであるが今後なほ數ケ月間は依然として火災期であるため關係當局者では防火の注意を喚起してゐる

女群の新京
いはゆるサービス女
附屬地のみで二千餘

【新京】事變前に於ける長春花柳界の紅裙連は九十二名に過ぎなかつたがその後ふえるは增えるは實に女群の大洪水を出現しつゝあるが現在では附屬地内地人藝妓二百八十七名、鮮人藝妓百名、内地人酌婦六十三名、鮮人酌婦百廿名、滿人酌婦九百五十名、更にダンサー四十四名、外人一名、女給二百二十三名、鮮人三名、外人二十一名、合計二千百六十名、一方城内を見るに藝妓八十九名、酌婦百十八名、鮮人酌婦四名滿人藝酌婦七百十二名、合計八百三十四名何んと女人群像の景氣ではある

滿洲國の協會支部を設置
各地に移動講習會

【新京】ウインタースポーツの健全なる發達普及を圖るため滿洲國體育協會では滿洲氷滑競技協會を設立することゝなつたことは既報の通りであるが、十一月三十日午後一時より文教部において同協會設立委員會を開催關係者十二名出席協議の結果本部を新京特別市に支部を奉天、吉林、ハルビン、チチハル等主要都市に設置することに決定、差當り新京支部を特別市々政公署内に設くることゝなつたなほ新京支部は今後各地リンクに移動講習會を開きフイギヤーその他一般スケート競技の講習、アイスホッケーチームの編成などを行ふ筈である

新京西公園のリンク開き

【新京】先般來の暖かさで延び延びになつてゐたスケートファン待望の西公園リンクも愈々一日好晴に惠まれてそのリンク開きが行はれた、この日午前九時新京神社神官によつて型の如く御祓式が行はれたが終るや鏡のやうな氷面は待ちかまへた老幼男女多數ファンの一年振りに踏む輕ろやかな曲線が一齊に深く印された

徴兵檢査規則改正
いよ〳〵十二月一日から實施さる
在滿者は便利になる

【奉天】兵役の徴集規則改正が愈々十二月一日から實施され今後の徴兵檢査を受けるものは非常に惠まれて來た、その主なる改正事項を擧げると從前在留地で檢査を受けるものは二月末までに出願せねばならなかつたが今後は三月卅一日までと改められしかも出願する長官は在留地の徴兵事務官即ち警察署長となり三月卅一日後渡滿したものでも本人の本籍地における徴兵事務官に出願すればその在留地で檢査を受けることが出來るやうになつた、徴兵檢査は毎年五月中旬から六月末までに施行されるが奉天署管内は明年二月に入れば願書を受付けるので適齡者は印鑑を携帶し奉天署兵事係まで出願されたいと

附屬地居住者延期願不能

【奉天】從來滿鐵附屬地に三年以上居住するものは徴兵檢査の年の一月卅一日までに出願すれば帝國外徴集延期願が出來るのであつたが、今回兵規法施行令の改正により延期願は出來なくなつた、然しこの條令施行の際從前の規定により現に徴集を延期されてゐるものはこの規定の改正に拘らず、從前の例により延期が出來るのでこの點特に注意して貰ひたいと

奉天居留民會評議員改選

【奉天】居留民會においては三十日評議員の改選を行つた結果左記二十一名が當選した

布川彌一郎、實松儀一、石井芳久保茂衛、野口多内、西尾一五郎、三井物產、手塚安彥、竹本重雄、三浦義助、西巻豐之介、大松號、林漢龍、垂水背、滿蒙毛織、造兵所、金炳泰、金泰鎬、地錫模、李應圭

新京で歳末特別物價調査

【新京】愈々昭和八年も餘すところ一月となつたが押し迫る歳末氣分に乘つて不當の利を貪らんとする商人が往々にして見受けられるのでこれを未然に防ぐため新京署保安係では十二月一日より特別物價調査班を組織井上主任自から陣頭に乘出し不當値上げの徹底的取締を行ふことゝなつた

興安省内に實業學校を新設
滿洲國政府で立案中

【新京】興安省内における初等學校私塾數は現在七十九校(西分省除く)にして教員二百八名、生徒三千八百六十名なるも中等程度の教育機關は僅かにチチハルの興安第一師範及び奉天興安第一職業の二校のみであるため目下實生活に即せる實業教育を實施すべく立案中である、宗教方面を見るにその殆どは喇嘛教なるが代表的寺院としては西分省ハン廟、パチロス廟ノンナイ廟、昭廟、南分省の葛根廟、莫力廟及北分省の甘珠爾廟等でその他の宗教としては佛教及原始宗教として薩滿教が東分省及北…

商賣仇と思つたら何と署長様
"蛇行"運轉手の悲鳴

【奉天】市内松島町七番地昭和タクシー運轉手渡邊留秋(二)は三十日午後十時頃濱速通二十六番地濱速館前から自動車を運轉し驛に向ふ途中後より警笛を鳴らし追越さんとする自動車があるので蛇行を續けて之を妨げ同町十七番地先まで來り止つたが、自動車運轉規則違反として申告され遂に五圓の科料に處せられた彼がこの蛇行を反復せる動機は單て同業の間柄である商埠地の大同タクシーが常に昭和タクシーの營業を妨害するのでその腹いせに何とかしてやらうと考へてゐたところ丁度濱速館を出て後より來る自動車がテッキリ大同タクシーの自動車であると誤認しこの蛇行を行つたが實はその自動車は奉天署長の乘用する第百一號自動車であつた

私幣を取締る

【奉天】例年特產出廻り期に際しては私幣或はこと類似の流通券が發行されてゐるが奉天省警務廳では十一月十三日各縣警務局長に對しさし止むを得ざる場合は別に之を定める…

ハーモニカ演奏會

【奉天】ワシントン大學在學當時より米國各都市に於て獨奏ラヂオ放送等でその名聲を馳せた全日本ハーモニカ聯盟理事佐藤時太郎氏のハーモニカ演奏會は愈々四日夕ヤマトホテル廣間において開催されることになつたが、同氏は去る十一月十日大連の協和會館において大人氣を博したハーモニストとして奉天にても非常に期待されてゐるがそのプログラムは左の通り

▲第一部　一、獨奏「登校」二、獨奏「ホームスイナトホーム、春雨」三、獨奏「荒城の月、ウイリアムテル」四、獨奏「落葉の頃」
▲第二部　五、獨奏「湖北の春」六、二重奏「ドンブラコ、アルルの女」七、獨奏「セレーーデ北洋の夏」八、獨奏「詩人と農夫、荒城の月」九、獨奏「天國と地獄」

又釣錢詐欺
今度はカフエー御難

【奉天】又復釣錢詐欺……三十日午後六時頃市内千代田通カフエーミス・奉天に電話で「自分は新富座のものであるが、チキンライス三個とハヤシライス一枚を願ひます、こちらは十圓札で支拂ひますから釣錢を一緒に持つて來て下さい」と前回同樣の手段で註文したので同カフエーでは早速これを作りボーイに釣錢と共に持たせてやつたところ新富座の脇で十圓を持つて來るからこゝで待つて居れといつてその四つのライスと釣錢八圓十錢を受取り奧に入つたまゝ所在を晦ました、犯人は同一人で奉天署では血眼となつて嚴探中であるが犯人はこれに味を覺え釣錢詐欺を働くことこれで五回である

洋車に追突

【奉天】三十日午後九時十分紅梅町二十六番地福井高梨組鮮人運轉手白世健(二七)が泥醉してトラックを運轉し江ノ島町十番地先に差掛かつた際左側を通行中の車夫張福順(二七)の洋車に追突し車體を大破し胸部その他に重傷を負はせたので直に回生病院に擔ぎこみ治療中であるが全治三週間である尚彼は追突と同時に他の洋車にも追突大破せしめたが奉天署では白を引致目下取調中である

健康週間の患者診斷數

【新京】滿鐵地方部、日本赤十字社滿洲支部及び本社共同主催の第三回全滿健康週間に於ける新京滿鐵醫院で取扱つた診斷による患者は左の通りであつた

神經系病女一、循環器病男一、女二、眼及其附屬器病男七、耳病男三、呼吸器病男一、女一、消化器病男二、齒牙病男二、女四、泌尿生殖器病女一、外傷滿人男二、滿人女一、妊娠女二、急性中毒男一、傳染性病男一、健康男四九、女一七、滿人男七同女二

で新京滿鐵醫院に健康診斷を乞ふた者が男六七、女二八、滿人男九同女三、合計一〇七名であつた

飛降りて轢斷

【新京】和信公司華工頭趙三十二名は結氷期に入つたゝめ工事を終へ大屯驛乘車南下したが内李吉來(二二)は十六列車に乘るのを十八列車に乘りあわて、飛降り左足指全部を轢斷された

滿洲正義團北滿に進出

【奉天】酒井榮藏氏を盟主とする大滿洲國正義團はハルピン、チチハルを中心とする北滿奧地進出の目的を以て十一月十五日酒井氏外日本人幹部七名赴哈し十七日正式に傅家甸正陽街にハルピン本部を開設した、なほ目下滿人間の團員募集につとめつゝあるが既に二百餘名の新團員を獲得更に白系露人間にも積極的に宣傳を開始しハルピンロシア人との提携をはかりつゝある

通遼縣に警備電話架設

【奉天】匪賊の橫行で警備上最も不便を感じ通信網の完成を求めてゐた通遼縣では今回省よりの二千七百元の補助金により縣下に警備電話の架設を行ふことになつた、從來同縣は緊急事變の際は通信不完全なるため通信連絡に當つてゐたのであるが、この警備電話未完成の各縣もなり警備電話未完成の各地匪賊討伐各種連絡に大いに…中には全部架設される筈であるが其の區間は次の如くである

一、通遼小心愛力—木里圖—錢—餘糧堡
一、通遼—通遼驛附近村落—因子
一、通遼—四洮沿線に沿ひ大林へ
一、通遼—馬力營子

强盗豫審終結

【奉天】本籍大分縣中津市、住所不定牛田豐賓(二三)及本籍東京市橋區月島、住所不定無職戸川秀(二三)の兩名は豫て總領事館において强盗被告として豫審中であつたが十一月三十日豫審終結し關東地方法院の公判に附せられることになつた

瓦房店除隊兵

【瓦房店】滿蒙の曠野に轉戰滿洲國の建設に功績を遺し除隊して來る瓦房店守備隊滿期兵〇〇〇名は十二月三十日午前四時二十五分軍用列車にて出發驛頭には寒さを衝いて日滿官民最後の見送りがあつた

小頭目新京に潜入
强盗團組織を計畫
探知され未然に捕る

【新京】双陽、長春縣を根據に暴威を逞しくしてゐた匪首殿臣の部下小頭目桂林こと王慶林(三〇)以下百餘名の匪賊團は本年秋の皇軍討匪行に追ひ捲くられて逃場を失ひ終に解散の止むなきに至つたがその後日滿當局の嚴しい眼を巧に潜つた王は市内新道溝王書林方に身を潜め腹心の手下と連絡をとり强盗團の組織に腐心してゐたが偶々新京總領事館警察署の探知する處となり二十九日早曉寢込を襲はれ終に同署谷口、大谷内、趙林事等の手に逮捕されるに至つた、而して彼の自白に依り彼等一味が明春解氷期を俟つて彼等匪團再起の際双陽縣大拉子溝に隱匿しておいた拳銃二十一挺、實彈三萬個を掘出し再び匪團を結成し活動を起さんとしてゐた恐るべき計畫が明白となつたが今回の同署の活躍により未然に防がれた譯である

李子榮匪蠢動を始む

【奉天電話】本年八月三角地帶において我が軍のため潰滅され部下二名とゝもに北平に敗走した匪首李子榮は爾來同地において再起をはかり南京政府より供給を受けた武器彈藥を盛んに密送し舊部下の活躍を援助してゐたが、最近李子榮は各地に散在する舊部下の統率並に北平との連絡のため元參謀長林某を秘かに派遣、林は既に安東より上陸、目下安東縣下に潜伏して各地の部下に對し最近日ソ間の風雲急なるを利用し地方の擾亂、滿洲國顚覆をはかるべしと督勵し、北平より攜行の軍資金並に武器を供給して部下の糾合をはかつてゐる、李子榮も舊部下の連絡次第近く歸滿する筈である李子榮の再起說に安奉線沿線を中心として活躍してゐた李子榮の部下は最近再び武器をとり活動を開始した

通遼縣に保甲制度

【奉天】通遼縣の匪賊も漸く其の蹤を沒したので從來の保甲制によるも治安を維持し得る狀態となつたので現在の自衛團制度に要する約三十萬元(年額)の經費を負擔する地方民の苦痛を救ふため暫行保甲條例並に施行準則に基き十一月十五日より保甲制度の工作に着手した

即ちそれは一村一日の豫定を以て豫め全家長を村公會に集合せしめ保甲制度の主旨及び家長以上の義務を說明し牌甲の區域を決定し十家長中より牌長を十牌長中より甲長の選擧をなし保甲長は牌、甲長を兼務するを原則とし止むを得ざる場合は別に之を定める、牌長が決定せば牌長に必要事項を記入捺印せしめ牌長、牌長、警察署長各一部を保管し該表裏面の諸條項に對して連帶責任を負ふ、保甲制度完了の地區より逐次自衛團を解散せしめ各牌甲長に於て保甲團員の義務を負ふものとし舊自衛團區隊長村遂長の如きは舊弊を誘發する恐れあるを以て本制度の幹部に充當しない方針で進む

凌南方面の匪賊合流移動を開始
河北省保安隊警戒

【奉天】山海關國境警察隊より當地に達した情報によると凌南方面にあつた匪首唐七點及び金人點の指揮する合流兵匪約一萬は乾溝鎭に移動し目下同地において全軍集結中で同兵匪は近く灤平方面に移動するとの流言盛んに傳はり臨楡縣第四區義院口方面は大動搖を來し住民は早くも秦皇島方面に通知する者あり臨楡縣長尹湛松氏は海陽鎭公安隊を義院口方面に派遣し警戒に努めることになつたが河北省保安隊は撫寧附近西望莊駐屯一帶の駐屯地を引き揚げ昌黎に移駐し戰區編遣委員會約二百名は去る二十五日をもつて解散し北平政務整理委員會及び河北省政府において李濟春の解散と共に河北戰區保安司令を唐山に設置し周某をその司令に任命したと

奉山線各驛で公衆電話取扱

【奉天電話】事變以來奉山線各驛の公衆電話の取扱ひを中止してゐたが奉山鐵路局では一般乘客及び居住者の便を計るべく近くその取扱ひを復すべく優秀なる技術員を配置することになつてゐる

贓品を買ひ營業停止

【奉天】市内松島町六番地古物商森田忠吉(四)は去る十月二日贓品と知りながら古物を安く買入れたので十五圓の科料に處せられたが本月十三日生みの母を連れて來奉した高集號(七)が森田方に賣りに來た平和櫻頭屋から盜み出した蓄音機とレコードを贓品と知りながら十四圓で買つてゐた事が判したが更に保安係では嚴重な取消處分することになつた古物商又は質店で贓品と知りながらこれを買ひ又は預かる數あり奉天署ではこれ等不正行爲を發見次第嚴重處分することゝなつた

旅順放送

▲錦州方面に於て傷いた勇士三十名並に奧地へ出動中であつた看護兵八名は二日午前九時十分着列車にて着旅
▲民政署商工水產主任左座顯雄氏は今回普蘭店民政署庶務課長に榮轉近く出發するが、後任者は署内から拔擢される模樣である
▲大連へ移住した歯科醫塚澤正雄氏の爲め浪速仲野久野(儀)同野四氏發起人となり知友相寄り二日午後五時から青葉において送別宴を開催
▲旅順映畫館一日からの上映物「青春街」「春の驟雨」二豪華版上映に關しいづれを先にすべきかを一般ファンより投書を求めた結果回答實に三五六通に達し映畫ファンの内部を窺知する事を得た、因に「青春街」は後廻しとする者多數を占めてゐた
▲第二小學校では十二月三日が丁度開校記念日に相當するので自祝の爲め三日四日の二日間毎日午前九時から同四時迄同校内に全校生徒の圖畫手工其他の作品展覽會を開催する事となり一般の參觀を待望する由
▲旅順高公附屬公學堂では來る五日午前九時から正午迄學藝會を開催又別室には兒童の成績品を陳列參觀に供すると
▲本田高等課長は約二週間の豫定で新京、奉天その他各地を視察中であつたが二日午後七時二十分大連着ハトで歸任した
▲普蘭店警察署長に榮轉した井上定弘警部は二日午前九時三十分旅順驛發で正式赴任した
▲關東廳外事課長代理は一日の豫定で新京に出張
▲普蘭店署長より警察官練習所教官に轉じた平光警部は三十日午後一時三十五分着列車にて着任

苦難いまぞ永眠 豪華道路完成
附屬地から城內都市に通ずる 新京名所またひとつ

【新京】結氷期に入つた新京の工事界も既に殘務取かたづけを急いでゐるが附屬地から城內新都市に通ずる大道路は難工事であつたにも拘らず結氷期と共に完成した、幅員五十四米、中央の十六米が高速車道路、その兩側五米が道路樹植込み地、更らにその兩側八米が所謂一般車道として歩道はその兩側で西公園前から關東軍司令部、新廳舍に至る三百米の工事費が七萬圓といふ豪華道路である、附屬地境界以南は滿洲國國都建設局の手によつてこれまた大同廣場迄を略完成せしめたが新京驛から新興都市へ至る主要路だけに全滿にその比を見ない豪華振りで確かに新京名物の一に加へられるであらうとされてゐる

揚る歡呼の嵐
皇道日本を背負ふ 決意も固き新入營兵到着

鞍山 わが生命線の第一線に立つべく鞍山守備隊に新入營の初年兵○○○名は一日午前九時着列車で內地まで出迎へに行つた輸送指揮官塚本中尉及西本曹長に引率され元氣潑剌として來鞍した、これより先き驛頭には春長大隊長羽山少佐以下守備隊幹部並に泉警察署長外在鞍官民各團體等一千餘名の盛んなる出迎へあり、一同はこれ等出迎へ人の嵐の如き歡聲裡にホームに降りて整列、先づ春長隊長より

諸君等の○隊長である、海陸恙なくよくやつて來た、隊長として大いに感謝する、今後は邦家のためしつかりやつて貰はなくてはならぬ

と激勵の辭を受け次いで市民を代表し松田時局委員長代理の挨拶あり、これに對し新來者を代表し澤岡正二君謝辭を述べて粉骨碎身の御奉公を誓ふところあり久留島在鄉軍人分會長の發聲にて萬歲を三唱、一同は先輩勇士の先導にて直に鞍山神社に參拜着鞍の奉告とゝもに武運長久を祈り兵舍に入つた

四平街 滿洲の治安確保の重任を帶び當守備隊に入營すべき○○部○○名を乘せた列車は三十日午後三時五十四分當驛第二ホームに到着した、これより先地方各界首腦者を始め一般市民は驛頭に日章旗を振り翳して歡迎せり、到着兵士は下士官の指揮の下にホームに整列するや石岡地方事務所長は市民を代表して懇篤なる歡迎の辭を述べ終るや新入兵の代表は石岡所長の前に進み出で答辭を述べ終れば石岡所長の音頭の下に新入兵の萬歲を三唱する等一時驛頭は軌音變々劍光帽影相參差するの光景裡に一同守備隊より差廻されたるトラックに分乘して意氣揚々滿蒙の夕霧を衝いて營所に入つた

安東 安東守備隊の新入營兵○○○名は豫定の如く三十日午後九時三十分到着したが驛頭市民の出迎へ夥しく岡本領事の歡迎の挨拶に對し入營兵總代謝辭を述べ關屋地方事務所長の發聲で萬歲を三唱し勇ましく六道溝兵舍に入つた、なほこれ等の勇士は千葉縣出身者である

熊岳城 三十日午前三時三十四分列車にて到着した本年度新入兵は寒夜にもかゝはらず多數居住民の誠意こもれる出迎へを受け守備隊兵舍に入つたが十二月一日午前三時三十四分には同じく附近各隊に編入さるべき約二百名の新入兵到着此の夜は滿鐵クラブに收容一日午後○時四十三分發北行にて編入本隊へ向け出發これまた多數居住民の熱意溢るゝ見送りを受け出發した

鷄冠山 三角地帶に赫々たる武勳を殘した當地守備隊の除隊兵三十五名は二十九日午後二時半の列車にて官民多數の見送り裡に出發した

堅き決心を眉宇に漂はせて勇躍我が守備隊の任務に就くべく○○○名官民多數の歡迎裡に三十日午後九時五十分守備隊に到着した全市民は上げて除隊兵の將來の幸福を祈ると共に新入營兵一の躍進を期待す

惡を背負つた男ごゝろ
春を賣る女を脅迫し こう〳〵警察の厄介

【新京】異人娘のプロスチチユウトが居るとの噂に男ごゝろの浮氣さと獵奇心から手を出した揚句は警察の御厄介になつた男ふたり 大矢組關東軍宿舍ボーイ津久井(二三)同上露木某の兩名は二十九日夜更け官憲を裝つて市內滿人宿大同旅舍の戶をたゝき同家主人を呼出してロシア娘が同家で密淫賣を働くを見屆けた直ぐさま連れて來い、出されば處罰すると脅迫してゐる際それとは知らず露人娘二人が市內永樂町某々氏兩名と樓上から降りて來たので、津久井、露木はすぐさま娘を捕へ男二人にはこんこん說諭して放免した後津久井はチフロアラブシヤ(二一)を捕へて玄關に見張り、露木はタアシヤフリレイク(二一)を同旅館の一室に連れ込み脅迫の末本望を遂げ、女を連れて戶外に出たところを折惡く新京署の非常警戒線にかゝり津久井と前記露人娘二名は檢擧されたが露木は逸早くもその場を逃走した

雜誌の中を切り 煙草を詰込む
內地の郵便局で發見される 巧妙極めた密輸事件

【鐵嶺】內地の人達を喜ばせるため在滿邦人中色々の物を送る者があるが正規の手續を履んで送るは何等差支へなきも中には稅關の目を掠めん爲め所謂密輸策を弄し不正行爲を企つるものがある、最近鐵嶺で問題となつてゐる煙草の密輸事件の如きも其の一例で事件の內容は

鐵嶺居住邦人某は內地の家族を喜ばせるため煙草の密輸を企て雜誌講談クラブ約五十頁の中程を四角に切拔き紬米キルク口付煙草五十本を箱のまゝ切拔いた場所に入れ表紙を閉づれば雜誌として一點疑ふ餘地のない程巧妙に僞裝し內部に手紙を入れて密封し四錢切手を貼つて恰も雜誌を送る如く見せかけ、而も鐵嶺郵便局に差出しては發覺の虞れありと列車郵便を利用して其目的を達したが、內地到着後配達局たる大船郵便局で雜誌の密封に不審を感じてか開封して檢べたところ書面があり煙草を送る旨記載され而も煙草の香りがするので仔細に檢査の結果右の奸手段が暴露し東京遞信局に報告され更に關東廳遞信局に移送されて來たものである

關東廳では其手段と書面とによつて常習的犯行と認め斷乎たる處置をとる模樣であるが僅かの事で斯かる事件を惹起するは愚な事であり一般に注意すべきことである

法權撤廢問題で各機關の座談會
二日奉天にて開催

【奉天】滿鐵解體問題にからんで治外法權問題、附屬地移管問題は喧しく在留民間に論ぜられて居るが十二月二日午後一時よりはヤマトホテルで各機關より要人參集座談會を催したがその主題は凡そ左の如きものである

一、治外法權撤廢は早晚實現せらるべきものと認む右撤廢に對して在留日本人として如何なる條件の下に撤廢するを適當なりとするか

イ、裁判に關しては如何
ロ、行政に關しては如何
ハ、警察に關しては如何
ニ、課稅に關しては如何

二、治外法權撤廢に伴ひ鐵道附屬地の行政權も滿洲國の主權に還附せらるゝものと認む此の場合如何なる條件の下に還附するを適當なりとするや

イ、行政權全部を滿鐵會社(ホールデイングコンパニー)に委任せしむるの可否(此の場合衛生裁判及警察は如何にするか)
ロ、行政、警察、裁判共關東廳に委任せしむるの可否
ハ、右を領事館に委任せしむるの可否
ニ、滿洲國が直接行政權を施行するとせば如何なる條件を要求すべきや

珍しい化石發見
原始時代 巨象の臼齒
四平街南踏切地下道を掘鑿中 尾崎理學士の鑑定

【四平街】四平街南踏切地下道掘鑿中地表より約五米七十糎の地底に於て一見草履の化石に酷似せるものこの程二個を發見珍奇なものとして保線區より小學校に寄贈したが、偶々北溝石炭講鑑定のため來四中の尾崎理學士の鑑定を仰いだところこの二個は原始時代の巨象の臼齒なることが判明した、更に地質調査所へ轉送し精密なる調査を仰ぐこととなつた

邦人の人口 約十倍の躍進
事變前に比較して 膨脹過程の大新京

【新京】新京附屬地は極度の住宅難であるため城內滿人家屋を改造して居住する邦人日一日と激增しつゝあるが城內日本人居留民會の調査によると事變前の昭和六年九月現在數僅かに戶數五十三、人口百六十名に過ぎなかつたに拘らず本年九月末現在に於ては戶數一千三百五十七戶四千四百七十九名といふ異數の躍進振りである、この勢ひで押し進む場合は茲兩三年には附屬地居住人口と匹敵するであらうと見られてゐる、因に附屬地外居住邦人は滿洲國官吏及び或る一部を除いた他は無產階級で所謂新興都市を目當の一攫千金の夢を喰ふ者が多い樣である

鷺・湯浴の情景
世に出たのは全く滿鐵のお蔭 北鮮の朱乙溫泉 (下)

【京城】北鮮に日滿連絡線が完通すると共に一躍有名になつて來た朱乙溫泉、その朱乙溫泉とは如何なる語源から來たか?朱乙とは

=女眞= の語、溫泉の義なりと謂ふ、咸鏡線朱乙驛より西北方二里半、羅南よりは西南約五里其途上嶮嶺あるも共に一路坦々としてよく自動車を通ず

沿革 往古女眞の族作亂恒なし李朝世宗(約五百年前)寵臣金宗瑞をして平定の事に從はしむ、當時此の地を相して鎭堡を築き高さ七尺、周圍千餘尺內に土兵百八十名を養ふて近隣の鎭戍に任ぜり、堡壘今や半ば崩れて亂石徒らに散じ僅かに其遺跡を留むるのみ、溫泉溫泉の其始を知るに由なきも鏡關北誌に所謂

「雞峰溫泉は府西三十四里にあり卽ち今溫堡の溫水にして又湯水と云ふ藥水平陸岩石の竇に噴出し其熱沸湯の如し諸痼疾の病浴洗すれば卽ち癒ゆと傳へられ上人久しく是が

=天惠= を享樂し來りし所なり、古來鮮內各地に於ては鑛泉を藥水と稱し土人萬病に効ありとし醫師よりも之を尊崇して或は服用し或は沐浴する俗ありといふ、此の溫泉亦た其一に屬す湧出口總て九箇一日の湧出量僅に一萬四千石と稱し淡々として晝夜を分たず恰も噴沸の如きは今尚昨の如しといふ

=陸軍= では明治四十三年十二月以來この地に療養所を設けて今日に至つてゐる、內地人としての視察は明治三十三年當時の大藏省官吏宮尾舜治氏が北鮮經濟調査に出張したのを最初としてゐるが、明治三十六年陸軍省測量班駐在、明治三十八年の日露戰役に我が北韓軍の北進中この地に宿營したとのことである、溫泉宿としては明治四十三年に羅南の草分けとして岡本長七氏が日本式バラックを建てたのが最初で今の鮮仙閣の前身岡本湯がそれである、鮮仙閣主岡本長七氏の懷舊談によると何しろ二十五年も前のことです

羅南から五里の道を徒歩或は牛車に乘つてでなければならず、道らしい道もなく溫泉宿とは名許りで問題になりませんでした虎も出れば豹も現はれ、幾度か生きた心地はありませんでした しかし鶴群が千本松に訪れ、サギが湯浴びに下りる情景なぞ今日でも忘れられぬ興趣です、この溫泉が世の中に出たのは全く滿鐵のお蔭ですが、北鮮の鐵道がこんなになつたので滿洲からのお客樣が非常に增加して來ました

=因緣= と云ふものは全くめぐりめぐるものです、北滿の人々の溫泉として大いに溫泉村も改善しやうと話合つて居ります

現在では鮮仙閣、千歲館、萬翠館と內湯のある設備の完備した大旅館を始めとして內鮮の旅館十數戶を數へ郵便所、面役所等があつて立派な駐在所、金融組合、警察官溫泉町を形成して何一つ不自由がない、淸津から自動車によつて一時間半、汽車でも一時間半にして達することが出來る、全く淸津、羅南の奧座敷に過ぎぬ位置におかれて居るので船待ち汽車待ちの休憩所と心得て宜い便利な溫泉地である

溫泉は溫度攝氏五十五度前後でアルカリ性鹽類泉無色透明リウマチス、痛風生殖器病疾患各滲出物吸收、諸種創傷、急慢性胃病、膀胱カタル、呼吸器病糖尿病

=貧血= 腺病、神經痛、皮膚病、子宮病に特效があることになつて居る、旅宿の如きも豐富な溫泉を利用して暖房裝置が出來て居るので嚴寒の折でも浴衣掛けで結構であるし室外でも比較的溫暖であるから避寒地としても最適地とされて居る、而も溫井河の溪流十里餘は奇巖怪石を配して山紫水明稀に見る仙境地、日滿鮮交通路唯一の行樂地として國際場裡に乘り出したとも云へる朱乙溫泉は北滿蒙の別府としても運命づけられつゝ榮光に輝いてゐる(寫眞は鮮仙閣と室外溫泉プール)

各地片々

三浦中佐北上
【新京】新京憲兵隊司令部三浦中佐及び滿洲國民政部警務司米村事務官は二十九日ハルビン、ボクラニチナヤ、寧古塔方面視察のため十日間の豫定で新京を出發した

◇鐵嶺 大黑河方面の砂金調査隊七里工學士を班長とする一行三十名は一日午前三時半着列車にて無事鐵嶺に歸還し鐵西製糖會社宿舍に休養中なるが今冬は他の調査班同樣鐵嶺に於て越年すると

◇金州 農事試驗場技師玉置芳雄氏は今回關東廳農林課勤務となり二日赴任するので各方面暇乞ひに廻つた

◇瓦房店 瓦房店聯合婦人會では東京編物研究會宣傳員矢木嘉次郎の來瓦を機會に修理法講習會を市民俱樂部に於て開催したが會員多數集つて熱心に稽古した

◇瓦房店 日本に於ても著名なるハーモニカ吹奏者佐藤時太郎、西澤久滿男兩氏は十二月二日瓦房店俱樂部に於て軍隊、滿鐵社員慰問のため出演

◇新京 新京滿鐵簡易宿泊所では首都の人口激增に伴ひ現在の家屋では狹隘を感ずるに至つたので豫れて改築中であつたが十一月二十九日竣工を見たので來る十日移轉することゝなつた

◇安東 安東驛事務主任から鐵路總局に轉出した鐵本十郎氏は吉長、吉敦鐵路局勤務として新京に駐在することになる旨內命があつたので五日十二時十五分發列車で赴任することになつた、また大連鐵道事務所に榮轉した前小荷物主任柴屋亮之助氏も同車赴任する

◇安東 滿鐵安東販賣事務所長から本社商事部地賣課地賣係主任に榮轉した渡邊義雄氏は一日十二時十五分發列車で多數の見送りを受けて家族同伴赴任した

◇鞍山 鞍中では八日から十二日まで第二學期の考査を行ふ由

◇營口 營口縣教育局にては十二月一日午前九時より營口商業高級中學校を會場とし縣下一圓の各代表集まる者三百餘名にて四五の議案を決議し正午散會した

◇營口 新京鐵道事務所營業長に榮轉する野村前營口驛長を送り營口貨物主任より營口驛長に榮轉の長谷川銀一氏を迎ふる爲め市の有志は四日午後五時半より新開業のみはらしに於て送迎宴を催すと

◇營口 北本街に宏壯なる樓閣を新築して料理業を經營する淸林館主山本彌市氏は其筋への手續きも完了し十二月一日をトして愈々開業した、今回新に輸入した藝妓達十五名は逸物揃にてサービスはうんと腕に撚り掛け勉強致しますが未だ營口の水に馴染まぬ私共宜敷御引立御最負にとしとやかに語つてゐた

◇營口 東亞煙公司營口工場に於ては例年の通り作業時間の變更をなした、卽ち開始午前七時三十分に終業午後五時三十分と爲し十二月一日より翌年三月一日迄とすと

赤色空軍の進出に空の恐怖深まる
蘇聯の水・陸・氷上機五百臺が根據地を極東に設置

【ハルビン特電二日發】極東における赤軍地上部隊の集結と並行して蘇聯政府は頻に空軍をも増加しつゝあるがこの程その實勢力が判明したそれに依るとザバイカル以東に集中されたソウエート空軍は爆擊機偵察驅逐機等合せて全蘇聯空軍の三分の一約五百臺、根據地は陸上機はニコリスク、ウオスアイシエンコ、スパスク、ボチカリヨフ、チタ、水上機は浦鹽、尼港、哈府等である大部分英、米、獨、伊、佛等の輸入品だが國産品も相當ある、戰鬪技術は優秀でないが機種は大型のものばかりで日滿への攻擊を主眼としてゐる又一方兎角事故勝ちだつたシベリア定期航空は最近確實となり現に行はれてゐるものはモスクワ、浦鹽間、ウエルフネ、クーロン間、ボチカリヨフ、ブラゴエ間、エニセイスク、アレキサンドルスク間、哈府、カムチヤツカ間、浦鹽、カムチヤツカ間で夏は陸上、水上、冬は氷上機に改造顯著な成績を擧げてゐる

全滿に張られる自動車交通網
八線が一月營業開始

鐵路總局ではいよいよ自動車營業に積極的活動を開始したが、そのうち滿洲國政府が特に實施を急いでゐる左記路線の營業は、車輛の整備次第大至急營業開始の筈で既に各事務所主任の任命を終り大體明年一月一日までには何れも開業の見込が立つた

（一）ハルビン同江間（二）拉哈大黑河間（三）山城鎭通化間（四）安東城子疃間（五）新京扶餘間（六）敦化海林間

なほ城安自動車事務所は一日設置され二十日城子疃大孤山間の營業開始、全線は一月一日からの豫定である

滿鐵線の匪害昨年の一割
却つて拍子拔の當局

滿洲の鐵道從事員が最も恐れてゐる匪賊の出沒もいよいよ高粱繁茂期の過ぎると共に完全に一段落の形となり、滿鐵々道部でもホッと一息の形であるが、殊に本年度高粱繁茂期間の滿鐵線の匪賊から受けた損害は極めて少なく、また特筆すべき大きな被害もなくこれ全く守備隊の盡力と滿鐵の執つた警備の充實とのためとされ、このところ鐵道部鼻高々の形である、本年春鐵道部が匪賊防禦の臨時豫算を計上した際「おそらく昨年より多いだらう」との豫想であつただけに關係筋では拍子拔けの態でさへあるが、これを高粱繁茂期である七月初から十一月末日までの匪害統計を前年と本年とで比較すると總計數前年二百三十件、本年二十五件で約一割にしかあたらぬ激減振りである、左に同期間中の細別を記せば

	前年	本年
驛舍襲擊	三九	四
列車襲擊	三一	三
運輸妨害	二四	一
電線被害	五四	六
線路及施設物破壞	二三	二
從事員拉致	一七(〇人)	四(四人)
死傷其他	三二(四人)	五(五人)
計	二三〇	二五

凱旋兵別れの挨拶

インチキ師
廣島に乘込み尻尾を出す

【奉天電話】滿洲インフレを利用しインチキ日滿貿易商場を設立せんとし醜態を暴露した、これは廣島縣商工視察團が來滿したのを機に自分はその代表者であると稱し住所不定金聚道は廣島縣物産の滿蒙進出策のため附屬地商務會長董文衡氏を勸誘し彼の所有する浪速町二の風呂場二階と滅内の茂林旅館の二階約一千坪を借受たいと申込み貿易館の趣意書を作成し巧みに董會長をごまかし皇姑屯の商務會次長を連れて十二月十八日廣島に乘り込み自分は日滿貿易館を設立する滿洲の代表者であると觸れ込み主なる商工業者を勸誘して貿易館出品の手數料を徴收せんとしたが怪まれ廣島からの紹介で金の融通に不審を懷かれ董會長も彼が廣島の代表者でないことを知り遂に貿易館は創立されず失敗に歸した最近此種インチキが各所において行はれてゐる

賓北齊克兩線本營業開始

【新京電話】海倫北安鎭及び克山を連絡する海克鐵道は昨年末完成以來三等列車により假營業を開始されたがいよいよ十二月一日より本營業を開始することゝなつた、海倫北安鎭間は呼海鐵路局において、又北安鎭克山間は齊克鐵路局においてそれぞれ管理することになつた、呼蘭より海倫を經て北安鎭に至る線は賓北鐵道と稱し、チチハルより克山を經て北安鎭に達する線は齊克鐵道と呼び共に各等及び食堂車を連結しハルビン驛チチハル發共に北安鎭止りに運轉することゝなつた

『赤衞軍内部には當然革命が起る』
セ將軍、歸連の途語る

【奉天電話】往年ザバイカルに一獨立國家を建設したアタマン、セミヨノフ將軍はその後亡命して夏家河子の寒村に往時を追想しつゝ餘生を送つてゐるが、二日はさて新京から過奉大連へ向つたが語る

ソウエート第三インターの活躍は米國のソ聯承認を契機として極東に向け挑戰的宣傳を試みつゝあり、最近著しくその宣傳が日ソの國交を破壞するが如き言辭を弄し極端なる放言をラヂオを通じて全シベリアは勿論各國に向け放送してゐることは甚だ遺憾と思ふ、ハバロフスク市の放送によると、東洋をレーニズム化すか日本帝國主義化か何れかの一つを吾等は選ばねばならぬ瀬戸際に立つてゐる、今や日本帝國主義はシベリアを席捲せんとしてゐるのだ、吾等はレーニン主義をもつて飽までこれに應戰せねばならぬと宣傳してゐる、實に狂氣の沙汰で、これが民心の赤衞軍及び共産主義から離れ行かんとするを防止し、國民の一致結束を得んとするものであるが、ドイツにヒットラー獨裁政治が實現してから共産黨員が國外に放逐され、約二千有餘のドイツ系共産黨がモスクワに集合しそれに支鮮人の極東共産軍が參加していろいろと畫策するので、ソ聯政府としても支那赤化の目的を遂行するため、米國のソ聯承認を有利に政策化せんとしてゐることは事實である、しかしシベリア一帶の住民は共産主義に飽き國境を越えて脱走する者多くその防止と看視に苦心してゐる程で、赤衞軍内部には可なり反動革命を起さんとして計畫する部隊もあり、勞働者や中産階級の人物も脱走して來るといふ風で遠からず赤衞軍の内部崩壞が來る時代があらうと信ずる

露人越境者
五百名を超す

【新京電話】赤の魔手を逃れ樂土滿洲國を慕つて越境入滿する露人は日一日とその數を増しつゝあるが、ハイラル方面の情報によれば今秋以來入國したる露人の數は五百名に達し、結氷後の入國者だけでも既に二十名餘に及び今後益々増加する模樣であるが入國者の談を綜合すれば

ソ聯當局は國境附近村落の住民を漸次移住せしめつゝある由で國境一帶には少數の警備兵を配置してゐる模樣である更に入國した露人は彼等の安住地である三河地方に移り住み王道滿洲國の恩澤に浴しつゝ安らかな生活を營んでゐる

設備奉仕を改善して國線の旅客優遇
食堂車は總局で直轄

【奉天電話】鐵路總局の國線各旅客列車のサービスについてはできるだけ親切にそして旅客に不滿を與へないことを最大の條件としてゐるが、各列車の食堂は衞生の點からいふも十分といへぬ上に、このサービス振りは奉山線は別として他の線は殆ど從來の欲しければ賣つてやる式の惡弊が殘つてゐるので、各路局の總合統制を待つて食堂車の統一を計り、滿鐵本線同樣に明朗な食堂サービスを行つて滿人の食慾を十二分に滿たすべく設備を施す筈で現在請負式であるのを一切總局の直轄として食堂車の改革を講ずる方針である

凱旋兵出發
御用船あいだ丸で

北滿の凱旋兵○○名は二日午後三時出帆の御用船あいだ丸で輸送指揮官加藤砲兵中尉に引率され錦を飾つて懷しの祖國へ歸還したが出帆に先立ち小川市長の謝辭、加藤中尉の答禮あつた後、いよいよ船が岸壁を離れんとするや見送りの小、中、女學生其他數百の人々は萬歲、萬歲を連呼し船と陸とに引かれた五色のテープを傳つて流れる別離の哀愁は涙ぐましい程であつた

生命線の守護に勇躍北行の若人
夜更にめげぬ見送人

生命線の護りに任ずるため御用船あいだ丸にて一日朝來連した第三回駐滿部隊入營兵○○○○名は忠靈塔大連神社を初め市内各所の見學を終へ同夜九時、十時、十一時發の各列車で三回に亘つてそれぞれ各地部隊へ向つてはち切れるやうな元氣を示しつゝ勇ましく出發した、これより先、驛プラットホームは晴れの輝かしき勇士達を見送らんとする各知名士、在郷軍人團、男女學生、各婦人團、一般市民等で埋め盡し、打ち振る小旗の波、天地に轟く萬歲の叫び、感激の興奮に驅られる、折柄各回共入營兵代表はそれぞれかく多數の御見送りを頂きいふべき言葉を知らぬ、滿蒙の原野に骨を埋むるの覺悟を以てその使命に邁進する決心であるといふ意味の力強き感謝の辭を述べる、かくて列車が發車するや再び爆發する萬歲の轟き、興奮と感激の裡に勇ましく北行した

新年文藝募集

◇俳句　課題「新年雜詠」五句以内、東京市牛込區若松町八十一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書）
◇川柳　課題「犬」五句以内、大連市東公園町滿洲日報編輯局宛
◇笑話　課題隨意、但成るべく時事もの、大連市東公園町滿洲日報編輯局宛（新年笑話と朱書）
◇締切　十二月十五日限り
◇賞金　いづれも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

練習艦隊の乘組員新京訪問
候補生は各地を見學

【新京電話】松下海軍中將の率ゆる練習艦隊の淺間磐手の兩艦は十二月三日大連に入港するが同司令官松下中將は幕僚六名及び兩艦長を從へて四日午後四時二十分大連發列車で北行五日午前七時新京着の上直に執政に謁見し、菱刈軍司令官、小林駐滿海軍部司令官、鄭國務總理、張軍政部總長、謝外交部總長を訪問し六日午前八時二十分新京發列車でハルビンに向ひ七日同地視察後歸連の豫定 なほ同艦隊の乘組の士官特務士官准士官計百五十名及び各科少尉候補生百六十八名の一行も亦十二月五日午後一時五十五分着列車で新京着執政に謁見し關東軍司令官、駐滿海軍部司令官に伺候し寛城子その他を見學の上同夜十時新京發列車で離京撫順奉天の各地を視察する筈である 同艦隊は十二月九日大連を出港し歸港し年末佐世保に入港解散後行地各地を巡航の上明春橫須賀發歐洲方面に向け遠洋航海に上る豫定である

偉くなりたいと蒙古少年が留日
淋しいけど日本の友人がほしいと元氣なニードルトムロの二君

日蒙の間をしつかり結ぶ明朗なたより――内蒙錢家店では優秀な少年の爲に蒙古少年隊を組織して秩序ある訓練を行つてゐるが、日蒙の將來に備へる意味で更に蒙古兒童を遠く君子國日本に留學せしめる事となり、この肝煎りを引受けたのが寺内第四師團長を會長に戴く大阪少年軍團の教務部長中村善次郎氏で、かねてより錢家店に於て留學少年を物色中、特に優秀兒童の特穆樂君（一三）と綱都留札布君（一三）を選抜し奉天經由來連、いよいよ二日出帆しあいさる丸で憧れの日本に旅立する事となつた、宿舍にあてられた市内西公園町トキワホテルに訪れると、中村教務部長を中にはさんで二人の少年は「いよいよ二日の船で日本へ行きます」のたよりを家郷の肉親のものに認めるに夢中になつてゐる、中村氏は語る

これから小學校にやり中學を卒業さして士官學校に入れます、そして士官學校を出て蒙古に歸つてくる頃には立派な青年になつてゐる事でせう、トムロ君の父君は今蒙古少年隊の隊長をしてゐますが、自分達の申出でに對して快く愛兒を手放してくれたのです、今錢家店には百五十名位の少年隊が居りますが、いづれも生活振りや訓練ぶりは堂に入つたものです、とにかく民間蒙古少年が十三歳や十二歳で遙々日本に行くなんて初めての試みです

トムロ君、ニードルチヤップ君に感想をたづねると支那語で

まだ日本語も知らないし支那語も片言です、早く言葉が解つて日本人の友人が欲しいと思ひます、父母ですか、少し淋しいと思ひますが偉くなつて歸る方が樂しいです

禁酒法撤廢され合衆國の上戸黨大恐悦

【ニューヨーク三十日發國通】米國憲法修正第十八條禁酒法は今夏以來各所における取消確認投票が愈々規定の三十六州以上に達し成立を見たので、來る十二月五日を以て完全に禁酒法の取消が有効となり、今日まで依然州の立法で禁酒を維持した二十四州でも同日乃至その直後に合法酒類の輸送販賣が公然と開始される段取りとなつた、尤も酒類販賣に關する法律は各州に依つて相違があり、ネバタ州では公衆の出入出來るバーの如きものも許可され、モンタナ州では強烈な酒類の販賣を禁止した州立賣店が管内各都に設置される事になつてゐる

共同使用驛滿鐵に委託

現在滿鐵線奉天、四平街、新京の三驛は國線との共同使用驛になつてゐるが、この共同驛に營業上異つた二つの營業規定があることは一般旅客その他に對して非常な不便を與へるためこれ等を統一することゝなり、去る一日以後共同使用驛における國線の連絡運輸營業は原則的に滿鐵々道部に委託されることゝなつた

ペスト終熄で乘降を解禁
防疫委員會は存續

北滿におけるペストは漸く終熄に向つたので滿鐵千種衞生課長は現地視察中のところ二日歸連したが現發生區域は愈々終熄とみて總局と協議の結果、ペスト發生以來旅客の乘降を禁止してゐた四洮、洮昂、鄭通、奉山各線の各驛は一日以來一齊に解禁、乘降自由に復した なほ防疫員は念の爲め新京、四平街、通遼、洮南、鄭家屯の諸所に一、二名存置せしめ乘降客の檢疫、望診を行ふが是も十日までに異狀がなければ十日以後全廢する方針である また發生區域に於ける生獸毛皮の積載も目下關東廳と協議中であるが十日公告を以て解禁となるべく是を以てペスト防疫陣は九月十日開始以來三ケ月ぶりを以て全廢されることゝなつた

然し現地防疫は廢止されてもさきに組織された關東軍、滿洲國、關東廳、滿鐵聯合の日滿ペスト防疫委員會は存續せしめ該機關を恒久的なものとして滿洲のペスト發生原因、徑路を組織的に調査し今後滿洲から惡疫を驅逐し眞に王道樂土とする爲め、治療機關、研究機關の設立にまで進む筈である

江省ペストの防疫廢止

【新京二日發國通】黑龍江省内のペストは最早危險全く消滅したので省内各地とも一日より防疫を廢止した

證人として熊谷氏
召喚さる

大連署司法係柏宮警部補は一日午後二時市會議員熊谷直治氏を召喚し金融實業事件に連坐せる夫人ヨネさんに關する證人訊問を行つた、この結果ヨネさんは被害金の殆ど全部を銀相場で失敗してゐるといふ使途が明らかとなつたが、結局夫人は相場に手を出したのが因で今回の事件に引きずり込まれた模樣である

介辨業者
近く當局の意嚮を訊す

辯護士法改正と共にこれに類似した介辨業を廢止さすかの如く傳へられてゐるが、市内介辨業者はこれに對し「我等の死活問題」であると關係者九氏は一日午後いろはに會合種々協議した結果、近日中に代表者が關東廳に赴き當路者に介辨業廢止の件につき訊すこと、なつたが但馬町の龜澤福績氏はたの如く語る

今まで介辨業者の組合といつたものがなく、一ぺんも顏を合したことがなかつたので懇親の意味で會合したのですが、非常に愉快な會合でした、席上たまたまその話が出て結局實際かどうかを聞くため三日か四日に關東廳に赴き保安課長警務局長に會ひに行きます、正當に許可された職業を急に止めるなどは隨分無理な話で我々としてはそんなことは信じられません、總ては會つてからでなければ判りませんが、若し事實ならば我々の死活問題ですから沿線にも檄を飛ばして對策を講ずる考へです

滿電協會朔日會

滿洲電氣協會では第十七回朔日會を十二月四日(月)午後四時半よりヤマトホテルに於て開催滿鐵商事部前田寛伍氏の「滿洲に於ける石炭の現況」と題する講演あり一般の來聽を歡迎すと

安樂椅子

滿洲の大動脈とも云ふべき南滿洲鐵道は滿洲國建國以來益々重要視され、輸送貨物、旅客も年々激増して名實ともに滿洲國の大幹線となつてゐるが、中でも最も著るしい増加振りを見せてゐるのは旅客の輸送である。

……◇……

一例を擧げると本年十一月中の滿鐵旅客輸送人員は九十四萬五千一百四十二人と云ふ素晴らしい數に上り、これを事變前の昭和四年の十一月に比較すると昭和四年十一月は約八十七萬人で十萬人近い開きを示し、十一月輸送旅客の最高記錄をつくつてゐる。

……◇……

處が一方收入の點では百四十萬三千百二十三圓をあげてゐるがこれは昭和三年十一月の百六十二萬圓に遠く及ばず、遂に統計上十一月收入では第四位と云ふ奇現象を生んでゐる、原因はバス乘客が近來著るしく増加したことゝ、短距離乘車客の増加によるもので、依然バス客は鐵道部の惱みであるが、折角成績をあげて嘆きながら收入が少いとは當世流行りの微苦笑も出來ないと鐵道部の話。

青空ホテル (56)

近江帆三

吉邨二郎畫

父の登場 (一二)

新六氏は全く窮地に陷つてしまつた。話題に事を缺いて、自分や伜のことばかりを問題にしてゐる。興味があるのだらうと思へばそれまでだが、聞かされる方は針の蓆に坐らされてゐる氣持である。ナヽ子が逃げを打つてゐてくれるのは有難いが、その反對に追撃はいよ〳〵急になつて來た。新六氏はその都度胸を痛めたり溜息をついたりした。

「お浮ちやんが送つていらしたのですつてね?」

「何だかそんな話でしたけど……」

「もう結婚は滅茶々々になつたと仰しやつたつて本當?」

「よく存じませんわ。だけど、どうせ醉つぱらつていらつしやれば……」

「ほんとにさうね。だけど、このひと、とても心配してますのよ」

「嘘よ。心配なんかしてやあしないわ」

と、この時始めて信子嬢が口を切つた。

「勿論原因はありますのよ」

「はあ……」

「良人と議論なさいましたの」

「掃除の一件ぢやございませんか?」

「あら、よくご存じね」

「そんなことも醉つていつてらしたさうですわ」

「でも、そんなことぐらゐでねえ」

「はあ」

「何かのお序があつたら、あなたからよく仰しやつて下さいませんか? わたくしからもよく申してなりましたつて――。無論逸見はそんなことを胸に持つやうな男ぢやございませんわ」

「はあ」

「何しろ、あなたを郁賀さんのあれださいつて贔されてゐたやうな男ですもの。ホホホ」

「ホホホ」

「その節にはダンスのお手ほどきなどうも……」

「あら、いやですわ、奧さま」

「ホホホ」

と一座は急に賑やかになつた。三人寄れば姦しい女たちの中で、この逸見さんの奧さんは自分一人でなほ三人前ぐらゐ活躍してゐる。

しかし、そのおかげで新六氏はこの中年の女の正體を見屆けることが出來た。さういへば先程からどこか信子孃に似てゐると思つてゐたのである。しかし、よくしやべる、こんなに次から次ぎへと話し込まれたら、逸見課長も定めし忙しいことだらうと同情せずにはゐられない。

やがて、三人はうち揃つて出ていつた。新六氏がホツとして腰をあげた途端、正面の鳩時計がぼツぼツと十二時を啼いた。

圓タクを拾つて大急ぎで歸つてゆくと、室の中に旗島がぼんやりと煙草を吹かしてゐた。

「あゝ、えらい目に逢つた」

と新六氏はドカリと安坐をかいた。

「どこへいつてたんです。默つてかすんぢやうもんだから――」

「なあに、急用が出來てね。四谷までひと走りいつて來た」

「四谷のどこです」

「鹽町の邊だよ」

「よく一人でゆけましたね」

「自動車ですツ飛んで來た。はつはつは」

「國の人ですつて?」

「うむ、ちよつと知合ひの奴がゐてね」

「野球はどうします?」

「ベースか。今日は止さう。ベースよりもずつと面白いものを見て來た」

「何です?」

「何でもないわい。はつはつは」

「へんだなあ。どうも――」

「うむ。へんだよ。ふつふつふ」

と新六氏は獨りで笑つてゐる。

新刊紹介

海戰（福永恭助著）著者得意の海軍物語、ジエツトランド大海戰以下九篇を輯む（四六判二七七頁一圓半、東京麹町內幸町海軍研究社）

新天地（十二月號）滿洲國の鐵道政策（星田信隆）滿洲の現實と滿鐵改組問題（諸家）滿鐵改組問題の經過（千田萬三）滿鐵改組問題所見（諸家）等（三〇錢、大連桃源臺其社）

調査月報（十一月號）米第二回收穫豫想高、昭和八年麥實收高、昭和八年春蠶狀況、昭和八年棉田段別等（三〇錢、朝鮮總督府發行、京城朝鮮印刷株式會社發賣）

お化粧振り探訪記！

帝都人氣ものナンバーワン

親愛なる淑女諸君！

お化粧は上品な方がいゝデス。また美しい方がいゝデス。美しい化粧は現し世の光なりと物の本にも見えてをるデス。

イデヤ、これより美人國探訪に出かけます。

文並びに演出　大辻司郎

(1) 勝ちやんこと　よし町　勝太郎さん

大辻　勝ちやん、今日は忙しくないの?

勝　司郎さんだけは特別よ（と、いとも小聲に仰言つたデス）

大辻　時に、花柳界では、皆さん、どういふ白粉を使つてるンですか、この頃は?

勝　前は盛んに鉛白粉を使ひましたが……

大辻　此頃は殆んど明色白粉だと仰言るンでせう。何處へ行つても置いてありますなアこの白粉が……

勝　いゝんですのよ、本當に明色はいゝんですのよ（へへ、モツタイナイ！　僕はかういふ事をしても私の腕をお貸ししますから、試驗して御覽なさいいゝんですか、皆さん?）それ、ネ、今までの白粉には、こんな美しさが見られなかつたでせう。これだけ濃く附いても、この通り、皮膚の下に、血がマザ〳〵と通つてゐるやうな美しさでせう。

大辻　ヒゲ剃りのアトに美顏ユーマーを附けたら、こんなになつちやツた、司郎さん、この頃一寸キレイになつたのね。何かワケがあるの?　アラ恥しい……

勝　あの美容後なら、私近頃、水白粉のお化粧下にも、湯上りや洗面の後にも使つてますわ。いゝのね。

(2) ソプラノ歌手　田中路子夫人

田中　妾、認識不足でしてね、日本へ歸つたら、さぞ、化粧品に不自由する事だらうと內心思つてましたの、義姉に教へられて、明色美顏白粉を求めまして驚きましたわ。日本にこんなにいゝ白粉があるンですものね。

大辻　イエス（これは英語デス）舶來品が高いのは、品物にネウチがあるンぢやなくつて、冩眷の關……

(3) われ等のターキー　水ノ江瀧子孃

われらのミス・ターキー、彼女はシンから朗らかなお孃さんであるデス。淺草のトある化粧品屋に小生がゐましたら、われ等のターキー水ノ江君が颯爽と入つて來られたデス。

瀧子　をぢさん、一等いゝ白粉をお吳れよ。

大辻　お孃さんは快活でゐらつしやるデスな。

瀧子　モチよ。

大辻　これが明色白粉と申しましてネーエ、今一番人氣のあるネーエ、白粉なんですがネーエ。

瀧子　よくネエ、ネエといふ人だネーエ。ボクにも移つちやつたネーエ、明色つてどんな色?

大辻　ヘイ。明色と申しましても、決して特別の色白粉ではございません。新しい原料の配合と新しい製造法で、これ迄の白粉に見られない、明朗な近代的な化粧美を現はしますので、特に明色の名があるので、色味は、白色肌色、濃肌色、淡黃色の四種ございます……ヘイ

瀧子　それならボク知つてるよ。大阪の樂劇部の連中は一人殘らずこれを使つてゐるンだつてね。ボクこれから大いに使つて、再生のターキーの唯一の武器にすらアね。

(4) 蒲田の女王　栗島すみ子さん

中學へ通ふやうなお子さんを持ちながら、斷然人氣の點で壓へてゐる栗島すみ子女史は實際、尊敬に値するデス。獨身だから世間が騷ぐといふんでは本當の藝術家ぢやないデスなア。さて、より道をヌキとして、彼女の朝のお化粧は驚く程僅かな時間にまとまるデス。

「いゝえ、決して職業柄ぢやございません。材料がいゝからなのよ」と、いとも簡單明瞭におつしやつたデス。

栗島　蒲田でも明色美顏黨が多いのよ。斷然人氣を壓へてゐるのよ。

大辻　あの白粉はそんなにいゝですかなア。

栗島　申すまでもない事よ。それにライトの高熱に當つても崩れは少いわね。ホントよ、お世辭ぢやないわよ。宅（池田）など監督の立場から、明色美顏白粉をすゝめてゐますのよ。偉い實驗談よ。

(5) 美容家　吉行あぐりさん

その數サワヤマとある美容師諸君の中に、吉行あぐり君は商賣人らしくない商賣人として僕は認めてをるデス。

大辻　新時代の麗人を作る秘訣は?

吉行　さうねえ、近代的なお化粧には、パツと咲き誇つた花のやうな美しさ、それに聰明な理智的な明るさが欲しいわね。今までの白粉では、それが出來ませんでしたの、明色美顏白粉が出來てから、初めてそれが適へられましたのよ。あの美しいツヤと落ちついた輝き、高價な舶來品にも見られないスバラしい特長ですわ。私こんな方程式を考へましたの。白粉＋ツヤ＋輝き＝明色美顏白粉　いかゞ?

大辻　實は、僕昨年大阪へ行つて、明色白粉の製造を見て來ましたが、なる程あの設備なら、スバラしい白粉が出來る筈と思つたデス。

童話　犬のお母さん

大塚正明

「ねえちやん、おとうさんが大好きよ」

みちちやんはとび起きると、お洋服も着ないでおとうさんの首つたまにぶらさがりました。

「僕はおかあさんが大好きだ」

峰雄ちやんも負けずにおかあさんの首つたまにぶらさがりました。

「みちさん。ほら、プローがないてるよ。早く犬小屋へ行つてごらん。おなかがすいたんだらう」

おとうさんがそうおつしやると二人は洋服を着ながら、朝日のパツと射してゐるお庭へかけて行きました。おとうさんも後からついてお庭へ降りて來ました。

「昨夜もずい分ないたわねえ、クイーン、クイーンてね。ねえちやんとつてもかわいそうだつた」

「僕とつても心配だつたよ。きつと犬のおかあさんがこひしくなつたんだね」

「おとうさん、犬のおかあさんを呼んでやらうか、ね？今日——」

みちちやんは後に立つてゐるおとうさんを、丸い目で見上げながら言ひました。

「それもいいが、そうすると親犬が、せつかくもらつて來たプローをつれて行つてしまふよ」

「あら、どうして？」

「どうしてつて、そりや生みの親だもの。見なさい、いまにさがしあてゝ、親犬がやつてくるから」

「そうしたらつれて行かれつちやうね？」

「あゝきつとつれて行くよ」

「そう？困るなあ。僕しばつとこうかな？」

「しばる？ひどいわ、そんなことねえちやんだいてゐるわ」

× × ×

四人揃つて朝ご飯をいたゞいてゐますと、急に聞きなれない犬の鳴き聲が垣根の外から聞えてきました。犬小屋のプローも急にへんな鳴き聲をはり上げました。ワアン、ワアン、ワアン……泣くやうな、お願ひするやうな、合づのやうな鳴き聲です。

「あらプロー、へんな聲を出してゐる」

「犬のおかあさんが來たんぢやないかな？」

おとうさんがそうおつしやると峰雄ちやんはお外へ、みちちやんは犬小屋へかけて行きました。

「あ、こわい。おとうさん、早く來てよー」

みつちやんが大聲で呼びました。犬小屋の前には足やからだが土によごれた犬のおかあさんが、ぐいと首を持上げてこちらをにらんでゐました。出てゐらつしやつたおとうさんが、よしよしと手をあげますと、犬のおかあさんは何かうれしいと見えて、尾をふり立てながらぐるぐるかけまわりました。峰雄ちやんもおかあさんもそばへ來ました。プローは何かをおいしそうにたべてゐます。

「おとうさん、ねえちやんが來た時犬のおかあさんはお口から黒い物をはいたのよ。プローはそれをなめてたべてゐるのよ。とつてもきたない——」

「えらいものだなあ、犬のおかあさんは。あんな遠い所から來た」

おとうさんはよごれた犬のからだを何べんもなでてやりました。

ハテナ？

コノタクサンノカホノナカニオナジヒトガニタリヰマス。

ヨコヰ　フクジラウ

一　ヒトリヰルノハ　アカチヤンデゴザル
二　ニヒキヰルノハ　コネコデゴザル
三　サンダイアルノハ　ジドウシヤデゴザル
四　シホンアルノハ　エンピツデゴザル
五　ゴマイアルノハ　ヱハガキデゴザル
六　ロツパヰルノハ　スズメデゴザル
七　シサツアルノハ　ヱホンデゴザル
八　バツソクアルノハ　オクツデゴザル
九　クハイアルノハ　コーヒーデゴザル
十　ジフデジフ時ガナリマシタ。ソレデハサヨナラオヤスミナサイ

こどもの考へ物　第七十五回

見たことのある機械ですネ　思ひ出して下さい

機械には間違ひがないのだし、何處かで見たことも確にあるものだが？え…と、何だつたつけな、皆さん忘れてしまつたのでせう、大すきなものなのですが、何でせう。わかつた方は來る十二月十日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてお答へ下さい、正解者には二十名だけにきれいなご褒美を差し上げます。

第七十三回の答　馬さんでした

第七十三回の考へ物の答は馬です　いつも皆さんはよく當てますネ、こんども當つた方が大へん多いので籤を引いて次の二十名の方々にご褒美をあげることにしました。大連の方は新聞社からあげる通知のハガキと引かへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方々には郵便でお送りしますから樂しみに待つていらつしやい。

當籤者

▲大連霜野良之助▲同西森大吉▲同今村義信▲同中野高子▲同山本明▲同田中一二三▲同桐畑千代子▲同野間口民子▲同上村格▲同竹内平男▲同森川光惠▲同田中孝一▲新京石龜せい子▲公主嶺村越昌子▲奉天大辻覓▲撫順櫻庭幸雄▲蘇家屯實歲壽雄▲海城八木田升一▲瓦房店安生百合子▲旅順富山友正

ニイサンガイマオホキナノヲコシラヘルンダ
ヤーステキダ
シャボンダマガボクノクビヲツツンデシマッタ
アリヤタイヘンダ

峯作

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

【注意】今日から十二の卷に入りませうね、一つ一つたしかに、自信をつけてやつた所も、これからの箇所も一層勉強して下さい「力」が凡てを解決してくれます。

（一）次の御製の意味をわかりやすくいへ。

（1）ほどほどに心を盡す國民のちからぞやがてわが力なる。

（2）淺綠すみわたりたる大空のひろきをおのが心ともがな。

（3）波風のしづかなる日も船人はかぢに心をゆるさざらなん

（二）次の文をわかりやすく書きなさい

（1）折から日は地平線に近づきて、雲も水も金色に輝き、美しさいふばかりなし。

（2）なぎさに立ちて昔をしのべば、そのかみ此處にいかめしく向ひあひけん英雄の姿、今まのあたり見るが如く、打寄する波の音さへ何事をか語るに似たり。

（3）人智の進歩と印刷術の發達とは、何時までも、單純にして遊戯的なるものに滿足すべくもあらず、やがてあまねく内外の事件を報ずると共に時事を論ずる新聞起りて、こゝに始めて我等の生活に切實なる關係を有するものとはなりぬ。

（三）（1）次の括弧内の語の中から其の上の語と最も關係の深い語を三つだけ選び出してその右側に線を引きなさい。

（例）人（頭、着物、身體、金錢、精神）

試驗（問題、受驗、朗讀、鉛筆、合格）

（イ）生物（植物、鑛物、人類、動物、研究）

（ロ）進化（生物、體形、變異、構造、遺傳）

（ハ）博物（動物學、植物學、物理學、生理學、天文學）

（2）次のよく似た文字はどうちがひますか、よみでも、わけでも、使ひどころでもよろしい。

（1）動—働　（2）樂—藥　（3）歲—歳　（4）苦—若　（5）探—深　（6）歡—歎　（7）眼—眠　（8）決—快　（9）詩—時—待—持　（10）檢—儉—險—驗

（四）次の文の片假名を漢字に直しなさい。

（1）ニチジヤウセイクワツはキハめてキソクタダしく、マイニチきめたジカンワリドホリシゴトをススめてたとへ十分十五分のヨカでもムエキにツヒやすことはない。

（2）チンジユンな彼はチ、のヌイにシタがつてベンキヨウしてゐたがイツのマにかスキなハクブツガクのケンキユウが主となつた。

（3）テウシのよいミカントリウタがすみきつたバンシウのクウキをふるはしてドコからともなくのどかにキコえてくる

（五）次の言葉をつかつて短文を作りなさい。

（イ）さながら　（ロ）趣味　（ハ）あまねく　（ニ）のどか　（ホ）むしろ

前週の答　算術

（1）210錢÷（1+0.2）=200錢……原價
200錢×（1−0.1）=180錢……賣價
答　1個30錢に賣ればよい。

（2）14圓×2=28圓……二反の原價
32.2圓−28圓=4.2圓……利益金
4.2圓÷28圓=0.15
答　1割5分の利益になります。

（3）25000圓×$\frac{2.9}{1000}$÷2
答　1日に35.0圓です。

（4）（50圓×0.08）÷（2圓……
=0.050……
（100圓×0.05）÷93圓
=0.0538弱
0.065−0.0538
=0.0112
答　滿鐵株の方が1分1厘2毛ほど利廻りが得です。

（5）24人÷60人=0.4
50人−30人=20人
20人÷50人=0.4
答　どちらも4割で同じです

ドドン！北滿の野に 木靈する獵銃の音
白雪を蹴たて、密林の中に 勇ましい『狩り』の話

北滿洲に皆さんが地圖を見るとすぐわかるやうに、南滿洲の倍以上も廣いのですが、人間の數は少なくて、大部分は今でも昔ながらの密林です。ですから虎、熊、猪、鹿、ノロ、狼などが澤山住んでゐます。これ等の動物は、毛皮が敷物や外套になるので、獵人は毎年冬になると鐵砲と辨當を持つて、山の奧に入つては捕へて來ます。こんな恐ろしい動物をどうして捕へるのか、獵人から聞いた話をいたしませう。

新らしい毛の揃ふ冬が來て狩に出る
一番恐ろしい虎狩り

＝動物＝は皆、秋になると古い毛が脱けて、新しい毛が生えるので、十一月頃からでないと獵人は捕らないものです。動物の方でもよく知つてゐて、夏は人家の近くまで平氣で出て來ます。ハルビンから浦鹽に行く途中の東部線といふ地方では、時々熊が町の中に出て來て人々を驚かしますが冬になると皆山に歸つて冬籠りをします。この時には非常に人間を恐れて、うつかり知らずに近よると、人間が殺されることがあります。「虎は死しても皮を殘す」といはれてゐる通りその毛皮が非常に高いものですから、獵人も虎を探して歩きますが、一番危險な動物ですから、獵人は虎を見つけたときには、先き廻りして物陰にかくれて待つてゐるのです。若しやりそこれたら必ず飛びかかつて來るので鐵砲も必ず連發銃を使ひます

入口に頑張つて子を護る親熊
人の氣配を感づくと立上り襲つてくる

＝虎に＝次で恐ろしいのは熊ですが、熊は動物中一番悧巧であるだけに却て人間には都合がよいのです。つまり人間の考へるやうなことを熊も考へてゐるのですが、人間から見ればごく幼稚な考へなのです。熊は夏は家族揃つて餌をあさつて歩きますが、冬の初めになると一生懸命で家を作ります。家といつても穴を掘つてその入口のところを木で塞んで、外部から見えないやうに、また雪が吹き込まないやうに作つて置きます。獵人は秋から冬の初めにかけてこの＝熊の＝家を探して置いて、冬熊の一家族が家の中に落着いた頃に、出掛けて行きます。冬でも熊の家族は外出してゐることもありますが、家にゐる時には獵人が見ると一目で判るのです。それは穴の中に子供を入れてお父さんは半分體を外に出して敵を警戒してゐるのですが、足が寒いので足の平を口にあてて「あア、あア」と息をふきかけてゐます。その聲が聞え、また白い息がかすかにあがつてゐるのですぐわかるわけです。獵人が近づくといきなり立ちあがつて、＝兩手＝をひろげて襲ひかゝらうとしますから、そのところをズドーンと一發打ちはなつのです。冬とつた熊は毛皮もよいし肉もうまいので、大きいものになると、一頭が二百圓から三百圓位に賣れます。熊の一番多いのは東部線の附近です。今度日本人が移民したチヤムス農場から八虎力川を七、八里上流に行くと、密林があつて、こゝは虎や熊の非常に多いところです。

「自動車上から」勇壯な狼狩り
喰殺される事もある

＝狼の＝獵は一番勇壯なもので、近頃は日本人も時々出掛けて行きます。昔は狼や狐をとるには、肉の中にストリキニーネといふ毒藥を入れて、こつそり置いて來たものですが、近頃はそんな手ぬるいことはしません。狼の多く住んでゐるのは索倫地方とか、ハイラル、マンチユリー方面とか半分は砂漠のやうな草原で平な土地ですから、獵人は自動車で追ひかけます。狼は群をなして逃げますが、自動車が全速力を出すと狼に追ひつきますから、車の上から＝鐵砲＝で打つのです。自動車は普通の自動車のガラスを全部とつてしまつたもので、三人位が撃つのですから、狼はゴロゴロ斃れます。それを後で拾ひ集めるのですが、狼は猛獸の中でも一番荒い動物ですから、自動車に追はれて逃げながら少しスキがあると、自動車の中に飛び込んで來て人間を喰ひ殺さうとします。昨年の冬もロシア人が一人噛み殺されました。ノロや山七面鳥の群を見つけた時も自動車で追ひ掛けますが、蒙古の狩りほど愉快なものはありません。

鹽をなめに鹿が來る

＝それ＝から面白いのは鹿です、北滿の鹿は二種類あつて體の大きい角のギザギザした普通の鹿は、到るところに群をなしてゐますが、これは獵人は捕りません。俗に袋角といふ鹿は角が支那の高い藥になるのです。冬の初め頃とつた鹿は一頭五百圓もします それであまりとるので今では數も少くなつてゐますが、烏吉密（ウキツミツ）といふ地方では、毎年數十頭とります。この鹿は非常に臆病で、目も鼻も耳も鋭敏ですから、獵人が近づくことはとても容易でありません。そこで獵人はお百姓が＝土地＝を持つてゐるやうに、何處から何處までが誰の持ち場といふことをきめて置いて、自分の土地には毎年夏でも冬でも鹽を持つて行つて撒いて來ます。鹿は夜、人間も猛獸も出ない頃を見はからつて、こつそり出て來て鹽をなめては歸ります。冬の初め頃、鹿の値が高い時分になると、獵人は鹽を撒いた場所近くの物陰にひそんで、鐵砲をかゝへたまゝいきを殺して待つてゐます。晝の中から待つてゐるのですが、煙草でも吸へばその夜は決して鹿が近づいて來ません。かうして一冬に二頭もとれゝばよい方です。

恐い馬賊
猛獸よりも

＝獵人＝はどんな猛獸にあつても恐れませんが、馬賊だけは恐れます。馬賊は獵人を見つけると鐵砲も獲物も金も服までもとつて、おまけに人質にしてつれて行きます。滿洲事變以來賊も悧巧になつて、あまり人質はとらなくなりました。それは人質をとつたり金や服をとり上げたりすると、日本軍や滿洲國軍にそれが知れてすぐ討伐されるからです。それで近頃東部線の馬賊は獵人を見つけると＝税金＝だといつて一割をとり上げます。キジを百羽とれば十羽、虎や熊のやうな大きいものはその値段の一割を金で拂へといひます。獵人は命をとられるよりはよいから默つて拂つて來ますが、その代りこの税金を拂ふと他の馬賊につれて行かれないやうに保護してくれます。それでも一日山を歩いてゐると、二組や三組の馬賊に出あつて獲物の二三割はとられてしまふことがよくあります

しやしんせつめい

(上)ウオッーとうなつた、ものすごいトラさん(中)エンコしたクマさん(下)やさしいシカさんのあつまり。

一家こぞつてオホ・ホ・ホ・ホ
初春ことほぐ榮養お料理

是非お試み下さい

暮れやすいは歳の暮です。師走の聲を聞いただけでも心忙しく、街の灯のまたゝきもスピードを加へたやうに感じられます。にがり勝ちな家庭の主婦のお顔も、來ん初春の朗かさを思へばひとりでに綻びる筈です。けふは春を壽ぐに相應しく且つ榮養を主とした新年料理を、目下滯連中の帝國料理學會々長勝見新太郎氏を煩はして作つて頂きました。ご參考までにお傳へいたしませう。（お料理はいづれも五人前です）

新年料理お献立

帝國料理學會々長
文部省生活改善會講師　勝見新太郎

御刺身　鯛の船盛り作り／小波獨活／白波大根／さより清海作り／常盤海苔／山葵

御口取（籠盛）　鳴戸蒲鉾／伊勢海老の寳蒸／玉川やうかん／富貴寄玉子／曉の長芋

御甘煮　若百合根の丸煮／巻竹の子／ふくめ松露／いんげん／やきめあなご

三種肴　南天すずこ／長老木／のし鳥／木の芽焼

御燒物　鯛の高砂燒／なるみ生姜

小丼（酢物）　八重垣漬／梅花酢

御吸物　鶴の目玉子／龜甲眞蒸／鶯菜木の芽

祝重　ごまめ／よろ昆布／煮豆／數の子／七福漬

御刺身

材料　百匁位の鯛五枚、獨活百匁、大根中一本、さより二百匁、山葵中一本、醤油五勺、味の素小盃一杯、松の枝五本、淺草海苔十枚

鯛を良く水洗ひして脊の身を梳き取り、これを刺身に作り鯛を船形になし皿に盛り、その鯛の周圍に白波大根を（ごく細くかずらに刻みたる物）なほ其の上に小波獨活（より獨活の長き物）さよりは三枚にして骨を梳き取り細く笹の葉の如く作り、鯛の前側に波の形に盛る、常盤海苔は淺草海苔を良く炙つて粉にしてこれを水で堅く煮て用ゐ次に山葵さよりは刺身の皿の側へ體裁良くつけて用ひます

口取り

材料　蒲鉾の上摺身百五十匁、伊勢海老中五個、寒天二本、青海苔粉大盃一杯、白砂糖七十匁、白さらし餡五十匁、玉子十二個、三ッ葉十本位、長芋二百匁、本紅、酢、鹽共に少々、味の素小匙二杯

一、鳴戸蒲鉾　蒲鉾の摺り身を一割だけ擂鉢に入れ、この中に玉子の白味一個分と片栗粉大匙一杯を加へ良く擂り混ぜ、これに青素を加へ青く色をつけこれを板に薄く延ばし、蒸器にて五分位蒸し、取り出して水に漬け、後水氣を良く取り刺身庖丁にて梳き取り、これを簾の上に置きこれに蒲鉾の摺身を薄く平に塗りつけ小口より巻きしめその上より布巾にて包み、又簾にて良く巻きしめ蒸器にて十分間位蒸して取り出し良く冷して八分位の厚さに切つて用ひます。

二、伊勢海老寳蒸　伊勢海老を丸の儘十五分位蒸器にて蒸し、後良く冷し皮を腹部より切取つて身を取り、これを小さく刻みこの海老の中へ松の實を少々刻み入れ、玉子の白味二個分と三ツ葉を刻み入れて良く混ぜ合せ、味の素を少々加へ、また良く混ぜ、もとの海老の殻に入れ又五分位蒸して取り出して用ひます。

三、玉川やうかん　寒天を水に二本漬け置き水五合と共に火に掛けて溶けた時砂糖を加へ、又一寸煮て一度漉し、もとの鍋に入れてこれに白晒餡を水にて固くねりこれを寒天に入れ別に青海苔の粉を寒天の一割ほど加へ良く練り、前の白く煮たる寒天を箱に流し込み良く固めて適宜に切つて用ひます。

四、富貴寄玉子　新鮮な玉子を十個水より固く茹で、白味と黄味と分け、兩方とも裏漉しして白味の方へ砂糖を濾して大匙に二杯半入れ、これを鍋に入れ、食鹽少々を加へ良く混ぜ合せなほ焼酎を小盃一杯加へ火に掛け一寸炒り、取り出して良く冷して置きます、次に黄味は砂糖を大匙二杯と食鹽少々と加へ良く混ぜ合せ、これを押しワクに薄板を敷き黄味を平になし次に白味を又黄味と重ね入れ一寸厚さになし、これを蒸器にて十二三分間蒸して取り出し、よく冷して長さ二寸、幅五分位に切つて用ひます。

五、曉の長芋　長芋を一寸位に切り丸く剝ぎ、水の中へ鹽と焼明礬少々を加へ二十分位漬けて置き、後これを水にてよく洗ひ一寸鹽を塗つて置いて柔かく茹で、これを鍋に入れて水少々と本紅と酢を少量加へ一寸沸しこれに茹でたる芋を入れ薄桃色に色をつけ、別に鍋の中へ砂糖蜜を二合と味淋五勺を加へ、火に掛けて沸いた時芋を加へよく煮て冷して用ひます。

寫眞説明
▼……向つて左上から……籠盛りのお口取、三種肴、鯛のお燒物
▼……向つて右上から……鯛のお刺身と庖丁の冴えを見せる料理場

御甘煮

材料　百合根小十個、竹の子二百匁、松露五十匁、鹽二十匁、穴子百匁、寳味淋五勺、白砂糖五十匁、味の素大匙一杯、醤油五勺、白胡麻小盃五杯、鰹の煮出汁一合、焼酎小盃一杯、炭酸曹達少々、出汁昆布二十匁

一、若百合根の丸煮　百合根を水で良く洗ひ、鹽水に五分位漬けて置き、これを鍋に入れ焼酎を加へ水を入れて柔く茹で取出して水にて洗ひ次に鍋の中に味淋と砂糖及水少々を加へて百合根を入れてよく煮て用ひます（注意＝鹽を少々加へて煮るのも良い）

二、巻竹の子　竹の子を二寸位の長さに切り天地を取り小口よりかつらの如く剝ぎ、これに片栗を薄く振り、また小口より巻きしめ、竹の皮にて括り、鍋の中に鰹の出汁五勺及醤油小盃二杯加へ火に掛け良く沸し、これに竹の子を入れよく煮て竹の皮を取り、小口より五分位に切つて用ひます。

三、ふくめ松露　生松露を温水にてよく洗ひ柔かく茹で別に鍋の中へ鰹の出汁一合と醤油少々、味の素大匙半杯を入れて火に掛け、この中に出汁昆布を少々加へて松露を入れ、よく煮て味を含ませ火より下し其の儘二十分位漬けて置いて用ひます。

四、いんげん　隱元をよく洗ひ兩端を切り一寸茹で水に漬け置き（注意＝茹でる時に燒明礬を少々入るべし）次に鰹の出汁を鍋に入れ醤油少々と味の素大匙半杯及び鹽少々味淋少々加へ一寸沸かし、この中へ前の隱元を漬け込み置く事二十分位後用ひます。

五、燒目あなご　あなごを開き白燒となし一寸位に切りこれを鍋に入れ味淋小盃五杯と醤油二杯、砂糖小盃三杯を火に掛けよく沸し、あなごを加へこの中へ胡麻を擂り入れてよく煮詰めて用ひます、以上の百合根、巻竹の子、ふくめ松露、隱元を甘煮丼に入れその上に燒目あなごをつけて用ひます。

三種肴

材料　南天の枝五ッ、長老木十五ケ、鶏の抱身百匁、木の芽小盃一杯、すゞこ小盃二杯半位、醤油小盃三杯、味淋一杯

先づ八寸様の小角御膳に南天の葉を敷き此にすゞこを置き、その脇に長老木を置き、その又脇にのしとりを置き用ひます。

一、のしとり　鶏の身の良いところを味淋と醤油を混ぜて漬けて置き、二十分後に水氣を拭き取つてよく燒き、別に木の芽を小さく刻み前の濃醤油に加へ、これをとりに掛けてつけ燒き致します、なほこれを一寸角に切つて附け合せます（注意＝鶏の代用としては鴨又は鶴の身にてもよろしい）長老木は漬けたる物を用ひます。

御燒物

材料　小鯛七寸位の物五枚、はじかめ生姜（もやし）十本、りゆうひ昆布一尺位、酢五勺、鹽小盃五杯、酒小盃五杯、寳味淋五勺、砂糖小盃十杯

小鯛を水にてよく洗ひ隱し腹になし鹽をまぶし三十分位の後良く洗ひ水氣を拭き取り、次に酒を鯛全體に良く振り掛けまた一時間位置き、後鹽を振りかけて焔焰に鹽をたき、入れ火に掛け其の上に鯛を並べ、またその上に焔焰を乗せ蒸燒にして用ひます、次になるみ生姜を良く洗ひ皮を剝き穗先を薄く中に切り、これをさつと茹で、引上げて鹽を振り掛け五分位の後、生の中へ漬込んで置いて附け合します、次にかんろう昆布は乾物店より求め小口より巻き糸にて堅くくゝり鍋の中へ入れ、味淋と砂糖を加へ一寸煮て火より下し、よく冷し一日位漬て置いて後水氣と糸を取り、これを二分位の厚さに小口より切つて附け合せにします、そして以上の物が出來ましたら皿に椽の葉を敷き、これに鯛を載せ其の前に生姜と昆布を附け合せるのです。

小丼（酢の物）

材料　數の子一合、木くらげ五ケ、海老五十匁、白板昆布二十匁、柚子五ッ、白砂糖小盃五杯、梅肉小盃一杯、酢三勺、味ノ素小匙一杯、醤油小盃一杯

數の子を洗つて小口より薄く切り鹽水に十分位漬け、水洗ひして置きます、次にきくらげは柔かく茹で絲に切り、海老は鹽水で茹で皮を剝き小口より切ります、別に丼の中へ白板昆布を一寸位に切つて入れ、これに砂糖、醤油、味の素と酢少々を加へて良く混ぜた中へ柚子を少々刻み入れ輕い壓をして三十分位置きます、次に柚子を七分三分に横に切り柚子の種を取り出し、この中へ前の漬けたる物を入れ五ッ用意なし柚子の蓋には杉の板を四角に切り松形の燒印を押し、別に梅肉と前の漬汁を混ぜて猪口に漬けて用ひます。

御吸物

材料　鶏の卵五個、鯛の摺身二十五匁、食紅少々、海老摺身二十五匁、卵の白味二個分、味の素小匙一杯、葛粉小匙二杯半、鹽少量、鰹の出汁二合五勺、鶯菜少々、木の芽少々

一、鶴の目玉子　先づ鶏の玉子を茹で、皮をむき食紅を温湯にて溶きこれに入れて玉子を一寸色づけ、取り出して水氣をよく取り、別に鯛の身をよく擂り鹽と味淋を加へて味をつけ玉子になほ味の素を少々入れてよく擂り混ぜ、これを前の鶏玉子に薄く塗りつけこれを胡麻油にて揚げ、後水にて一寸油ぬきをなしよく水氣を取つて輪切に切つて用ひます。

二、龜甲眞蒸　海老を生にて良く擂り潰し、これに味淋と鹽を少々加へて味をつけ、なほこの中へ玉子の白味を少々づゝ加へてよく擂り伸ばし龜形の輪に入れ蒸燒にし別に亀甲形に燒目をつけて用ひます、鶯菜は一寸茹て葉先を少々づゝ入れて次に木の芽も加へ別に御吸物を入れて用ひます。

祝重

材料　ごまめ一合、煮昆布百匁、黒豆二合、數の子百匁、土生姜二個、鰹節三十匁、白砂糖五十匁、味淋一合、醤油五勺、酒三勺、鰹の出汁三合、煮昆布百匁、水飴盃二杯

一、ごまめ　ごまめを一寸炒つて鍋に醤油小盃三杯、砂糖小盃三杯、味淋小盃一杯入れて火に掛け沸騰した時ごまめを入れてよく煮詰めて用ひます。

二、よろ昆布　煮昆布を五寸位に切り柔かく茹で取り出しこれを小口より細く刻み鍋に入れ生姜の搾り汁を小盃一杯と醤油小盃三杯、砂糖三杯をよく煮詰めて用ひます。

三、黒豆　黒豆を一夜水に漬け、藁灰の白水五合と藁灰の灰汁水と共に鍋に入れて柔かく茹で又水を取替へる事三四回、鍋に入れ鰹の出汁と砂糖を加へて良く煮て汁が半ば煮詰つた時この中へ醤油を少々づつ入れて水飴を加へよく煮詰めて用ひます。

四、數の子　數の子は鹽水でよく洗ひ適宜にむしり、これを又水に一時間ほど漬けて置きます、別に丼の中に醤油と燒酎及砂糖を少々加へ鰹の薄く削つたものを少々加へ火に掛けよく沸し冷めたさき數の子を入れてよく漬け込んで用ひます。

五、七福漬　蕪百匁、人參百匁、大根百匁、獨活百匁、南瓜百匁、出汁昆布五十匁、白ざらめ五十匁、鹽一合、銀杏一合、きくらげ一合、酢五合、鯛の身百匁

先づ蕪、大根、人參は皮を剝き小角に切り鹽でよく揉み後水でよく洗ひ、別に鯛の身はあられに切り胡麻油でカラリと揚げそれを器に入れ、この中へ酢と砂糖昆布を二寸位に切り入れ鹽を少々加へ、これに前の野菜を全部入れ、なほ最後にきくらげを柔く茹でて加へます（適宜に切りたる物）なほ銀杏は一寸茹でて四ッ切りにして加へ南瓜は小口より薄く刻み鹽にて揉み一寸水にて洗ひ七福漬を重に入れ、その上より振り掛けます、祝重はごまめと煮豆の三種を盛分けて一重となし、數の子を一重七福漬を一重として新年の御祝に用ひます。

ナンセンス物語 ルーブル紙幣

木暮白花
武田伊知呂 畫

一

ブローカーの澤村駒三は、近頃の不景氣で千三ッ仕事が頓と當らず、すつかり弱つてしまつた。

「あゝ、何かひとつ、ホームランヒットのやうな大きなやつを打ち當てたいものだ。斯う不景氣ぢやコーヒー一杯飲むことも出來やしない」

と欠伸まじりに歎息を洩らしたが、幾ら歎息を洩らしたつて、金が天井から降つて來るものでもなければ、疊の敷き合せから湧いて來る譯でもなかつた。

「あなた、寢ころんで講談ばかり讀んでゐないで、少しは正氣づかなくちや駄目ぢやありませんか、月末も近づいてゐるといふのに、一體どうする積りなんです」

「それは俺だつて考へてゐるさ」

「考へてばかりゐたつて、お金がちやんと手に這入つて來なくちや何んにもならないぢやありませんか、本當にブローカー商賣もいゝ時はいゝけれど、惡いと來たらまるであがきがつかないのだから遣り切れない、何時まで斯んな事をしてゐたつて仕方がない、何か堅氣の商賣とか、勤めとか、矢張り體を資本に働かなくつちや、人間うそですわ」

「そりや、お前のやうな只だ喰つて生きてればいゝといふ人間は、さう思ふかも知らないが、諺にもあるぢやないか、果報は寢て待て浮世の馬鹿は起きて働くつてな、俺なんか、朝早くから夜おそくまでせつせと働き通して、僅か一圓五十錢か二圓を貰つて滿足してゐるやうな者の眞似は、到底出來つこないんだ、どうせ人間は浮世五十年だ、月に五六十圓の月給をもらつて、テクテク腰辨で通つても五十年の壽命なら、自動車を買ふのを下駄一足買ふ位の氣持の豪奢な生活をしても、矢張り壽命は五十年だとして見りや、男と生れたからにや、その豪奢な生活をして見たからうぢやないか」

「そりや私だつて、娘時代はお父つさんが請負師で相當やつて居り隨分贅澤もして來たのだから、斯んなケチケチした氣持にはなりたくないわ。だけど米屋も酒屋も止まつちやつたし、質ぐさだつてもう大抵洗ひざらひだし、これぢや大きなことより切めて月々の諸支拂ひだけが、どうにか出來たらといふ氣にもならうぢやありませんか」

「いや、それも實際の無理のない話だ、つまり俺の仕事が近頃うまく行かないから、派手好きなお前をまで、そんなみじめな世帶女房に寠れさしてしまつたんだ、濟まないと思つてる」

「何も夫婦の間で、濟むも濟まないもないけれど、本當に一つ何か當つてくれるといゝわれ」

「今に何か當てるよ、俺にも或るひとつの確信があるんだから、そいつがうまく行きやア、なアに、自動車を下駄と思つて買ふほどには行かなくとも、斯んな不景氣な家は早速引き拂つて、明るい郊外な文化住宅にでも引越し、女中の一人もおいて、お前には日髮日化粧位のことはさせてやるさ」

「本當に早くさうなつてくれるといゝわれ、あなた大丈夫、そんなに確信があるの?」

「先づ大丈夫と思つていゝ事なんだ、詳しく話をすると、兎角女といふものは氣が小さいから、何だ彼だと冗言がいひたくなるから、今は一切話をしないけれど、先づ惡く行つても五千圓、うまく行きやア一萬圓は手に這入るんだ」

「まあ一萬圓ですつて?、いゝわれ、そしたら私文化住宅でも、是非湯殿付の家へ越してもらひたいわ、もう午後の三四時にはお湯に這入つて、身じまひを濟まして、あなたが歸つて來るのを待つてゐるやうにしたいわ」

「おいおい湯殿はいゝけれど、女が初湯に這入る奴があるかい」

「いゝぢやないの、私が這入つてそのあと婢やを入れて、サッさぬいちまつて、あなたには、改めて立てゝおくわ、れ、それならいゝでせう」

「まあ、それはどうでもいゝとして、湯上りのお化粧をして、小料理でも取つて、晩酌の支度をしてお前が待つてゐるのに……」

「だからさ、あなたは當分は圓タクで我慢をして、自動車でお歸りになるのよ、運轉手がお歸りッて玄關へ來て聲を掛けるでせう、私が女中部屋の方へ、婢や旦那樣のお歸りよーと聲を掛けておいて玄關へお出迎へするでせう、婢やがお勝手から襷をはづしながら驅け出して來て、玄關の板の間へ畏まるでせう…」

「お歸り遊ばせ」

の挨拶を、俺が反り身になつて頤で受けて、お札で重くなつてゐる鞄をお前に渡す譯か、それもよからう、だが、さうなると考へておいて貰はなければならないことがある、と云ふのはお前が折角晩酌の支度をして待つてゐても、時には待ちぼうけを喰はさなければならないやうなことがある、そんな時お前は良妻賢女振りを發揮して、決して癇癪を起したり、やきもちを燒いたりしないこと、どうだ、それだけのことは出來るだらうな」

「それは又、どうしてなの?」

「どうしてつて、お前、ブローカーも取引が廣くなつて見ろ、隨分待合や料理屋への附合が斷り切れなくなる、いや、それが大きな取引となる場合が多いのだから、それに對してお前が、やれ今日はどうして遲くなつたとか、若い美しい藝者があなたをつかまへて離さなかつたのだらうとか、一々詮議立てをされると、安心して大きな商賣の取引が出來なくなる」

「そりや私だつて請負師の娘ですもの、そんな野暮なことは言はないわよ、だけど、あなただけいゝことをして、私は待ちぼうけを喰はされるんぢやつまらないわれ、いゝわ、そんな時私は、今夜は遲いと思つたら、活動へ行くなり、自動車を飛ばして帝劇へ行くなりつまらなくないやうな行動を執るわ」

「おいおい、そんな勝手な眞似をされて、俺が歸つた時、今度はお前に待ちぼうけを喰はされるやうなことがあつちや、眼も當てられないぢやないか」

「だから、そんな事があつたら、婢やに行先を訊いて、あなたも迎ひかたがたやつて來るといゝわ、そして歸りは何所かレストランで輕い夜食を取つて、自動車でブーと歸つて來ればいゝんだわ」

「こいつ、何所まで蟲のいゝ女だらう」

「だつて、斯んなに苦勞させられるんですもの、よくなつたら、それ位の事するのは當り前よ、私、あんたが甚助を起さなきや、拳闘を見に行つたり、野球見物にけたりするわ」

「チエッ、勝手にしやがれ、俺は氣に入つた藝者を落籍せて第二號にすらア」

「私だつて負けてはゐないわ、拳闘選手か活動のスターをウンとヒイキにするわ」

「まあいゝや、さうして取らぬ狸の皮算用をしてゐる間が人間は罪がなくつていゝんだ、本當に大きく何かゞ當つて、本當にさういふことが出來るやうになり、本當にやつたとして見ろ、一大家庭爭議が起つて來る」

「あら、つまらないの、取らぬ狸の皮算用なの」

「時に一圓か二圓になる質ぐさはないかれ」

「どうするの?」

「一寸考へついてることがあるんだ、うまく行くと二三十圓になるんだ」

「あんたのうまく行くとは、うまく行つた例がないんだから心細いつちやありやしない」

「まあいゝから、あるならば出してくれ」

女房が外出の爲めの取つときの一本の帶を新聞包みにして持ち出した駒三は、お馴染の伊勢屋へ行つて、喧嘩腰になつて一圓五十錢を手に入れた。

二

それから新宿の裏通りを急いだ駒三は、いつか見つけておいた古道具屋へ行つて、ルーブル紙幣を三枚ばかり手に入れた。一枚二十錢の三枚六十錢だから、まだ蟇口には九十錢殘つてゐる。彼れはカフエーすゞらんへ這入つて、鷹揚にかまへ込んでコーヒーとケーキを取つた。それを飲み且つ喰ひながら彼れは徐ろに考へたことである。最近地所の話で一寸懇意になつた男がある、その男は相當に小金を持つてゐる。少くとも五六千圓は確に持つてゐる。これを引つ張り出す方法であるが、今度滿洲國が建設されたので、在滿白系露人も、白系露人だけで滿洲國のやうに、シベリアの一部に新國家を建設しようといふ運動が盛んになつてゐる、といふことは屢々新聞に報道されたので、少しく滿洲國の狀況に意を留めてゐる者ならば、この新聞記事は讀んでゐる筈である。そこで、此の白系露人とルーブル紙幣だ、どう結びつけたら、慾の深い小金持をルーブル紙幣で釣ることが出來るか——駒三はブローカーをやるだけあつて、頭は惡くない。

「よし、一番今晩寢て考へてやらう」

彼れは思はず呟いてニツコリした。

「おや、寢てから何をなさらうと仰しやるの」

女給が聽き咎めて、變な方へわざと持つて行くやうな言ひ方をした。

「ウン、半歲ばかり前に貰つた女房のことを考へてるのさ」

「どうも御馳走樣」

と馬鹿に愛嬌を振りまくので、駒三はチツプをおかないで出て來るのは、よほどの勇氣を鼓舞しなければならなかつたが、併し明日の電車賃のことが苦勞になつてゐるので、思ひ切つてノー・チップで出て來た、後からコップの水を彼の草履の踵にかゝるほどにバッと撒いた者が、その女給であることはよく分つてゐるが、彼れはそれを振り返ることさへ出來なかつた。

家へ歸つてそつと机の引出しへルーブル紙幣を入れておいて、彼れは直ぐ寢床へ這入つて、詐欺の新手の考案に取りかゝつたことは云ふまでもない。

翌朝彼れはそのルーブル紙幣二枚だけを持つて出掛けた。あとの一枚は又誰か他の者に相談を持ちかける時の用意に殘しておいたのである。そんな事は一切知らない妻君、駒三が昨夜質ぐさを持つて出て、やがて歸つて來てから机の前でゴトゴトやつてゐたのを思ひ出し、そつと抽斗を開けて見た。

「あら、二十圓のお札だわ、あの人、矢張り昨夜何かで儲けて來たのれ！それならそれと、さう言つて私を喜ばしてくれゝばいゝ、だけど、あの人にしては、二十圓や三十圓は儲けたやうにも思つてゐないから、これを机の抽斗なんかへ入れつ放しにしといたんだわ、矢張りあの人、腕があるのね！だから一萬圓の口だつて屹度成功するんだわ。あゝ嬉しい、あゝ忝けない、あゝ勿體ない、二十圓札樣々」

妻君は二十圓札を推し戴いて、又机の抽斗へ入れておいた。

丁度そこへ近江蚊帳の行商が來た。

「奧さん蚊帳を買つて下さい。近江本場の本麻です、八疊釣り十三圓のを六圓五十錢で叩き賣つてるんです、まあ物を御覽になつて下さい斯んなゴリゴリの本麻です」

近江商人らしい物の言ひ方である、試みに手に取つて見ると成るほど本麻の上等蚊帳である。妻君は咽喉から手の出るほどに欲しい。まゝよ、あの二十圓で買つておきませう。

「ぢや一つ貰ふわ、二十圓でお釣頂戴」

さう言ひおいて妻君は机の抽斗から例のお札を持つて來た。行商人は既に十三圓五十錢耳を揃へて待つてゐた。

「きずなんかあるもんぢやないでせうね」

「どういたしまして、これでも毎年行商に參るんですから、そんな物を賣り付けたりなんか……どうも奧さん有りがたう存じました」

行商人はペコペコ頭を下げて、そゝくさと歸つて行つた。

妻君は、思ひがけない二十圓があつたし、十三圓の本麻の蚊帳を半値の六圓五十錢で買ふし、今日は如何なる吉日とばかり、駒三の歸りを待ちかねて

「あなた、實は今日これこれ」

と話す妻君の言葉を半分聽いて

「いけないことをしてくれた、あれはルーブル紙幣だ」

「えゝッ、ルーブル——」

「だが、氣が付いたらあわを喰つて來るだらう、そしたら俺がうまく誤魔化して品物を返してやらう、だが此の品物が六圓五十錢は馬鹿々々しく安い、何か喰はせ物ぢやないかな」

そこで綴ぢ糸を切つてひろげて見た。

「あつ、天井がないわ」

「大抵斯んな事だらうと思つた」

「畜生、私を女だと思つて——」

「いゝよいゝよ、十三圓五十錢と、天井なしの蚊帳だけ丸儲けだ、ルーブルは一枚二十錢だからな」

詐欺をした積りの蚊帳行商人は、ルーブル紙幣と氣がついても、天井無しの蚊帳を賣りつけた手前、如何に口惜しくても引返して來ることが出來なかつたのである（をはり）

一年前の回顧

荒木大尉の戰死（十二月三日）

叛將蘇炳文膺懲に向つた我軍は疾風迅雷の勢ひを以て零下三十度の極寒を冒し頑強に抵抗する敵匪を追窮し午後三時に大興安嶺の頂上を占領しましたが、興安トンネル附近にあつた敵が我が追擊隊の前進を妨げるため空車を逆おとしに放つた際我先遣隊附荒木克業大尉は勇敢にも身を以て空車を脫線停車せしめ遂に壯烈な戰死を遂げました、しかし皇軍の列車を救つたこの大尉の偉功は永久に歷史に殘されませう。

蘇炳文は露領遁走（同四日）

皇軍の總攻擊に一溜りもなく蘇炳文以下一萬五千の叛軍はその統制と戰鬪力を失ひ露領へ遁走を始めて、蘇炳文は四日夜部下一千、文官數十名及び滿洲里監禁邦人を四十三輛に分乘せしめて露領に遁入し、ソ聯官憲のため武裝解除の上監禁されましたが、邦人は小松原大佐の手に引渡され無事なるを得ました。

驅逐艦『早蕨』遭難（同五日）

呉軍港から馬公に廻航中の驅逐艦早蕨（艦長門田健吾少佐）は激しい風浪のため午後二時頃艦内に浸水遂に顛覆し僚艦三隻が直に救助に努める一方呉、馬公からも救援に向ひましたが夜陰と共に艦影を沒し僅か十餘名の艦員を救助した外、乘組員百餘名は艦と運命を共にして海底へ沒し去つてしまひました。

聯盟總會開かる（同六日）

日支問題は理事會を離れ加入國五十七ヶ國を集合、こゝに審議されるべき國際聯盟特別總會は午前十一時から初冬の風寒いレーマン湖畔の聯盟會議室に於て寸隙も殘さぬ傍聽者がつめかけて異常な緊張裡に開會されました。先づ顏支那代表が日本を侵略者呼ばりして訴へれば、我が松岡代表は正論堂々之を反駁屢々極東平和の眞髓を力說し、加へて米露の二大國を缺如した現聯盟は全く無能力無權威な事を暴露し聯盟總會に痛い釘を刺す等大論戰の火蓋が切られました。

カナリヤで試驗（同七日）

鞍山製鐵所の諸工場に於ては瓦斯中毒によつて時に死亡者を出すやうな悲慘事が發生するのを防止するため防毒マスクその他の方法により研究してゐましたが、最も簡單なのは動物試驗によることなので今度動物のうち瓦斯に最も鋭敏なカナリヤを使用して瓦斯中毒防止の諸試驗を行ふ事となりました。

支那軍の不法發砲（同八日）

奉山線警備の我裝甲列車が同夜十時すぎ給水のため山海關驛に向ふ途中長城附近で無法にも支那軍隊は機關銃を以つて一齊射擊を浴せたので、我軍は直に之に應戰しこれを擊退しましたが、嚴重抗議をなした結果、支那軍第九旅長何柱國は今後再びかゝる不法行爲をなさぬことを誓ひ陳謝し幸ひに事件は擴大しませんでした。

十九ケ國委員會へ（同九日）

日支紛爭事件討議の國際聯盟特別總會で帝國政府は總會若し飽くまで理不盡ならば斷然聯盟を脫退すべしとの決意を見せ四日間に亘る會期を終始しました。この絕對的な強硬方針に早くも大勢は決しイーマンス議長の聲明によつて總會決議案は十二日より開催の十九ケ國委員會に附託されることに決定總會を終了しました。

今週の献立

宇野靜子

	朝	晝	晩
日	トースト、紅茶	はんぺん、三つ葉清汁、ハムエッグ	ヨセ鍋
月	大根味噌汁、煮豆	豆腐葛かけ、鰹でんぶ	牡蠣清汁、鰤照燒、大根おろし
火	豆腐、菠薐草の白味噌汁、鰹でんぶ	酒粕汁	蛤清汁、ビーフステーキ（野菜附合せ）、赤貝の二杯酢
水	若布味噌汁、昆布から煮	鮭	葱鮪鍋、菠薐草浸し
木	しゞみ味噌汁、福神漬	卵燒	かしわ三つ葉清汁、チキンライス、小蕪あちやら漬
金	里芋味噌汁、燒のり	煮込みうどん	のつぺい汁、烏賊つけやき、淺蜊むきみと葱のぬた
土	蒲鉾春菊白味噌汁	里いも、蒲鉾甘煮	ローストチキン、サラダ

イデヤ
ナゲナワノイリヨク

ワン ツウ スリッ

アーン アーン

家庭滿洲語 紙上講座

第卅七課

一 (1) 夏。天天 (2) 天氣 熱。 (3) 用。扇。子 (4) 搧。一 (5) 搧 涼快

二 (1) 熱天 (2) 出汗。 (3) 不舒服 (4) 擦。臉 (5) 很舒。

三 (1) 洗。澡 (2) 澡。堂子 (3) 燒。堂子 (4) 燒。好了 (5) 水熱了 (6) 合。式。 (7) 水不。熱。 (8) 不。合。式。

【譯語】

一 (1) 夏 (2) 時候が暑い (3) 扇子を使ふ (4) 扇ぐ (5) 涼しい

二 (1) 暑い時分（暑い日） (2) 汗をかく (3) 心持が惡い (4) 顏を拭く (5) 大層氣持が良い

三 (1) 入浴 (2) 浴場（風呂屋） (3) 風呂を焚く (4) 湯が熱くなつた（沸いた） (5) 丁度良い加減 (7) 湯がぬるい (8) 加減が惡い（適度でない）

【說明】

舒服 は心地の良い惡いをいふ言葉である。

合式 不合式 は適當、不適當を云ひ表す言葉である、例へば本文に有るやうに、湯の溫度が適して居るとか居らぬとか或は着物の工合が丁度身體に合ふとか合はぬとか、又は都合が好いとか惡いとかいふ樣な場合に使ふのである。

燒 は燒く、燃やす、焚くなど物事によつて種々に譯せる、例へば**房子燒了**といへば、火事で家が燒けた事に成る。

水熱了 は湯が熱く成つたことで

水開了 といへば沸騰したことになり、其所に自ら區別が有る（第十九課參照）

發音上の注意

本課の新出字に於いては特に注意を要するものは無い。

舒服 の服は元來第二聲なれども舒に力が這入るから服は輕く短くいへばよい。

合式 は合に力が這入るから兩方共に各々其四聲通りに云へばよいのである。

前週の答

(1) 拿洋火來 (2) 點洋燈 (3) 火滅了 (4) 燈滅了 (5) 屋子裡很黑 (6) 外頭亮 (7) 怎麼不點燈 (8) 沒有火油（煤油） (9) 吹滅燈 (10) 擰手巾

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

(1) 春は暖い (2) 夏は暑い (3) 汗が出た (4) 扇子で扇ぐ (5) 石鹼で洗ふ (6) 私は風呂に這入り度い (7) 風呂を焚いたか (8) 未だです（十五課を見よ） (9) 加減は良いか惡いか (10) 丁度良い加減だ